

安城市市民アンケート

調査報告

安城市市民アンケート調査報告 目次

1	調査概要	1
2	回答者の属性	2
3	調査結果	5
	（1）安城市の住みやすさ	5
	（2）これまでの安城市の取組の評価	8
	（3）日常生活について	25
	（4）施策項目別による取組の評価	33

1 調査概要

本調査は、広く市民の考え（満足度や重要度）を聞き取り、第7次安城市総合計画（平成17～27年）の進捗状況の把握や新しい総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略への基礎資料として活用するものです。

調査の概要は下表のとおり。

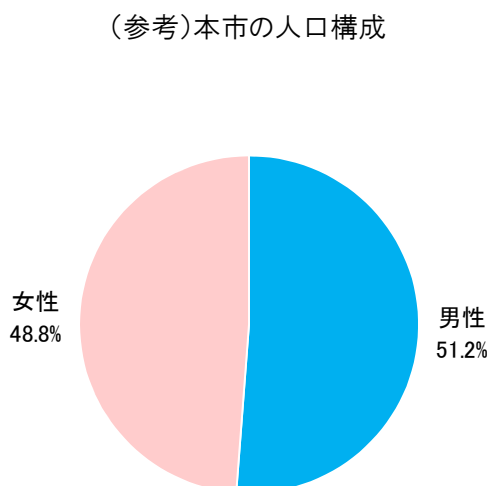
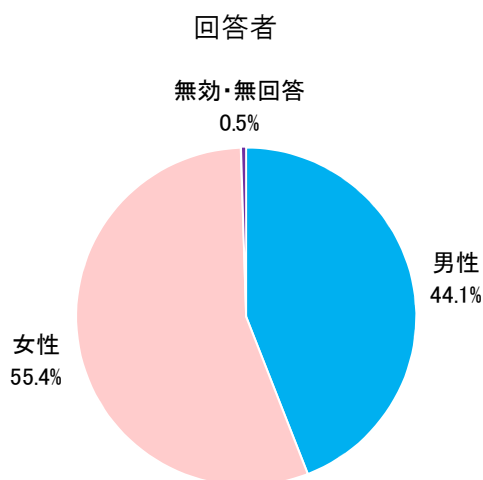
アンケート調査の概要

調査対象	安城市に在住する18歳以上の市民6,000人
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収
回答方法	調査回答者は調査票の宛名の person とする。 ただし、何らかの都合で記入できない場合は、18歳以上の家族であれば可とする。
調査期間	2015年8月28日～9月9日
主な調査項目	・ 調査回答者の属性 ・ 安城市の住みやすさ ・ これまでの安城市の取組の評価（これまでの取組の満足度、今後取り組むことの重要性） ・ 日常生活について
回収状況	有効回答数：2,415（有効回収率：40.3%）
備考	・ 設問文末の記号について、「SA」は単回答、「MA」は複数回答、「NA」は数値記述、「FA」は自由記述となる。 ・ グラフ下の「N=○」は該当する回答数を示す。 ・ 回答の集計は、選択肢の回答数を総回答数で除したものを%表記している。小数第2位を四捨五入しているため、各回答の合計が100%とまらない場合がある。

2 回答者の属性

①性別

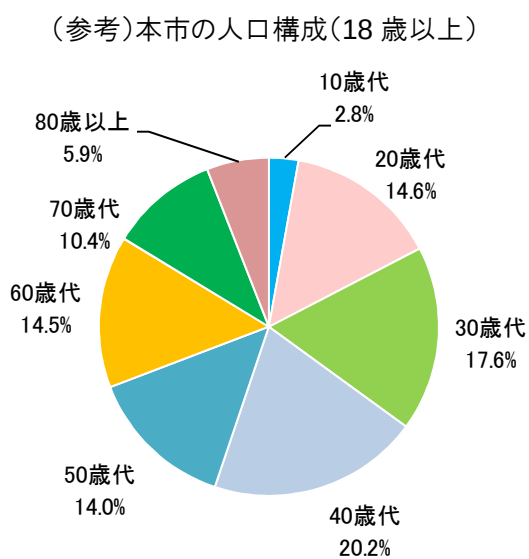
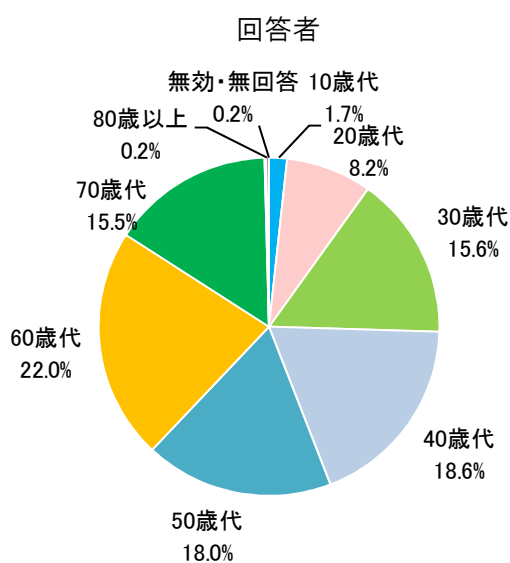
本市の人口構成において「男性」の割合が「女性」を上回りますが、回答者の性別は「女性」の方が多く 55.4%となります。



※本市の人口構成は平成 27 年 8 月 1 日現在
(N=2,415)

②年齢(平成27年8月1日現在)

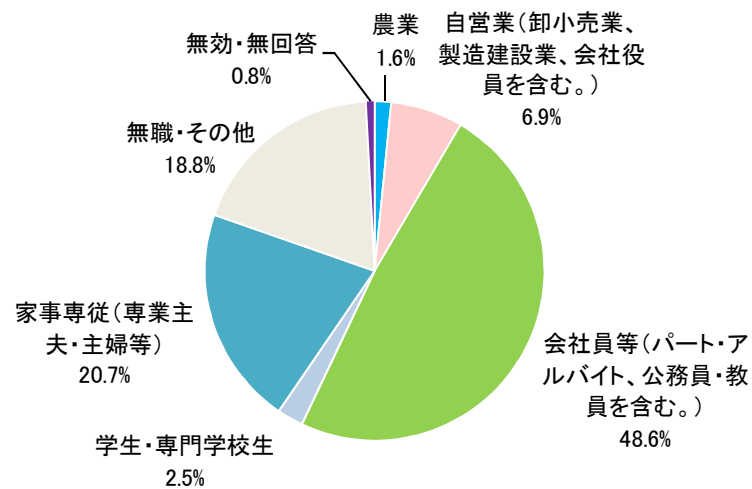
回答者の年齢構成は、「60 歳代」が 22.0%で最も多く、50 歳以上が半数以上を占めています。回答者は本市の人口構成に比べて年齢の高い人の割合が高く、一方で、回答者に占める「20 歳代」の割合が低くなっています。



※本市の人口構成は平成 27 年 8 月 1 日現在
(N=2,415)

③職業

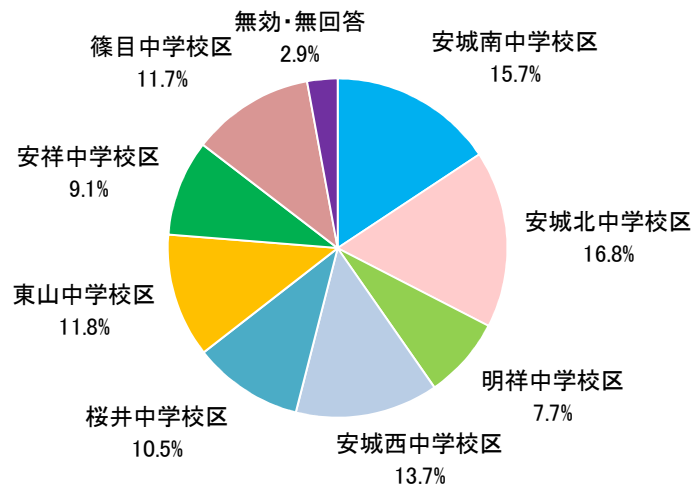
「会社員等」が約半数を占めており、「家事専従」と「無職・その他」を加えると、全体の約 9 割を占めます。



(N=2,415)

④現在お住まいの地区

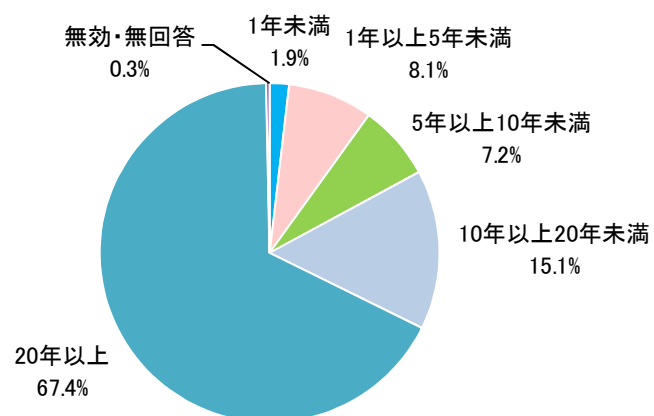
「安城北中学校区」及び「安城南中学校区」の割合が高くなっています。



(N=2,415)

⑤安城市での居住年数(通算年数でお答えください。)

全体の 2/3 以上が「20 年以上」となっています。



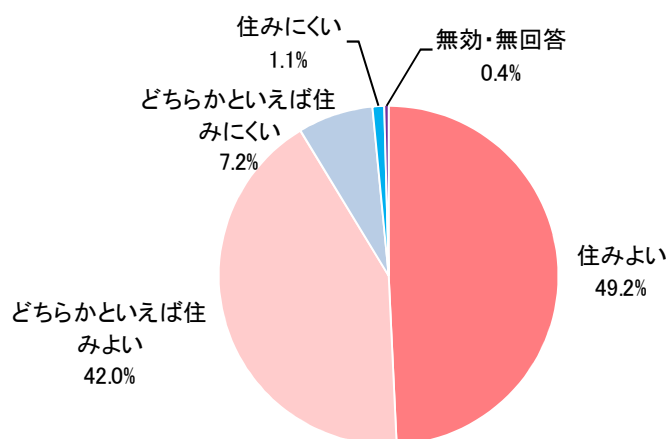
(N=2,415)

3 調査結果

(1) 安城市の住みやすさ

Q1	安城市の住みやすさについて (SA)
----	--------------------

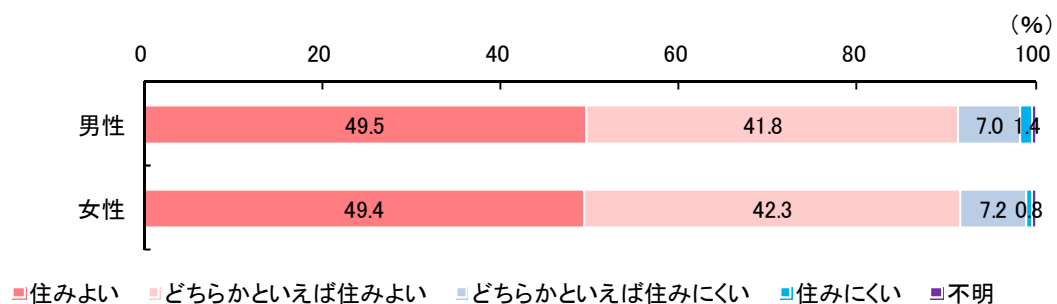
「住みよい」が 49.2%で最も多く、「どちらかといえば住みよい (42.0%)」を合わせる (以下、「住みやすい」とする) と、約 9 割が「住みやすい」と評価しています。



(N=2,415)

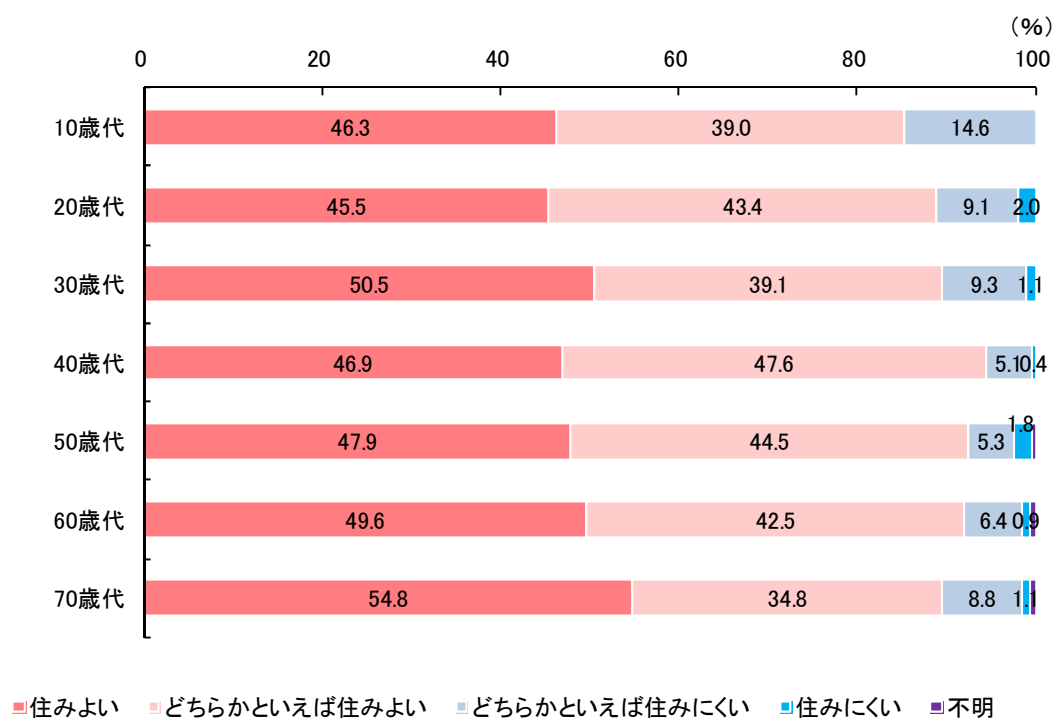
(性別クロス集計結果)

「男性」、「女性」とともに、約 9 割が「住みやすい」としており、性別による違いは見られません。



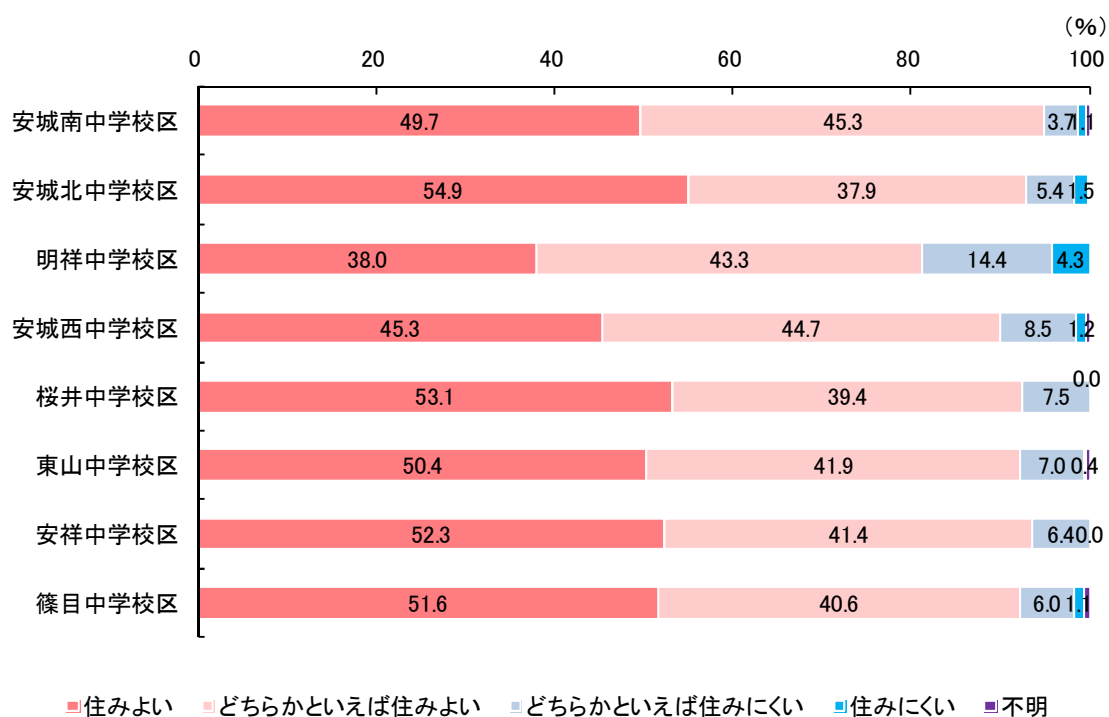
（年齢別クロス集計結果）

「住みやすい」割合は、「40 歳代」が 94.5%で最も多く、そこから年齢が離れるにつれて徐々に少なくなります。「10 歳代」が最も少なくなります、それでも 85.3%あり、年齢を問わず住みやすさに対して評価されているといえます。



（地区別クロス集計結果）

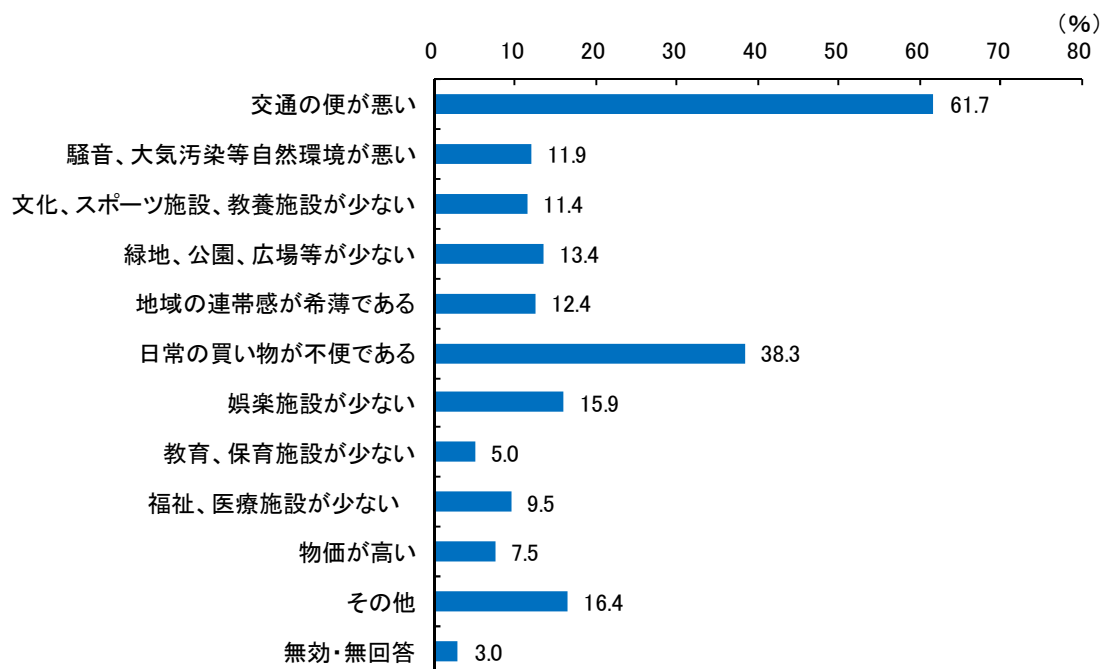
「明祥中学校区」における「住みやすい」割合は 81.3%となり、他の校区が軒並み 9 割を超える中で、やや低くなっています。



※ Q1で「3 どちらかといえば住みにくい」「4 住みにくい」と回答した人のみ

Q2	住みにくいと思う点について（MA:2つ選択）
----	------------------------

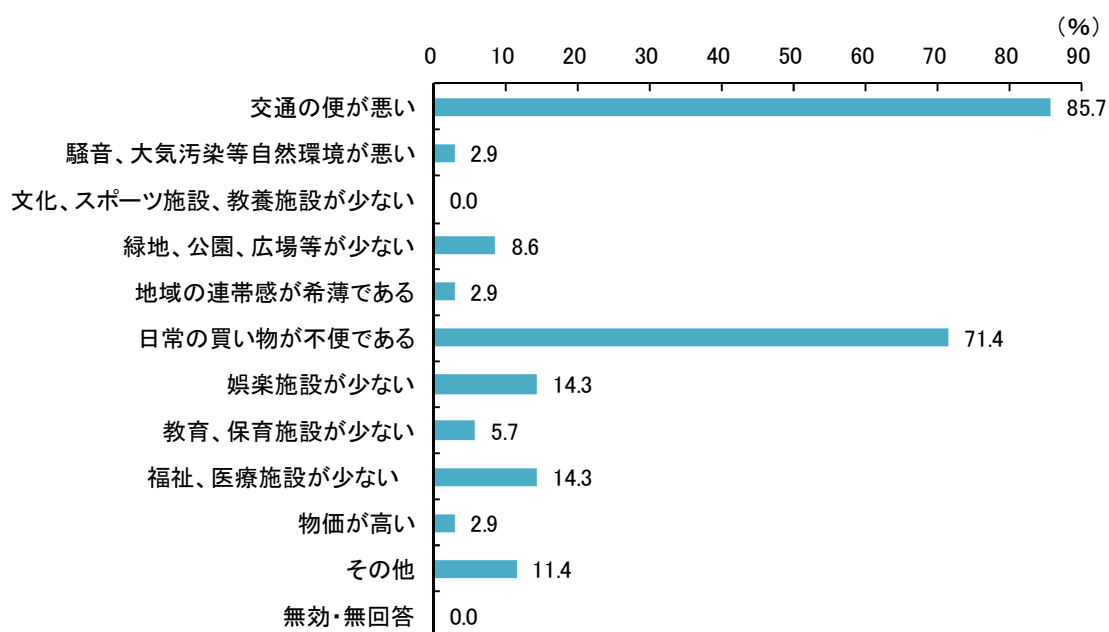
「交通の便が悪い」が 61.7%で突出して多く、「日常の買い物が不便である（38.3%）」が続いており、利便性に関することが課題となっています。



(N=201)

（明祥中学校区の回答）

他と比べて「住みやすい」とする割合がやや低くなった「明祥中学校区」では、「交通の便が悪い」が 85.7%、「日常の買い物が不便である」が 71.4%であり、これら 2 つのことが大きな課題になっていると推察されます。



(N=35)

(2) これまでの安城市の取組の評価

(これまでの取組の満足度、今後取り組むことの重要性)

Q3	次の事項に対する安城市の取組にへの評価について (SA)
----	------------------------------

①集計及び分析方法

第7次安城市総合計画の部門別計画における6つの分野別の施策全45項目について、「ア これまでの安城市の取組に対する満足度 (以下、「満足度」とする)」及び「イ 今後、安城市が取り組むことの重要性 (以下、「重要度」とする)」について、7段階による評価を聞き取りました。

分析にあたっては、満足度及び重要度について、それぞれ以下のように評価得点をつけ、満足度および重要度の評価平均得点を算出し、それを比較分析することにより相対的な評価を行いました。

なお、評価平均得点は、「わからない」及び「無効・無回答」を除く全ての回答者が「非常に満足 (非常に重要)」を選択した場合は3点となり、逆に「非常に不満 (全く重要でない)」を選択した場合は-3点となります。0点になれば、両者が拮抗していることになります。

評価得点

満足度	重要度	得点
非常に満足	非常に重要	3
満足	重要	2
やや満足	まあ重要	1
やや不満	あまり重要でない	-1
不満	重要でない	-2
非常に不満	全く重要でない	-3
わからない	わからない	0

評価平均得点の算出方法

□満足度

$$\frac{\text{「非常に満足」} \times 3 + \text{「満足」} \times 2 + \text{「やや満足」} \times 1 + \text{「やや不満」} \times (-1) + \text{「不満」} \times (-2) + \text{「非常に不満」} \times (-3)}{\text{「わからない」・「無回答」を除く回答者数}}$$

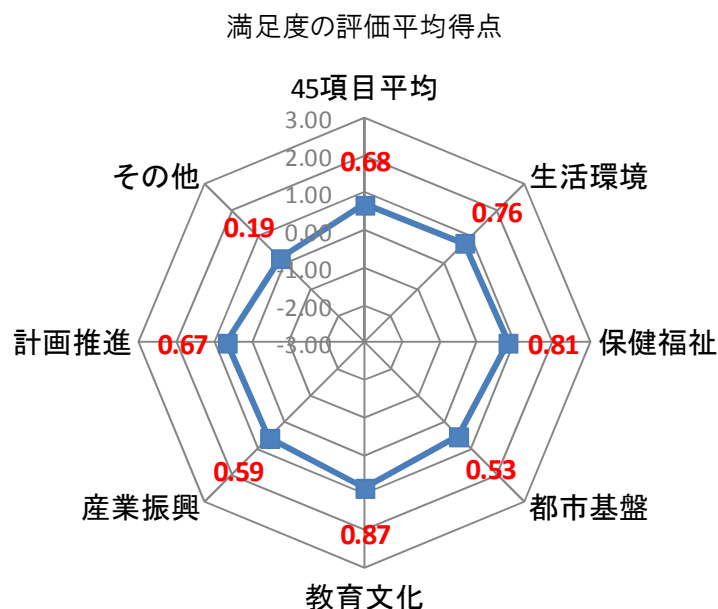
□重要度

$$\frac{\text{「非常に重要」} \times 3 + \text{「重要」} \times 2 + \text{「まあ重要」} \times 1 + \text{「あまり重要でない」} \times (-1) + \text{「重要でない」} \times (-2) + \text{「全く重要でない」} \times (-3)}{\text{「わからない」・「無回答」を除く回答者数}}$$

②評価平均得点の算出結果

(満足度)

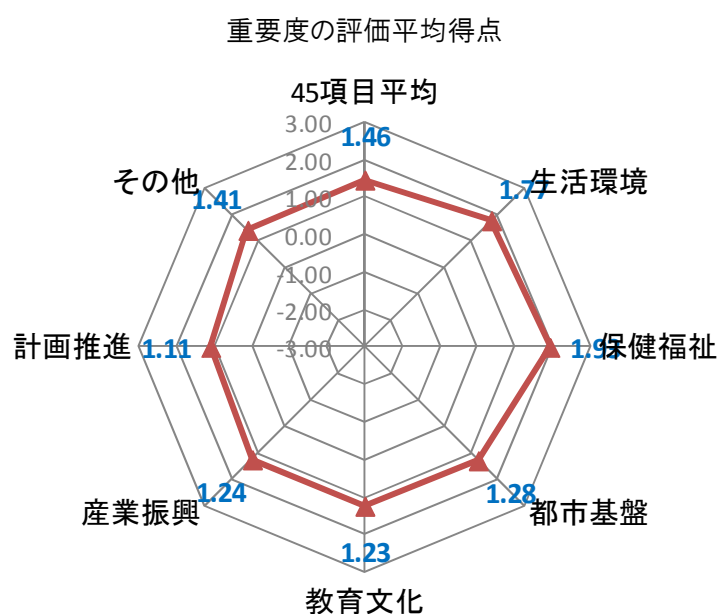
45 項目平均 (以下、「全体平均」とする) で 0.68 点となり、満足が不満を上回りました。得点が最も高くなった分野は「教育文化」の 0.87 点で、「保健福祉 (0.81)」、「生活環境 (0.76)」の 3 分野が平均を上回りました。一方、「その他」が 0.19 で最も低くなりました。



(重要度)

「全体平均」で 1.46 点となり、得点が最も高くなった分野は「保健福祉」の 1.93 点で、「生活環境」も 1.77 点となりました。これらは、満足度も高くなっており、今後も着実な取組が求められているといえます。

一方、満足度が最も高かった「教育文化」は 1.23 点で最も低くなりました。また、「産業振興 (1.24)」や「都市基盤 (1.28)」は満足度が平均を下回るものの、重要度も平均を下回りました。



評価平均得点の算出結果

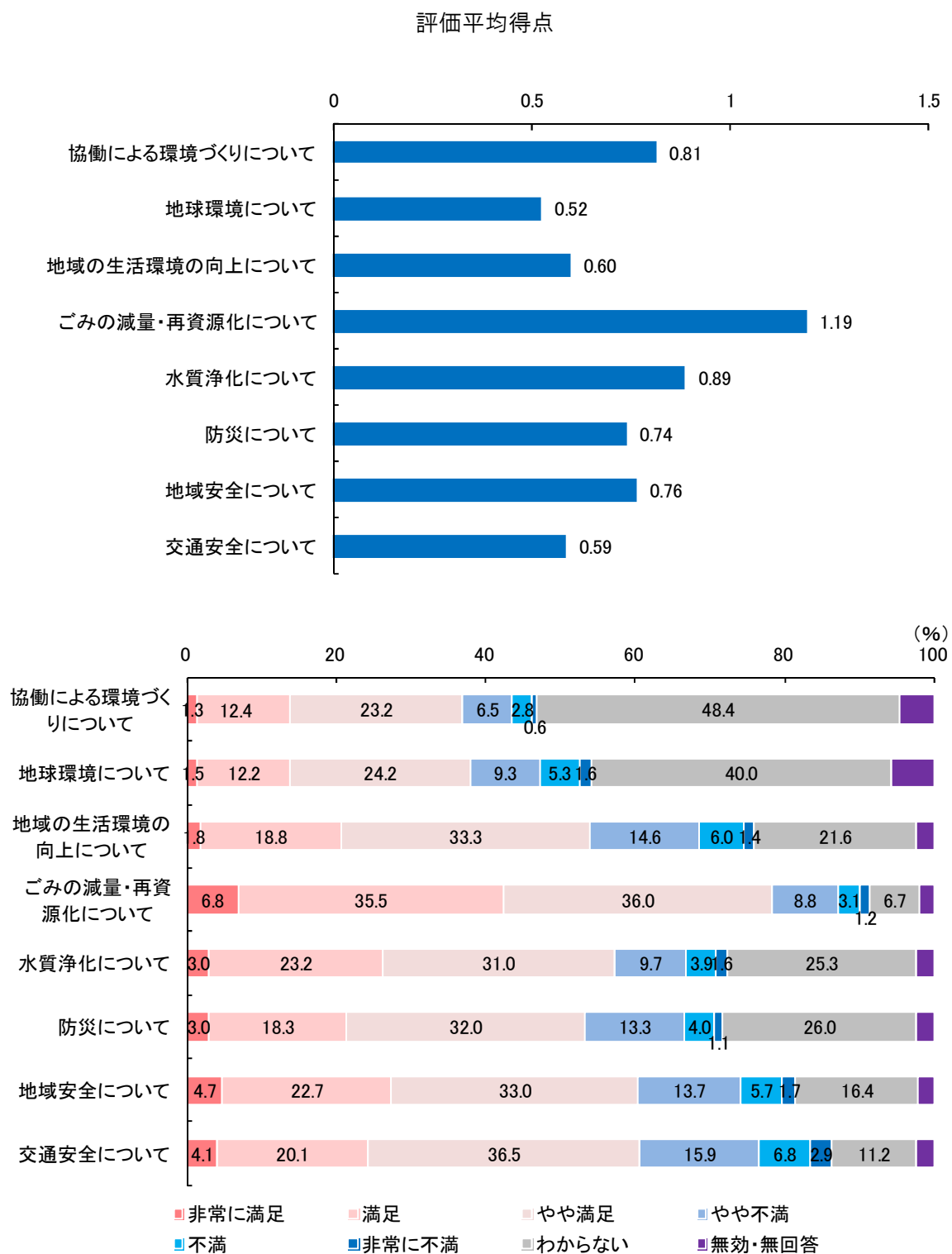
		満足度		重要度	
		得点	順位	得点	順位
生活環境	協働による環境づくりについて	0.81	14	1.33	27
	地球環境について	0.52	34	1.23	31
	地域の生活環境の向上について	0.60	28	1.74	13
	ごみの減量・再資源化について	1.19	2	1.93	9
	水質浄化について	0.89	7	1.83	11
	防災について	0.74	23	2.02	6
	地域安全について	0.76	20	2.08	2
	交通安全について	0.59	29	2.03	4
	生活環境8項目の平均	0.76		1.77	
保健福祉	健康づくり・保健予防について	1.16	3	2.01	7
	母子保健について	1.33	1	2.04	3
	高齢者福祉・介護保険について	0.48	38	2.09	1
	子育て支援について	0.74	22	1.97	8
	ひとり親家庭福祉について	0.65	27	1.79	12
	障害福祉について	0.50	35	1.93	10
	地域福祉について	0.77	18	1.60	18
	高齢者の医療・福祉医療について	0.89	8	2.02	5
	保健福祉8項目の平均	0.81		1.93	
都市基盤	緑化・良好な景観形成について	0.58	30	1.39	24
	公園・緑地の整備について	0.79	17	1.12	35
	河川の整備について	0.82	12	1.62	17
	道路の整備について	0.35	40	1.65	16
	公共交通について	0.29	42	1.50	20
	自転車の利用促進について	0.50	36	0.93	40
	市街地整備、区画整理事業について	0.33	41	0.89	42
	公営住宅について	0.58	31	1.10	36
	都市基盤8項目の平均	0.53		1.28	
教育文化	生涯学習の推進について	0.91	6	1.30	28
	青少年の育成について	0.82	11	1.47	21
	幼児教育について	0.83	10	1.65	14
	義務教育について	0.81	15	1.65	15
	文化振興について	0.77	19	0.70	45
	文化財の保護について	0.97	5	1.03	38
	スポーツの振興について	0.98	4	0.84	43
	教育文化7項目の平均	0.87		1.23	
産業振興	農業の振興について	0.71	24	1.40	23
	工業の振興について	0.55	32	1.30	29
	商業の振興について	0.09	43	1.36	25
	観光について	0.75	21	1.00	39
	デンパークについて	0.84	9	1.15	34
	産業振興5項目の平均	0.59		1.24	
計画推進	市民参加・市民活動支援について	0.67	26	0.91	41
	地域自治(コミュニティ)について	0.54	33	1.24	30
	男女共同参画について	0.50	37	0.84	44
	国際化について	0.69	25	1.10	37
	広域行政について	0.80	16	1.34	26
	行政運営について	0.82	13	1.21	32
	計画推進6項目の平均	0.67		1.11	
その他	二酸化炭素の排出削減について	0.46	39	1.46	22
	市街地について	0.04	45	1.21	33
	住環境について	0.06	44	1.56	19
	その他3項目の平均	0.19		1.41	
45項目の平均		0.68		1.46	

③生活環境について

ア これまでの安城市の取組に対する満足度

「ごみの減量・再資源化」の得点が 1.19 点で満足度が最も高く、一方、「地球環境(0.52)」、「交通安全(0.59)」、「地域の生活環境の向上(0.60)」の3項目が「全体平均(0.68)」を下回りました。

これらのうち、「地球環境」は4割以上が「わからない」を選択しており、取組が市民に認知されていないことが推察されます。

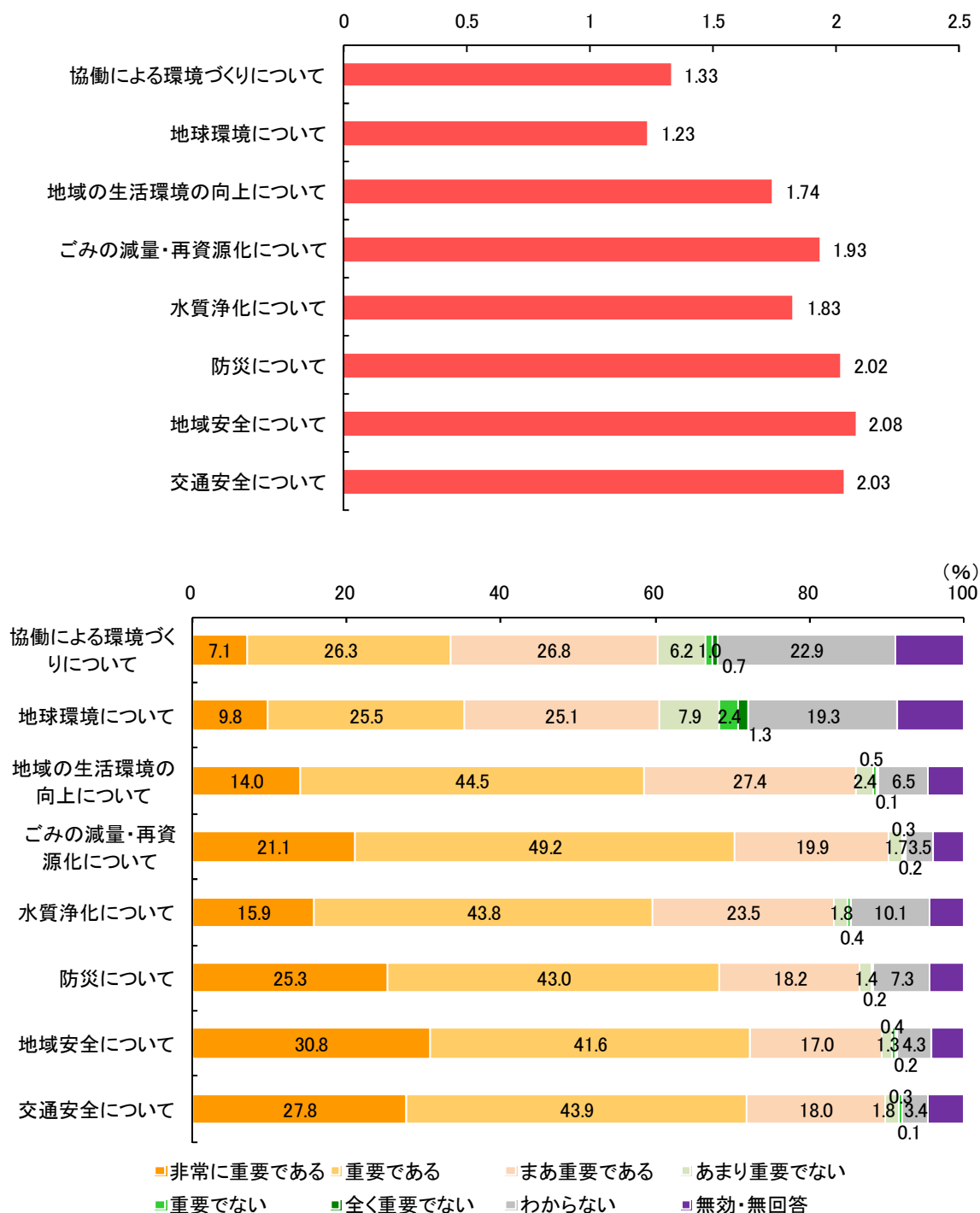


イ 今後、安城市が取り組むことの重要性

「地域安全（2.08）」、「交通安全（2.03）」、「防災（2.02）」の3項目の得点が2点を超えるなど、6項目の重要度が「全体平均（1.46）」を上回りました。

一方、「地球環境（1.23）」と「協働による環境づくり（1.33）」は「全体平均」を下回りましたが、いずれも「わからない」割合が多く、市民への理解を深めることが重要と考えられます。

評価平均得点



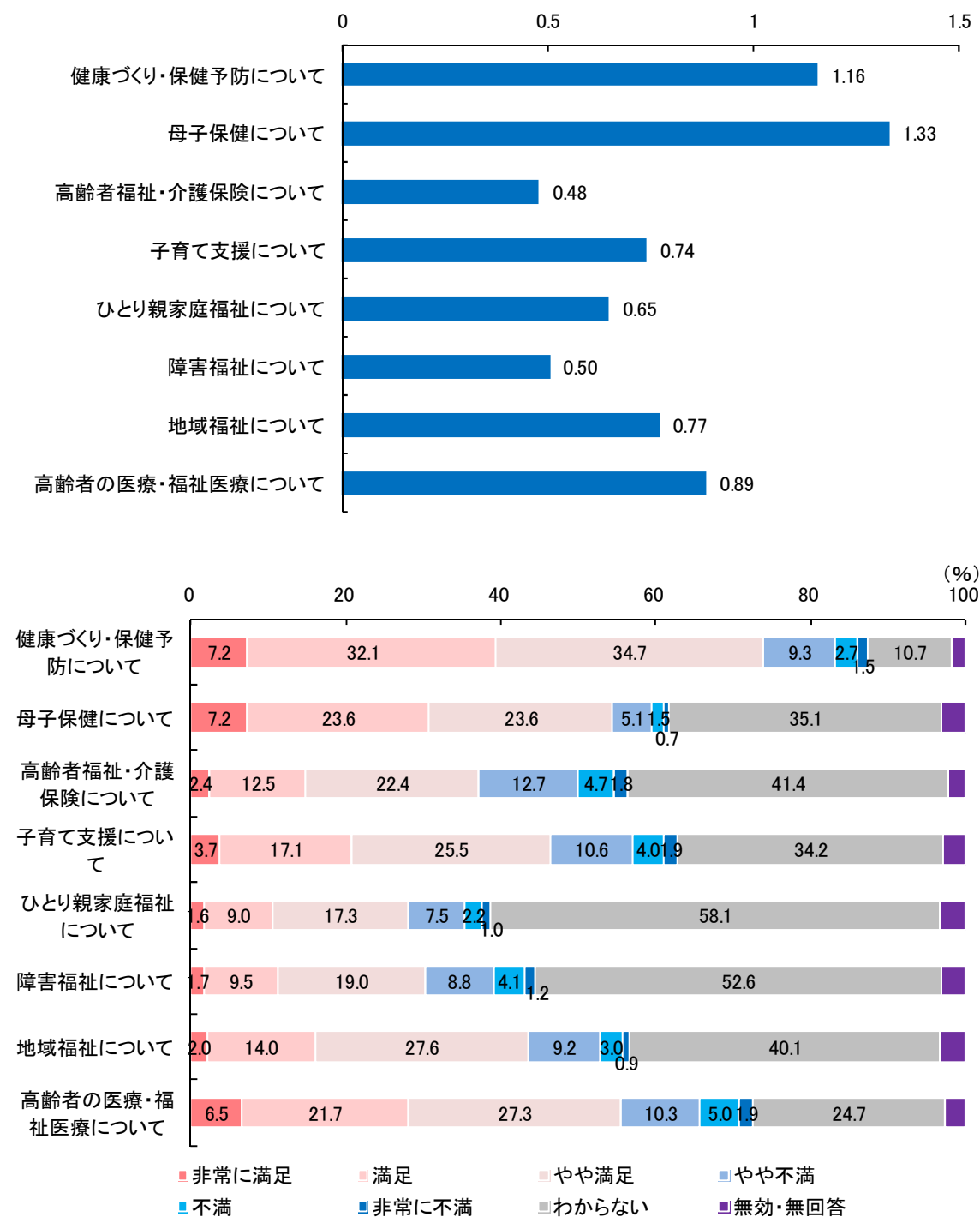
(N=2,415)

④保健福祉について

ア これまでの安城市の取組に対する満足度

「母子保健」の得点が1.33点、「健康づくり・保健予防」が1.16点と、満足度の高い項目となりました。一方、「高齢者福祉・介護保険（0.48）」や「障害福祉（0.50）」、「ひとり親家庭福祉（0.65）」の3項目が、「全体平均（0.68）」を下回りました。これらはいずれも、「わからない」の割合が4割を超えており、取組が市民に認知されていないことが推察されます。

評価平均得点

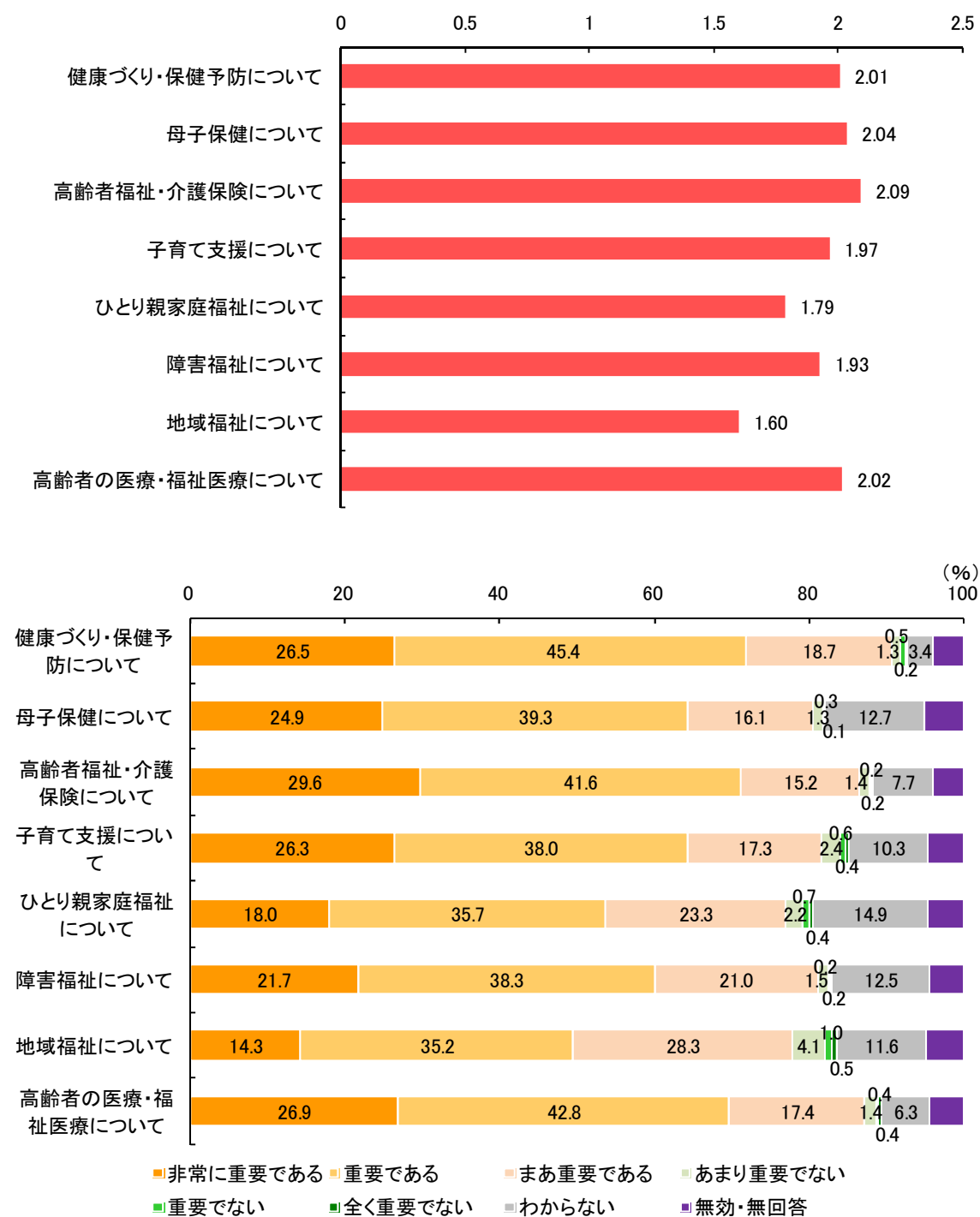


(N=2,415)

イ 今後、安城市が取り組むことの重要性

全ての項目が「全体平均（1.46）」を上回り、分野全体に対する重要性の認識の高さがうかがえます。特に、「高齢者福祉・介護保険（2.09）」、「母子保健（2.04）」、「高齢者の医療・福祉医療（2.02）」、「健康づくり・保健予防（2.01）」では得点が2点を超えました。

評価平均得点

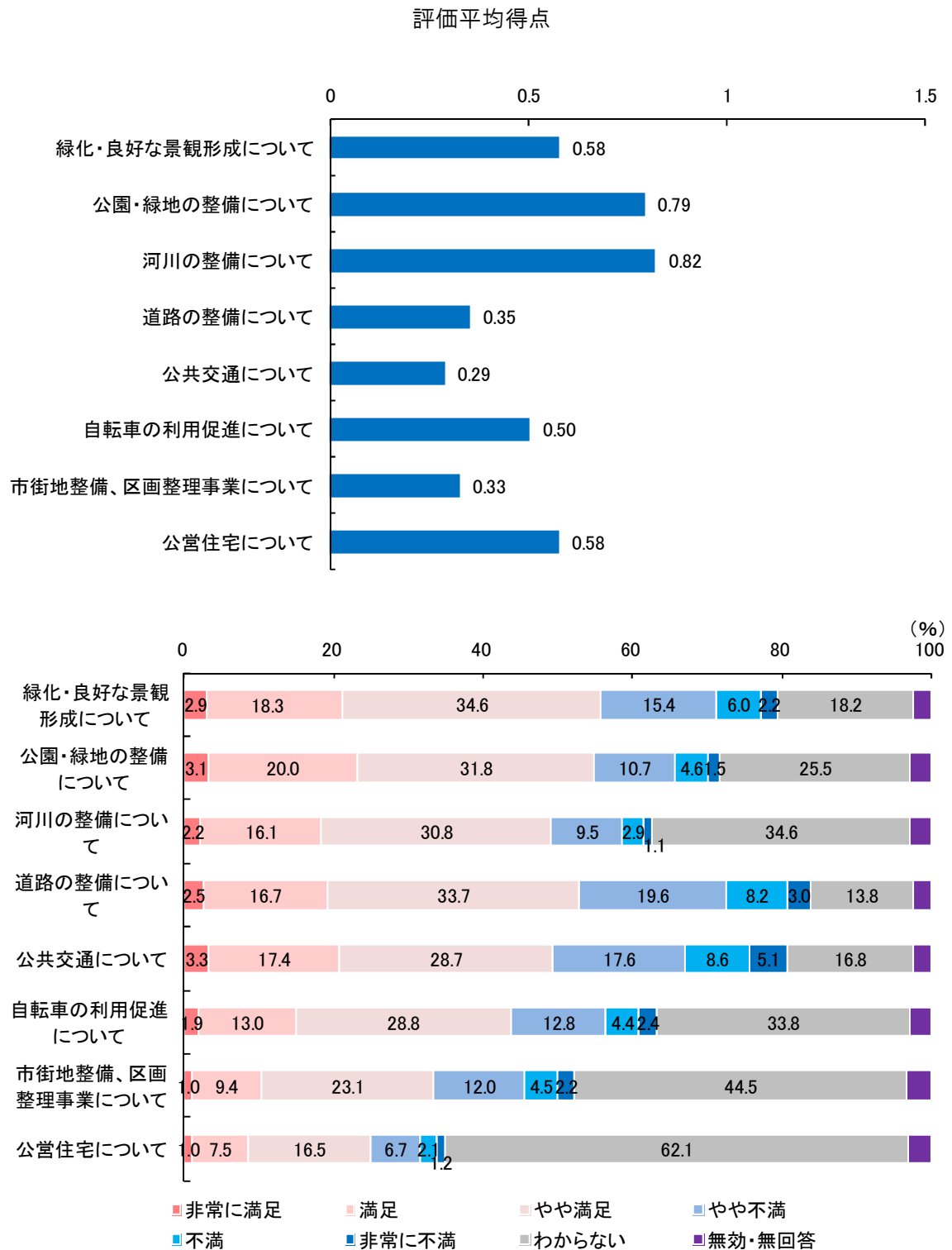


(N=2,415)

⑤都市基盤について

ア これまでの安城市の取組に対する満足度

満足度の得点が「全体平均 (0.68)」を上回ったのは、「河川の整備 (0.82)」及び「公園・緑地の整備 (0.79)」の2項目にとどまり、概ね満足度が低いといえます。特に、「公共交通」が0.29であるのをはじめ、「市街地整備、区画整理事業 (0.33)」や「道路の整備 (0.35)」の得点が非常に低くなっています。

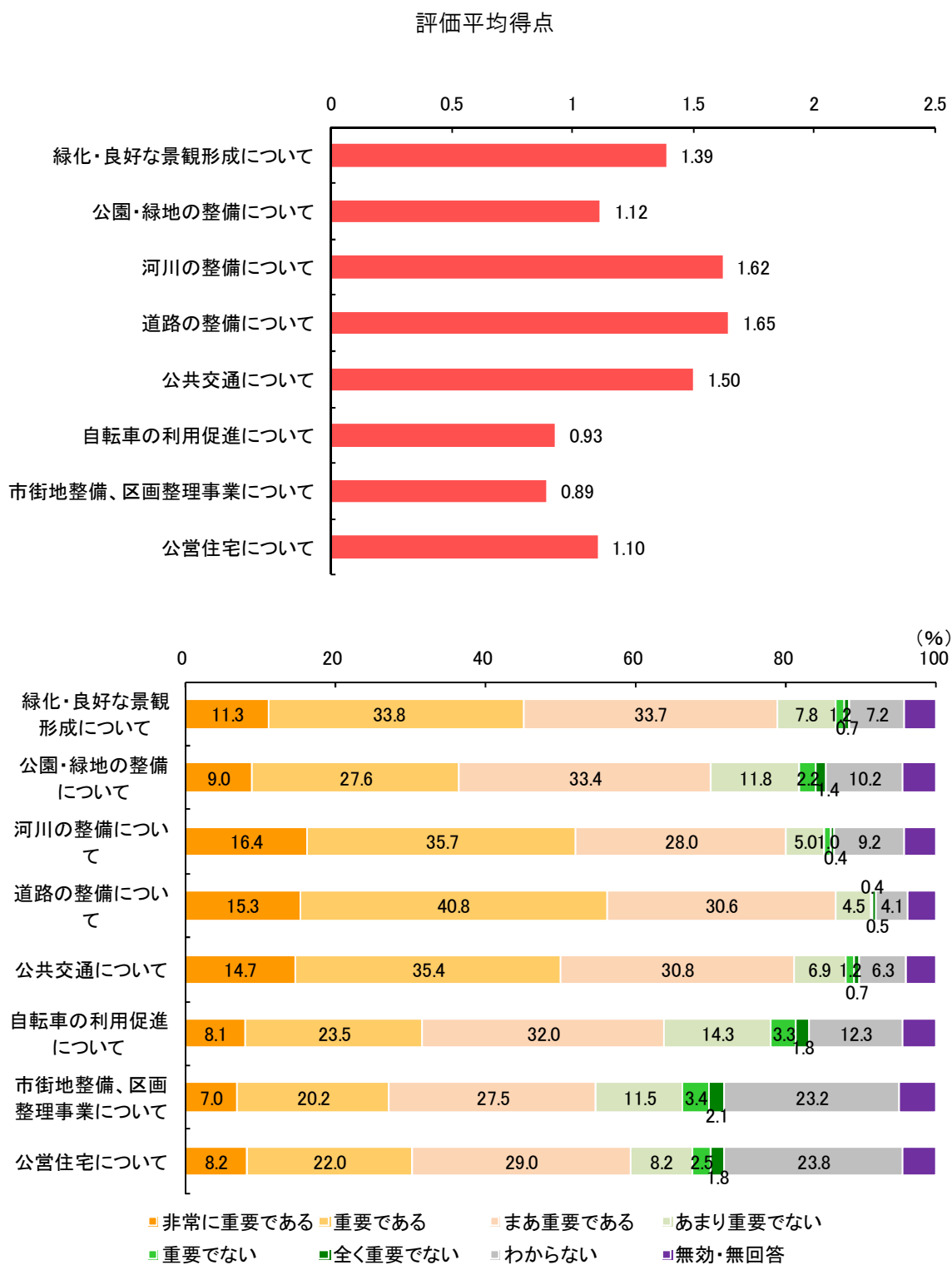


(N=2,415)

イ 今後、安城市が取り組むことの重要性

重要度の得点が「全体平均（1.46）」を上回ったのは、「道路の整備（1.65）」、「河川の整備（1.62）」、「公共交通（1.50）」の3項目であり、特に「道路の整備」と「公共交通」は満足度も低く、今後も重点的な取組が求められる項目といえます。

一方、「市街地整備、区画整理事業（0.89）」や「自転車の利用促進（0.93）」は1点を下回っており、施策の必要性の認識は低いといえます。



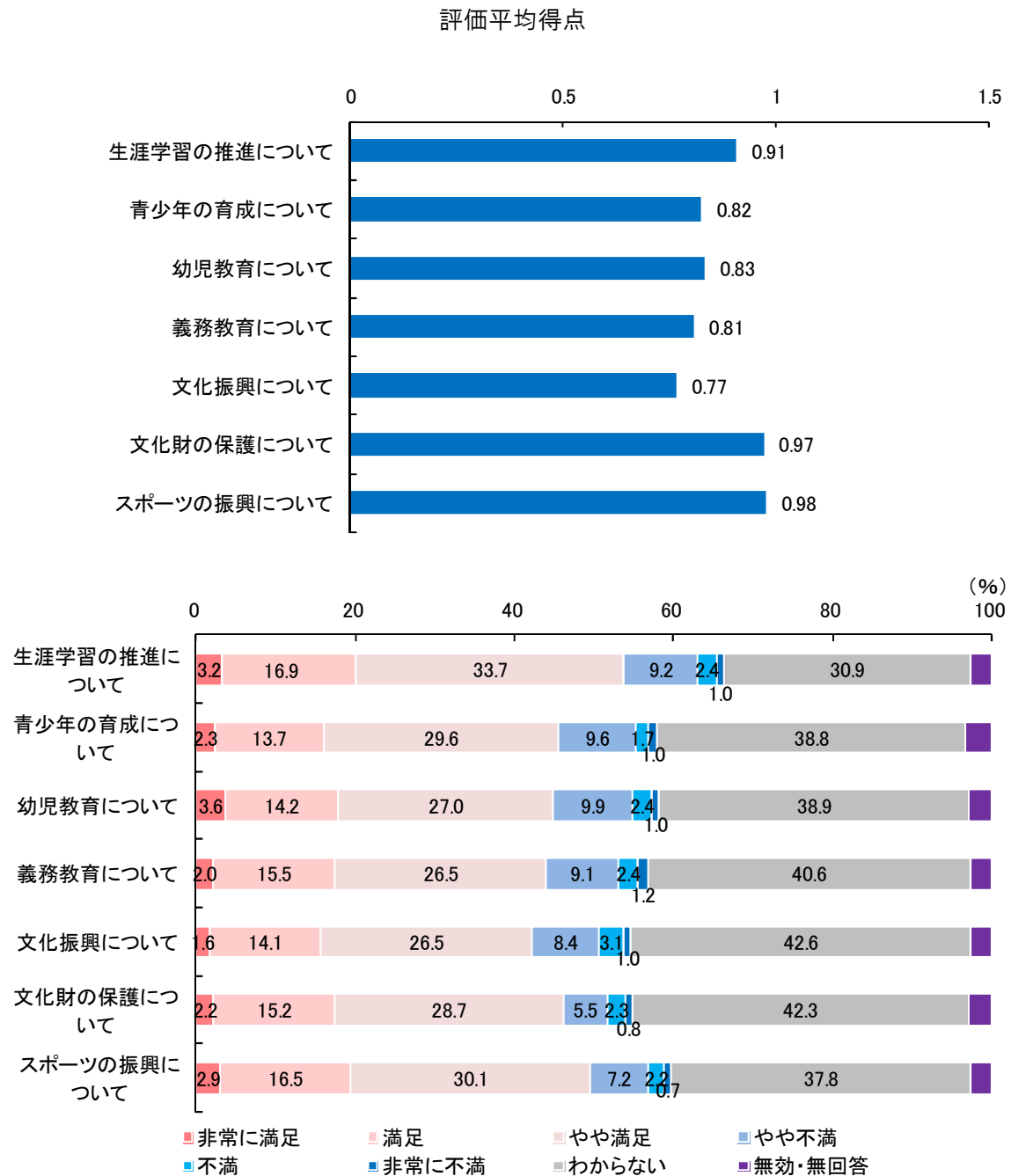
(N=2,415)

⑥教育文化について

ア これまでの安城市の取組に対する満足度

全ての項目の得点が「全体平均 (0.68)」を上回っており、概ね満足度が高いといえます。特に、「スポーツの振興 (0.98)」や「文化財の保護 (0.97)」は約 1 点と高くなりました。

一方で、「わからない」割合が 4 割程度ある項目が多くなっていますが、これらは受益者が限定的である項目が多いと考えられます。

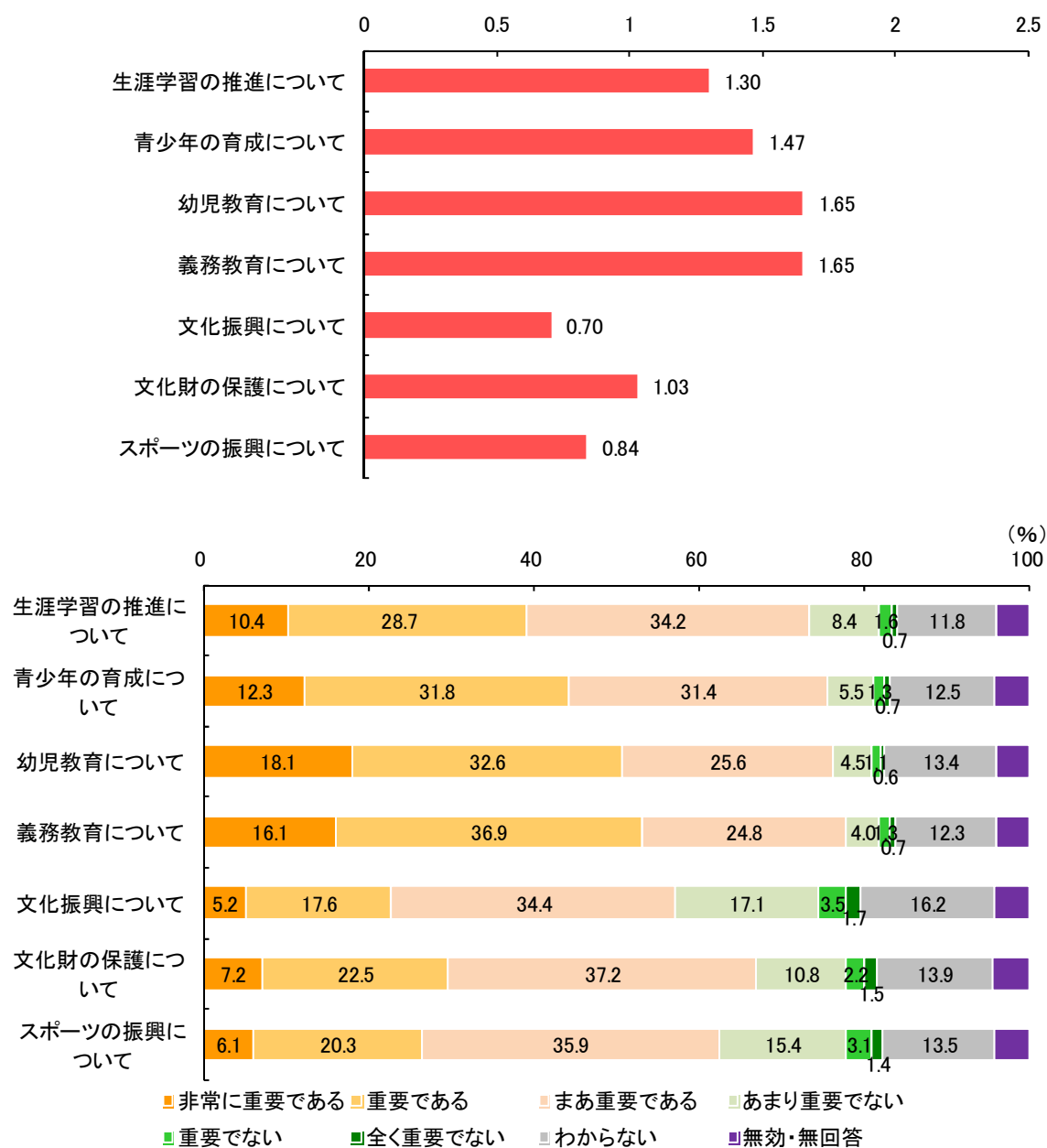


イ 今後、安城市が取り組むことの重要性

「幼児教育」と「義務教育」の得点が 1.65 点となり、重要度の高い項目となっています。

一方、「文化振興」の得点が 0.70 点、「スポーツ振興」が 0.84 点となり、「全体平均 (1.46)」を大きく下回りました。これら 2 項目は満足度の得点も高く、現在の取組を今後実施することについて、それほど望んでいないことがうかがえます。

評価平均得点



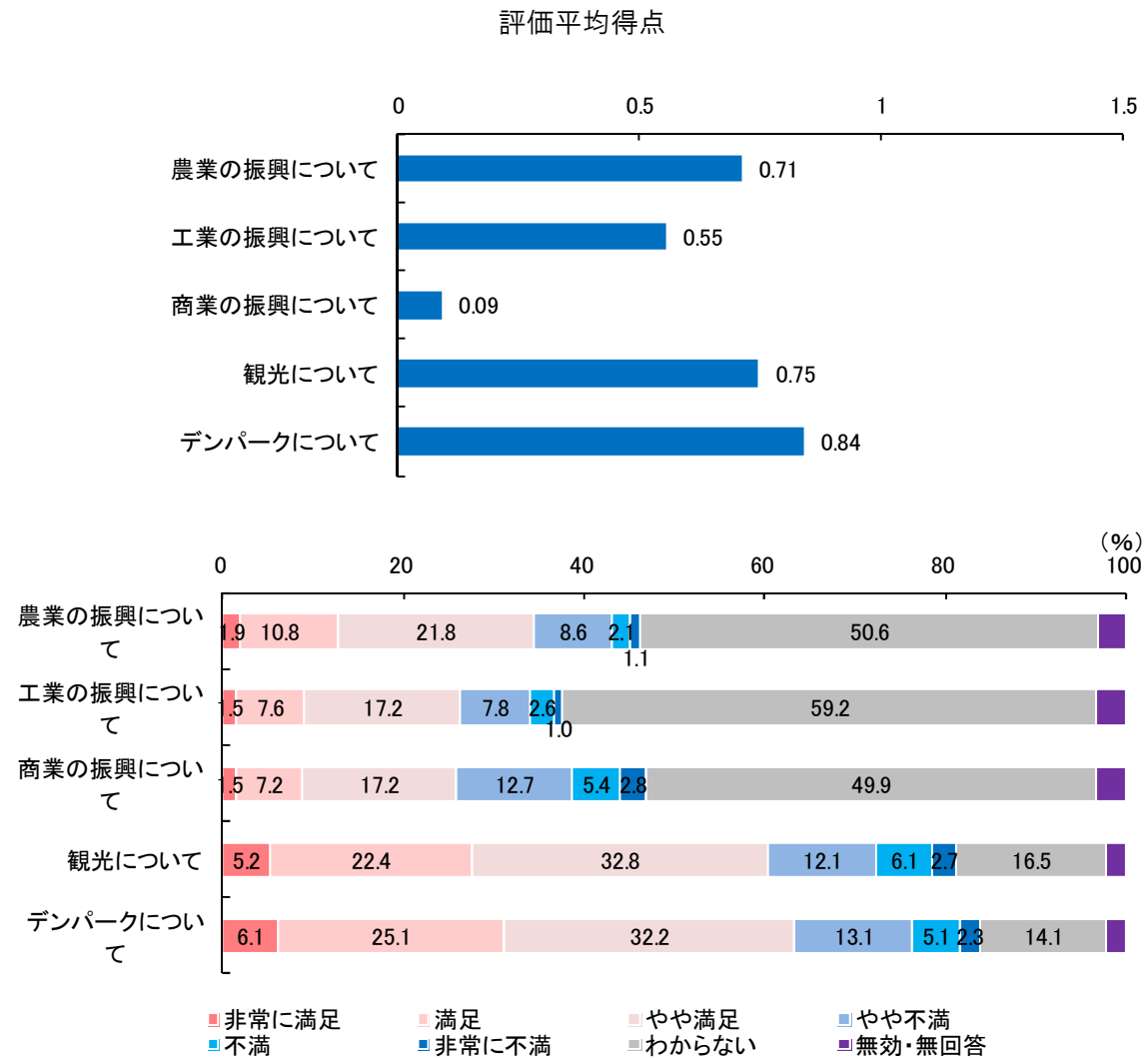
(N=2,415)

⑦産業振興について

ア これまでの安城市の取組に対する満足度

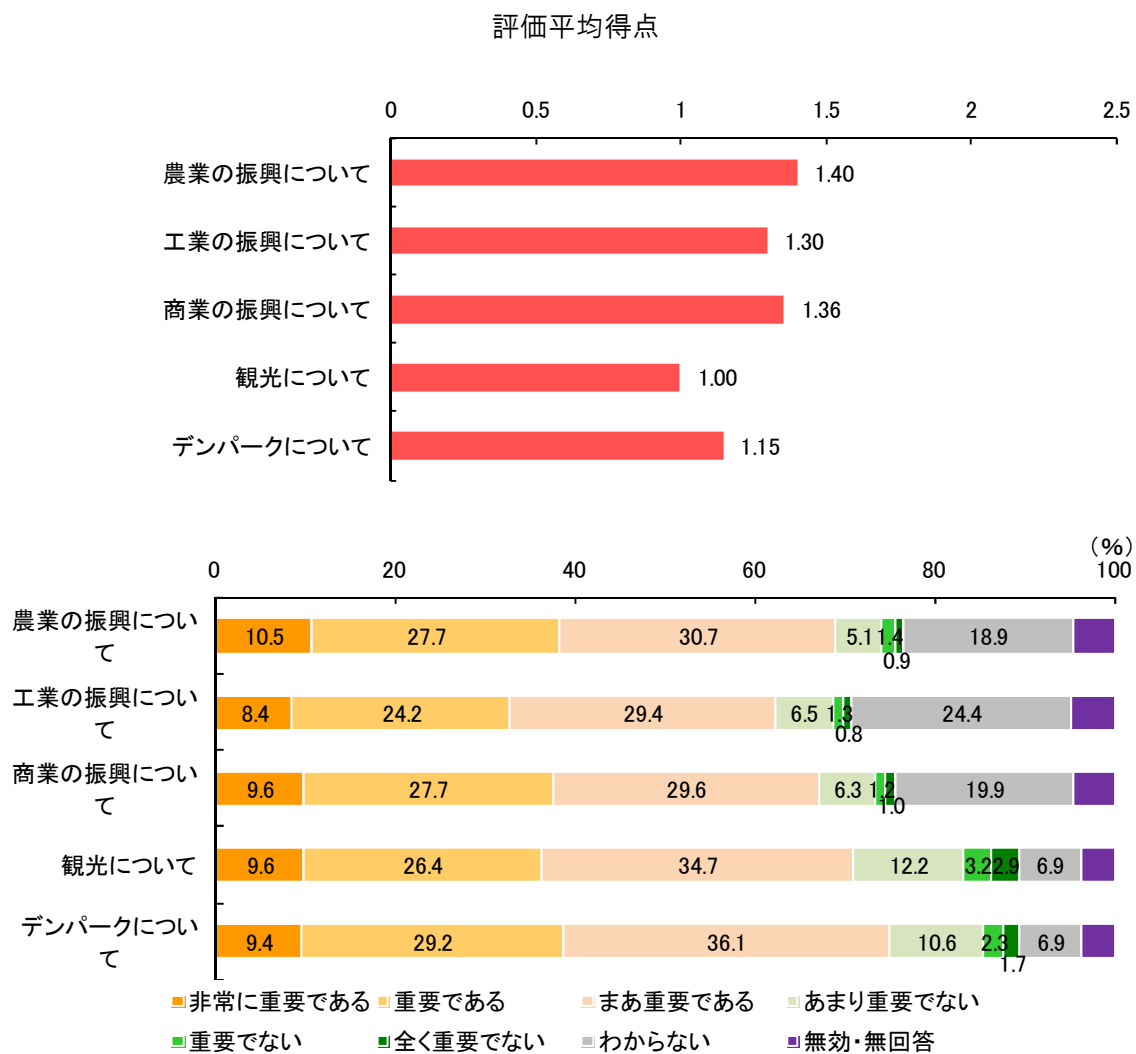
「デンパーク（0.84）」、「観光（0.75）」、「農業の振興（0.71）」の3項目の得点が高くなったものの、「全体平均（0.68）」を僅かに上回るに過ぎず、それ程高い満足が得られていません。一方、「商業の振興」の得点は0.09と非常に低くなりました。

これらのうち「観光」、「デンパーク」を除いては、「わからない」割合が5割以上と非常に高く、多くの市民に取組が認知されていないことが推察されます。



イ 今後、安城市が取り組むことの重要性

「全体平均（1.46）」を上回った項目は一つもなく、市民にとって重要性がそれ程認知されていないといえます。



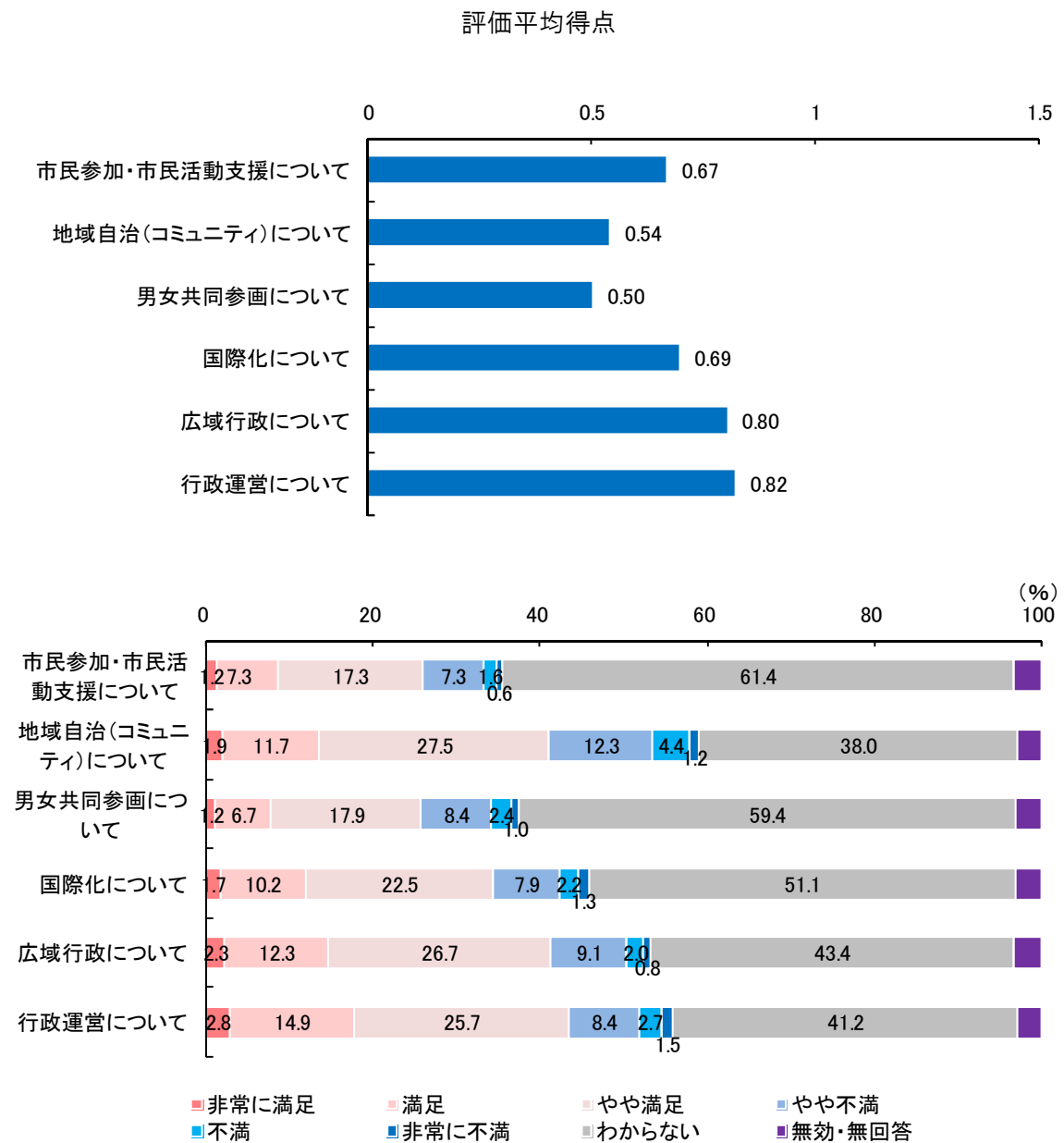
(N=2,415)

⑧計画推進について

ア これまでの安城市の取組に対する満足度

「行政運営」の得点が0.82点、「広域行政」が0.80点と高くなりましたが、「全体平均(0.68)」を僅かに上回る程度にとどまっており、それ程高い満足は得られていません。一方、「男女共同参画」が0.50点、「地域自治(コミュニティ)」が0.54点と低くなりました。

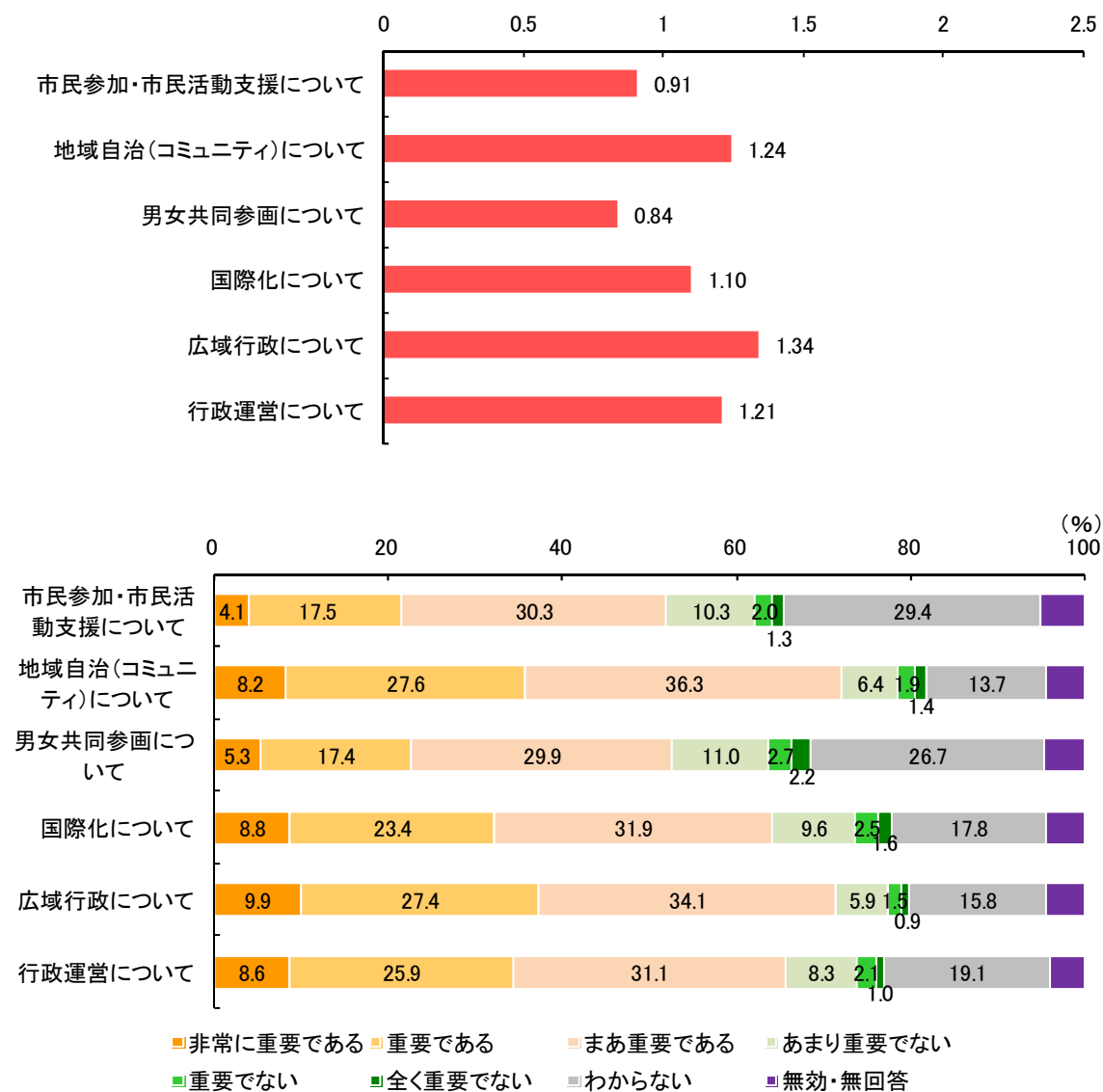
これらの項目をはじめ、当分野全てにおいて、「わからない」の割合が4割から6割あまりと非常に高く、多くの市民に取組が認知されていないことが推察されます。



イ 今後、安城市が取り組むことの重要性

「全体平均（1.46）」の得点を上回った項目は一つもなく、市民にとって重要性がそれ程認知されていないと考えられます。特に「男女共同参画（0.84）」や「市民参加・市民活動支援（0.91）」が1点を下回りました。

評価平均得点



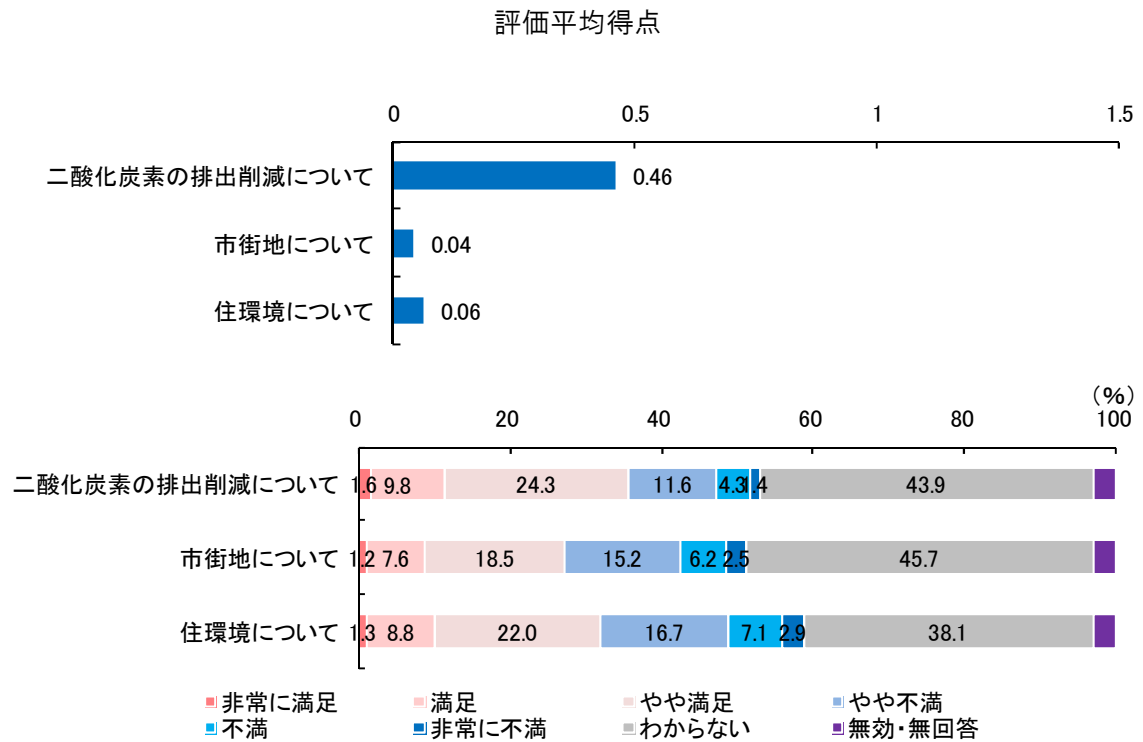
(N=2,415)

⑨その他

ア これまでの安城市の取組に対する満足度

「二酸化炭素の排出削減」の得点が 0.46 点で最も高くなりましたが、「全体平均 (0.68)」を下回っています。また、「市街地」が 0.04 点、「住環境」が 0.06 点となり、満足度が非常に低い分野といえます。

なお、全ての項目において、「わからない」の割合が 4 割以上となっており、市民に取組が認知されていないことが推察されます。

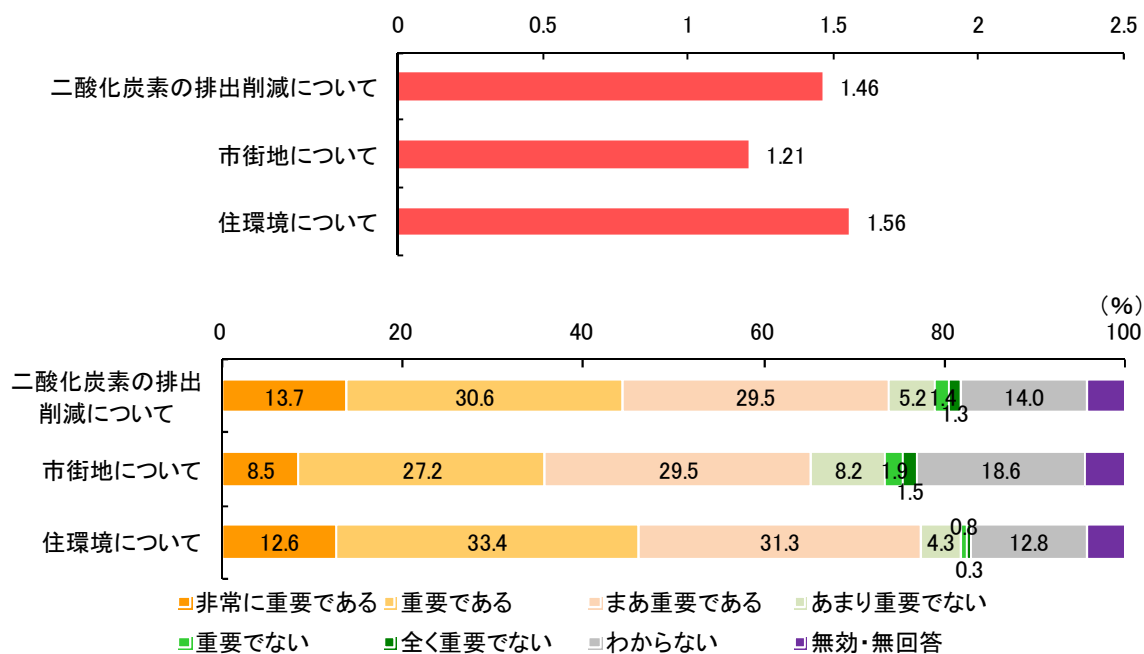


(N=2,415)

イ 今後、安城市が取り組むことの重要性

「住環境」の得点が 1.56 点となり、「全体平均 (1.46)」をやや上回っています。また、最も得点の低い「市街地」でも 1.21 点となり、重要性については中庸な分野であるといえます。

評価平均得点



(N=2,415)

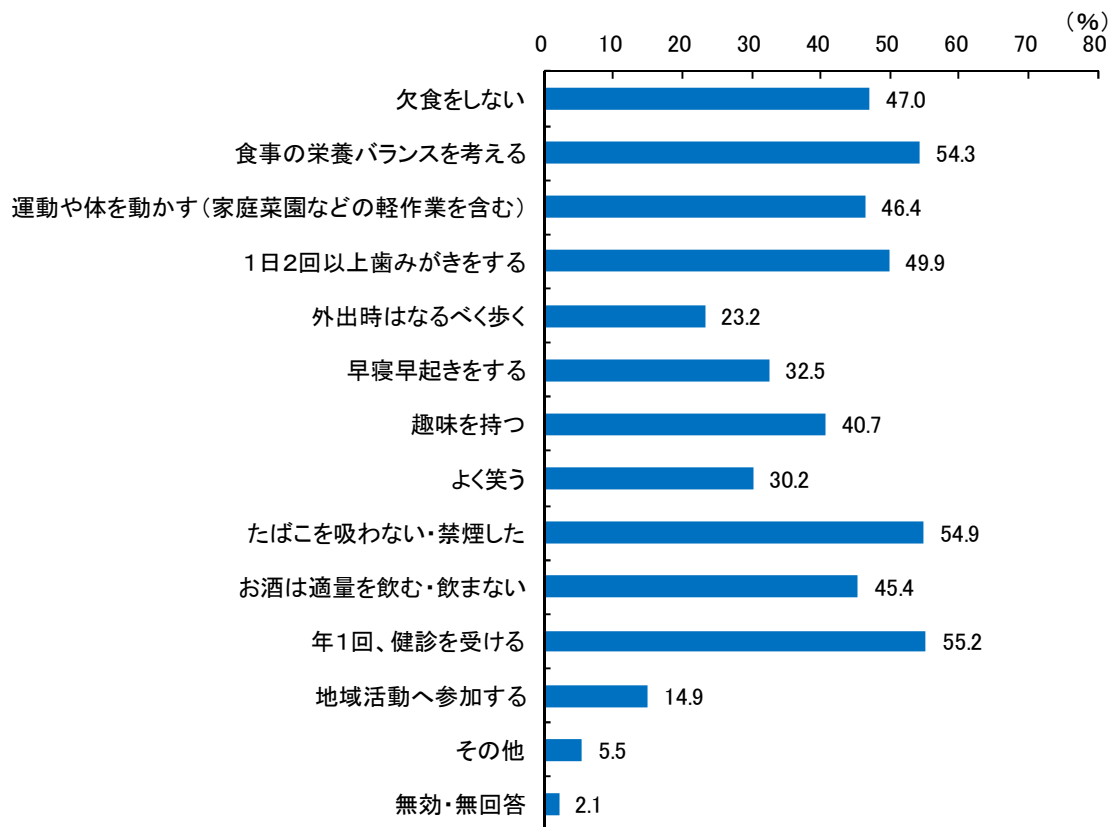
(3) 日常生活について

Q4	普段から健康のために実践していること (MA:該当するもの全て)
----	----------------------------------

半数以上の人実践している行動は以下の3つがあります。

- ・「年1回、検診を受ける (55.2%)」
- ・「たばこを吸わない・禁煙した (54.9%)」
- ・「食事のバランスを考える (54.3%)」

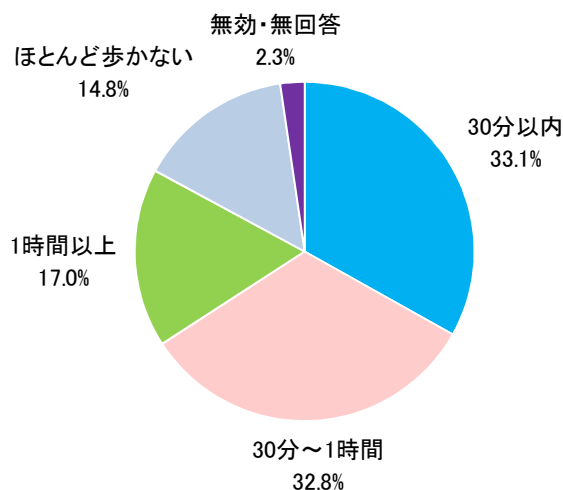
この他にも、「1日に2回以上歯磨きをする (49.9%)」、「欠食をしない (47.0%)」、「運動や体を動かす (46.4%)」、「お酒は適量を飲む・飲まない (45.4%)」、「趣味を持つ (40.7%)」の5つは4割以上の人実践しており、多くの市民が健康のために普段から複数の行動を実践していることがわかります。



(N=2,415)

Q5	1日にどれくらいの時間を歩きますか（SA） （ウォーキング等の運動以外に通勤などの時間も含む）
----	--

「30分以内」が33.1%で最も多く、次いで多い「30分～1時間（32.8%）」を合わせると、約2/3の人の徒歩時間は1時間以内となります。

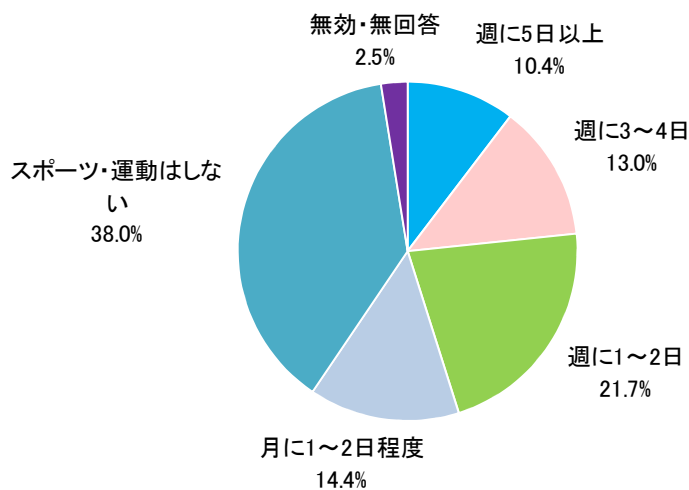


(N=2,415)

Q6	普段どれくらいの頻度でスポーツ・運動をしていますか（SA） （ウォーキング、サイクリングやレクリエーション等の活動も含みます）
----	--

「スポーツ・運動はしない」が38.0%で最も多くなっており、「月に1～2日程度（14.4%）」を合わせると半数を超えます。健康づくりのための活動は行っているものの、スポーツ・運動までは行えていない人の多いことがわかります。

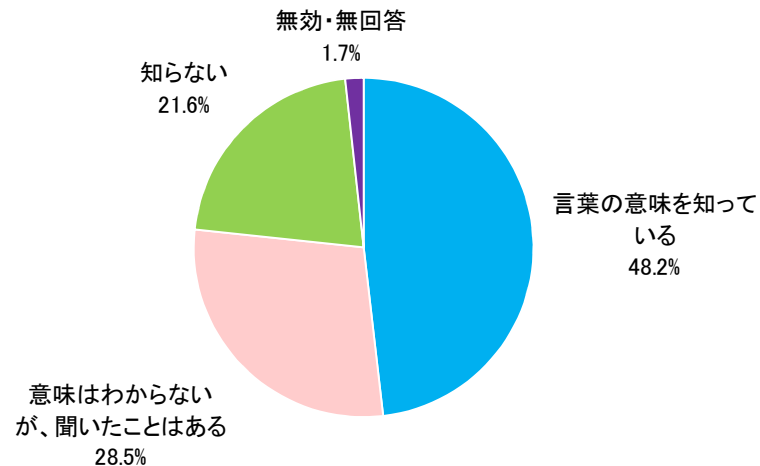
スポーツ・運動を行っている人では、「週に1～2日」が21.7%で最も多くなりました。



(N=2,415)

Q7	「健康寿命」という言葉を知っていますか（SA）
----	-------------------------

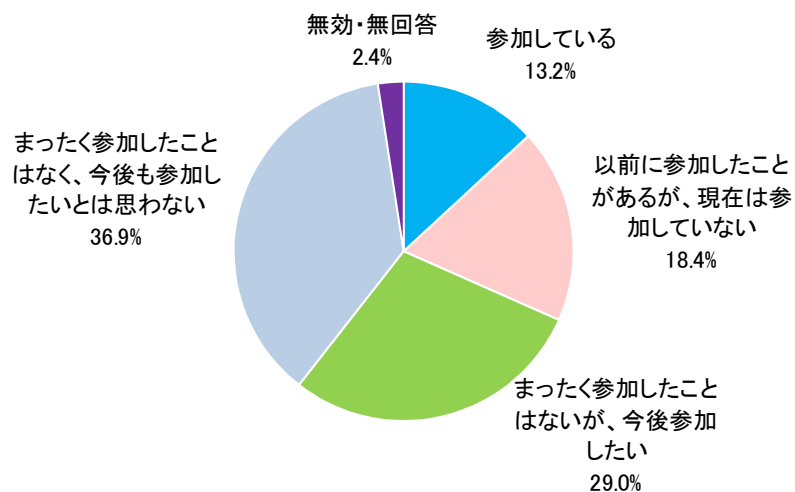
「言葉の意味を知っている（48.2%）」が約半数に達しており、スマートウェルネスシティの取組について、市民の理解が進みやすいと考えられます。



(N=2,415)

Q8	現在ボランティア活動に参加していますか（SA）
----	-------------------------

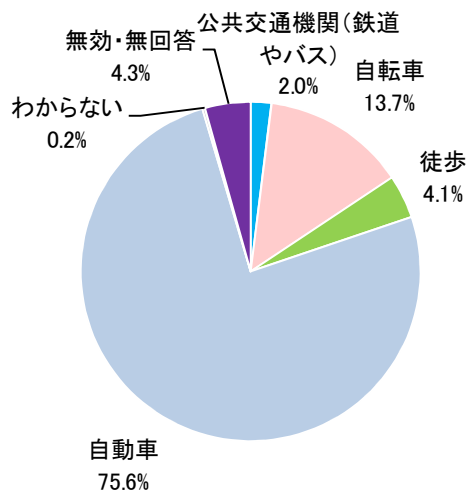
「まったく参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」が 36.9%で最も多く、関心のない人が 1/3 を超えています。一方、現在も「参加している」人は 13.2%にとどまりますが、「まったく参加したことはないが、今後参加したい（29.0%）」が約 3 割あり、ボランティアに参加するための情報や参加しやすい機会の提供が望まれます。



(N=2,415)

Q9	安城市内での日常よく外出する場所への移動手段として、主にどのような交通手段を使っていますか（SA）
----	---

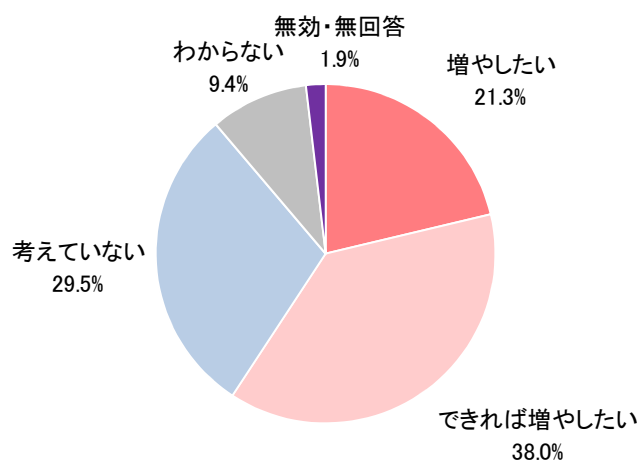
「自動車」が 75.6%で圧倒的に多くなっています。次いで、「自転車」が 13.7%となり、「公共交通機関」は 2.0%にとどまります。



(N=2,415)

Q10	今後、公共交通や自転車の利用を増やしていきたいですか（SA）
-----	--------------------------------

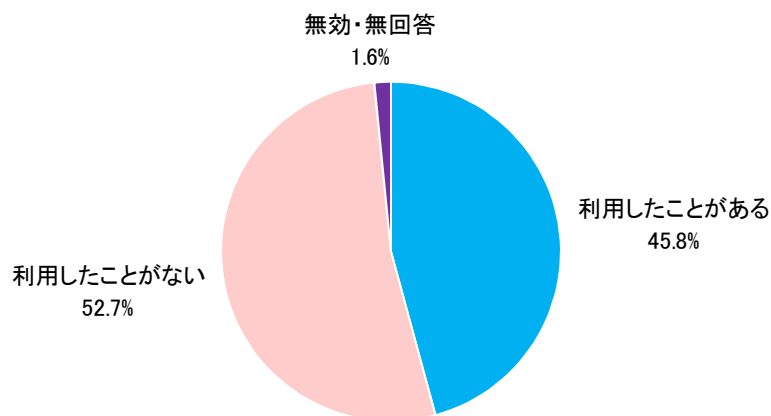
「できれば増やしたい」が 38.0%で最も多く、「増やしたい（21.3%）」を合わせると、約 6 割が増やしたい意向を持っています。



(N=2,415)

Q11	自転車で明治用水緑道を利用したことがありますか（SA）
-----	-----------------------------

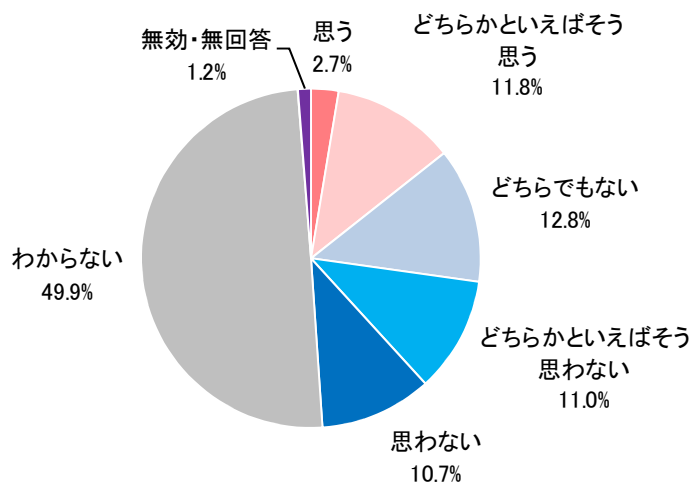
「利用したことがない」が 52.7%で最も多くなっていますが、「利用したことがある（45.8%）」と拮抗しています、



(N=2,415)

Q12	本市は消費生活における問題を相談できる体制が整っていると思いますか（SA）
-----	---------------------------------------

「わからない（49.9%）」が約半数を占めています。残りの回答のうち、「思う（2.7%）」と「どちらかといえばそう思う（11.8%）」を合わせると 14.5%となり、「思わない（10.7%）」と「どちらかといえばそう思わない（11.0%）」を合わせた 21.7%を下回っており、消費生活の問題を相談できる体制は十分ではないといえます。

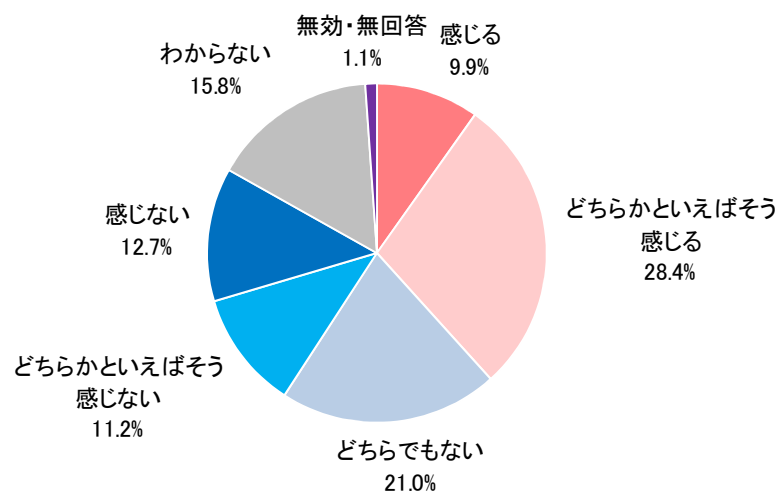


(N=2,415)

Q13

本市の文化や芸術に愛着や誇りを感じますか（SA）

「感じる（9.9%）」と「どちらかといえばそう感じる（28.4%）」を合わせると 38.3%となり、「感じない（12.7%）」と「どちらかといえばそう感じない（11.2%）」を合わせた 23.9%を約 15 ポイント上回っています。すなわち、安城市に対して愛着や誇りを感じる市民の方が多いいえます。



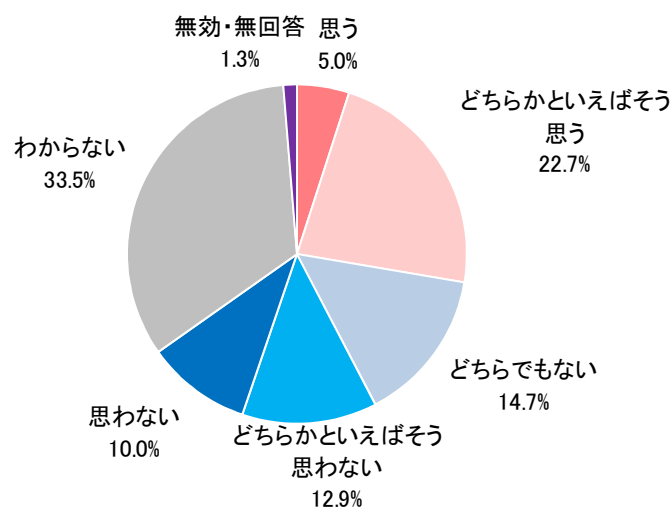
(N=2,415)

Q14

本市は子育て中の人が仕事をしやすい環境が整っていると思いますか（SA）

「思う（5.0%）」と「どちらかといえばそう思う（22.7%）」を合わせると 27.7%となり、「思わない（10.0%）」と「どちらかといえばそう思わない（12.9%）」を合わせた 22.9%を約 5 ポイント上回っています。安城市は子育て中の人が仕事をしやすい環境が整っていると思う市民が多いものの、そう考えない市民も少なくないといえます。

なお、全体では、「わからない（33.5%）」が約 1/3 ありますが、その理由として、回答者の半数が 50 歳以上であること、子どもを持っていない人が回答しにくいこと等が考えられます。

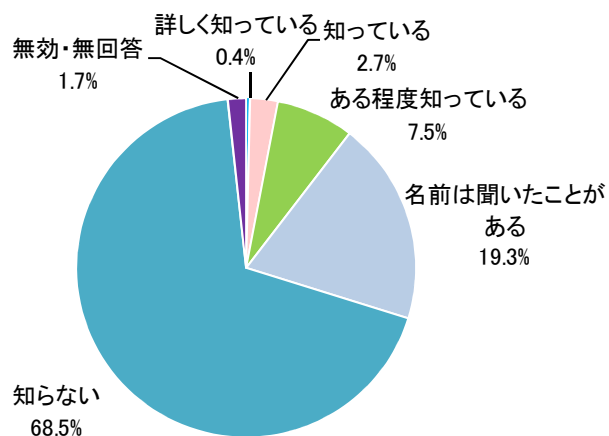


(N=2,415)

Q15

自治基本条例について（SA）

「知らない（68.5%）」が約 7 割を占めています。また、「知っている（2.7%）」と「ある程度知っている（7.5%）」を合わせても約 1 割しかなく、自治基本条例が多くの市民にとって身近なものでなく、認知されていないことがわかります。



(N=2,415)

（４）施策項目別による取組の評価

ここでは、（２）で集計分析した施策項目について、個別評価を行いました。
満足度及び重要度それぞれについて、以下の事項について整理しました。

- ・評価平均得点
- ・評価平均得点の順位（全 45 項目）
- ・満足度及び重要度の割合の比較
- ・年齢別による満足・不満状況
- ・居住地区別による満足・不満状況

満足度及び重要度の割合の比較について、この章では、以下のように定義します。

□満足度の割合

満 足：「非常に満足」、「満足」、「やや満足」の割合の合計

不 満：「非常に不満」、「不満」、「やや不満」の割合の合計

□重要度の割合

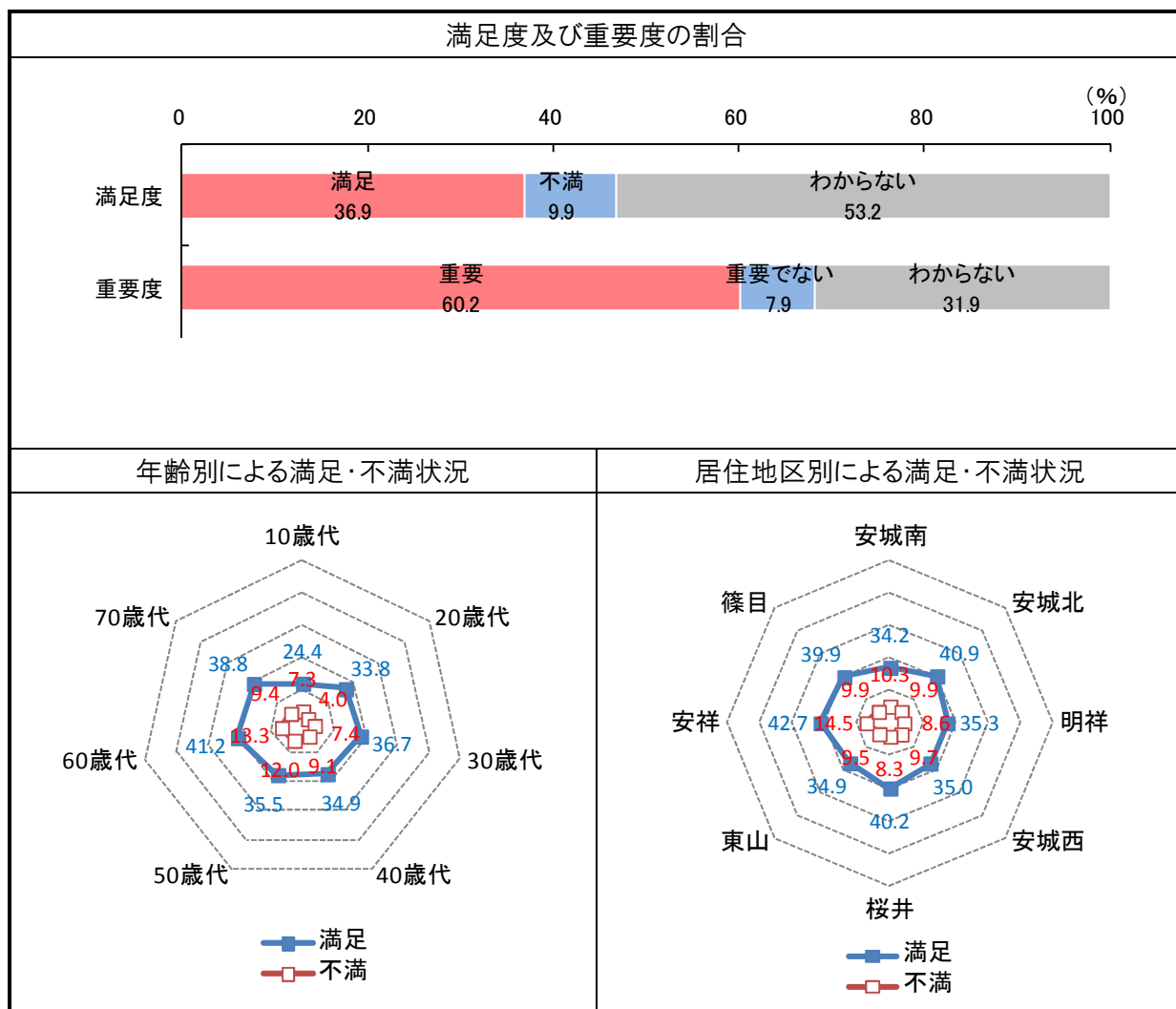
重 要：「非常に重要」、「重要」、「まあ重要」の割合の合計

重要でない：「まったく重要でない」、「重要でない」、「あまり重要でない」の割合の合計

分野	1 生活環境					
項目	1 協働による環境づくり					
主な取組	・ エコネットあんじょうによる活動支援 ・ 環境アドバイザー等の養成、活動支援 ・ 秋葉いこいの広場環境学習センターの開設					
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.81	順位	14	位
	重要度		1.33		27	位

満足度が真ん中よりやや上位、重要度が真ん中よりやや下位にあり、現在の取組をそのまま継続する必要性が相対的に低い項目といえます。ただし、満足度について、「わからない（53.2%）」割合が約半数あることから、取組に対する理解を深める必要があります。

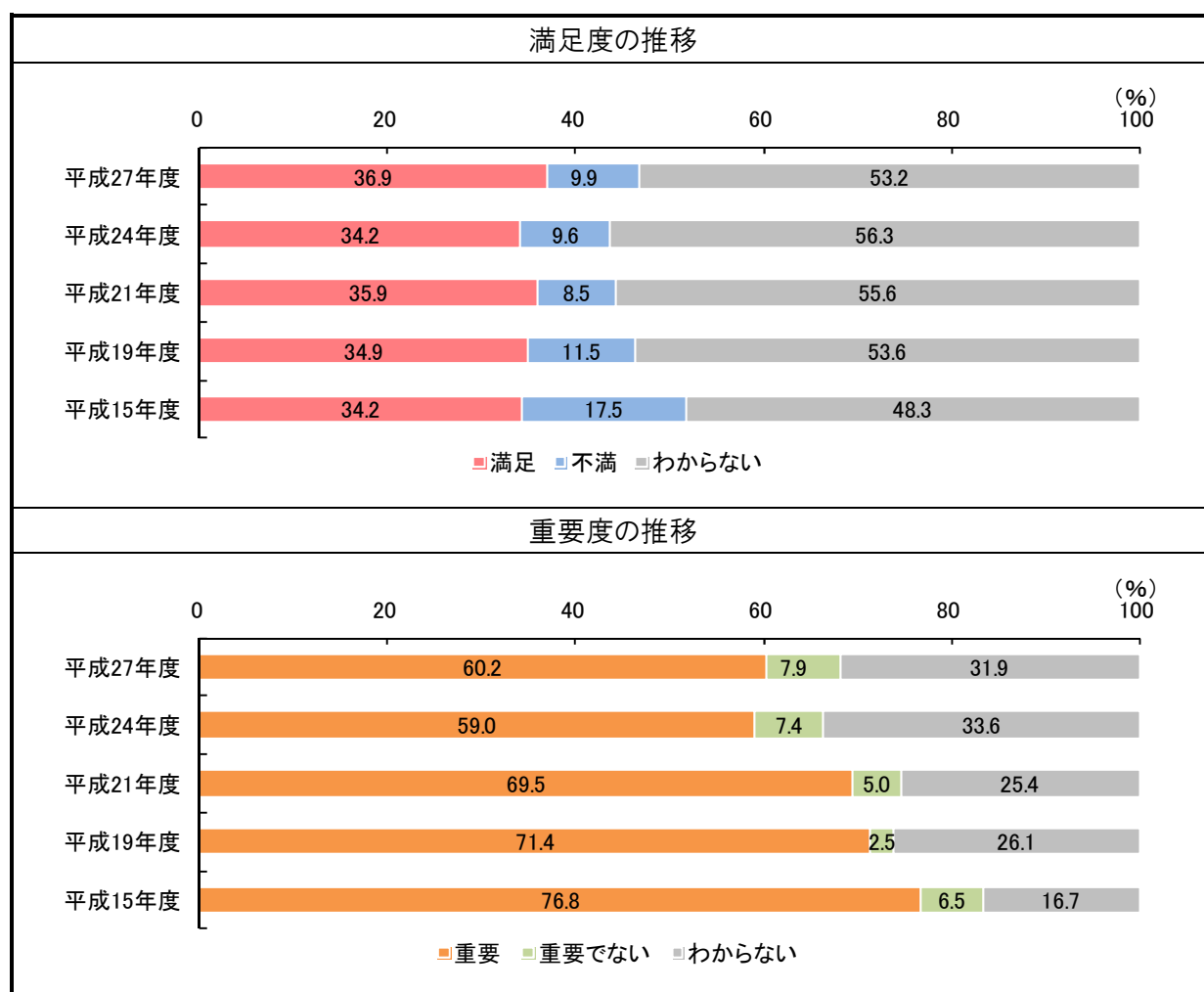
年齢別では 60 歳代や安祥の不満の割合が、他の年齢階級や地区に比べてやや多くなっています。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 27 年度に最高になりましたが、平成 15 年度の 34.2%から約 2 ポイントの間で概ね横ばいで推移しています。一方、「不満」の割合は、平成 15 年度の 17.5%から 8 ポイント近い大幅な減少を示しています。

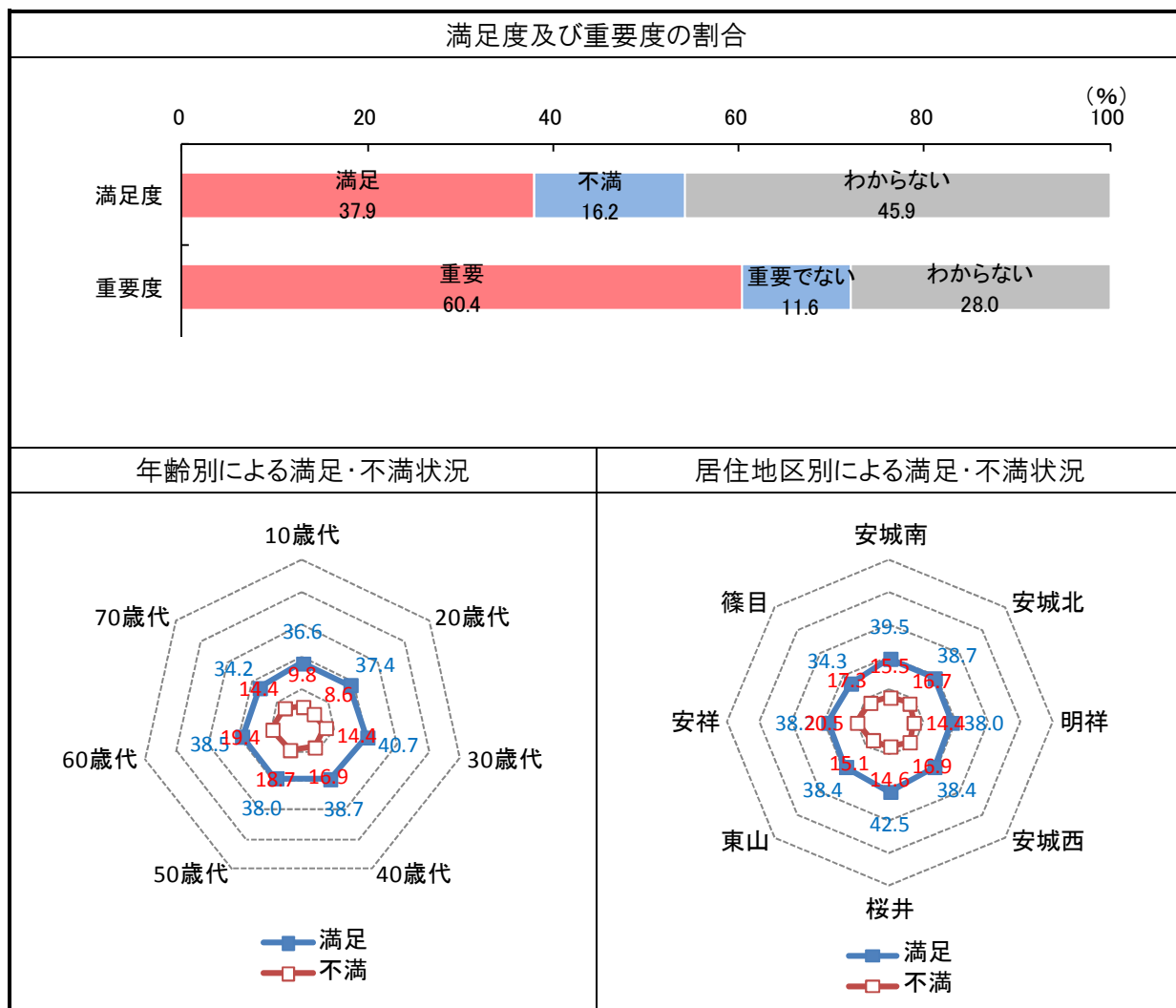
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 76.8%から 17 ポイント近い大幅な減少を示しています。一方、「重要でない」の割合は 10%以下で概ね横ばいで推移しています。



分野	1 生活環境				
項目	2 地球環境				
主な取組	・ き～☆モビの実施 ・ 次世代自動車の購入補助 ・ スマートハウス普及促進設備の設置補助				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.52	順位	34 位
	重要度		1.23		31 位

満足度及び重要度はともに下位にあり、満足は得られていないものの、現在の取組に対するニーズは高くないといえます。ただし、満足度について、「わからない（45.9%）」割合が約4割を超え高いことから、取組に対する理解を深める必要があります。

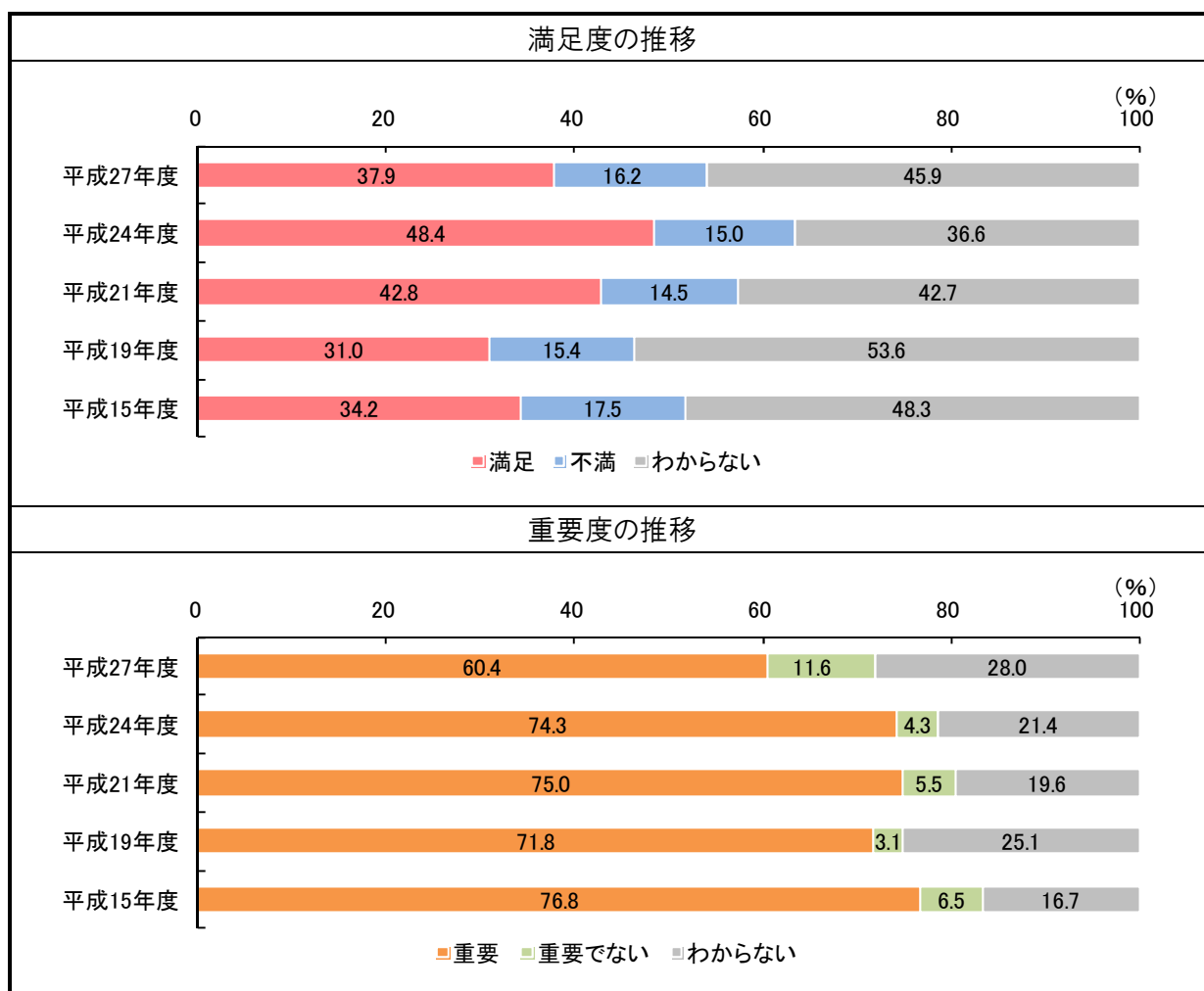
年齢別や居住地区別による満足度の違いはほとんどありません。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 34.2%から平成 24 年度の 48.4%まで大幅に増加しましたが、平成 27 年度はもとの水準に近いところまで落ち込んでいます。一方で、「不満」の割合は平成 15 年度の 17.5%から概ね横ばいで推移し、「満足」のような大きな変動は見られません。

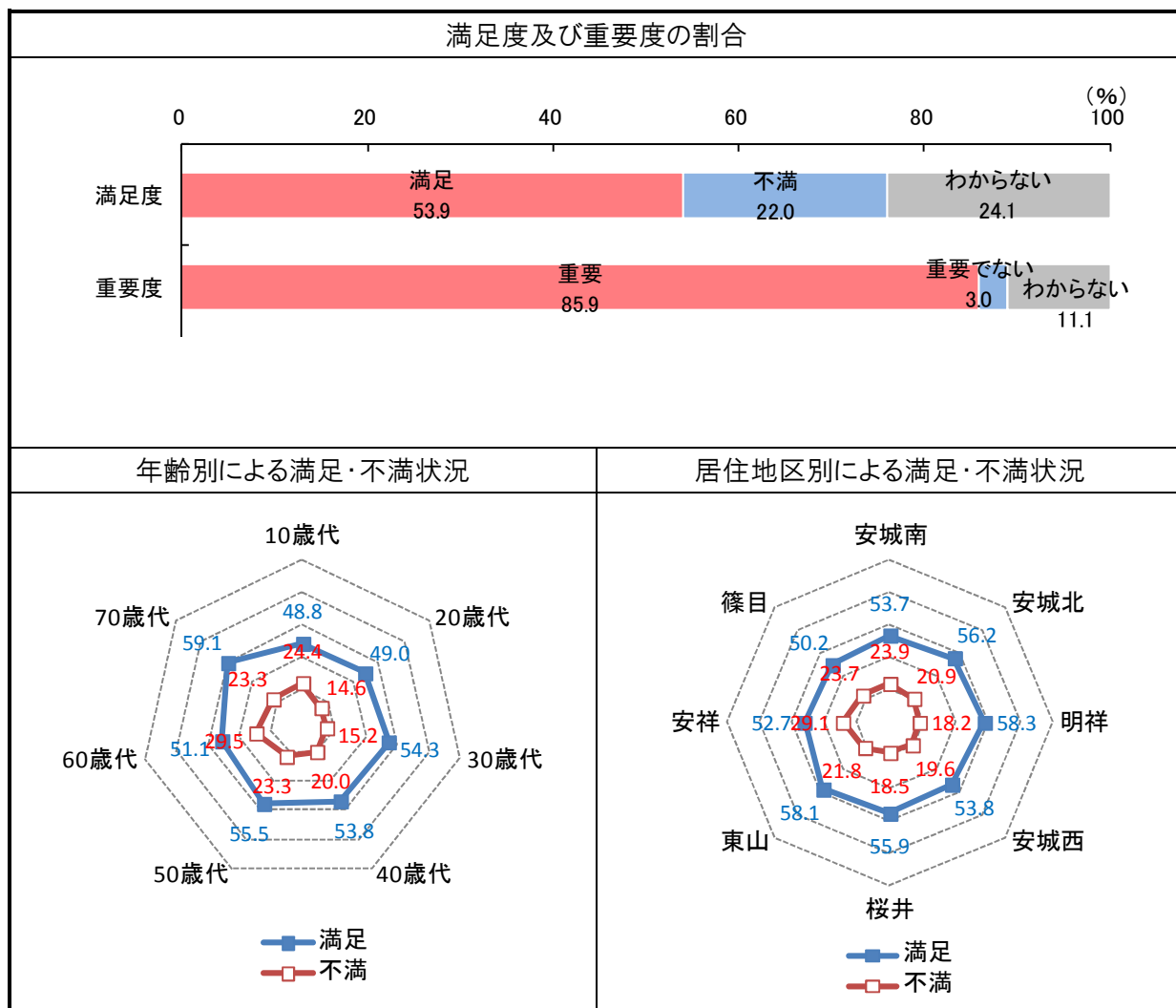
重要度について、「重要」の割合は、平成 15 年度の 76.8%から 70%台で推移していましたが、平成 27 年度に 60.4%へと大きく減少しています。一方、「重要でない」の割合は平成 15 年度の 6.5%から横ばいで推移していましたが、平成 27 年度には 11.6%に増加しています。



分野	1 生活環境				
項目	3 地域の生活環境の向上				
主な取組	・ 市民による清掃活動の支援 ・ 監視カメラの設置等による不法投棄対策				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.60	順位	28 位
	重要度		1.74		13 位

満足度は真ん中よりやや下位、重要度は真ん中よりやや上位にあり、現在の取組は十分でなく、今後、強化していくことが望まれているといえます。

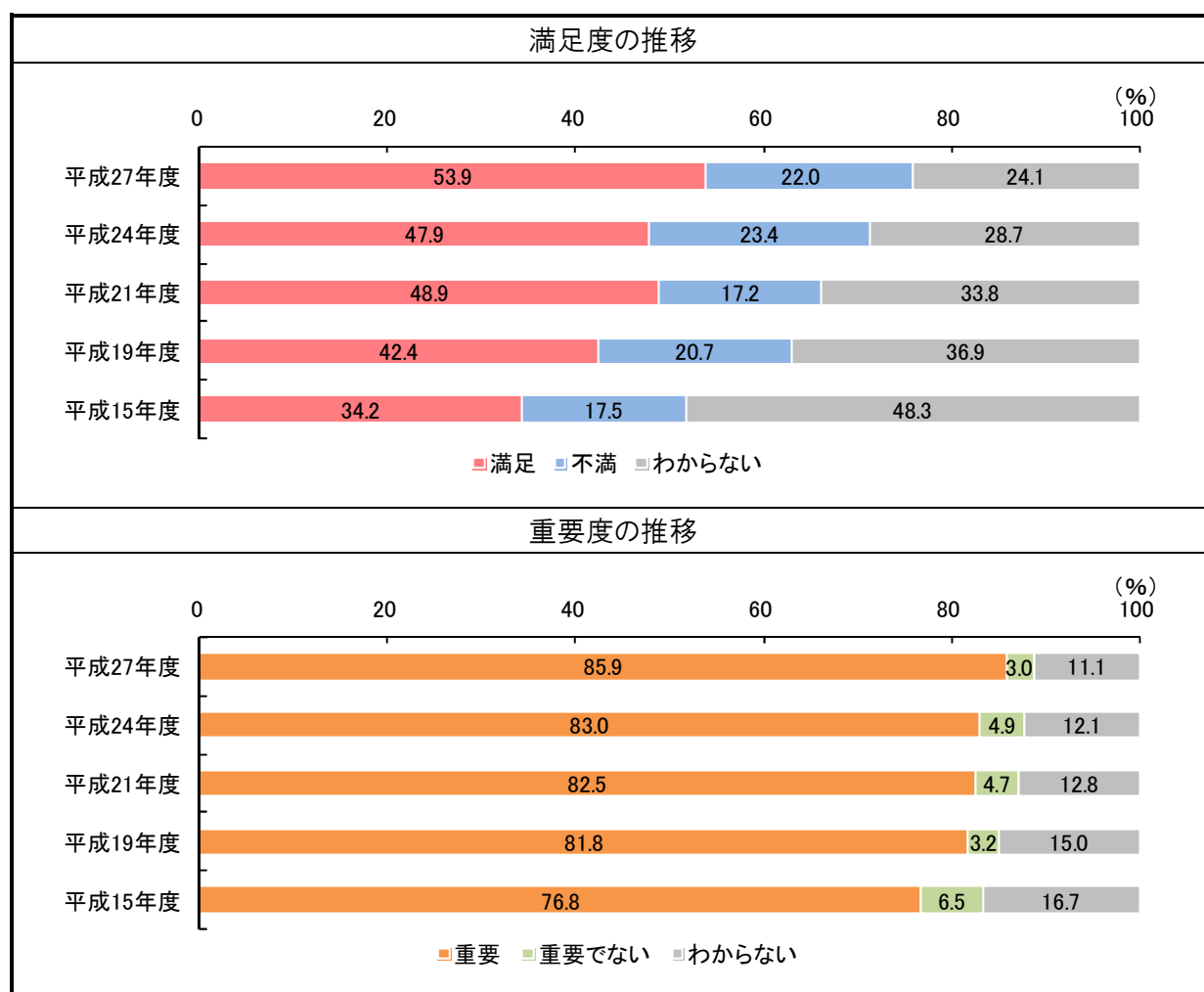
年齢別において、20 歳代や 30 歳代といった若い年齢階級の不満が少なくなっています。また、居住地区別では、安祥の不満が多くなっています。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 34.2%から平成 27 年度まで約 20 ポイント近い大幅な増加を示しています。一方で、「不満」の割合も平成 15 年度の 17.5%から平成 27 年度まで 5 ポイント近い増加を示しています。

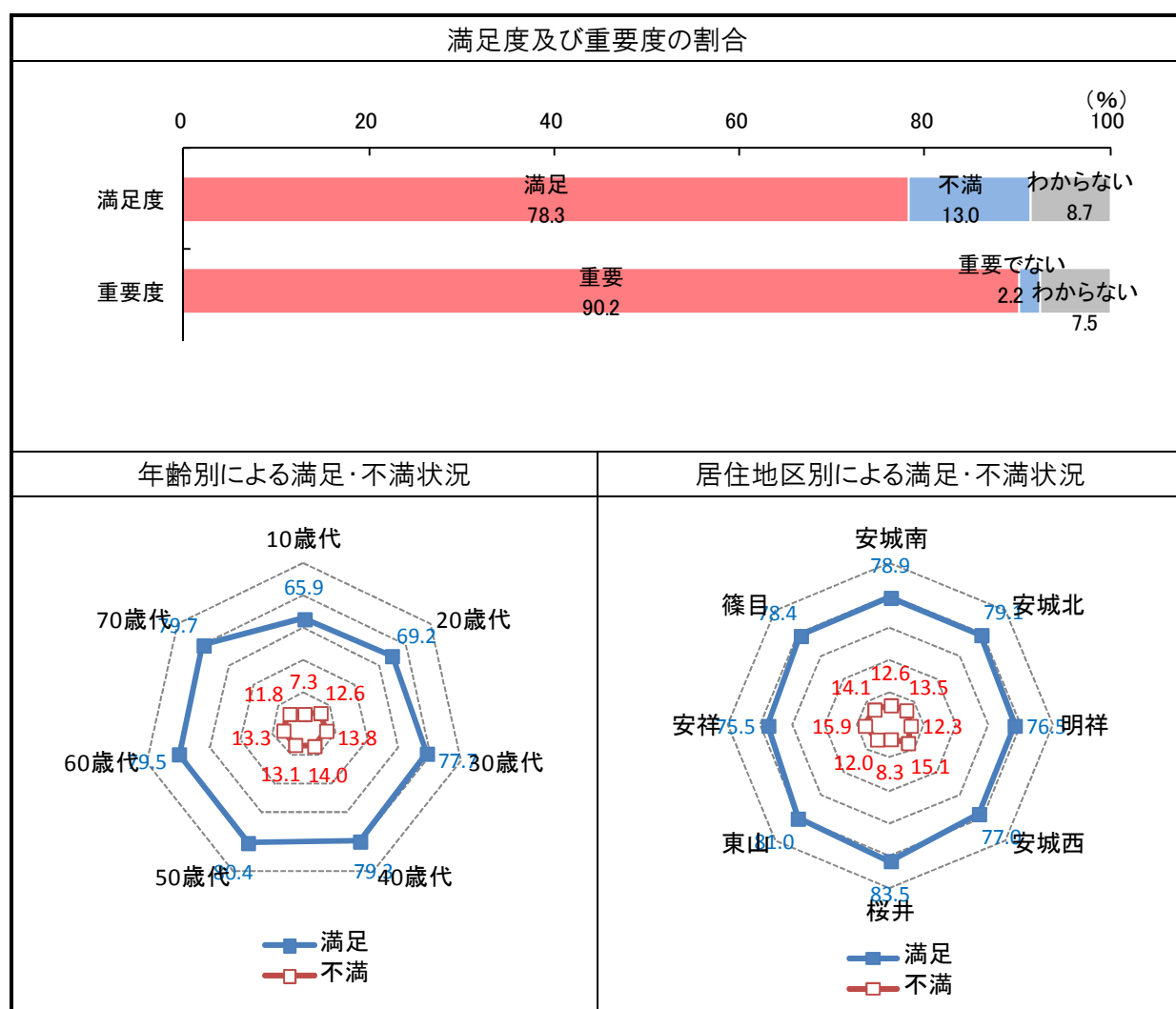
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 76.8%から平成 27 年度まで 10 ポイント近い増加を示しています。一方、「重要でない」の割合は 10%以下で概ね横ばいで推移しています。



分野	1 生活環境				
項目	4 ごみの減量・再資源化				
主な取組	・ ごみ減量・分別に対する取り組み ・ 古紙、古着のごみステーション等による回収 ・ 堆肥化容器、生ごみ処理機等の購入補助				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	1.19	順位	2 位
	重要度		1.93		9 位

満足度及び重要度はともに上位にあり、現在の取組に対して満足は得られているものの、今後も積極的な取組が望まれています。

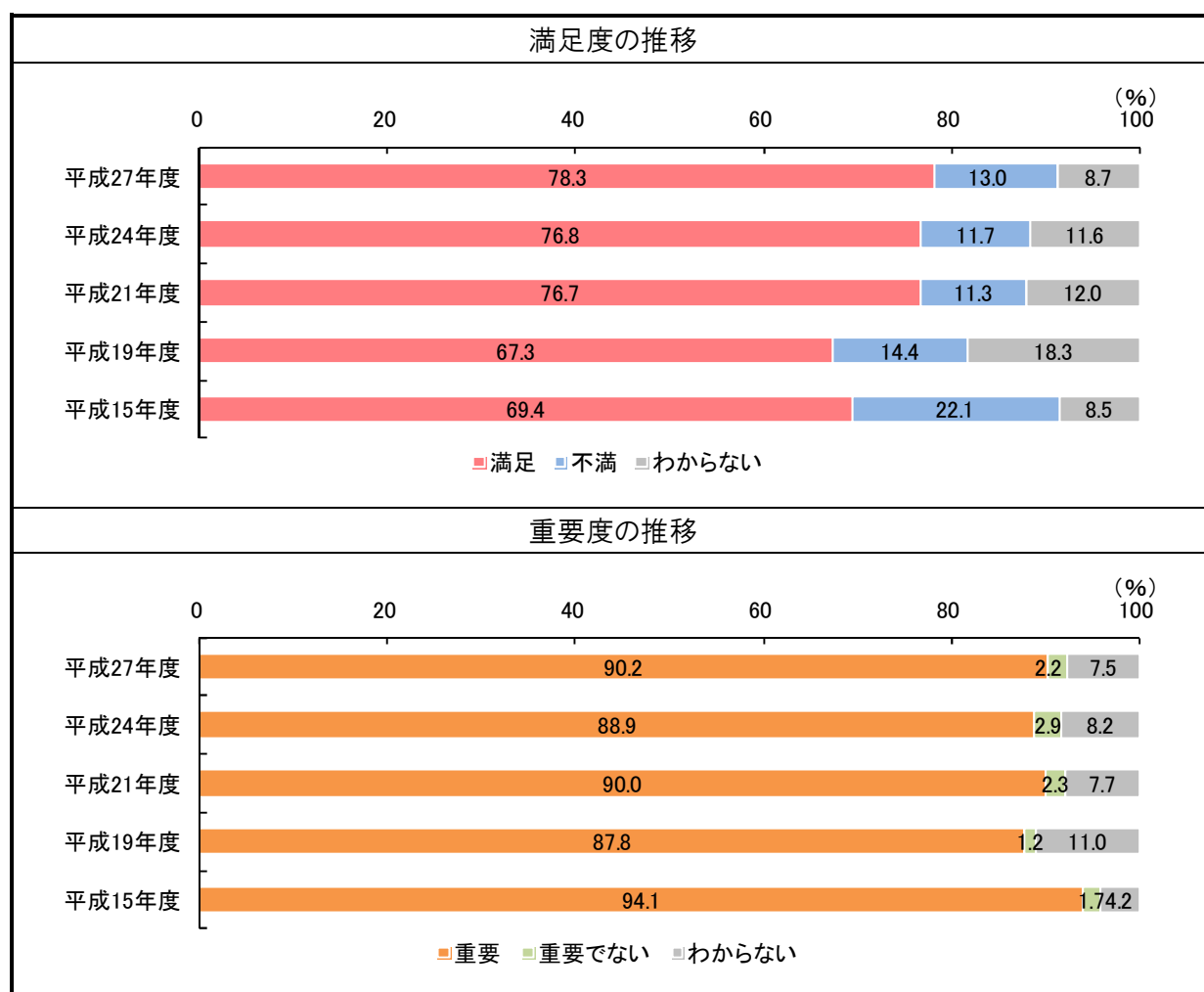
年齢別や居住地区別による満足度の違いはほとんどありません。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度に 69.4%でしたが、平成 21 年度に 76.7%に急激に増加し、その後、平成 27 年度まで横ばいで推移しています。「不満」の割合は平成 15 年度に 22.1%でしたが、平成 19 年度以降は 10%代前半に減少しています。

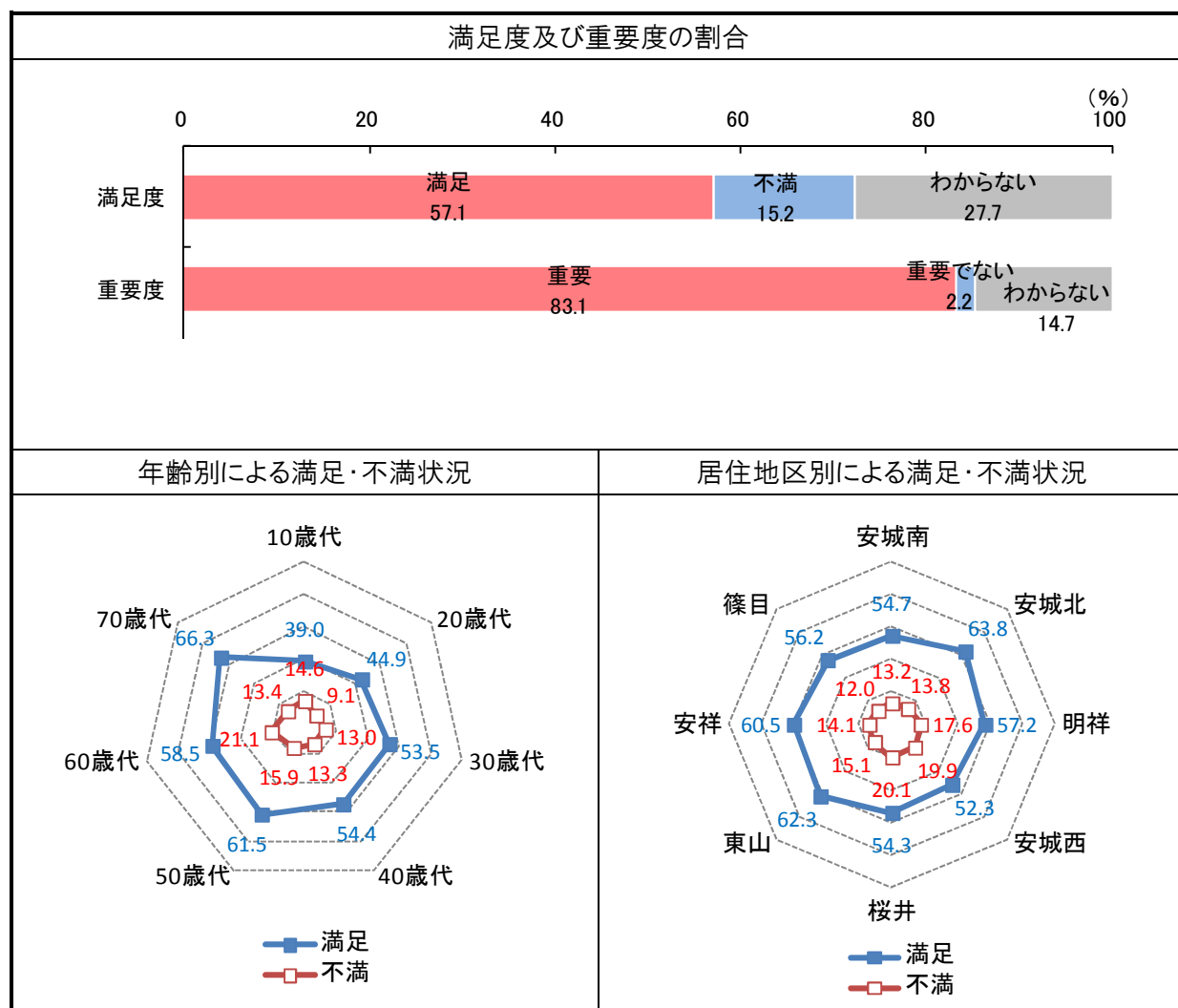
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 94.1%と非常に高い値を示していましたが、その後やや減少したものの、依然として 90%前後で推移しています。「重要でない」割合は 2%前後と非常に低くなっています。



分野	1 生活環境				
項目	5 水質浄化				
主な取組	・ 公共下水道整備、下水道への接続促進 ・ 高度処理型合併処理浄化槽の設置補助 ・ 生活排水モデル地区での生活排水対策の実施				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.89	順位	7 位
	重要度		1.83		11 位

満足度及び重要度はともに上位にあり、現在の取組に対して概ね満足は得られています
が、引き続き現在の取組を推進していくことが必要といえます。

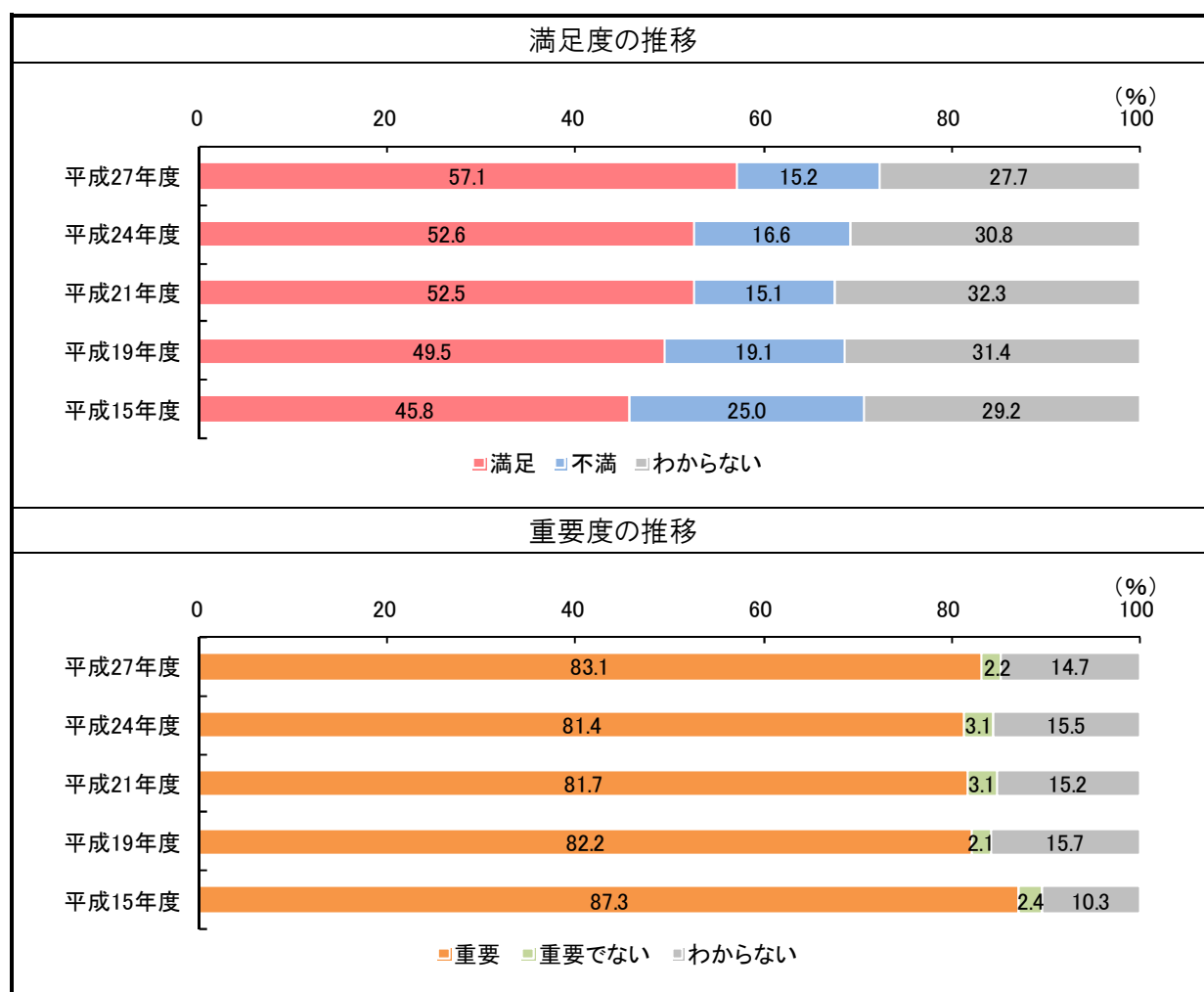
年齢別において、10 歳代や 20 歳代といった若い年齢階級の満足の割合が少なくなっ
ています。また、居住地区別による満足度の違いはほとんどみられません。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 45.8%から平成 27 年度まで 10 ポイント以上増加しています。一方で、「不満」の割合は平成 15 年度の 25.0%から徐々に減少し、平成 27 年度まで約 10 ポイント減少しています。

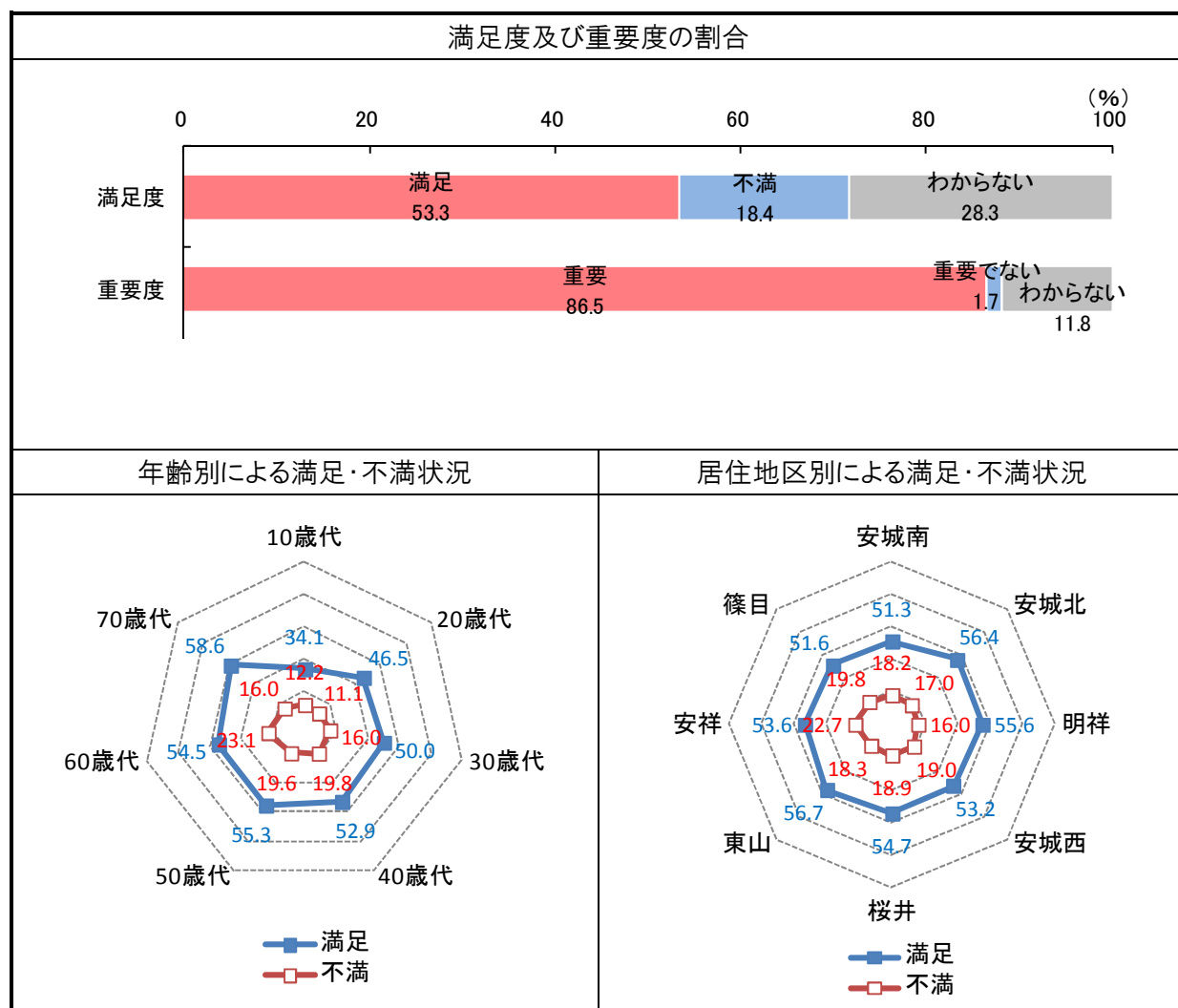
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 87.3%と非常に高い割合となっていました。一方、「重要でない」の割合は 2%前後と非常に低くなっています。



分野	1 生活環境				
項目	6 防災				
主な取組	・ 防災ラジオ等による防災情報の発信 ・ 自主防災活動への支援、関係機関等との連携強化 ・ 公共施設等の耐震化、民間建物への耐震化補助				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.74	順位	23 位
	重要度		2.02		6 位

満足度は概ね中位、重要度は上位にあり、引き続き積極的な取組が求められているといえます。

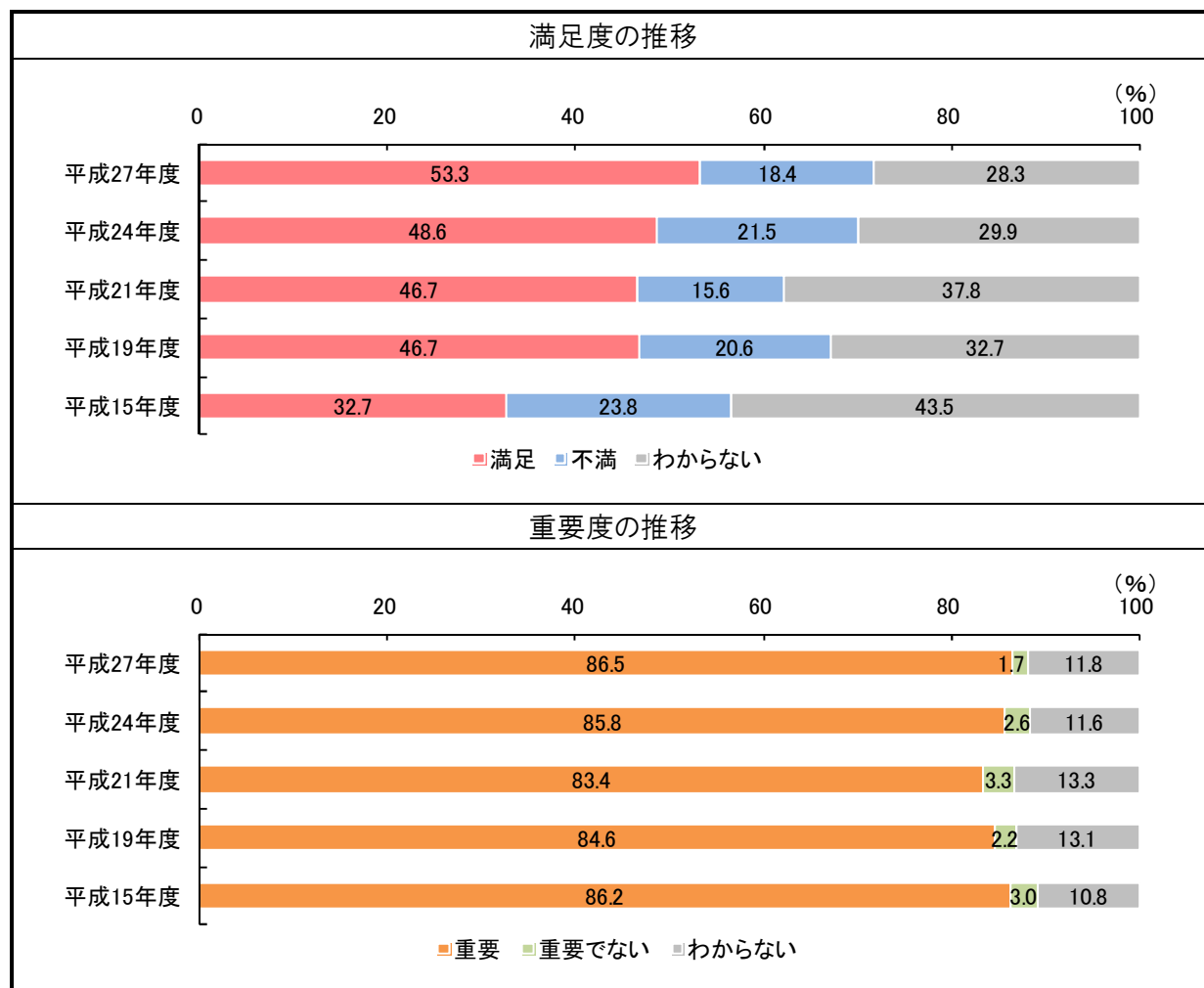
年齢別において、10 歳代や 20 歳代といった若い年齢階級の満足の割合が少なくなっています。また、居住地区別による満足度の違いはほとんどみられません。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度に 32.7%でしたが、平成 19 年度に 46.7%まで急激に増加、その後、横ばい傾向にありましたが、平成 27 年度には更に増加して約 20 ポイントの増加を示しています。一方で、「不満」の割合は平成 15 年度の 23.8%から平成 27 年度まで約 5 ポイント減少しています。

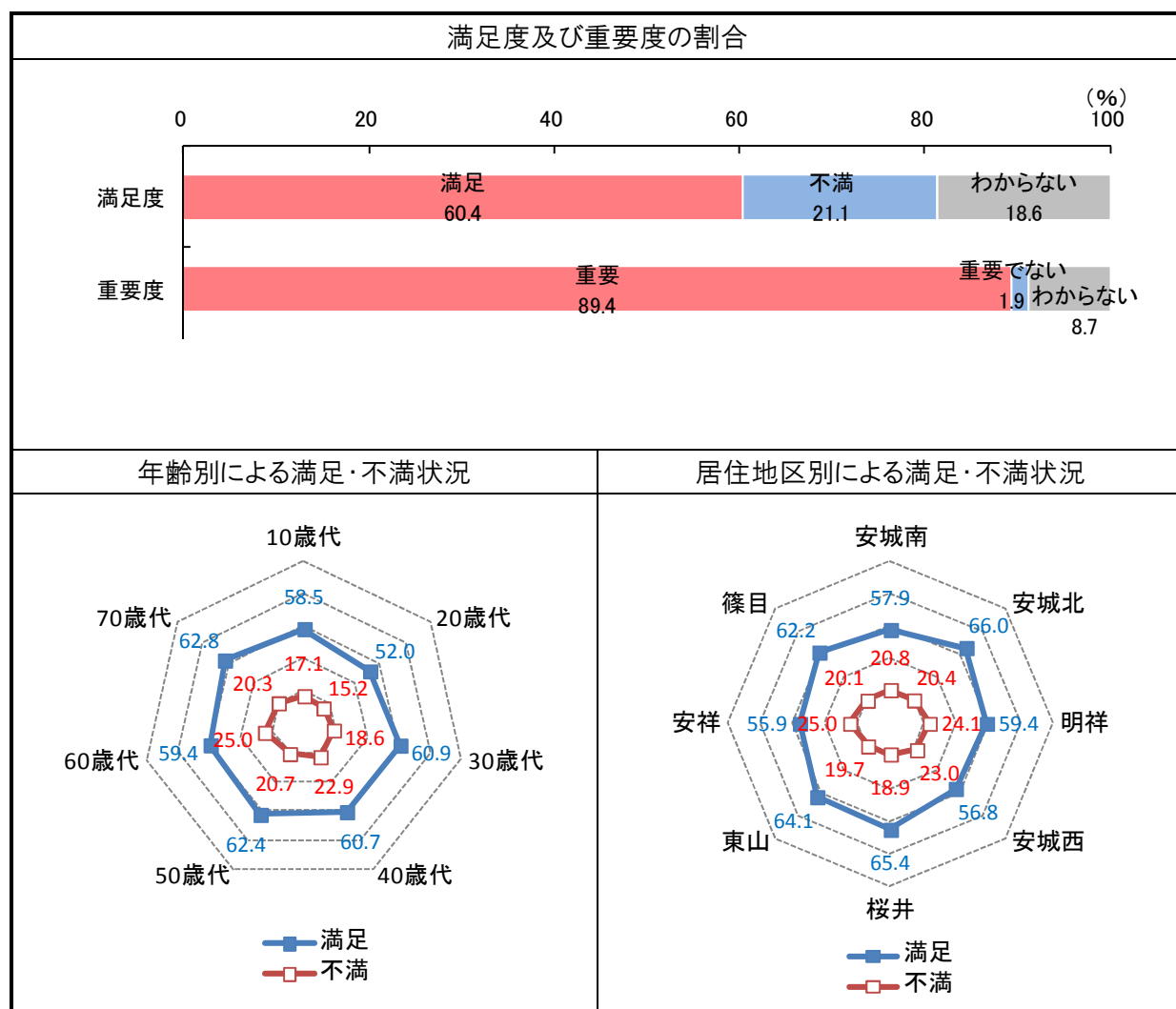
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度に 86.2%と非常に高い割合であったものが徐々に減少していましたが、平成 24 年度から増加に転じ、平成 27 年度にはもとの水準まで戻っています。一方、「重要でない」の割合は 2%前後と非常に低くなっています。



分野	1 生活環境				
項目	7 地域安全				
主な取組	・ 自主防犯パトロール隊への用品提供 ・ 夜間防犯パトロールの実施、スクールガードによる安全指導等 ・ 防犯灯・防犯カメラの設置補助				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.76	順位	20 位
	重要度		2.08		2 位

満足度は概ね中位、重要度は最上位にあり、引き続き積極的な取組が求められているといえます。

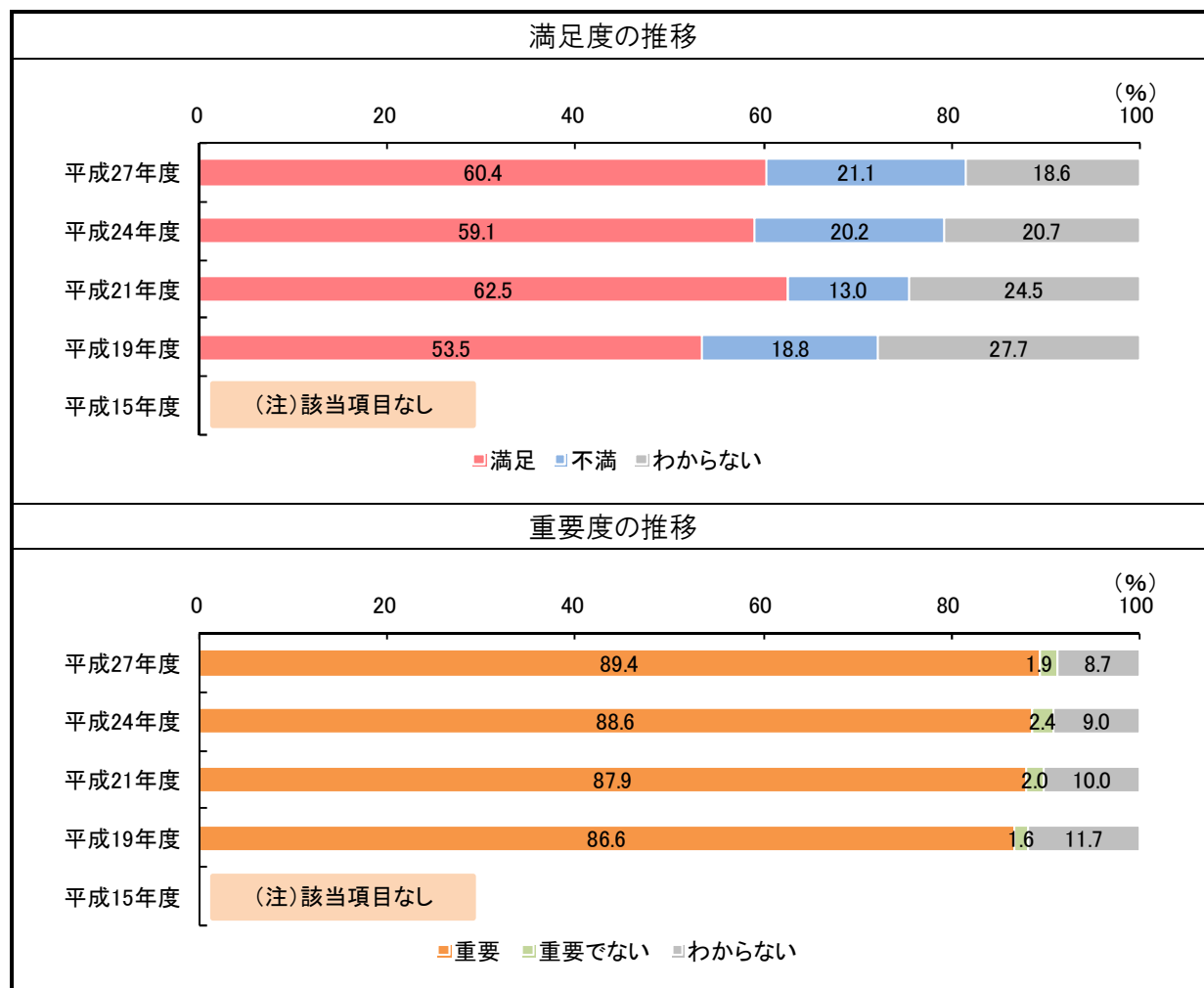
年齢別において、10 歳代や 20 歳代といった若い年齢階級の満足の割合が若干少なくなっています。また、居住地区別では、安祥や明祥の不満が他地区に比べてやや多くなっています。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は調査を開始した平成 19 年度に 53.5%でしたが、平成 21 年度に約 10 ポイント増加、その後、横ばいからやや減少し、平成 27 年度には当初から約 7 ポイントの増加となっています。一方で、「不満」の割合は平成 19 年度の 18.8%から若干減少し、平成 27 年度には 21.1%になっています。

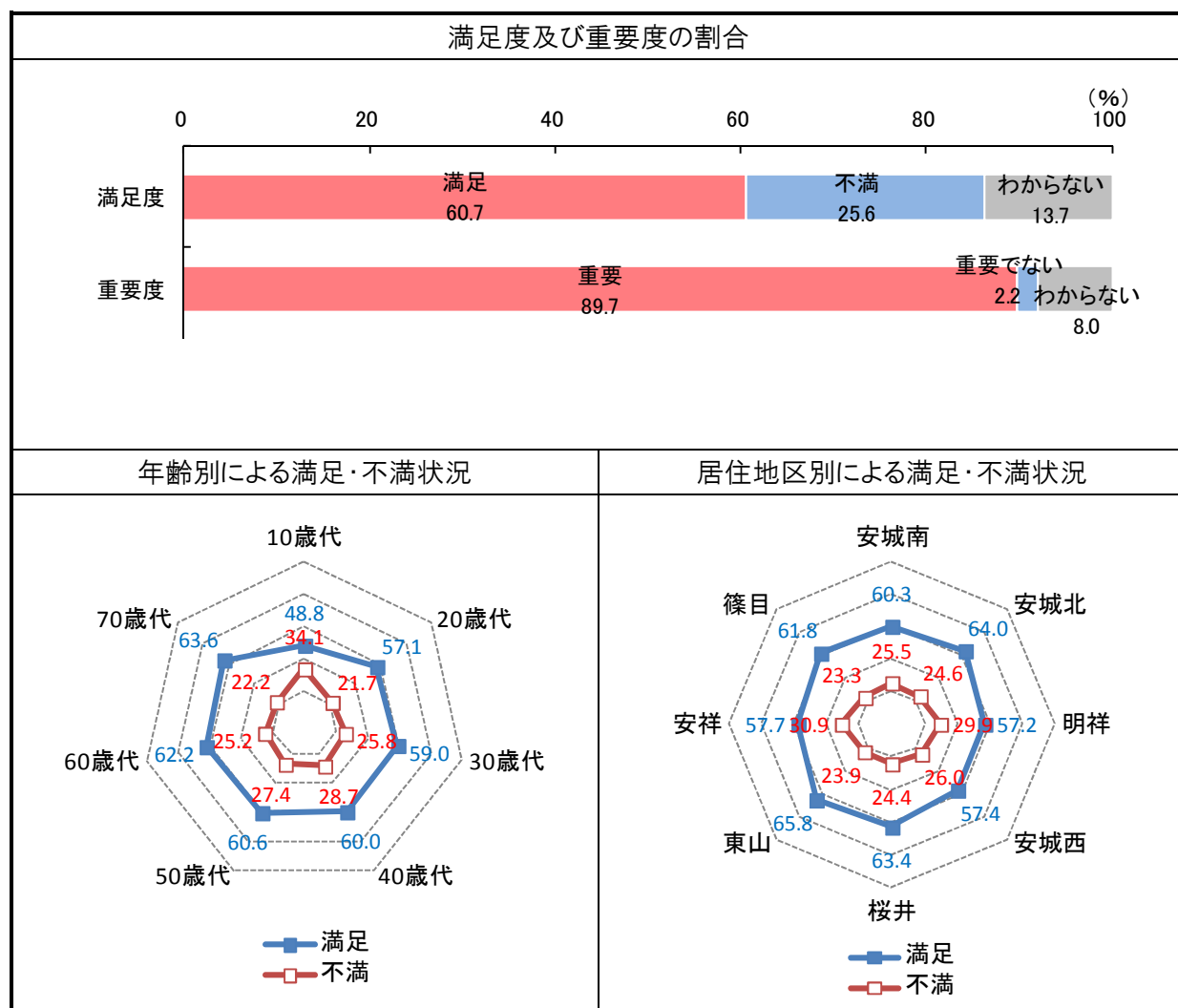
重要度について、「重要」の割合は平成 19 年度に 86.6%と非常に高い割合であったものが、徐々に増加し、平成 27 年度には 89.4%を占めています。一方、「重要でない」の割合は 2%前後と非常に低くなっています。



分野	1 生活環境				
項目	8 交通安全				
主な取組	・ 道路交通安全施設（歩道、ガードレール他）の整備 ・ 地域や学校等での交通安全教育（出前授業等） ・ 交差点のカラー舗装				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.59	順位	29 位
	重要度		2.03		4 位

満足度は真ん中よりやや下位、重要度は上位にあります。十分な満足が得られていないことから、今後、積極的な取組が求められているといえます。

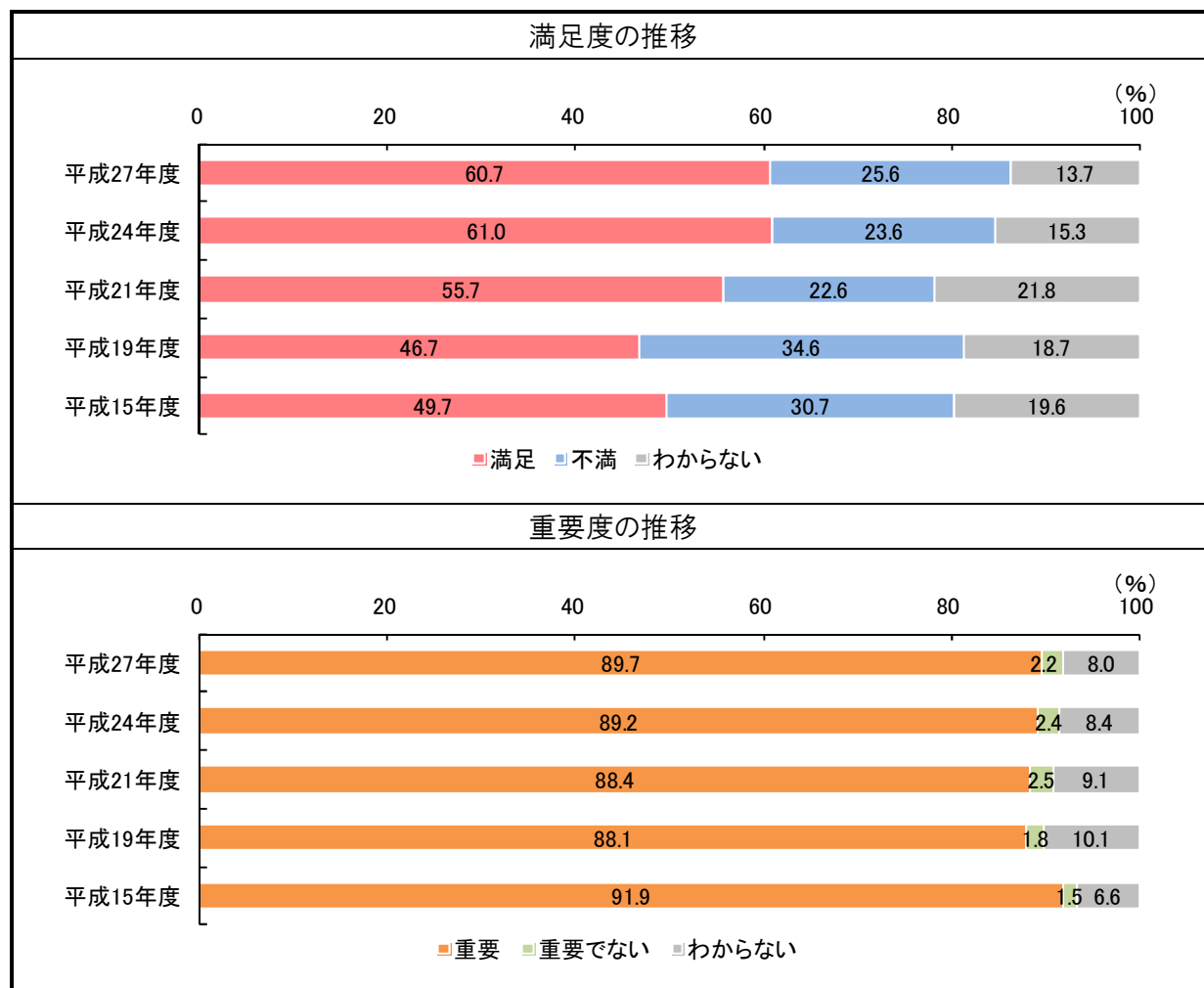
年齢別において、特に 10 歳代では不満が満足を上回っています。また、居住地区別では安祥や明祥の不満が他の地区と比べてやや多くなっています。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は調査を開始した平成 15 年度に 49.7%でしたが、平成 19 年度に減少、その後は増加し、平成 27 年度には約 10 ポイントの増加となっています。一方で、「不満」の割合も平成 15 年度の 30.7%から増減し、平成 27 年度には約 5 ポイントの減少となっています。

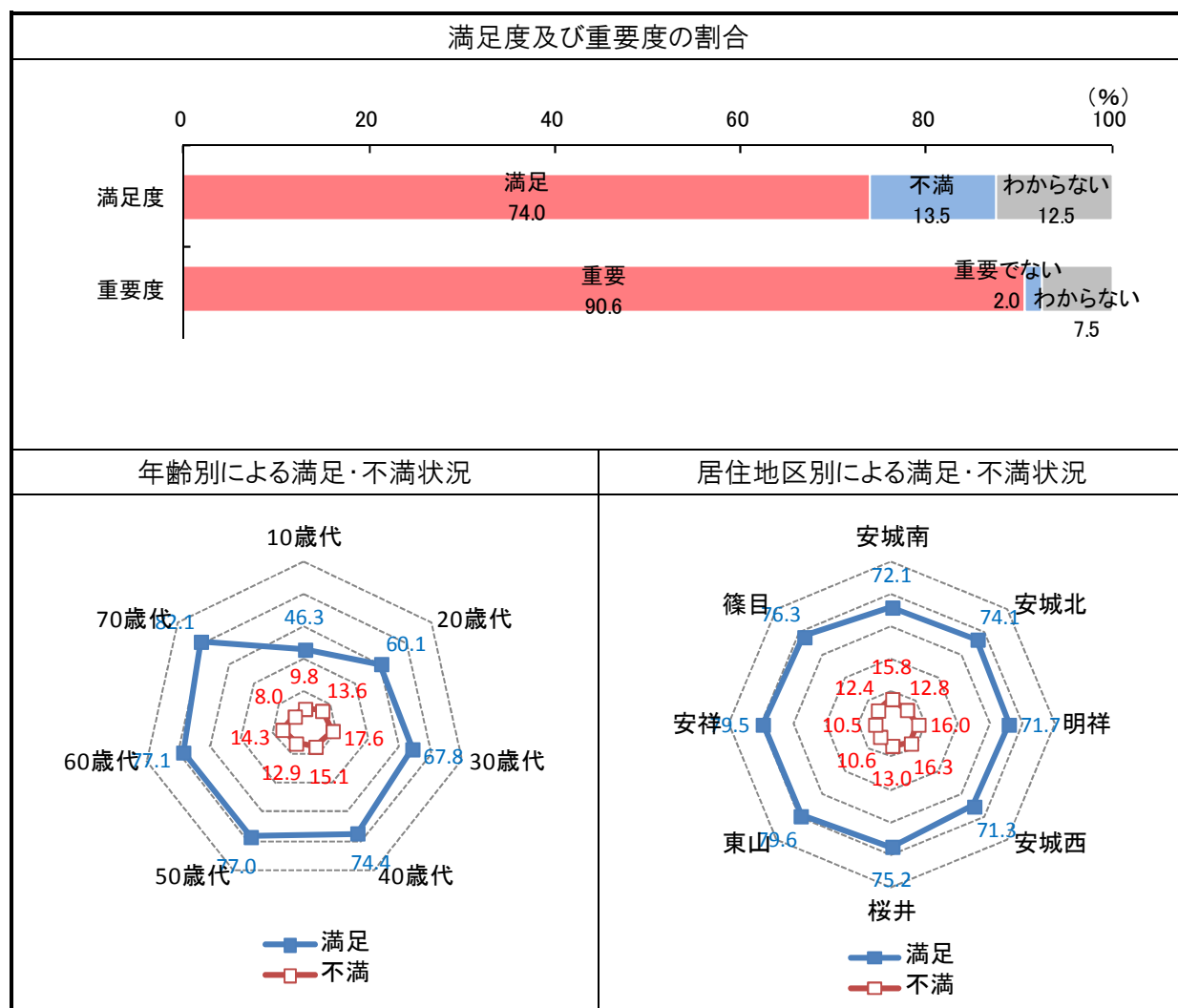
重要度について、「重要」の割合は平成 19 年度に 91.9%と非常に高い割合であり、その後は横ばいから若干減少しましたが、平成 27 年度は 89.7%と依然として高くなっています。一方、「重要でない」の割合は 2%前後と非常に低くなっています。



分野	2 保健福祉				
項目	1 健康づくり・保健予防				
主な取組	- 健康診査、がん検診、休日夜間急病診療所の実施 - 市民健康講座、デンタル・ケア教室、ウォーキングイベントの開催 - 子どもインフルエンザ予防接種費用の補助				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	1.16	順位	3 位
	重要度		2.01		7 位

満足度は最上位、重要度も上位にあり、現在の取組に対して概ね満足は得られているものの、引き続き積極的な取組が求められているといえます。

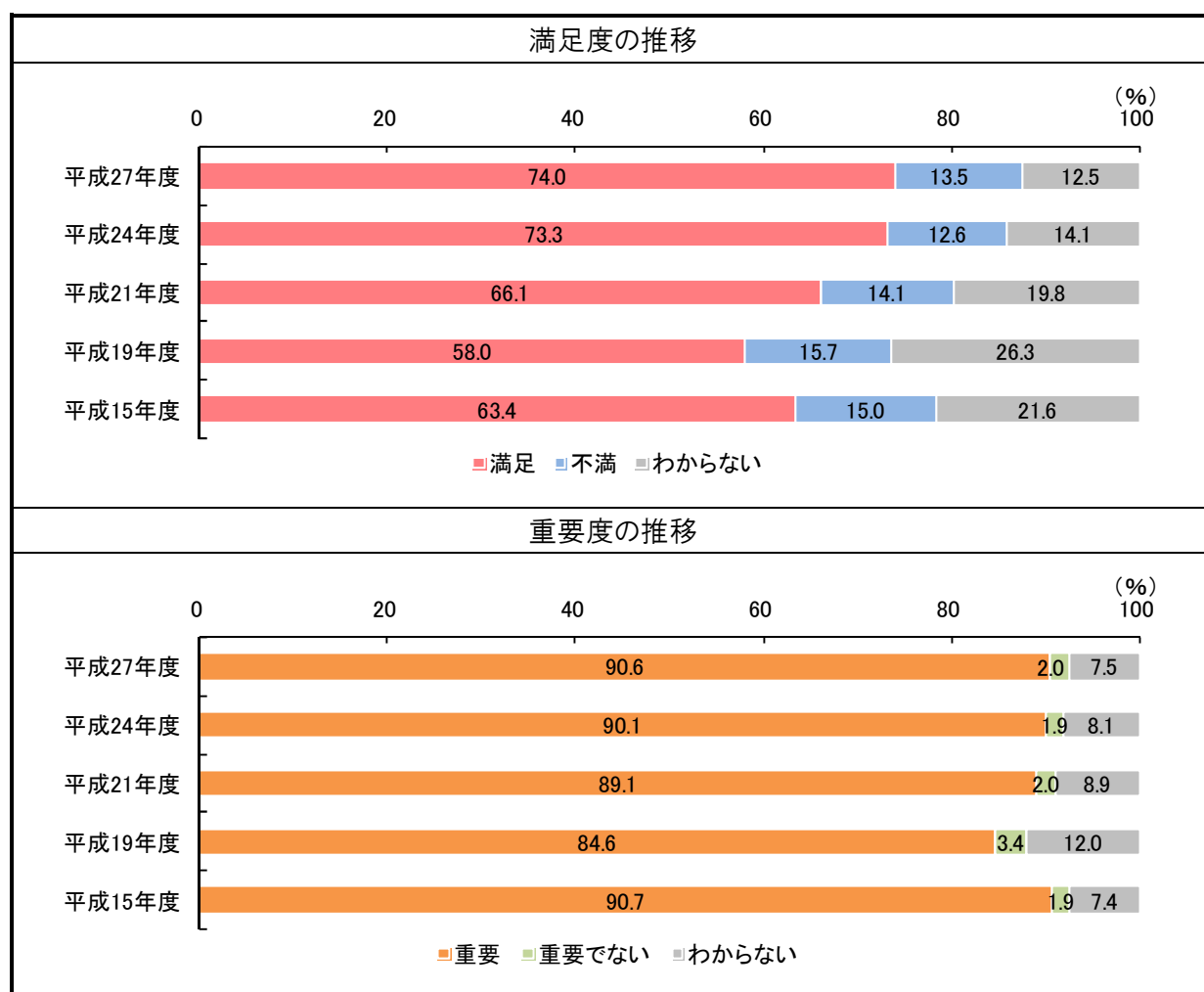
年齢別において、30 歳代の不満が最も多くなっています。また、居住地区別による満足度の違いはほとんどみられません。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成15年度の63.4%から一旦下がったものの、平成27年度まで約10ポイント増加しています。一方で、「不満」の割合は平成15年度の15.0%から概ね横ばいから若干減少で推移しています。

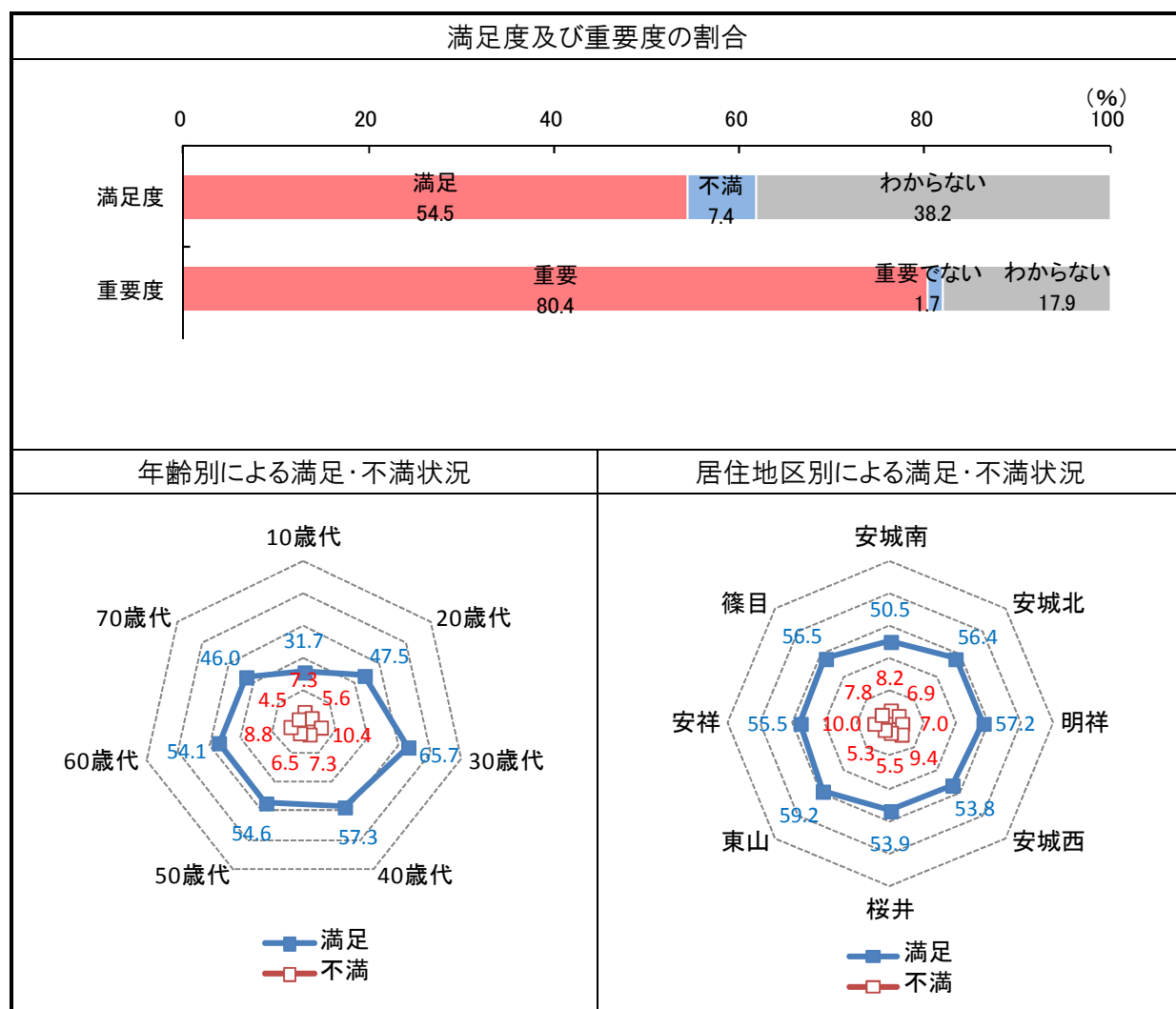
重要度について、「重要」の割合は平成15年度の90.7%と非常に高い割合となっていました。平成27年度まで概ね横ばいで推移しています。一方、「重要でない」の割合は2%前後と非常に低くなっています。



分野	2 保健福祉				
項目	2 母子保健				
主な取組	・ 乳幼児健診、相談、各種教室の開催 ・ 生後4か月までの赤ちゃんへの全戸訪問 ・ 妊婦健診14回・産婦健診1回・不妊治療等の助成				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	1.33	順位	1 位
	重要度		2.04		3 位

満足度と重要度はともに最上位にあり、現在の取組に対して満足しているものの、引き続き積極的な取組が求められているといえます。ただし、満足度について、「わからない(38.2%)」割合が4割近くあることから、取組に対する理解を深めることも必要です。

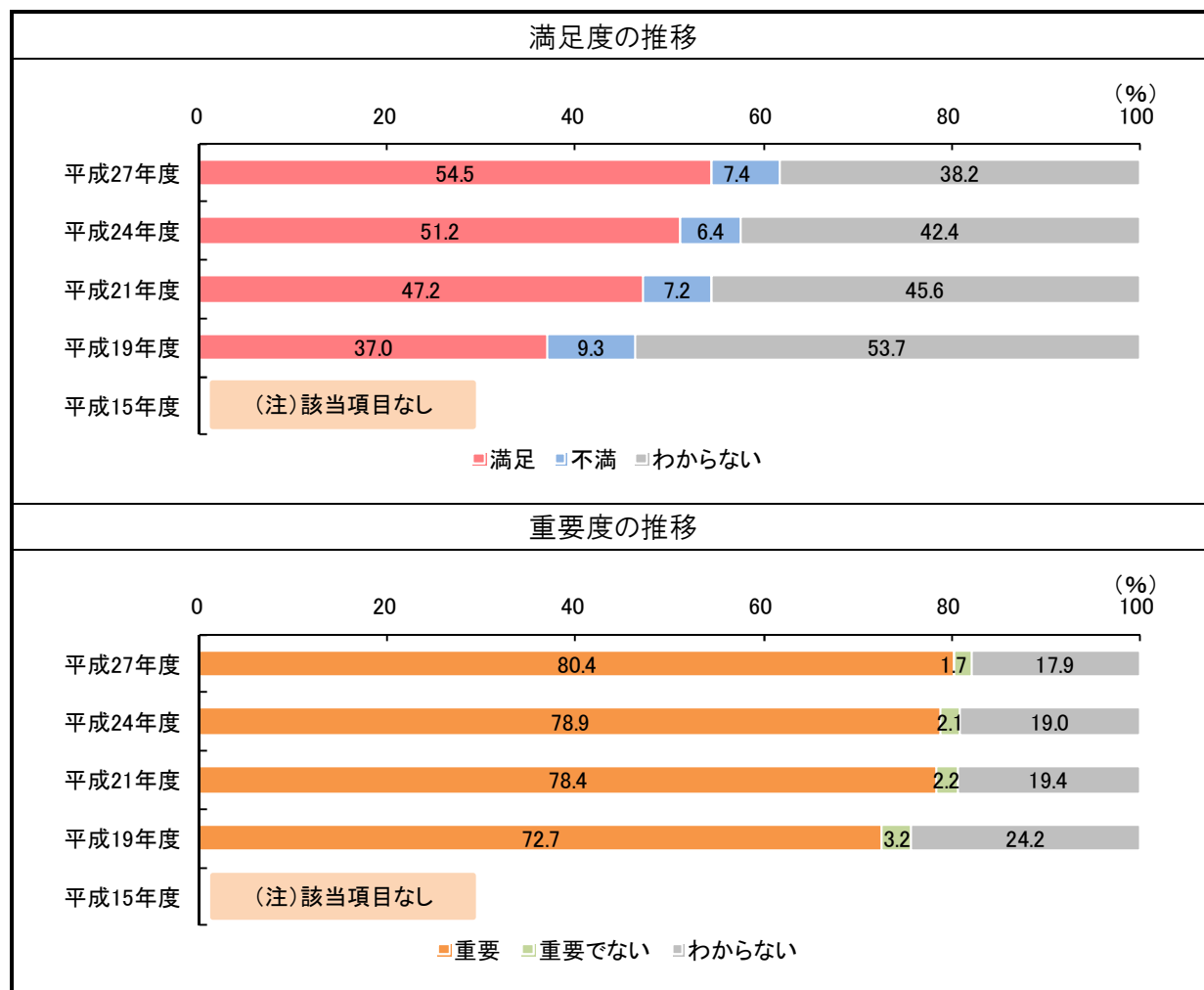
年齢別において、10歳代や20歳代といった若い年齢階級と70歳代の満足の割合が少なくなっています。また、居住地区別による満足度の違いはほとんどみられません。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は調査を開始した平成 19 年度の 37.0 から平成 27 年度まで約 20 ポイント増加しています。一方で、「不満」の割合は 10%以下で概ね横ばいから若干減少で推移しています。

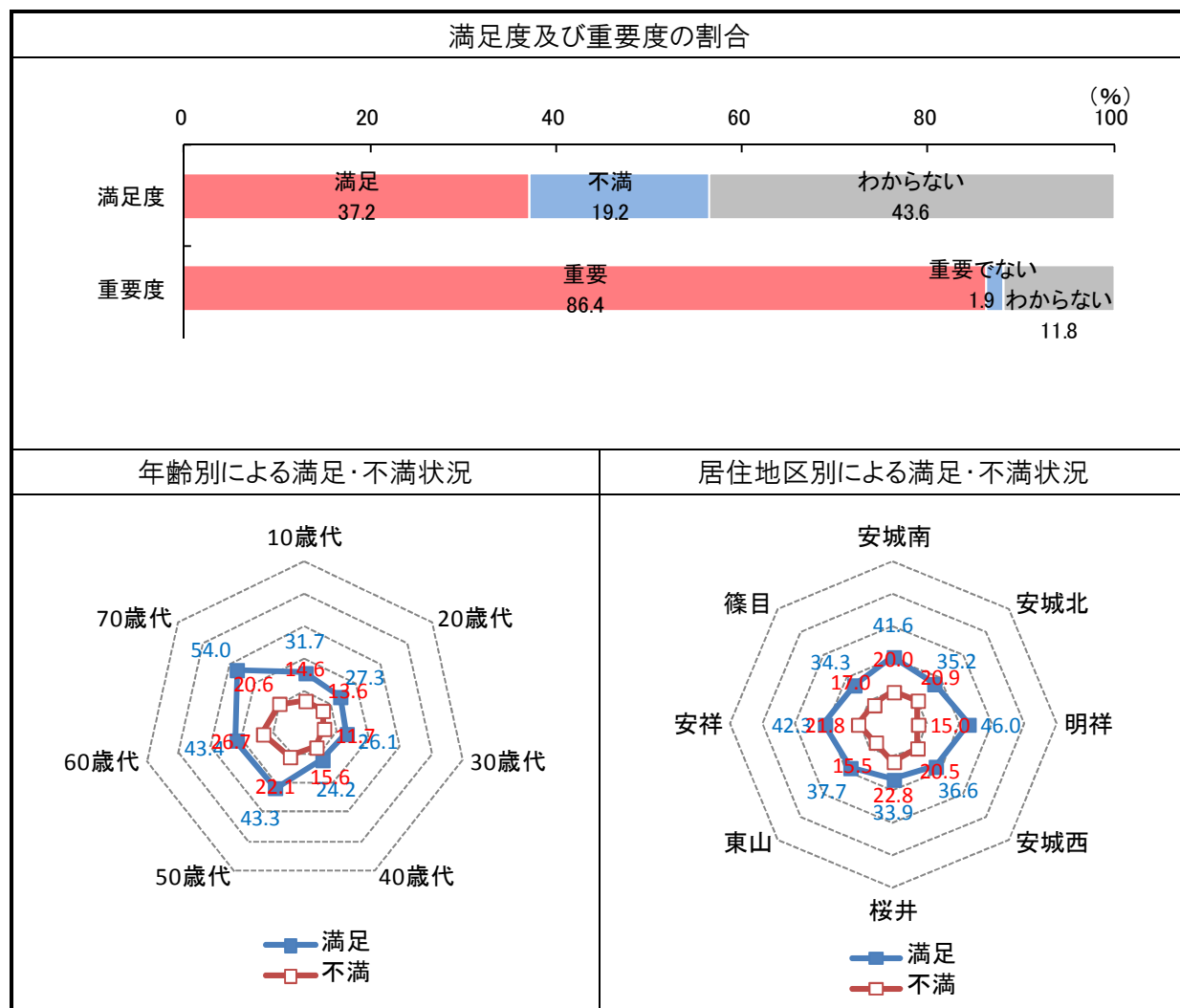
重要度について、「重要」の割合は平成 19 年度の 72.7%から約 8 ポイント増加しています。一方、「重要でない」の割合は 2%前後と非常に低くなっています。



分野	2 保健福祉				
項目	3 高齢者福祉・介護保険				
主な取組	・ 訪問介護、デイサービス等の実施 ・ 福祉センターの整備、認知症高齢者への支援 ・ ひとり暮らし高齢者等への福祉サービス				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.48	順位	38 位
	重要度		2.09		1 位

満足度は概ね下位、重要度は最上位にあり、現在の取組に対する不満が大きく、今後、積極的な取組が求められているといえます。ただし、満足度について、「わからない(43.6%)」割合が4割を超えていることから、同時に、取組に対する理解を深めることも必要です。

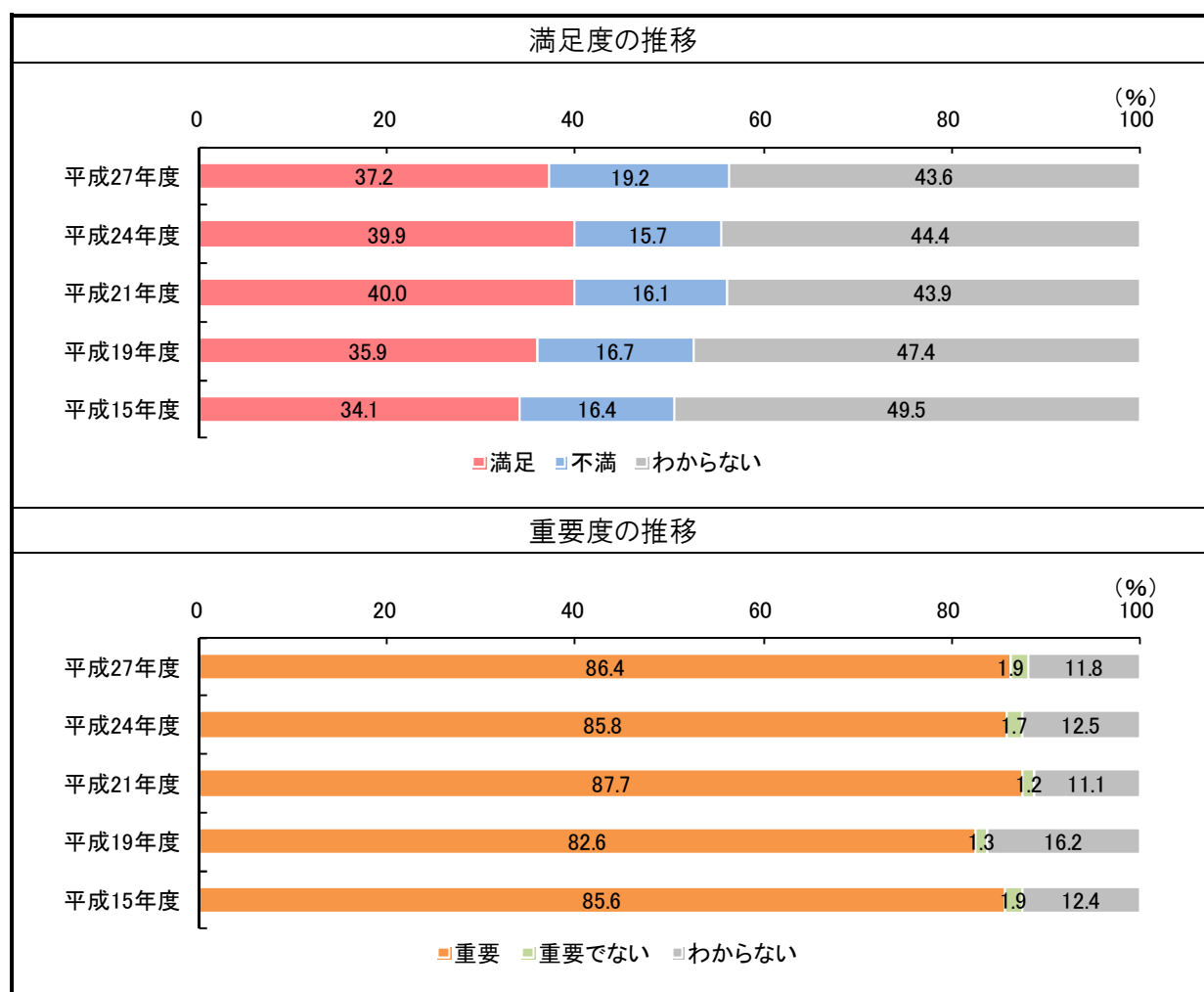
年齢別において、50歳代以上の不満の割合が多くなっています。また、居住地区別では、明祥や東山、安祥、安城南の満足が他の地区に比べて多くなっています。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成15年度の34.1%から一旦上がったものの、再び下がり平成27年度では約3ポイント増加にとどまっています。また、「不満」の割合は平成15年度の16.4%から概ね横ばいから若干増加で推移しています。

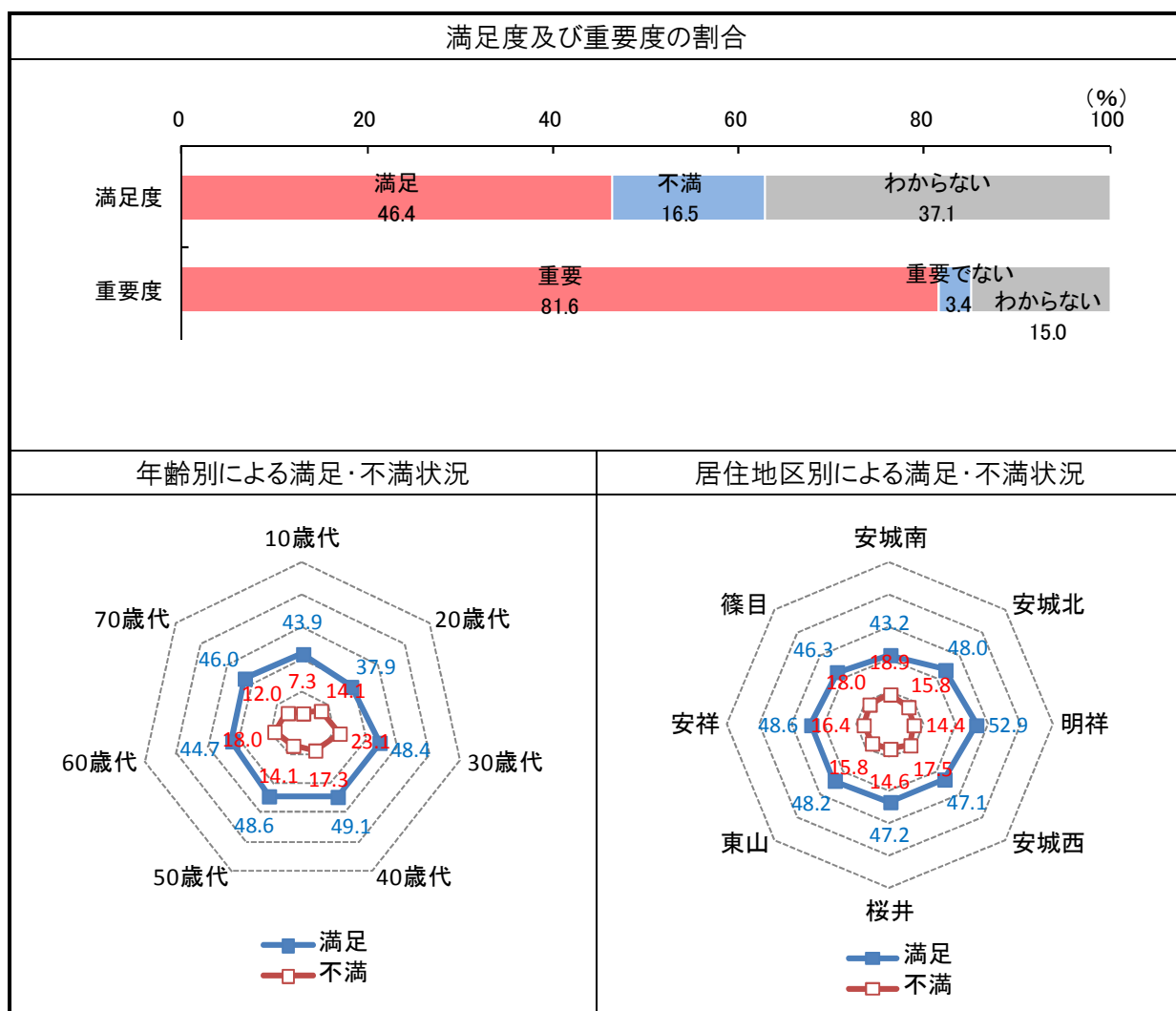
重要度について、「重要」の割合は平成15年度の85.6%と非常に高い割合となっていました。平成27年度まで概ね横ばいで推移しています。一方、「重要でない」の割合は2%前後と非常に低くなっています。



分野	2 保健福祉				
項目	4 子育て支援				
主な取組	・ 低年齢児、延長、一時特定、休日保育等保育の充実 ・ 第3子以降の保育料の無料化 ・ 児童クラブの4年生への学年拡大				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.74	順位	22 位
	重要度		1.97		8 位

満足度は概ね中位、重要度は上位にあり、引き続き積極的な取組が求められているといえます。ただし、満足度について、「わからない(37.1%)」割合が約4割と高いことから、取組に対する理解を深める必要があります。

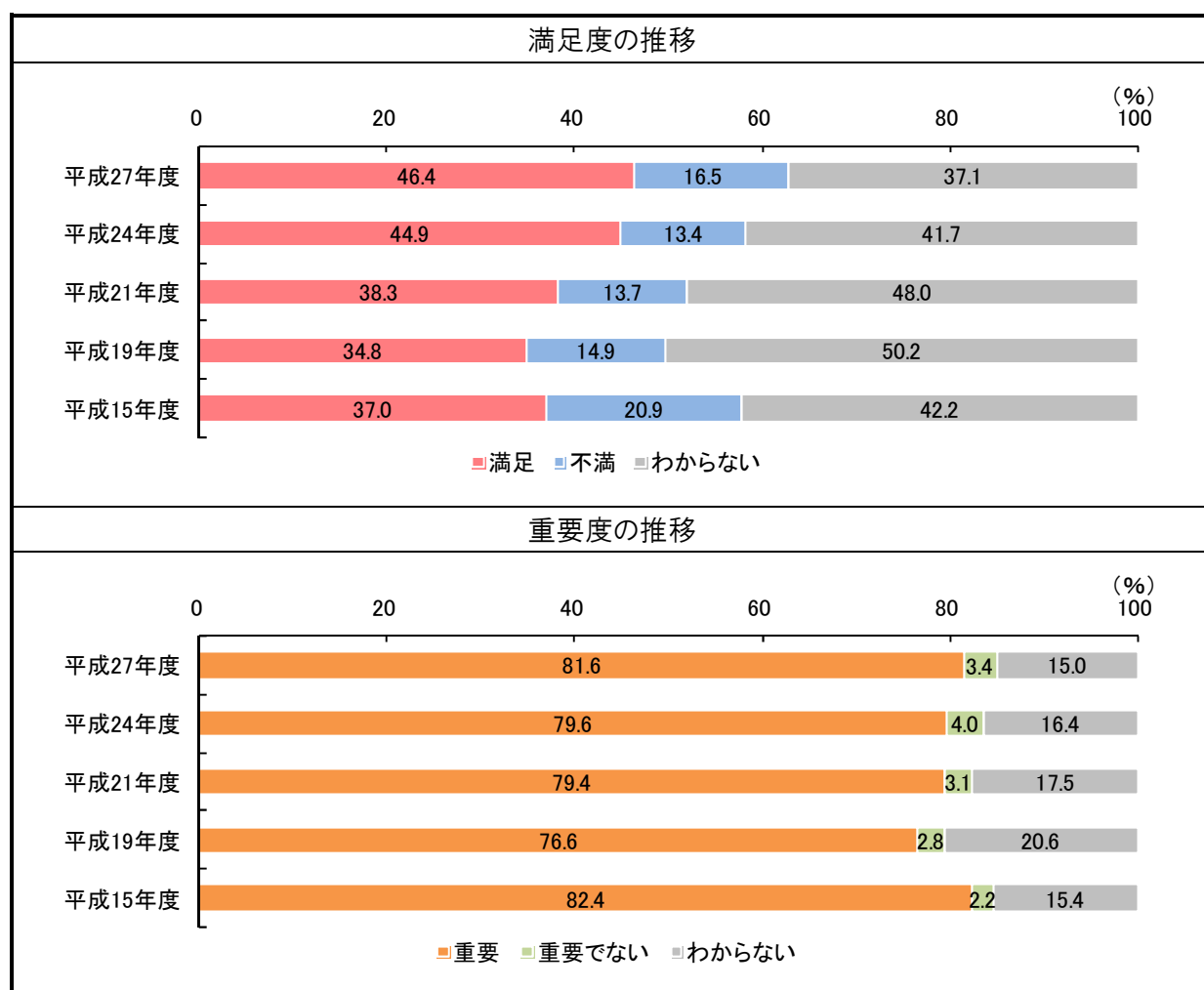
年齢別において、30歳代の不満の割合が多くなっています。また、居住地区別による満足度の違いはほとんどみられません。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 37.0%から一旦下がったものの、再び上がり平成 27 年度では約 10 ポイント増加しています。一方、「不満」の割合は平成 15 年度の 20.9%から平成 27 年度には約 6 ポイント減少しています。

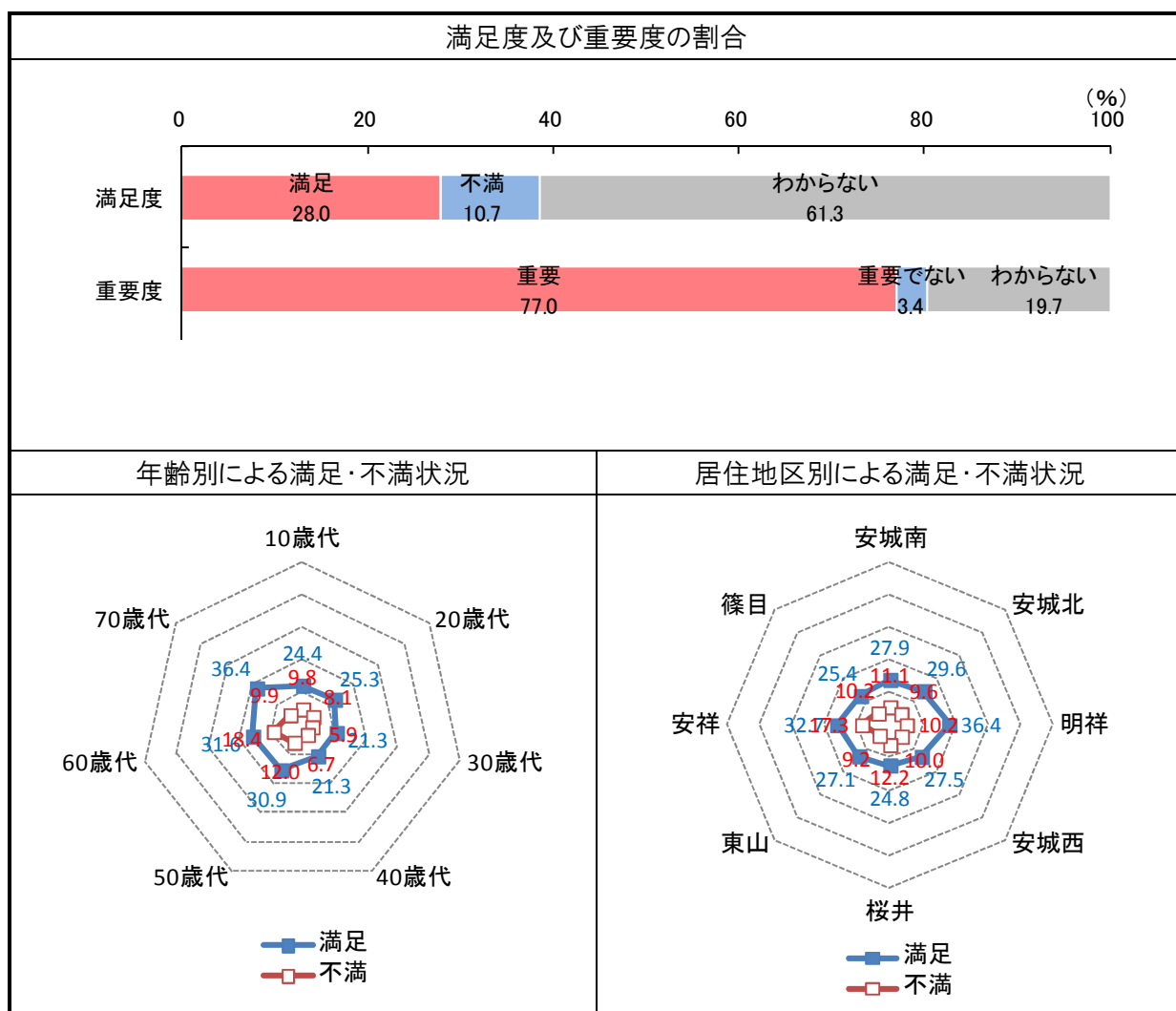
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 82.4%と非常に高い割合となっていました。平成 27 年度まで概ね横ばいで推移しています。一方、「重要でない」の割合は 2%前後と非常に低くなっています。



分野	2 保健福祉				
項目	5 ひとり親家庭福祉				
主な取組	・ 遺児手当等の支給 ・ 母子・父子自立支援員による相談				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.65	順位	27 位
	重要度		1.79		12 位

満足度は真ん中よりやや下位、重要度は真ん中よりやや上位にあり、引き続き積極的な取組が求められているといえます。ただし、満足度について、「わからない（61.3%）」割合が6割を超え非常に多いことから、取組に対する理解を深めることが重要です。

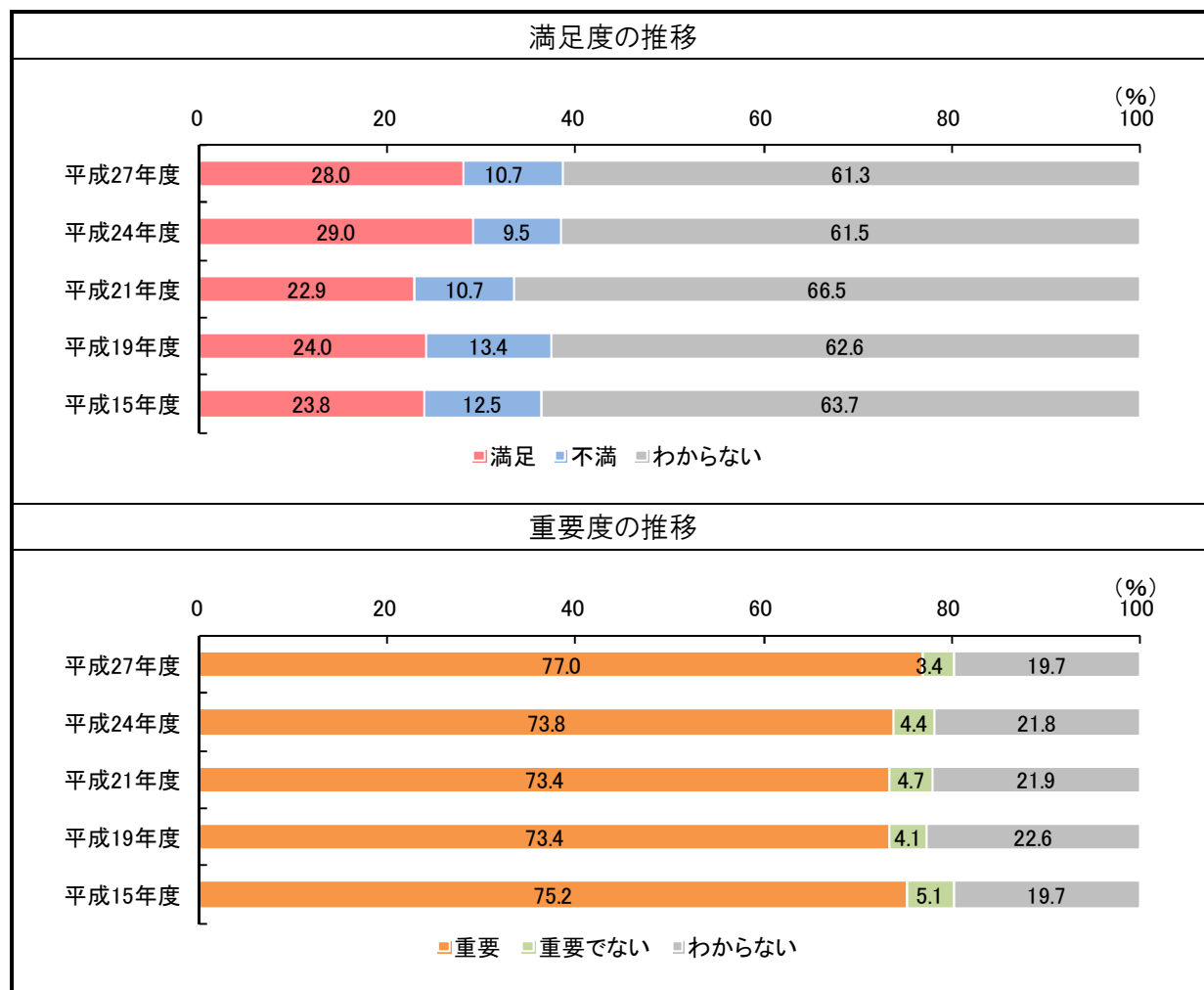
年齢別において、60歳代の不満の割合が他の年齢階級に比べて多くなっています。また、居住地区別では安祥の不満の割合が他の地区に比べて多くなっています。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 23.8%から概ね横ばいで推移していましたが、平成 24 年度に上昇し、平成 27 年度では約 4 ポイント増加しています。一方、「不満」の割合は平成 15 年度の 12.5%から概ね横ばいから若干減少で推移しています。

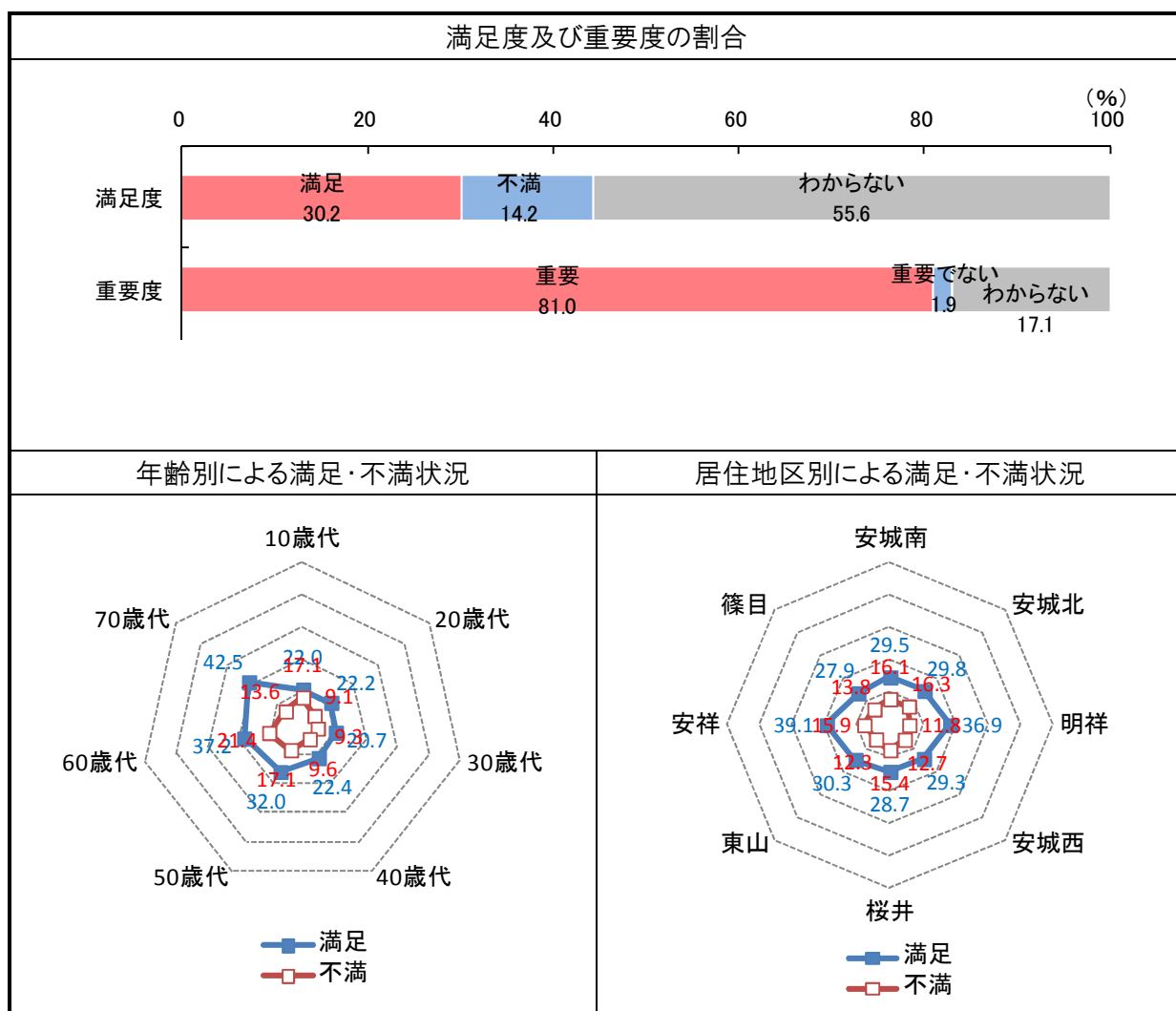
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 75.2%から概ね横ばいで推移しています。一方、「重要でない」の割合は 5%前後と非常に低くなっています。



分野	2 保健福祉				
項目	6 障害福祉				
主な取組	・ ホームヘルパーなど訪問サービスの提供 ・ 就労支援など日中活動サービスの提供 ・ グループホームなど居住サービスの提供				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.50	順位	35 位
	重要度		1.93		10 位

満足度は下位、重要度は上位にあり、現在の取組が十分でなく、引き続き積極的な取組が求められているといえます。ただし、満足度について、「わからない（55.6%）」割合が5割以上と非常に高いことから、取組に対する理解を深める必要があります。

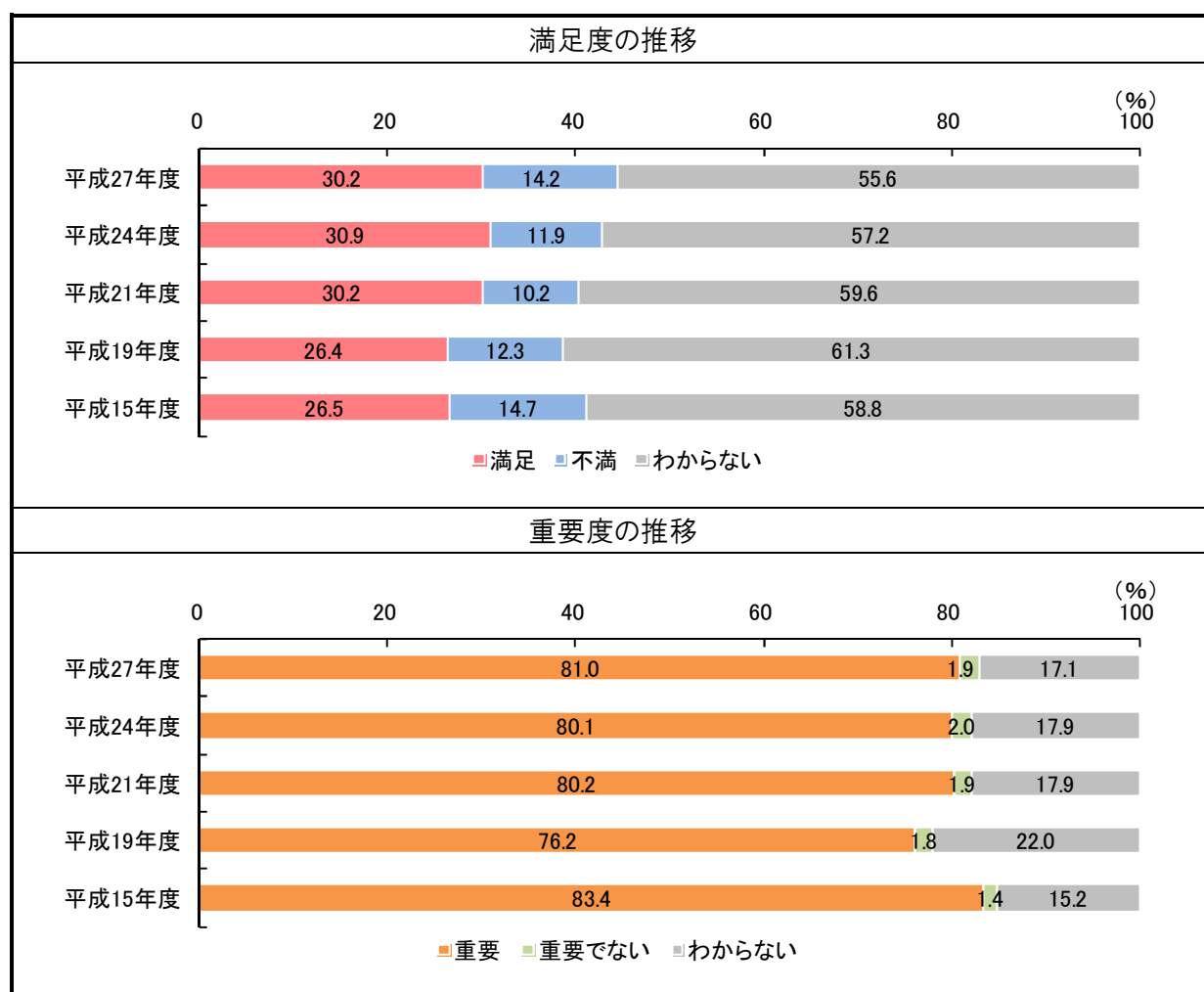
年齢別において、60歳代の不満の割合が他の年齢階級より多くなっています。また、居住地区別による満足度の違いはほとんどみられません。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 26.5%から概ね横ばいから若干増加で推移し、平成 27 年度では約 4 ポイント増加しています。また、「不満」の割合も平成 15 年度の 14.7%から概ね横ばいで推移しています。

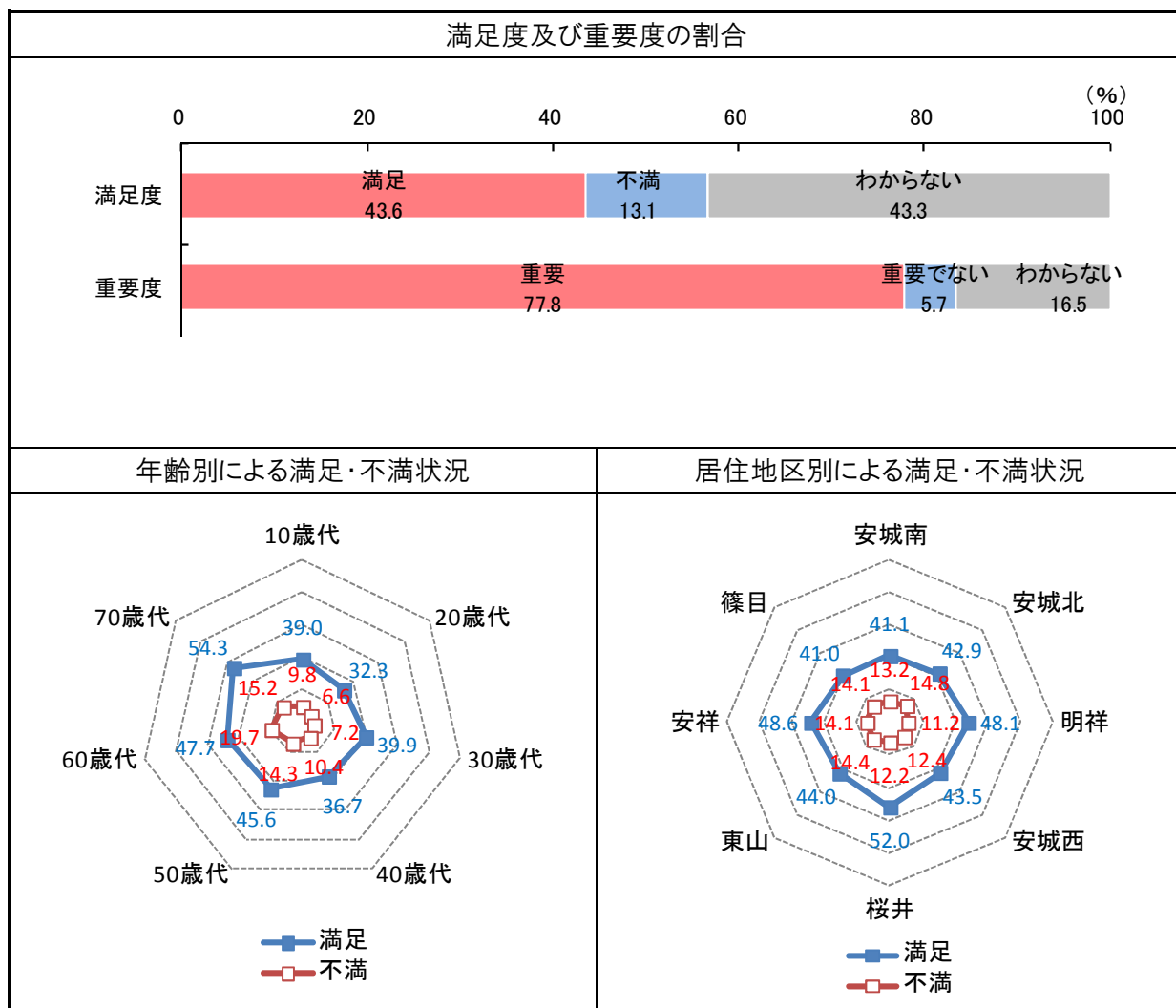
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 83.4%と非常に高い割合となっていました。平成 27 年度まで概ね横ばいで推移しています。一方、「重要でない」の割合は 2% 前後と非常に低くなっています。



分野	2 保健福祉				
項目	7 地域福祉				
主な取組	・ 町内福祉委員会による地域見守り活動の推進 ・ 社会福祉協議会による町内福祉委員会、ボランティア団体の支援				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.77	順位	18 位
	重要度		1.60		18 位

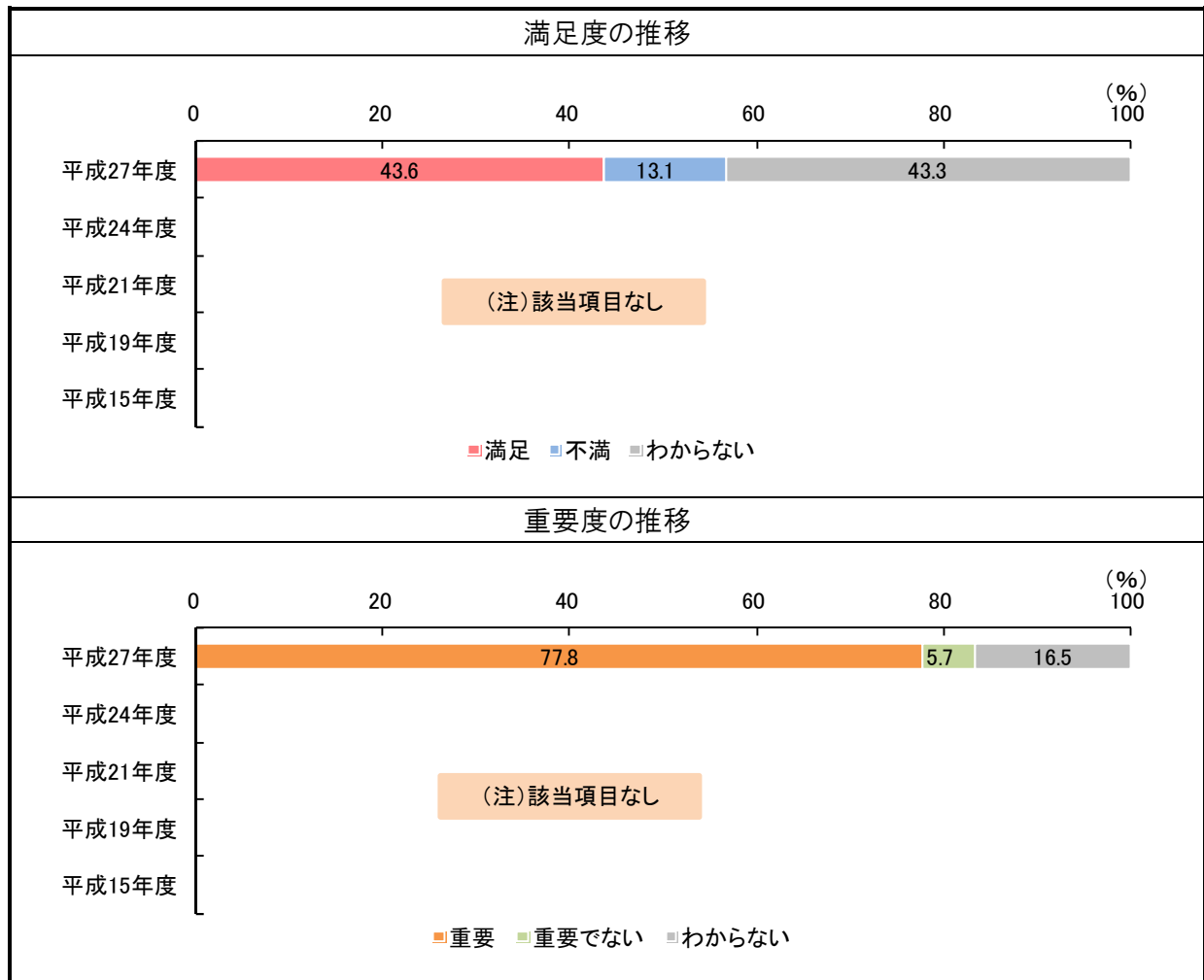
満足度と重要度はともに概ね中位にあります。ただし、満足度について、「わからない(43.3%)」割合が4割を超え高いことから、取組に対する理解を深める必要があります。

年齢別において、60歳代を中心に50歳代以上の不満の割合が他の年齢階級に比べて多くなっています。また、居住地区別による満足度の違いはほとんどみられません。



(調査年度比較)

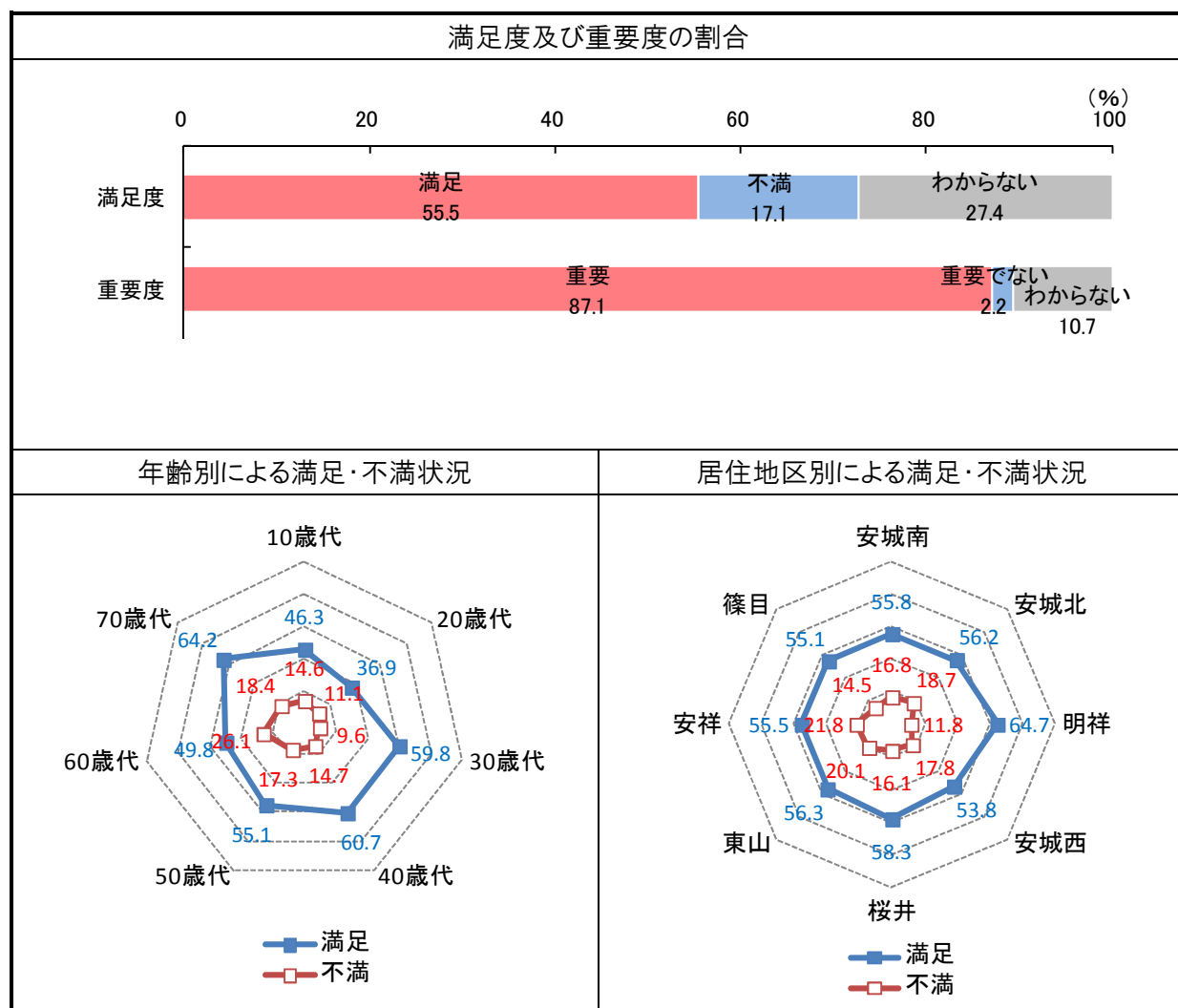
本指標については、今回初めて調査したものであり、過去からの推移は分析できません。



分野	2 保健福祉				
項目	8 高齢者の医療・福祉医療				
主な取組	・ 後期高齢者医療制度による医療給付 ・ 子ども医療費の助成（通院：中学生まで、入院：高校生まで） ・ 障害者、母子・父子家庭医療費の助成				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.89	順位	8 位
	重要度		2.02		5 位

満足度と重要度はともに上位にあり、現在の取組に対する満足は得られているものの、引き続き積極的な取組が求められているといえます。

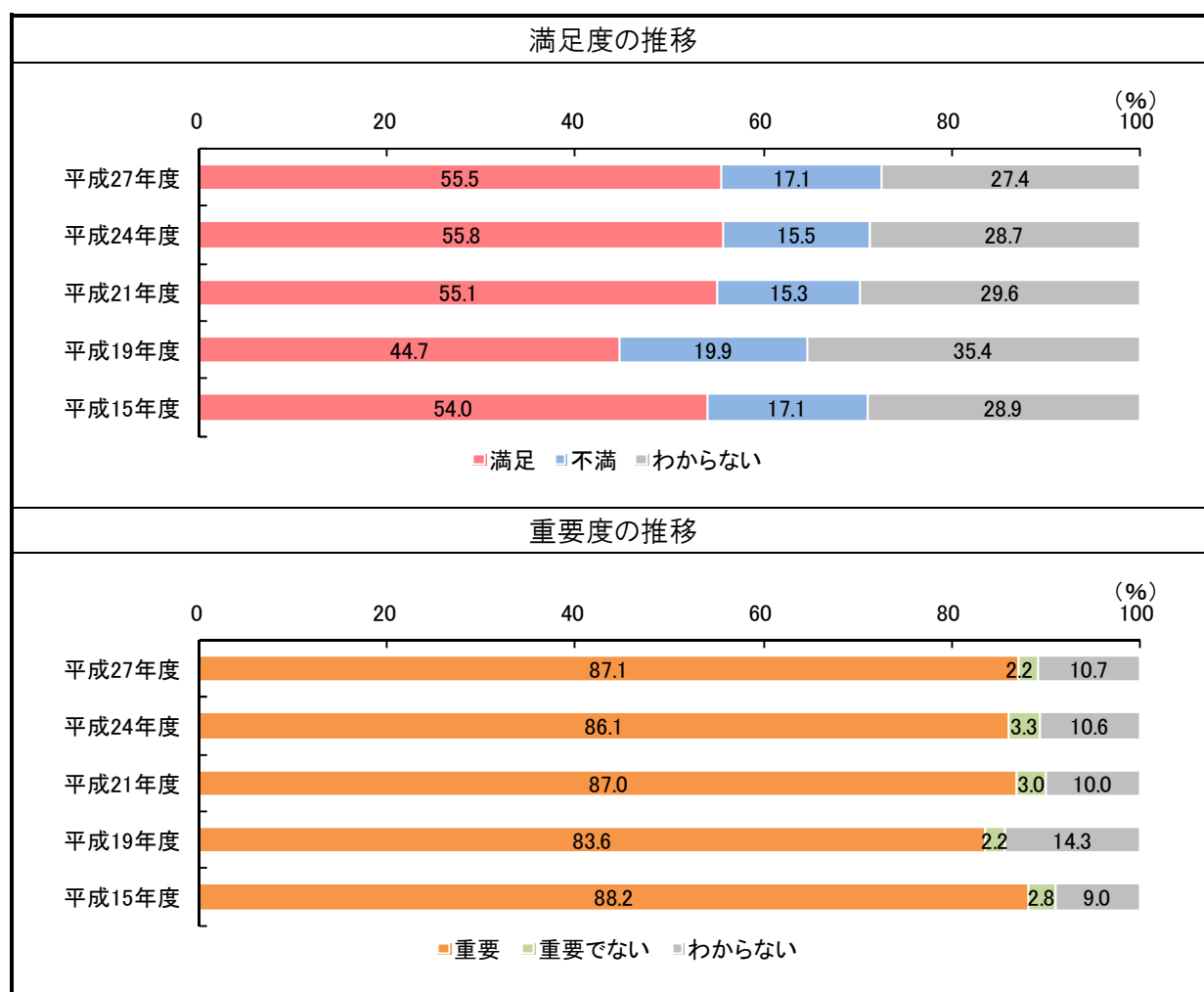
年齢別において、60歳代の不満の割合が他の年齢階級に比べて多くなっています。また、居住地区別では、安祥と東山の不満が他の地区よりやや多くなっています。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 54.0%から平成 19 年度に一旦下がったものの、その後はほぼ回復し、概ね横ばいで推移しています。また、「不満」の割合も平成 15 年度の 17.1%から概ね横ばいで推移しています。

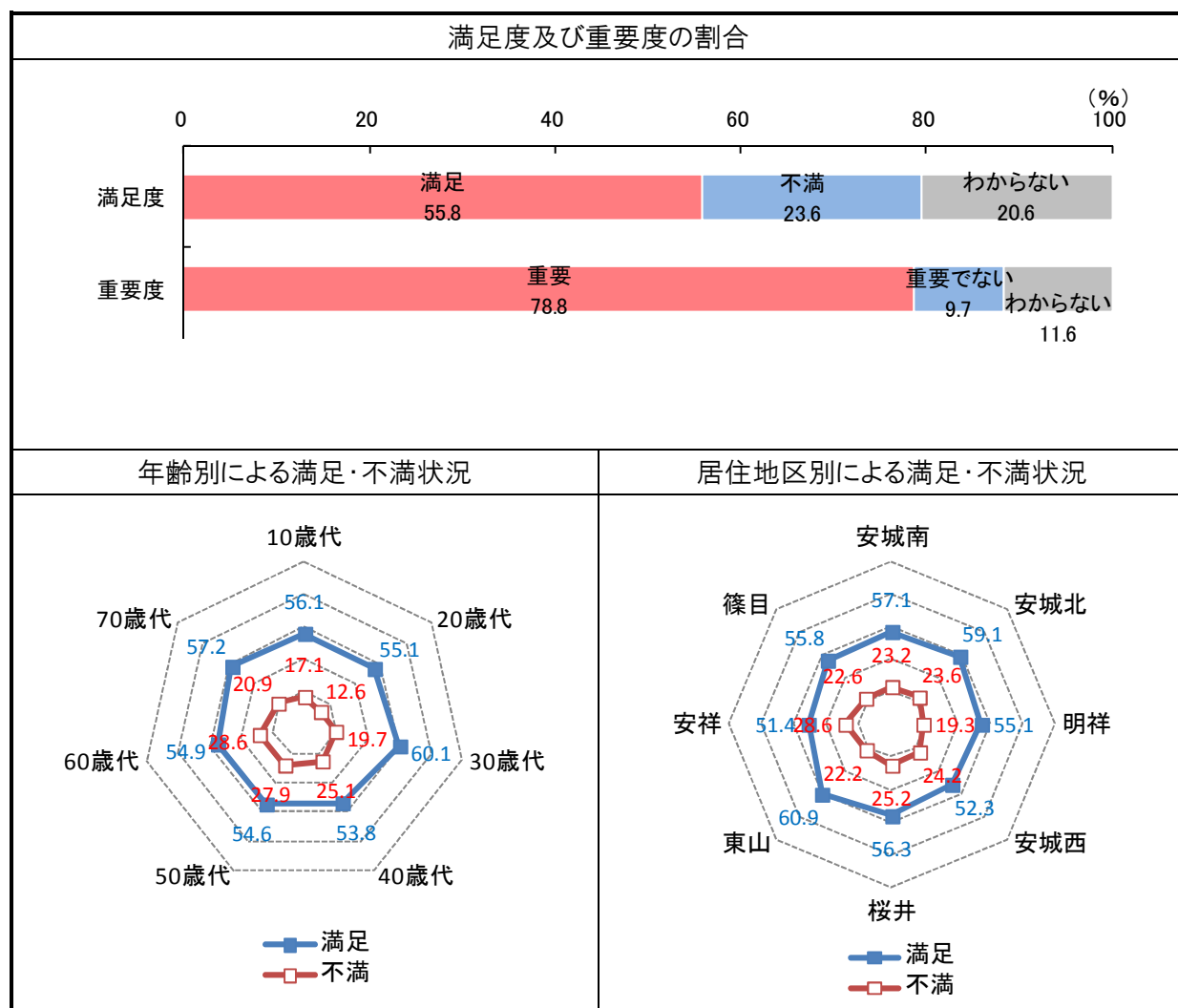
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 88.2%と非常に高い割合となっていました。平成 19 年度を除き、平成 27 年度まで概ね横ばいで推移しています。一方、「重要でない」の割合は 2%前後と非常に低くなっています。



分野	3 都市基盤				
項目	1 緑化・良好な景観形成				
主な取組	・ 市民との協働による公園・街路樹管理 ・ 電線類地中化等の景観に配慮した道路整備				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.58	順位	30 位
	重要度		1.39		24 位

満足度は真ん中よりやや下位、重要度は概ね中位にあり、引き続き積極的な取組が求められているといえます。

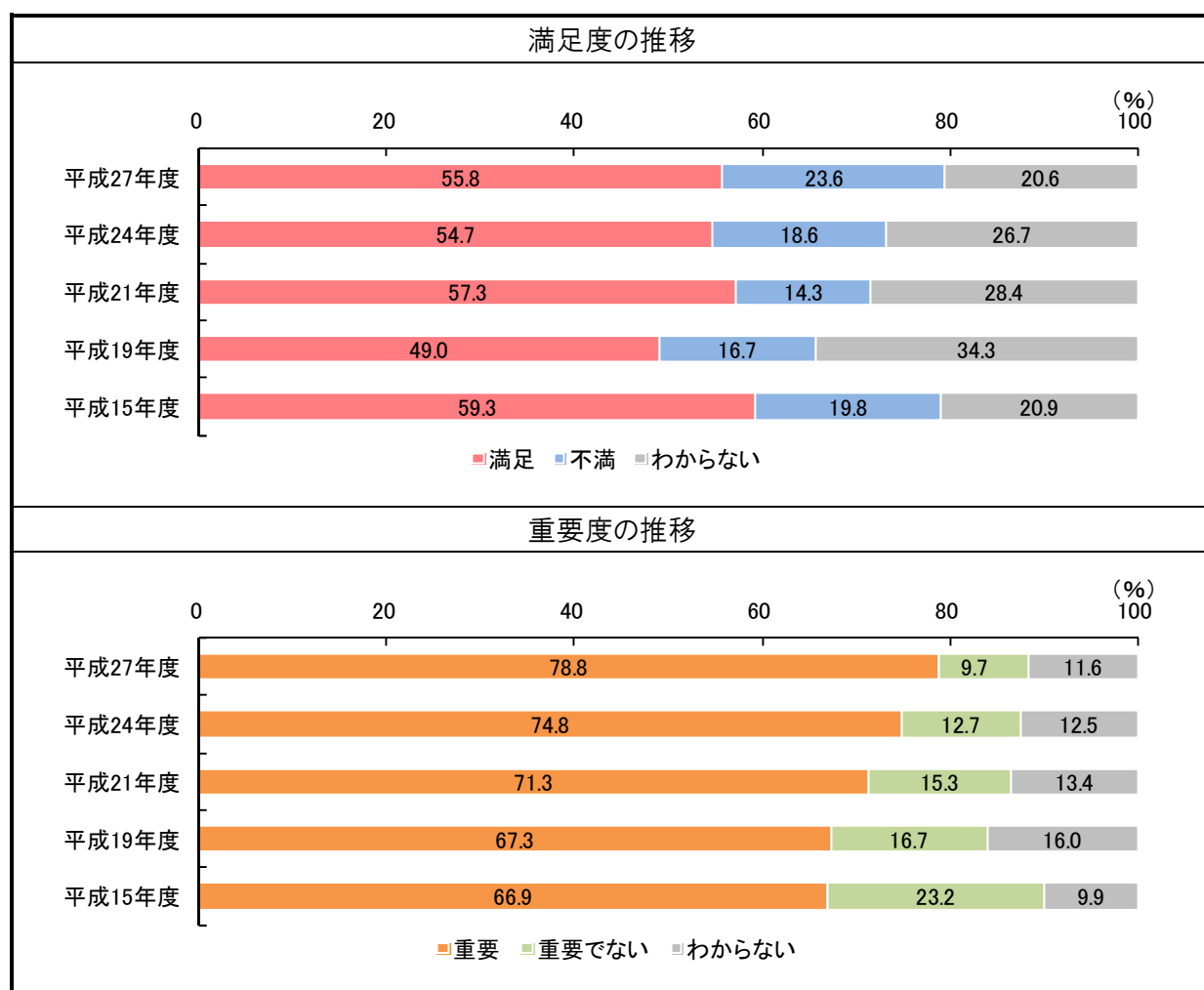
年齢別において、40 歳代から 60 歳代の不満の割合が他の年齢階級に比べて多くなっています。また、居住地区別では安祥の不満の割合が他の地区よりやや多くなっています。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 59.3%から平成 19 年度に一旦下がったものの、その後はほぼ回復し、概ね横ばいで推移しています。また、「不満」の割合は平成 15 年度の 19.8%から平成 27 年度に約 4 ポイント増加しています。

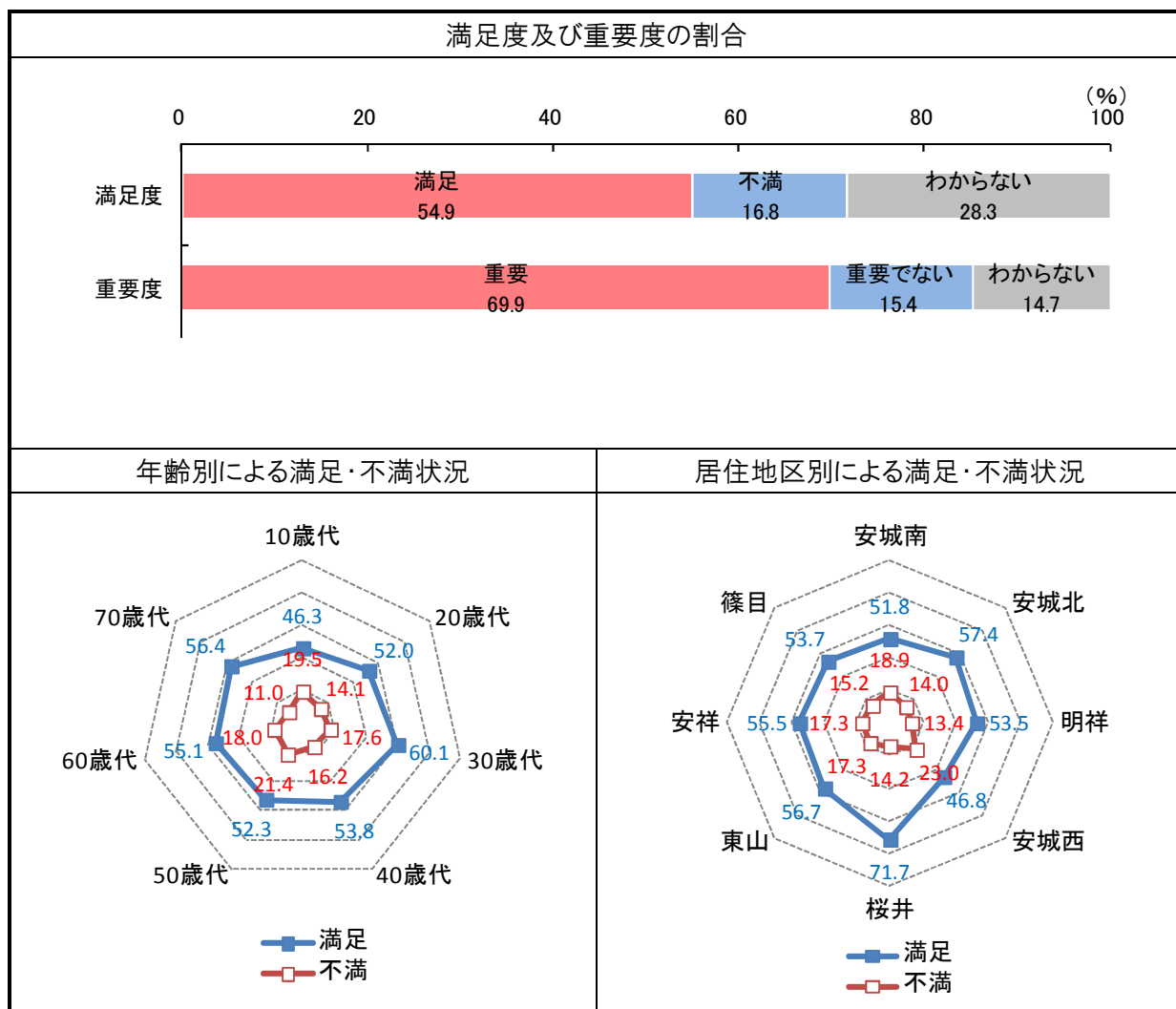
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 66.9%から平成 27 年度まで約 12 ポイント増加しています。一方、「重要でない」の割合は平成 15 年度の 23.2%から平成 27 年度まで約 14 ポイント減少しています。



分野	3 都市基盤				
項目	2 公園・緑地の整備				
主な取組	・ 新規公園の整備 ・ 桜井区画整理区域内の公園整備 ・ 堀内公園の充実				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.79	順位	17 位
	重要度		1.12		35 位

満足度は真ん中よりやや上位、重要度は下位にあり、現在の取組をそのまま継続することについては求められていないといえます。

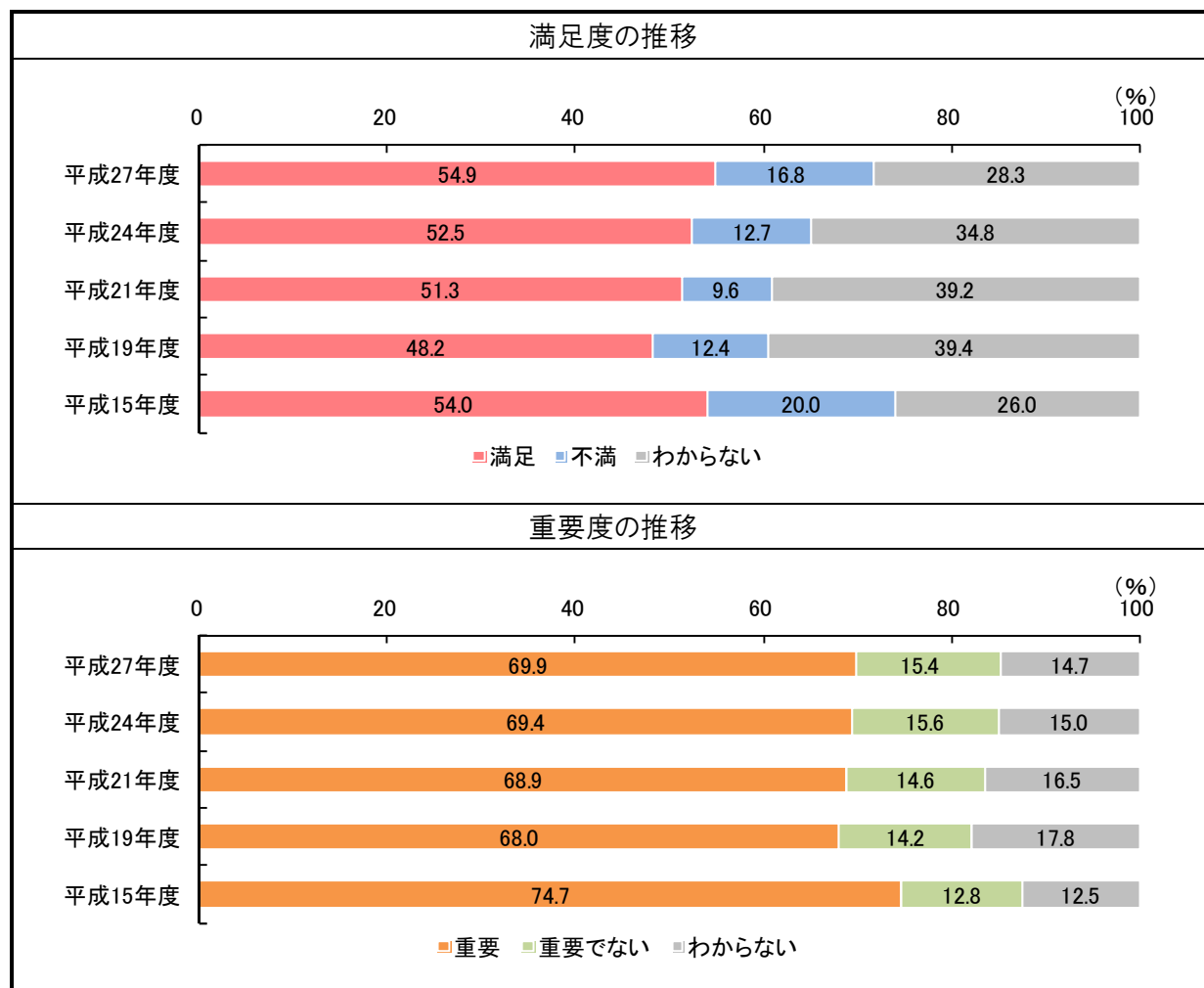
年齢別において、50 歳代や 10 歳代の不満の割合が他の年齢階級に比べて多くなっています。また、居住地区別では安城西の不満の割合が他の地区に比べてやや多くなっています。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 54.0%から平成 19 年度に一旦下がったものの、その後は増加に転じ、平成 27 年度にはほぼ同水準になっています。また、「不満」の割合も平成 15 年度の 20.0%から一旦下がり、その後徐々に増加して平成 27 年度に約 3 ポイント減少となっています。

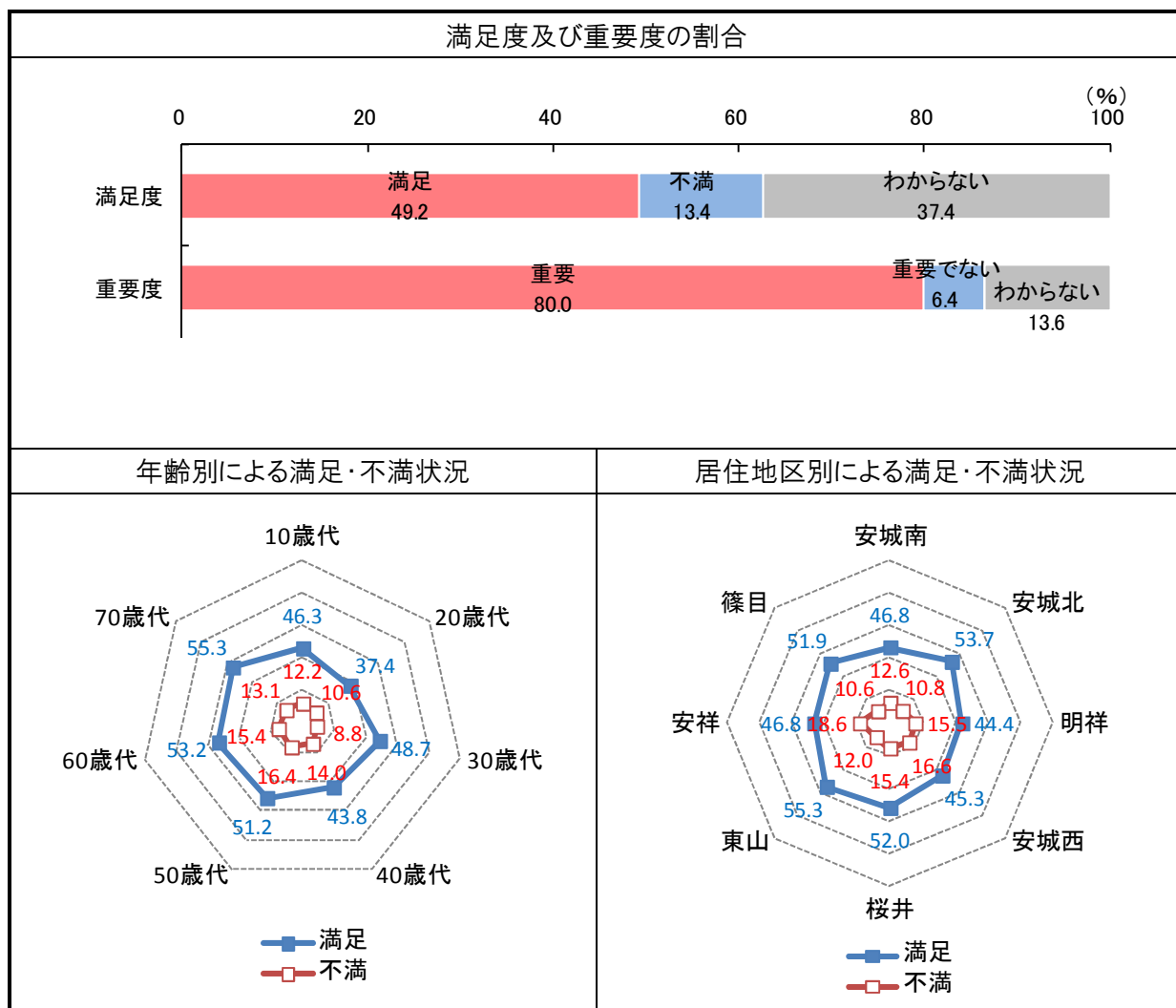
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 74.7%から平成 27 年度まで約 5 ポイント減少しています。一方、「重要でない」の割合は平成 15 年度の 12.8%から平成 27 年度まで若干増加しています。



分野	3 都市基盤					
項目	3 河川の整備					
主な取組	・ 水害を防ぐため水を一時的に貯める調整池設置 ・ 雨水タンク、浸透ますへの設置補助 ・ 自然に配慮した護岸改修					
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.82	順位	12	位
	重要度		1.62		17	位

満足度は真ん中よりやや上位、重要度は概ね中位にあり、現在の取組に対する満足は概ね得られているものの、今後も継続するニーズはあるといえます。ただし、満足度について、「わからない (37.4%)」割合が 4 割近いことから、取組に対する理解を深める必要があります。

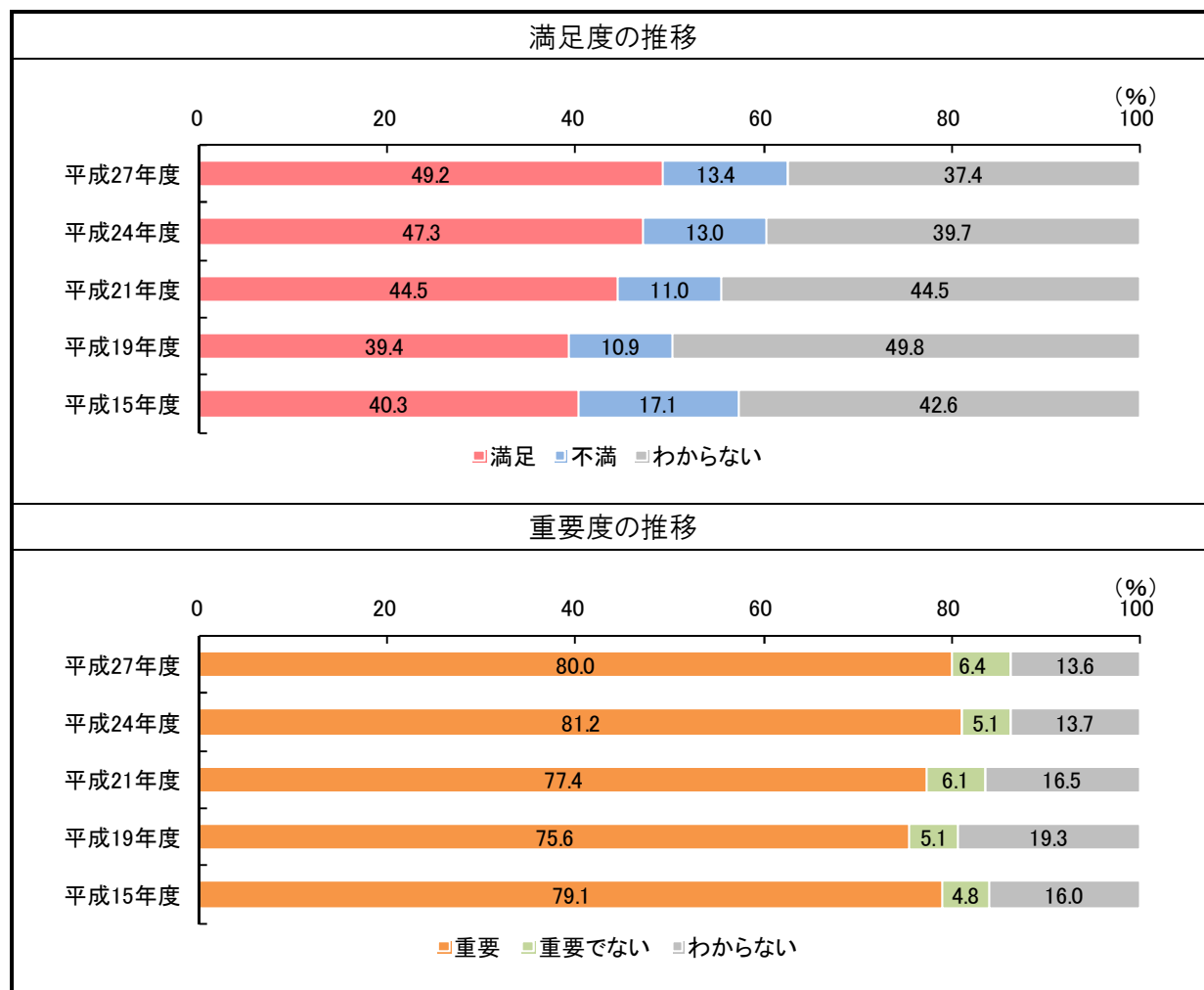
年齢別において、20 歳代の満足の割合が少なくなっています。また、居住地区別では安祥の不満の割合が他の地区よりやや多くなっています。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 40.3%から平成 27 年度まで 10 ポイント近く増加しています。一方、「不満」の割合は平成 15 年度の 17.1%から平成 27 年度まで約 4 ポイント減少しています。

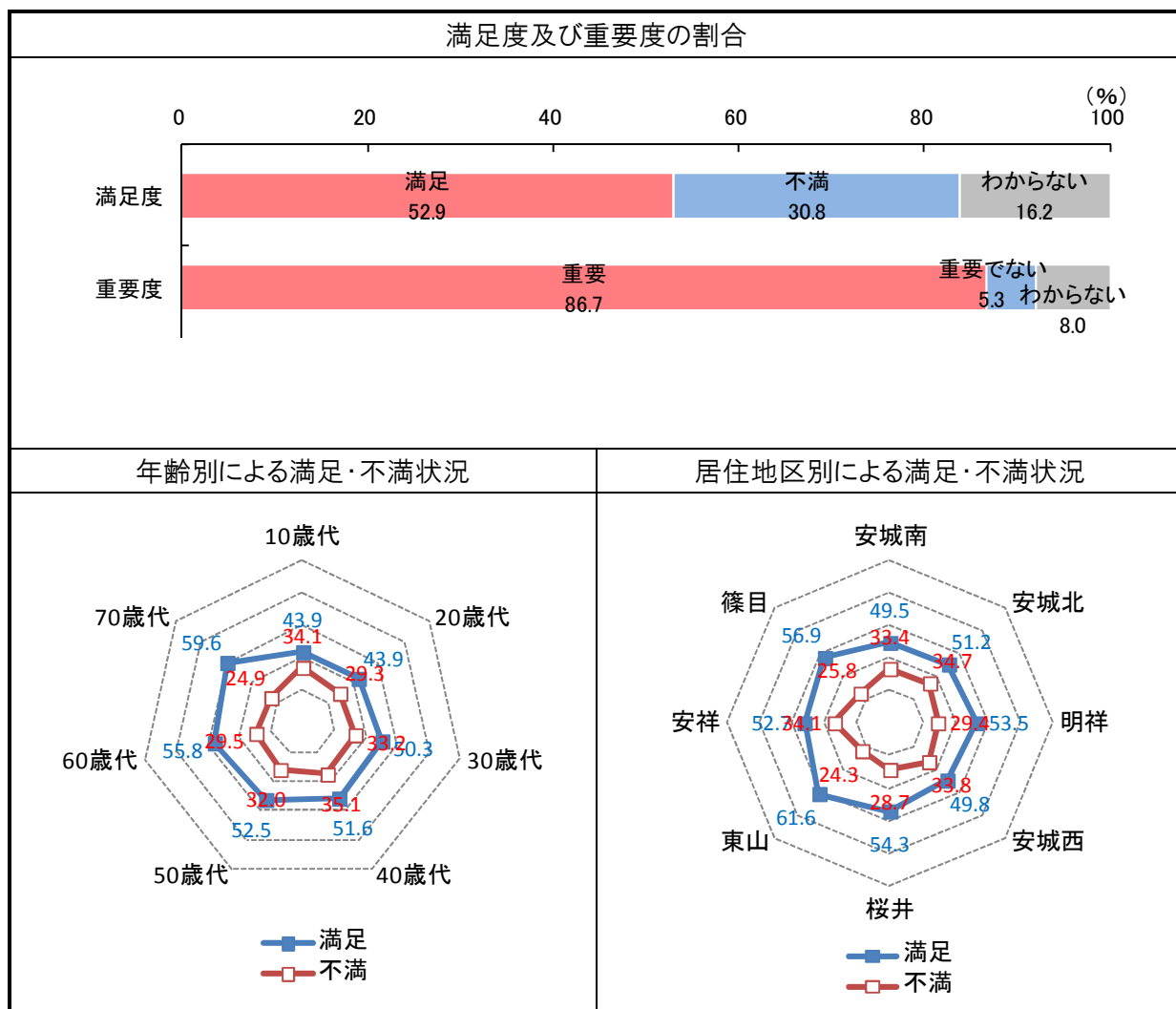
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 79.1%から平成 27 年度までほぼ横ばいで推移しています。一方、「重要でない」の割合は概ね 5%前後で推移しています。



分野	3 都市基盤					
項目	4 道路の整備					
主な取組	・ 舗装及び側溝の補修、橋の架け替え ・ 新たな道路の整備 ・ 歩道や右折帯の設置					
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.35	順位	40	位
	重要度		1.65		16	位

満足度は下位、重要度は真ん中よりやや上位にあり、現在の取組は十分でなく、今後も継続していくことが求められているといえます。

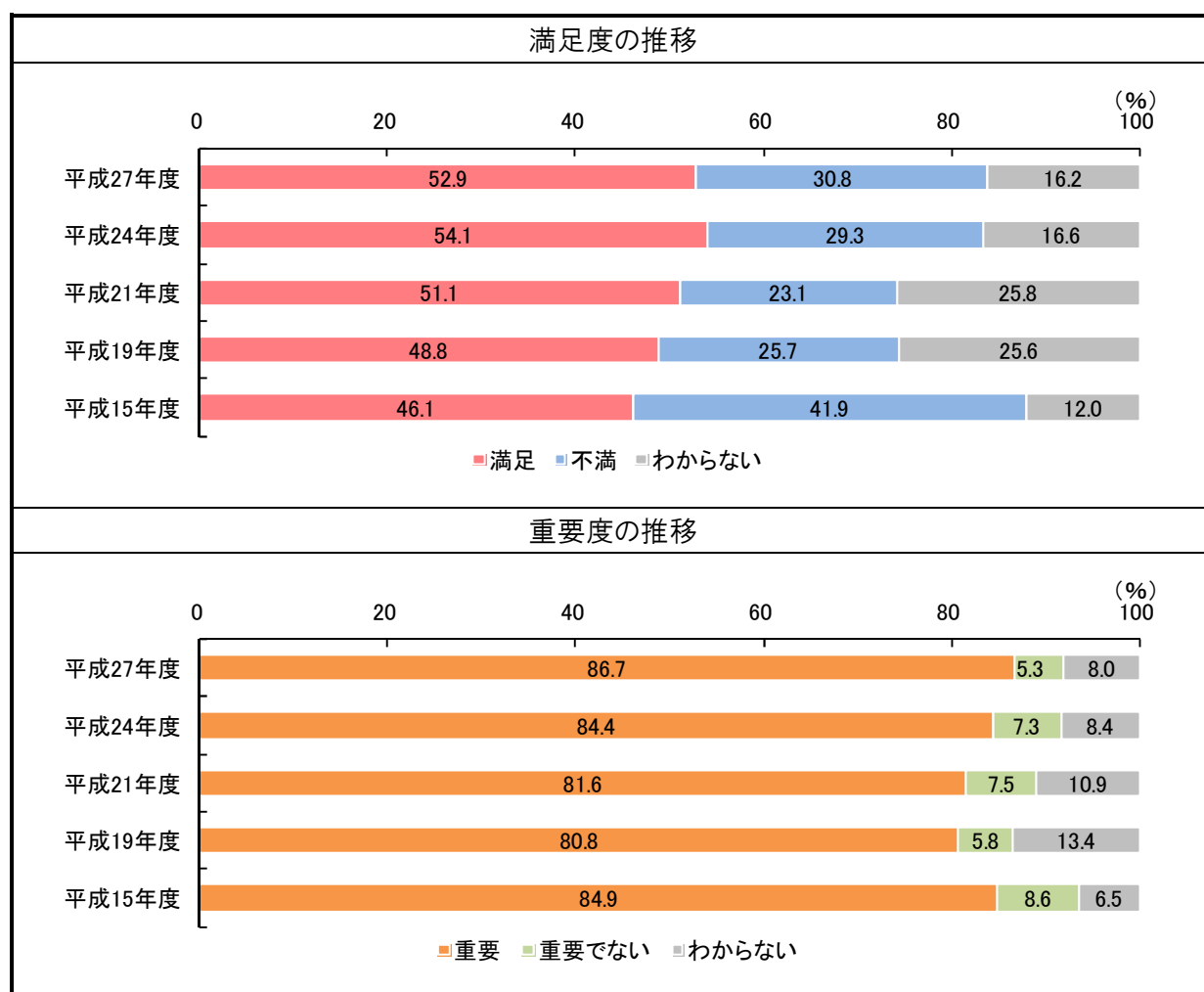
年齢別において、70歳代で不満の割合が他の年齢階級に比べて少なくなっています。また、居住地区別では安城北や安城西、安祥、安城南の不満の割合が他の地区に比べて多くなっています。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 46.1%から平成 27 年度まで約 7 ポイント増加しています。また、「不満」の割合は平成 15 年度に 41.9%と高かったものの、その後乱高下し、平成 27 年度には約 10 ポイント減少しています。

重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 84.9%と非常に高い割合となっていました。平成 19 年度に一旦減少してから再び増加し、平成 27 年度には概ね横ばいになっています。一方、「重要でない」の割合は 10%未満で推移しています。

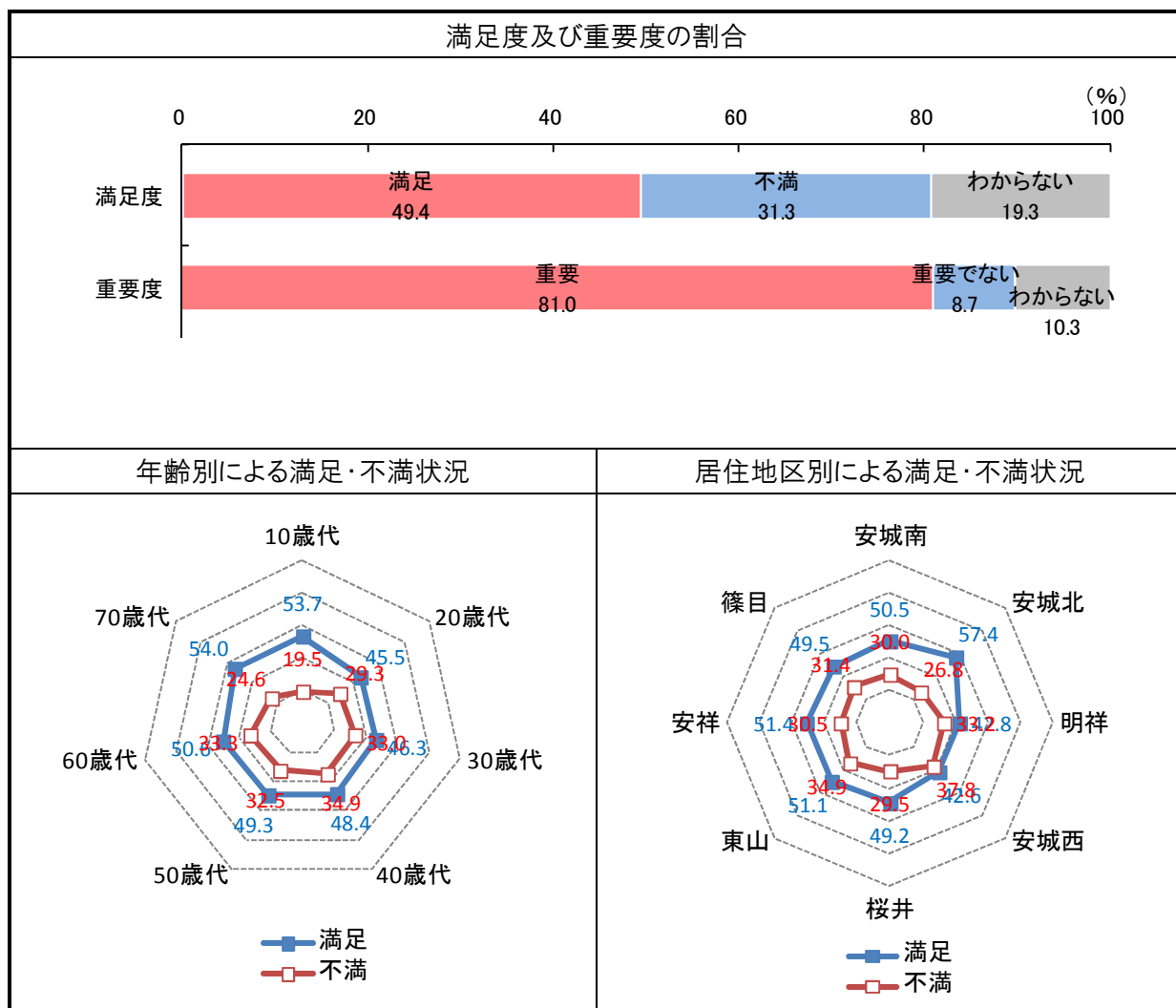


分野	3 都市基盤					
項目	5 公共交通					
主な取組	・ あんくるバスの運行拡充（循環線の増便、他市との接続等） ・ 安城駅、新安城駅のバリアフリー化（エレベーターの設置） ・ 自転車関連イベントの開催（ツールドじやんだら輪等）					
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.29	順位	42	位
	重要度		1.50		20	位

満足度は下位、重要度は概ね中位にあり、引き続き積極的な取組が求められているといえます。

年齢別において、交通弱者として想定される 10 歳代や 70 歳代の不満が他の年齢階級に比べて少なくなっており、公共交通の受益者からの満足度は高いと推察されます。

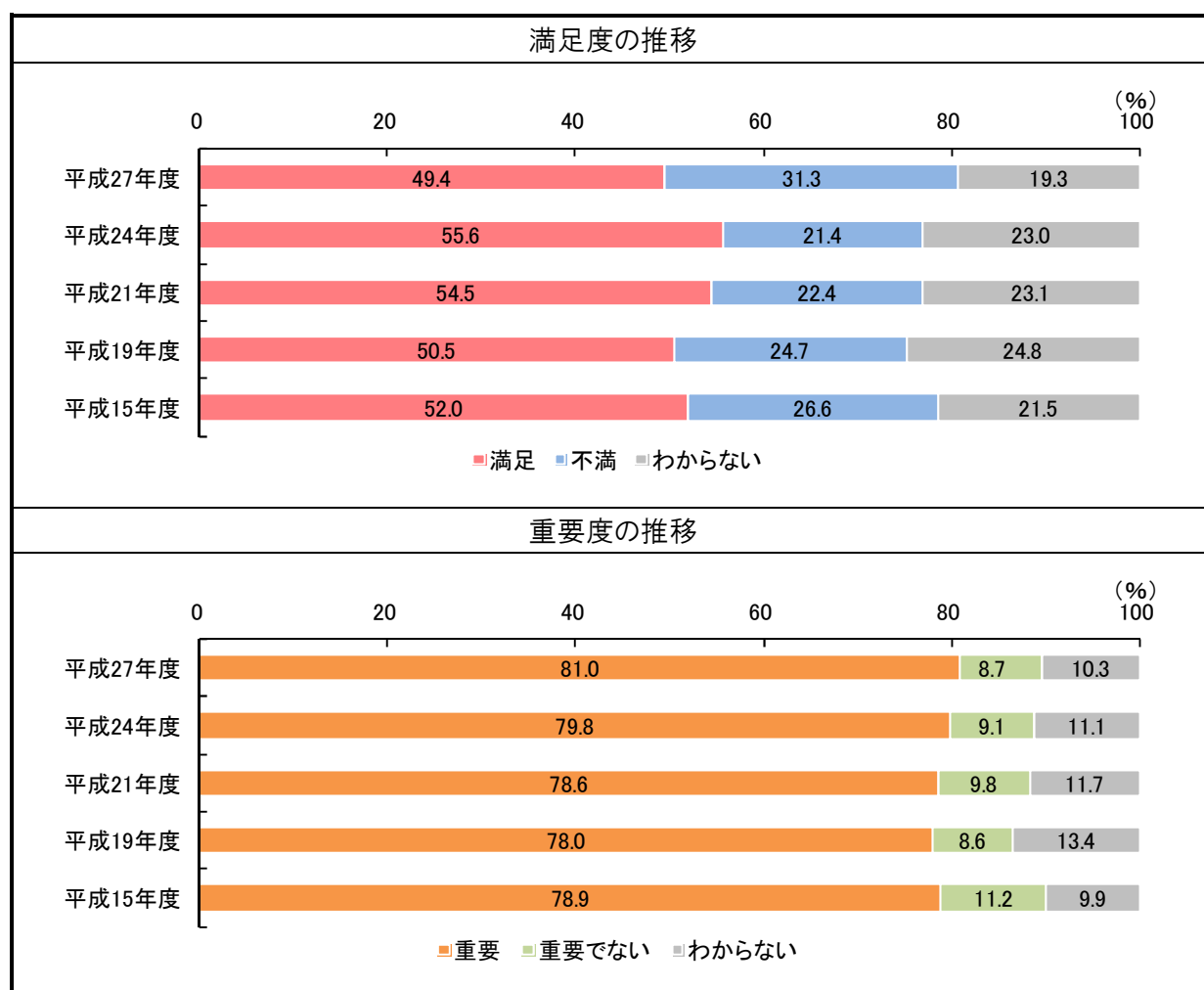
また、居住地区別では安城西や東山の不満の割合が他の地区に比べてやや多くなっています。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 52.0%から小刻みに変化し、平成 27 年度は約 3 ポイント減少しています。また、「不満」の割合は平成 15 年度に 26.6%であったものが、平成 27 年度には約 5 ポイント増加しています。

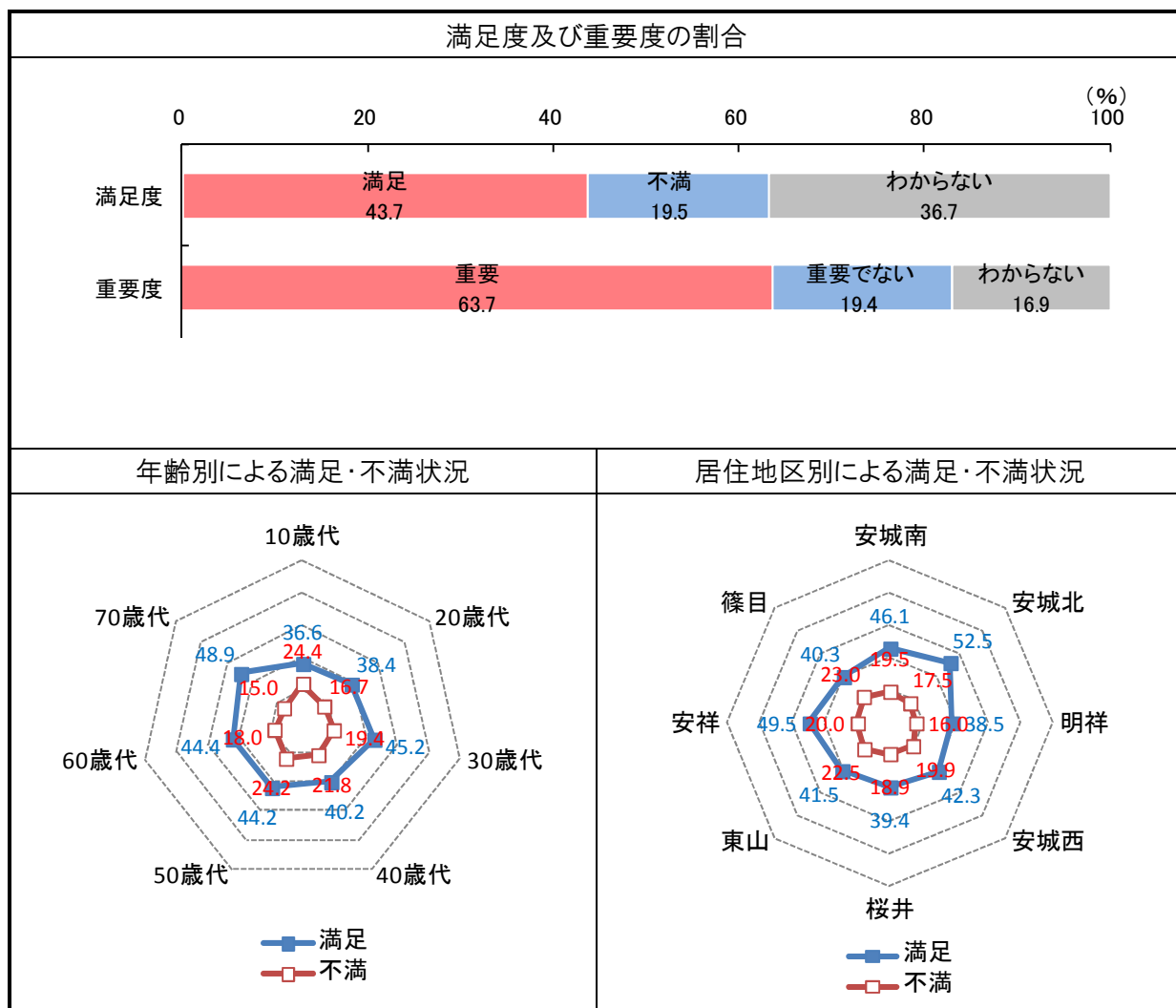
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 78.9%となっていました。その後は概ね横ばいで推移しています。一方、「重要でない」の割合は概ね 10%前後で推移しています。



分野	3 都市基盤				
項目	6 自転車の利用促進				
主な取組	・ レンタサイクル事業及び自転車購入補助の実施 ・ 明治用水緑道、自転車走行空間（大東住吉線）の整備 ・ J R 安城駅駐輪場の増築				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.50	順位	36 位
	重要度		0.93		40 位

満足度は下位、重要度は最下位にあり、取組に対する満足は得られていないものの、現在のままの取組に対するニーズは低いと言えます。ただし、満足度について、「わからない（36.8%）」割合が高いことから、取組に対する理解を深める必要があります。

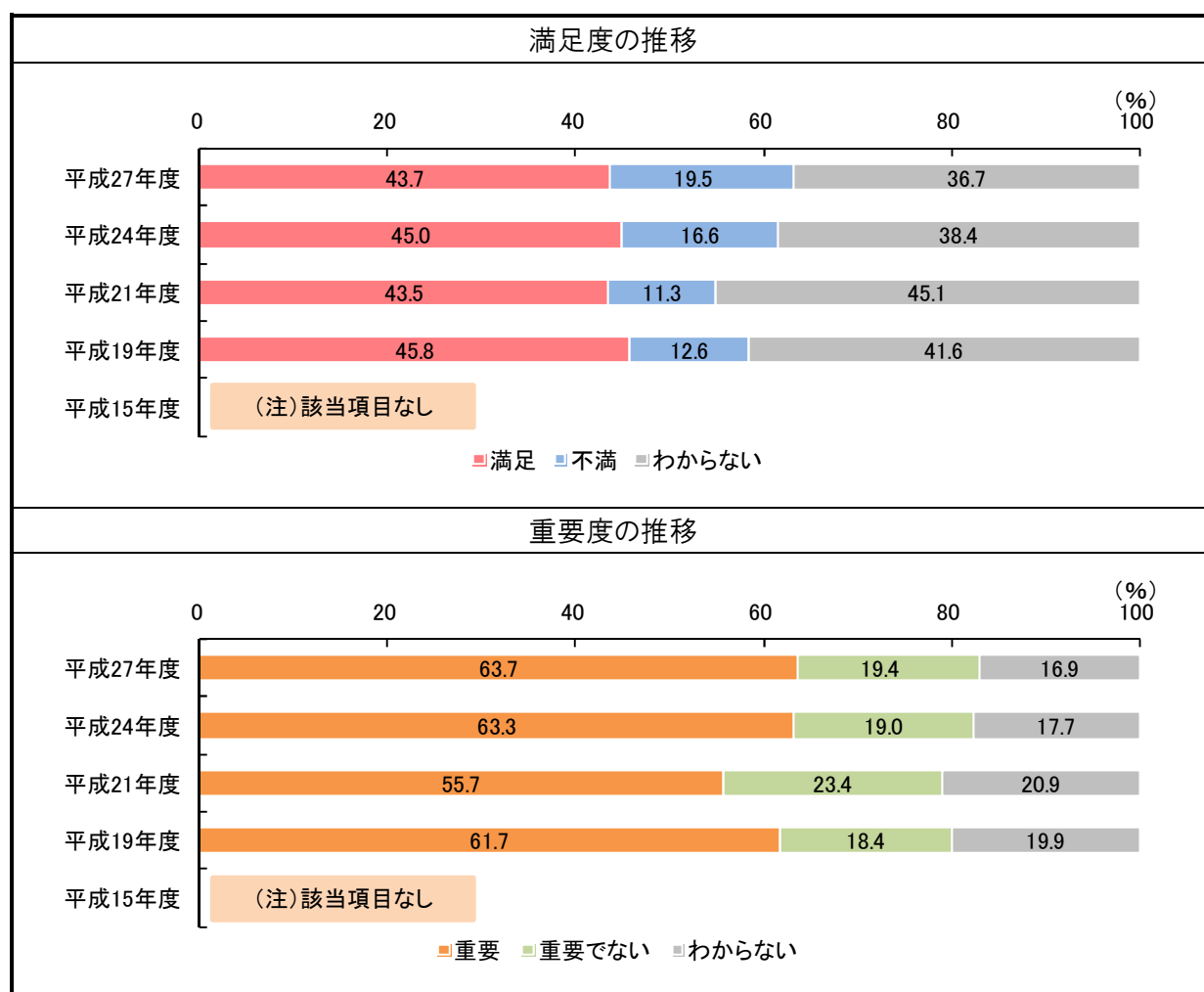
年齢別において、10 歳代や 50 歳代の不満の割合が他の年齢階級に比べてやや多くなっています。また、居住地区別では篠目や東山の不満の割合が他の地区に比べてやや多くなっています。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は調査を開始した平成 19 年度の 45.8%から平成 27 年度まで概ね横ばいで推移しています。また、「不満」の割合は平成 19 年度の 12.6%から平成 27 年度まで約 7 ポイント増加しています。

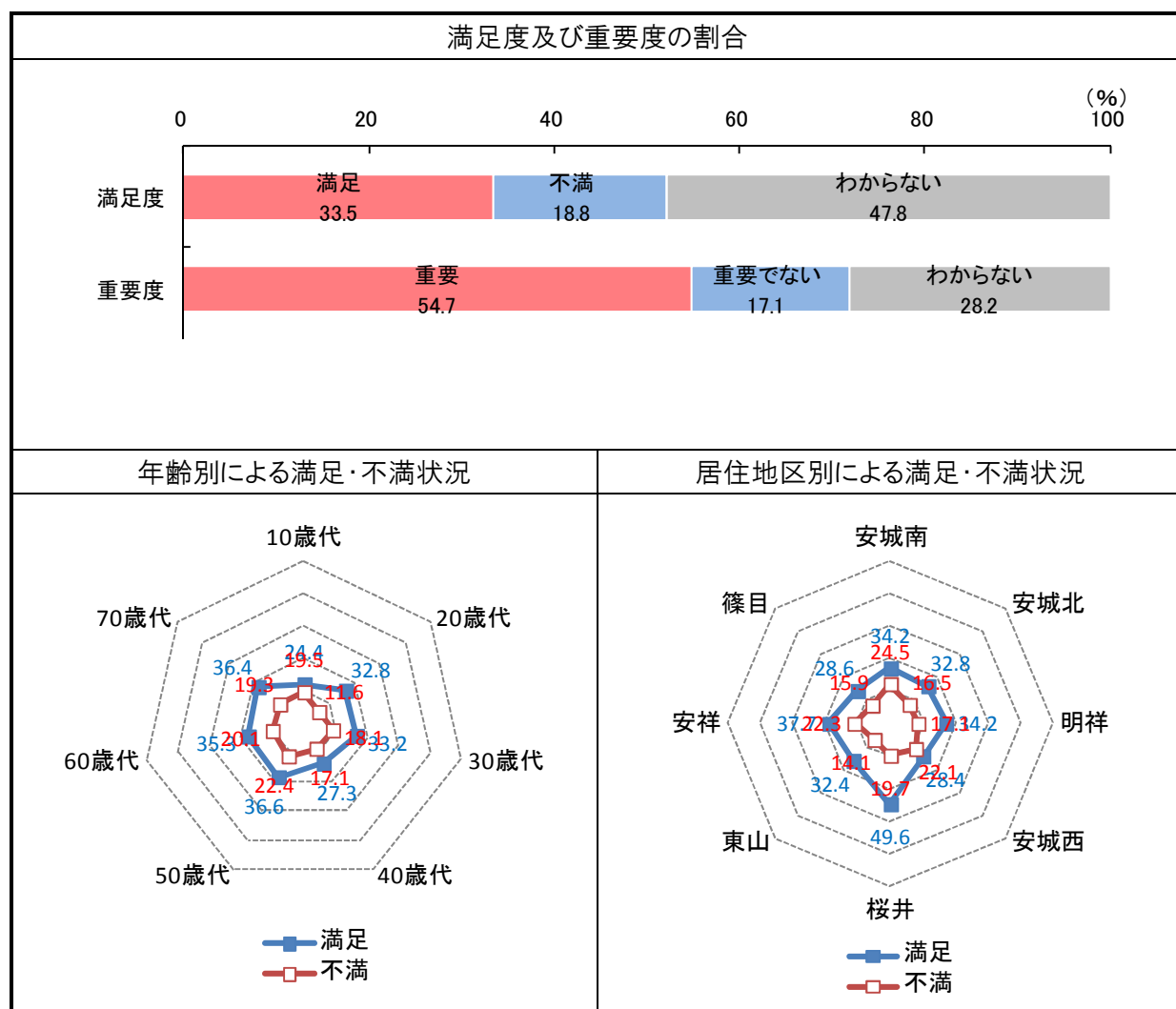
重要度について、「重要」の割合は平成 19 年度の 61.7%から平成 27 年度まで概ね横ばいで推移しています。また、「重要でない」の割合も平成 19 年度の 18.4%から平成 27 年度まで概ね横ばいで推移しています。



分野	3 都市基盤				
項目	7 市街地整備、区画整理事業				
主な取組	・ 桜井、南明治土地区画整理事業の実施 ・ 中心市街地拠点施設の整備促進				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.33	順位	41 位
	重要度		0.89		42 位

満足度と重要度はともに下位にあり、取組に対する満足は得られていないものの、現在のままの取組に対するニーズは低いといえます。ただし、満足度について、「わからない(47.8%)」割合が5割近いことから、取組に対する理解を深める必要があります。

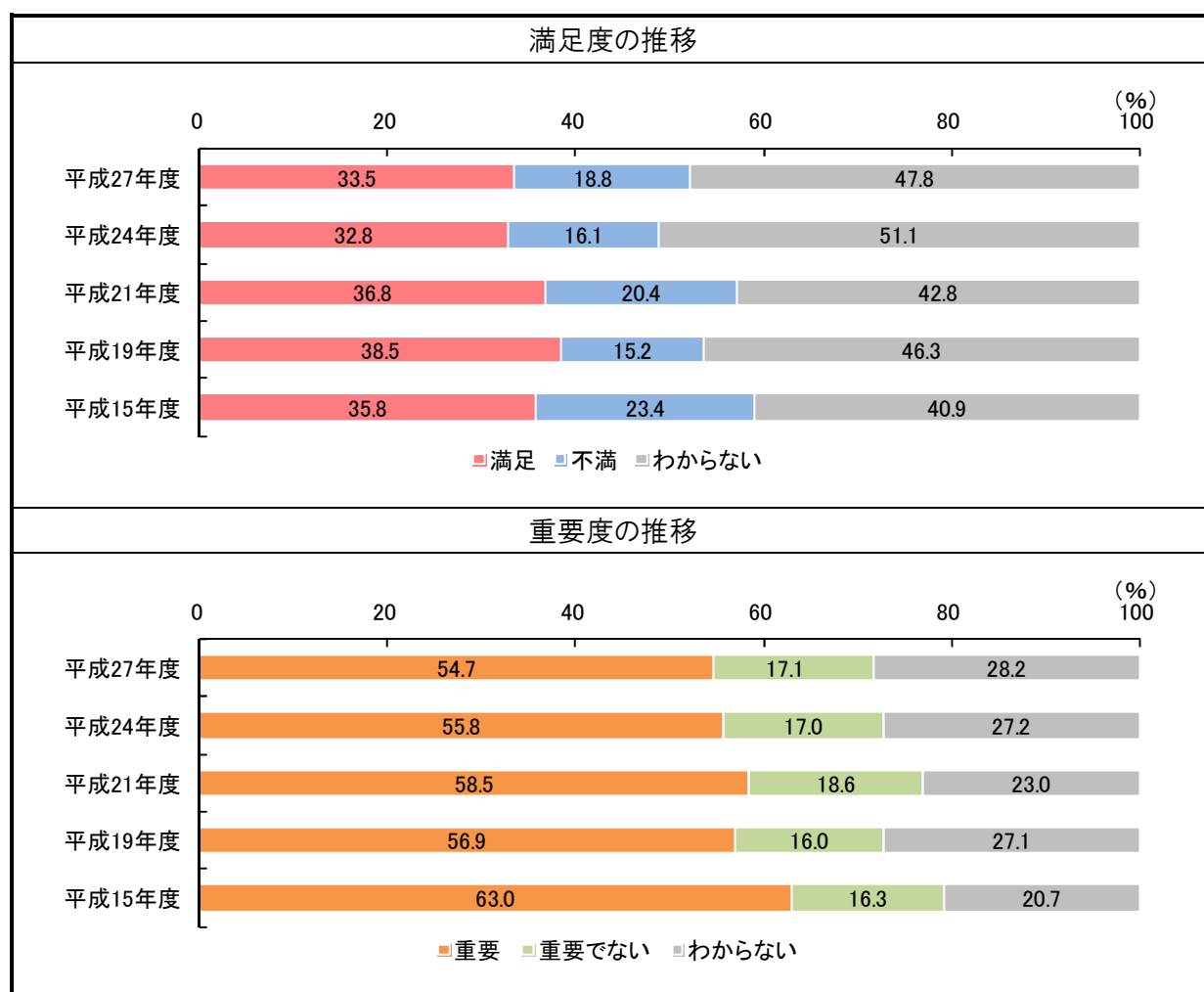
年齢別において、20歳代の不満の割合が少なくなっています。また、居住地区別では安城西や安祥、安城南の不満の割合が他の地区に比べてやや多くなっています。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 35.8%から増減し、平成 27 年度には概ね横ばいとなっています。また、「不満」の割合は平成 15 年度の 23.4%と比較して、平成 27 年度は約 5 ポイント減少しています。

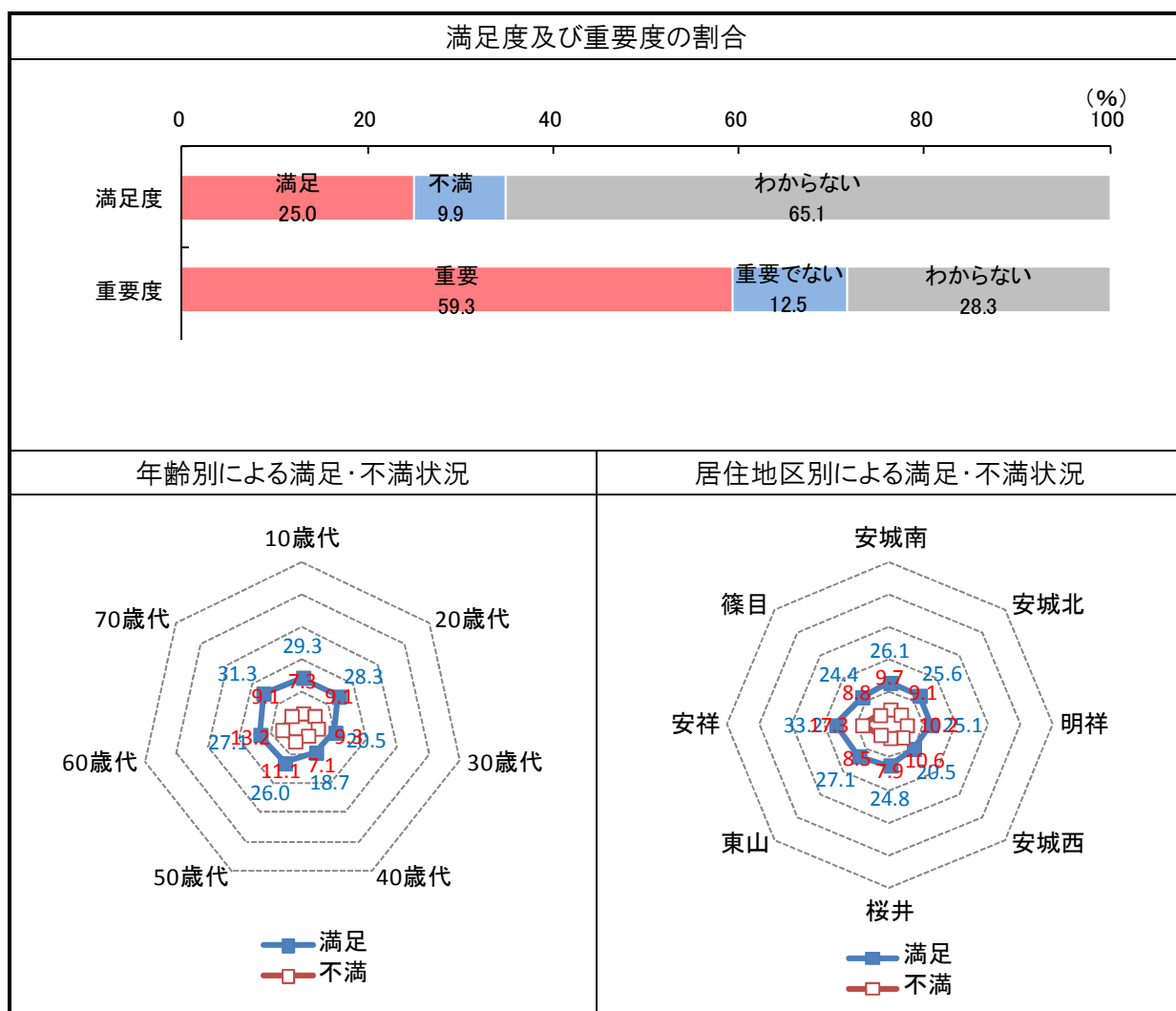
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 63.0%から平成 27 年度まで約 8 ポイント減少しています。また、「重要でない」の割合は平成 15 年度の 16.3%から平成 27 年度まで概ね横ばいで推移しています。



分野	3 都市基盤				
項目	8 公営住宅				
主な取組	・ 市営住宅の耐震補強 ・ 市営住宅のバリアフリー化（エレベーター、手すり設置）				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.58	順位	31 位
	重要度		1.10		36 位

満足度は真ん中よりやや下位、重要度は下位にあり、満足は得られていないものの、現在のままの取組の継続ニーズは低いといえます。ただし、満足度について、「わからない(65.1%)」割合が6割を超えており、同時に、取組に対する理解を深めることが重要です。

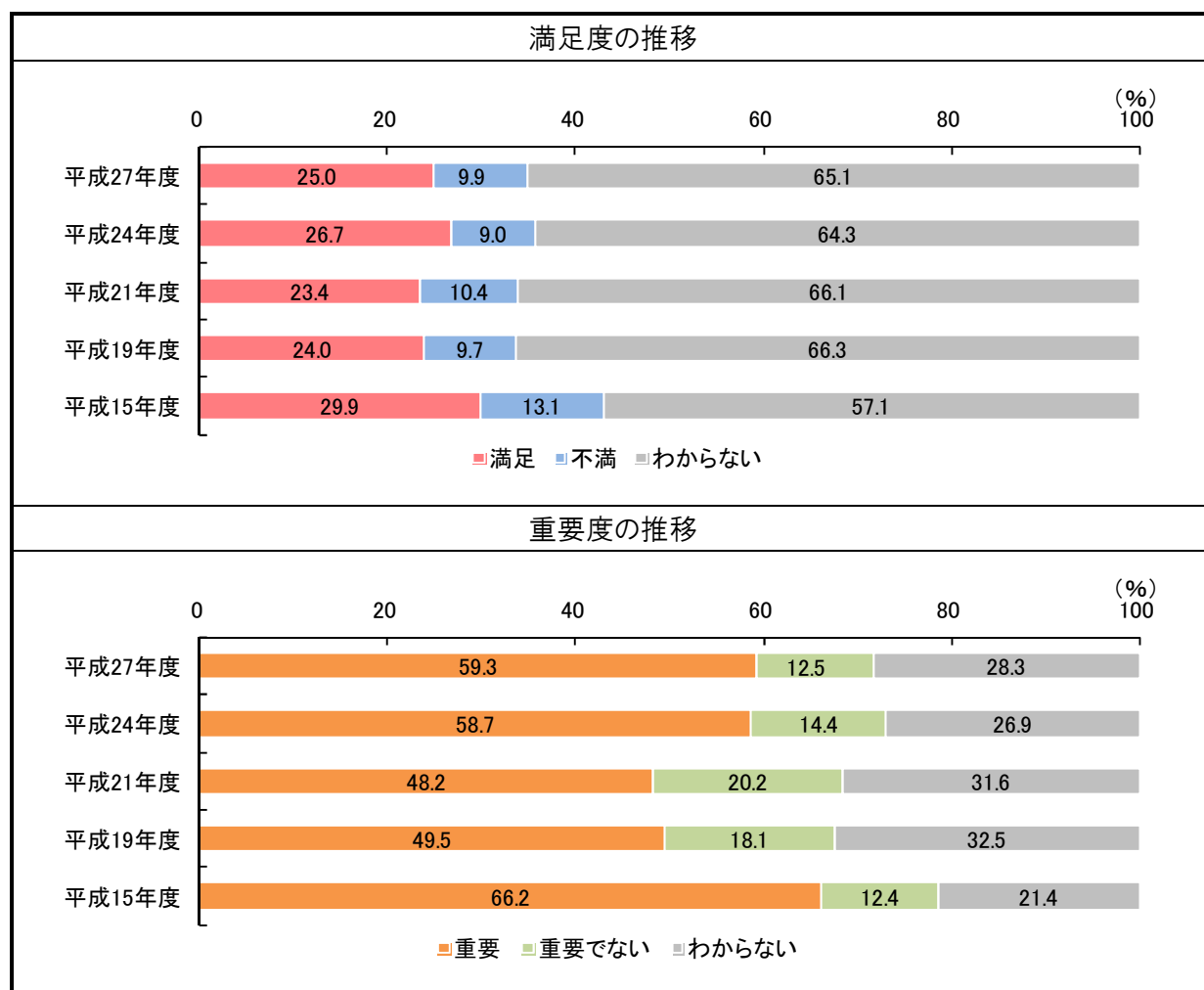
年齢別による満足度の違いはほとんどみられません。また、居住地区別では、安祥の不満の割合が他の地区に比べてやや多くなっています。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 29.9%から平成 27 年度まで約 5 ポイント減少しています。また、「不満」の割合も平成 15 年度の 13.1%から若干減少しています。

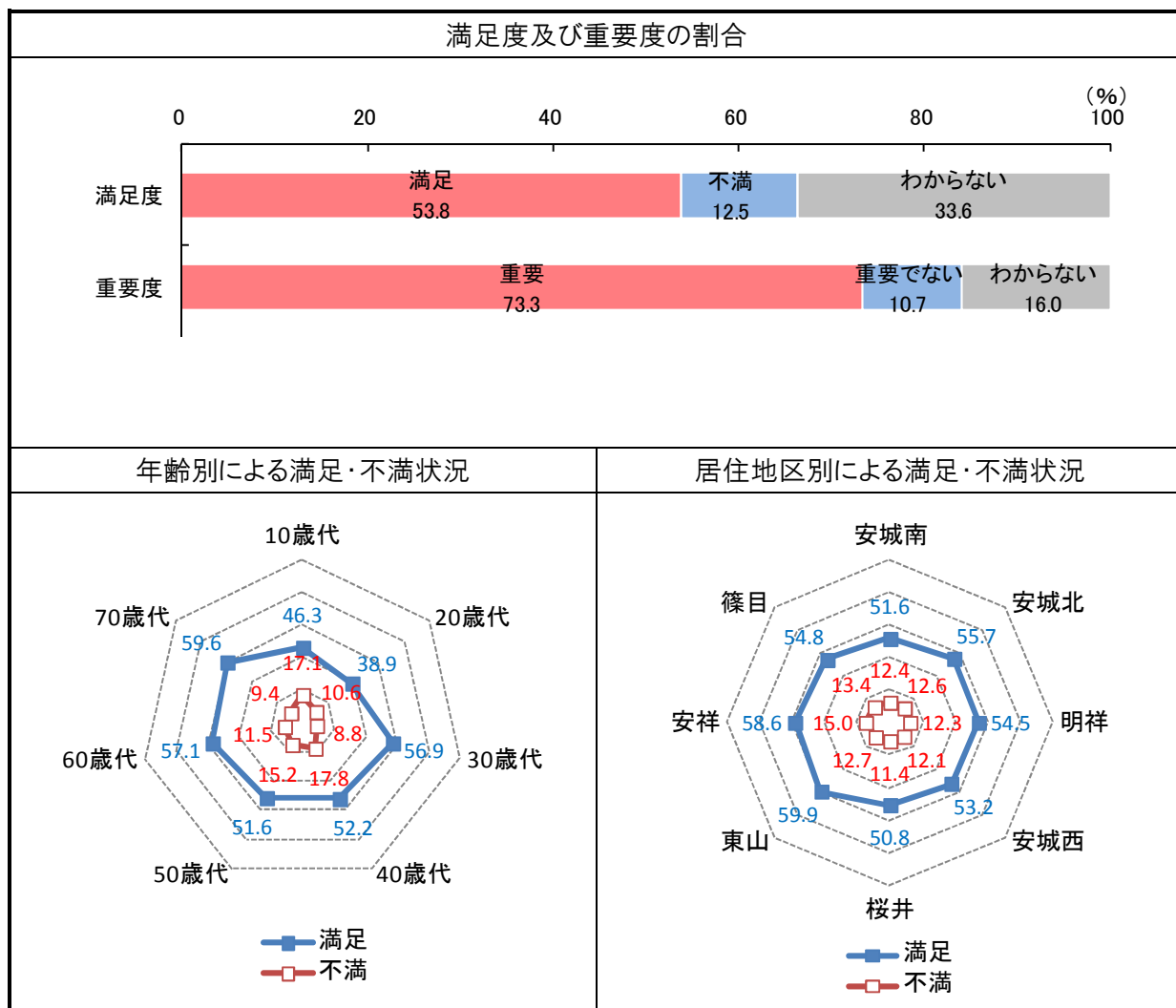
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 66.2%から一旦減少、その後増加に転じ、平成 27 年度には約 7 ポイントの減少となっています。一方、「重要でない」の割合は平成 15 年度の 12.4%から一旦増加するものの、平成 27 年度には概ね同水準となっています。



分野	4 教育文化				
項目	1 生涯学習の推進				
主な取組	・ 公民館等による趣味、教養講座や社会課題に関する講座の開催、自主グループの育成 ・ 図書館の充実と子ども読書の推進				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.91	順位	6 位
	重要度		1.30		28 位

満足度は上位、重要度は真ん中よりやや下位にあります。満足は概ね得られており、現在の取組を継続することについては、それ程、求められていないといえます。

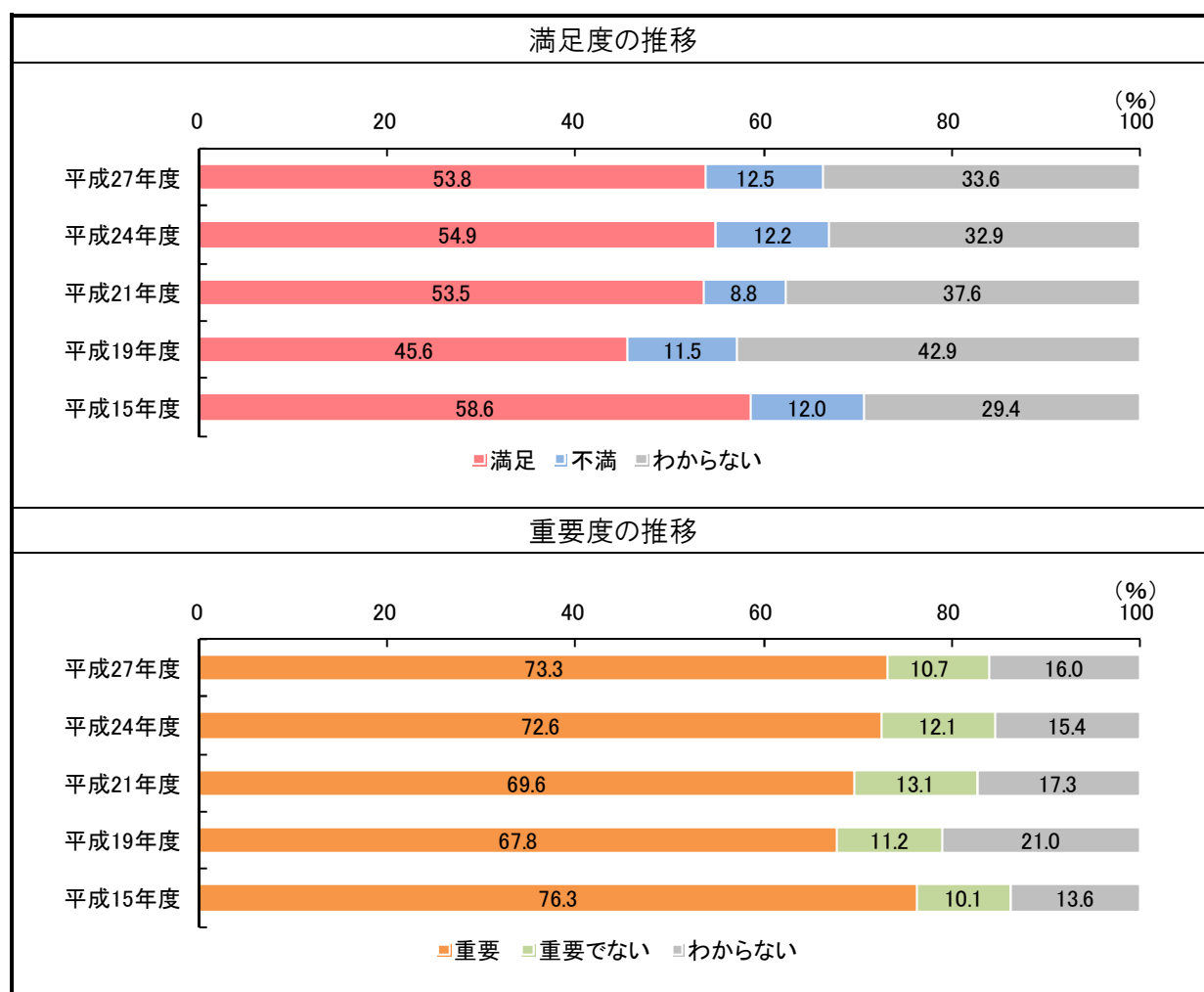
年齢別において、10 歳代や 40 歳代の不満の割合が他の年齢階級と比較して多くなっています。また、居住地区別による満足度の違いはほとんどみられません。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 58.6%から平成 19 年度に一旦下がり、その後増加するものの、平成 27 年度には約 5 ポイント減少となり回復には至りません。また、「不満」の割合は平成 15 年度の 12.0%から横ばい傾向にあります。

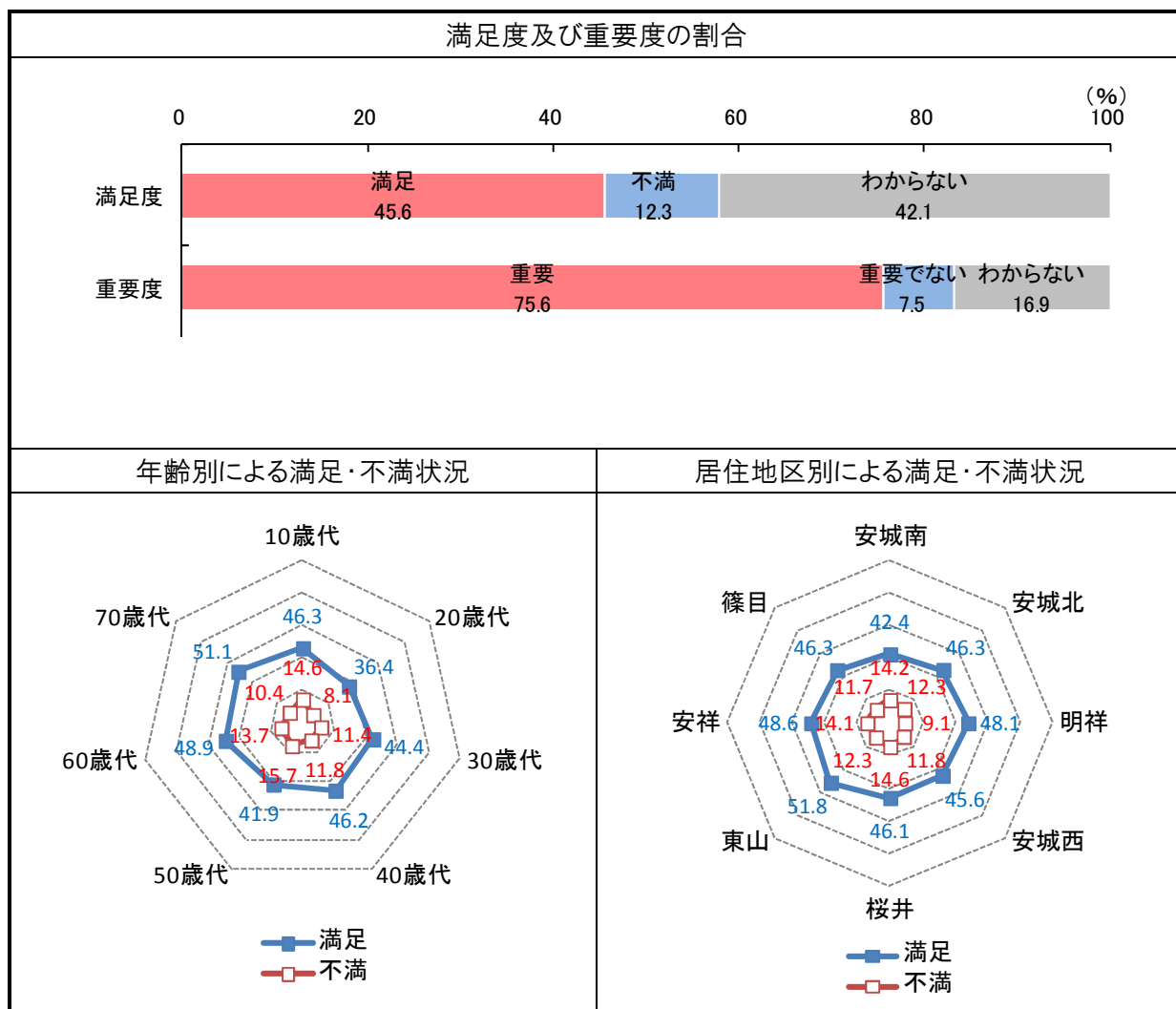
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 76.3%から平成 27 年度には約 3 ポイントの減少となっています。また、「重要でない」の割合は平成 15 年度の 10.1%から横ばい傾向にあります。



分野	4 教育文化				
項目	2 青少年の育成				
主な取組	- 子ども会・青少年団体やジュニアリーダーの育成、青少年ボランティアへの活動支援 - こども110番の家の設置				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.82	順位	11 位
	重要度		1.47		21 位

満足度は真ん中よりやや上位、重要度は概ね中位にあり、概ね満足を得られており、今後も取組が求められているといえます。ただし、満足度について、「わからない（42.1%）」割合が4割を超えることから、取組に対する理解を深める必要があります。

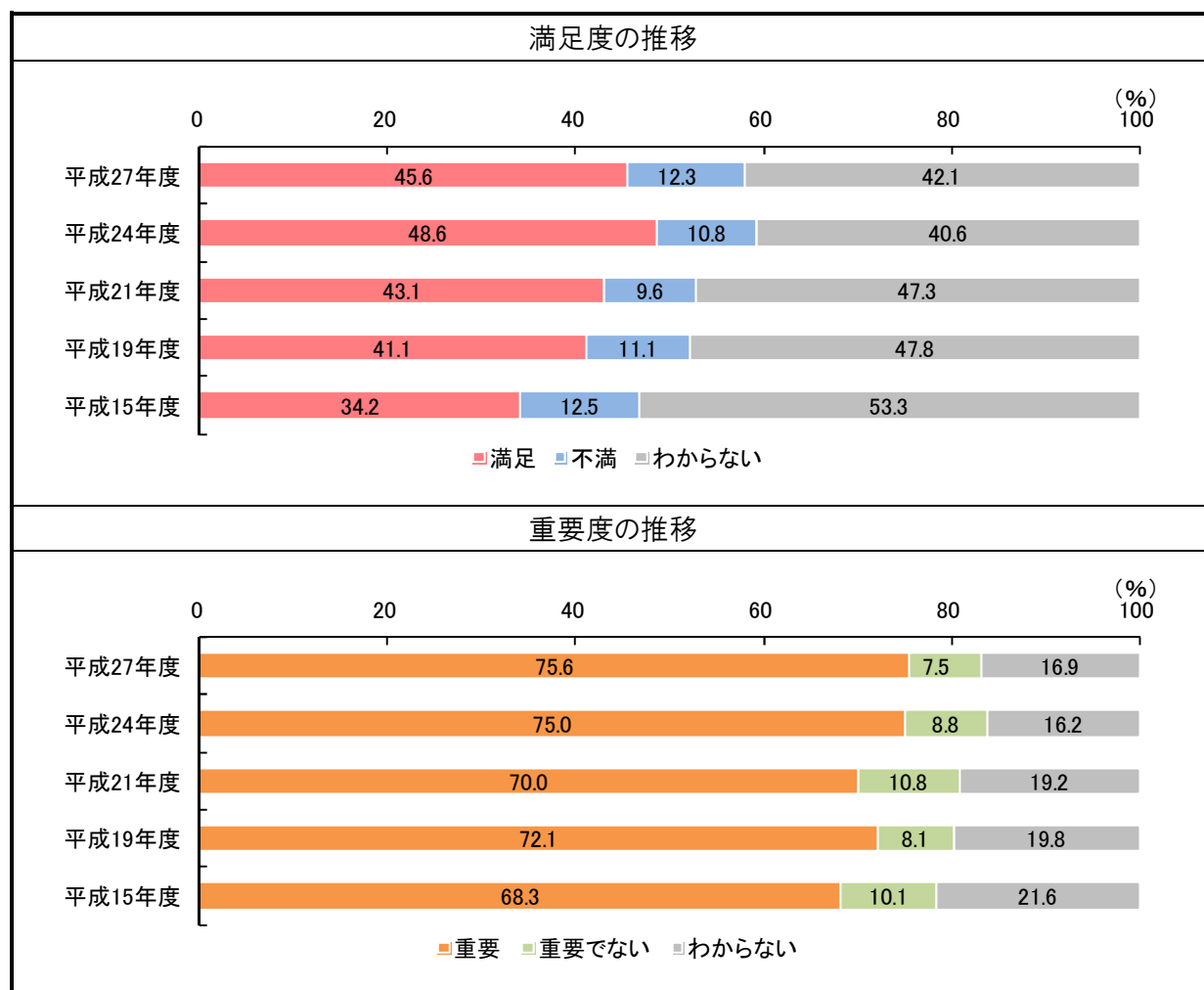
年齢別において、20歳代の不満の割合が他の年齢階級と比較してやや少なくなっています。また、居住地区別による満足度の違いはほとんどみられません。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 34.2%から平成 27 年度まで約 10 ポイント増加しています。また、「不満」の割合は平成 15 年度の 12.5%から横ばい傾向にあります。

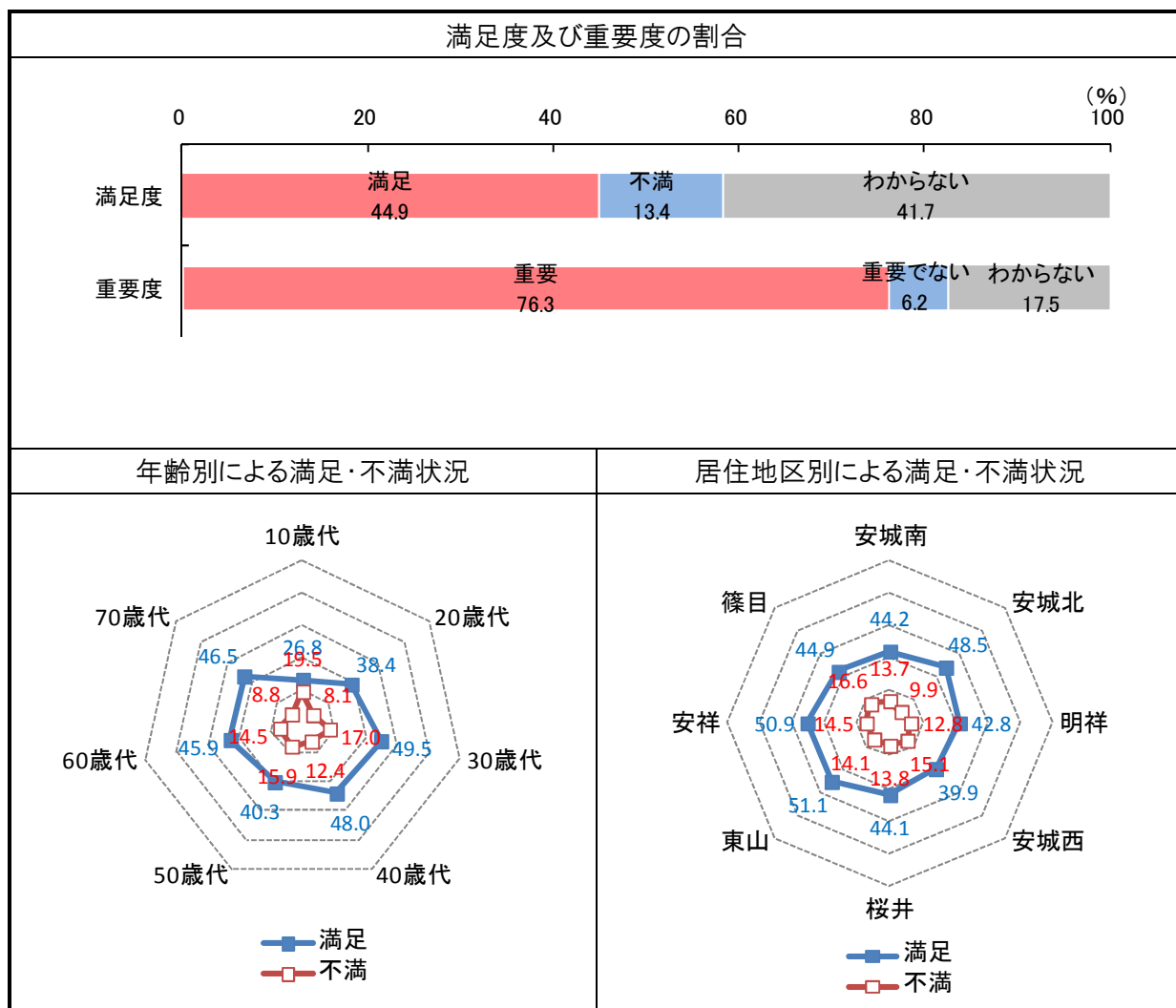
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 68.3%から平成 27 年度まで約 7 ポイント増加しています。一方、「重要でない」の割合は平成 15 年度の 10.1%から横ばいから若干減少しています。



分野	4 教育文化				
項目	3 幼児教育				
主な取組	・ 幼稚園教育の充実 ・ 世代間交流、子育て相談・講座の実施 ・ 第3子以降の幼稚園授業料の無料化				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.83	順位	10 位
	重要度		1.65		14 位

満足度は上位、重要度は真ん中よりやや上位にあり、引き続き積極的な取組が求められているといえます。ただし、満足度について、「わからない（41.7%）」割合が4割を超えることから、取組に対する理解を深める必要があります。

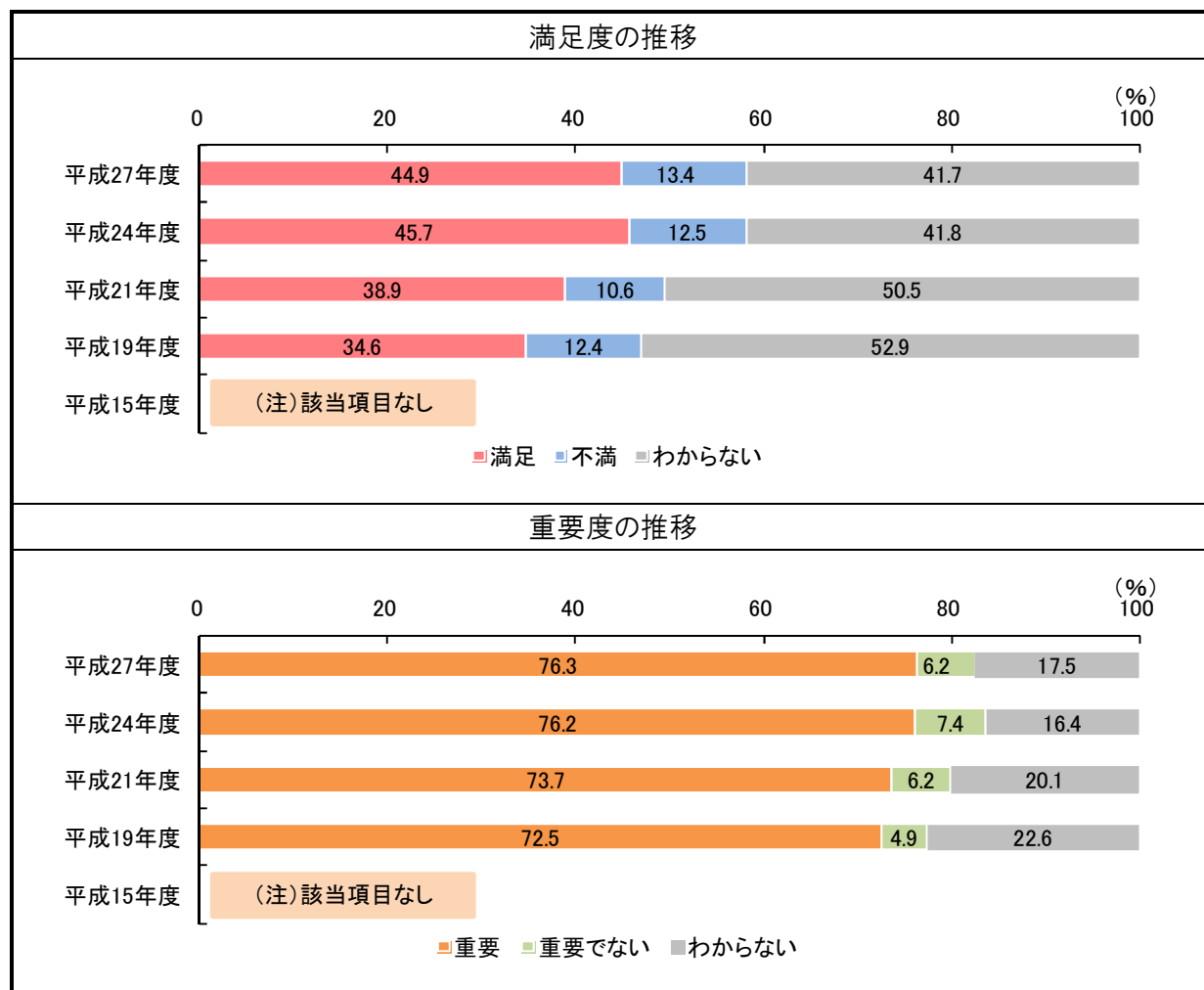
年齢別において、10歳代や30歳代の不満の割合が他の年齢階級と比較して多くなっています。また、居住地区別では安城北や東山、安祥の満足の割合が他の地区に比べてやや多くなっています。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は調査を開始した平成 19 年度の 34.6%から平成 27 年度まで約 10 ポイント増加しています。また、「不満」の割合は平成 19 年度の 12.4%から横ばい傾向にあります。

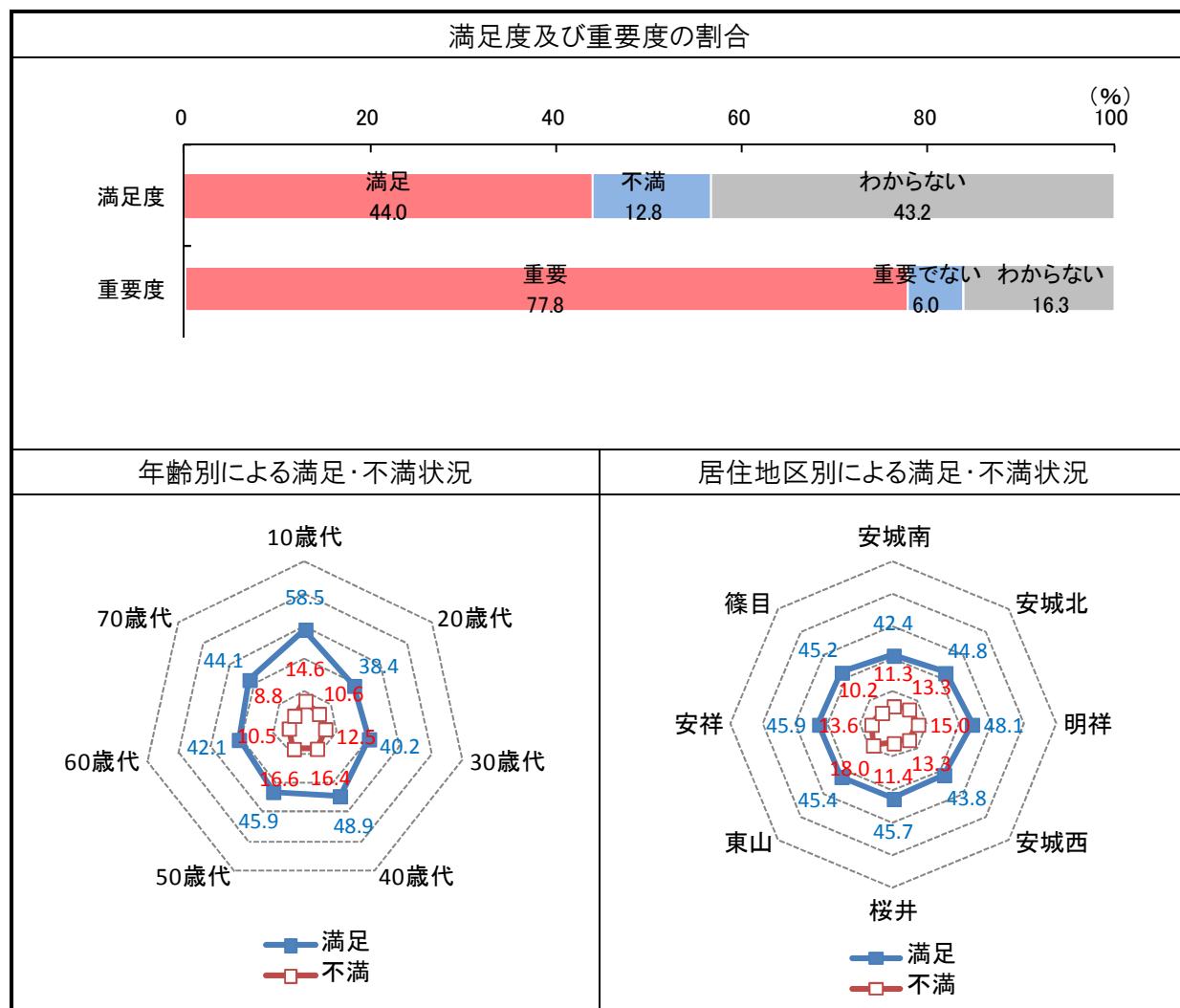
重要度について、「重要」の割合は平成 19 年度の 72.5%から平成 27 年度まで約 4 ポイント増加しています。一方、「重要でない」の割合は 10%未満で推移しています。



分野	4 教育文化				
項目	4 義務教育				
主な取組	・ 中学校1年生、小学校3年生までの少人数学級の実施 ・ 学校施設の改修（トイレ・バリアフリー化など） ・ 授業での情報機器の活用				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.81	順位	15 位
	重要度		1.65		15 位

満足度と重要度はともに真ん中よりやや上位にあり、引き続き積極的な取組が求められているといえます。ただし、満足度について、「わからない（43.2%）」割合が4割を超えることから、取組に対する理解を深める必要があります。

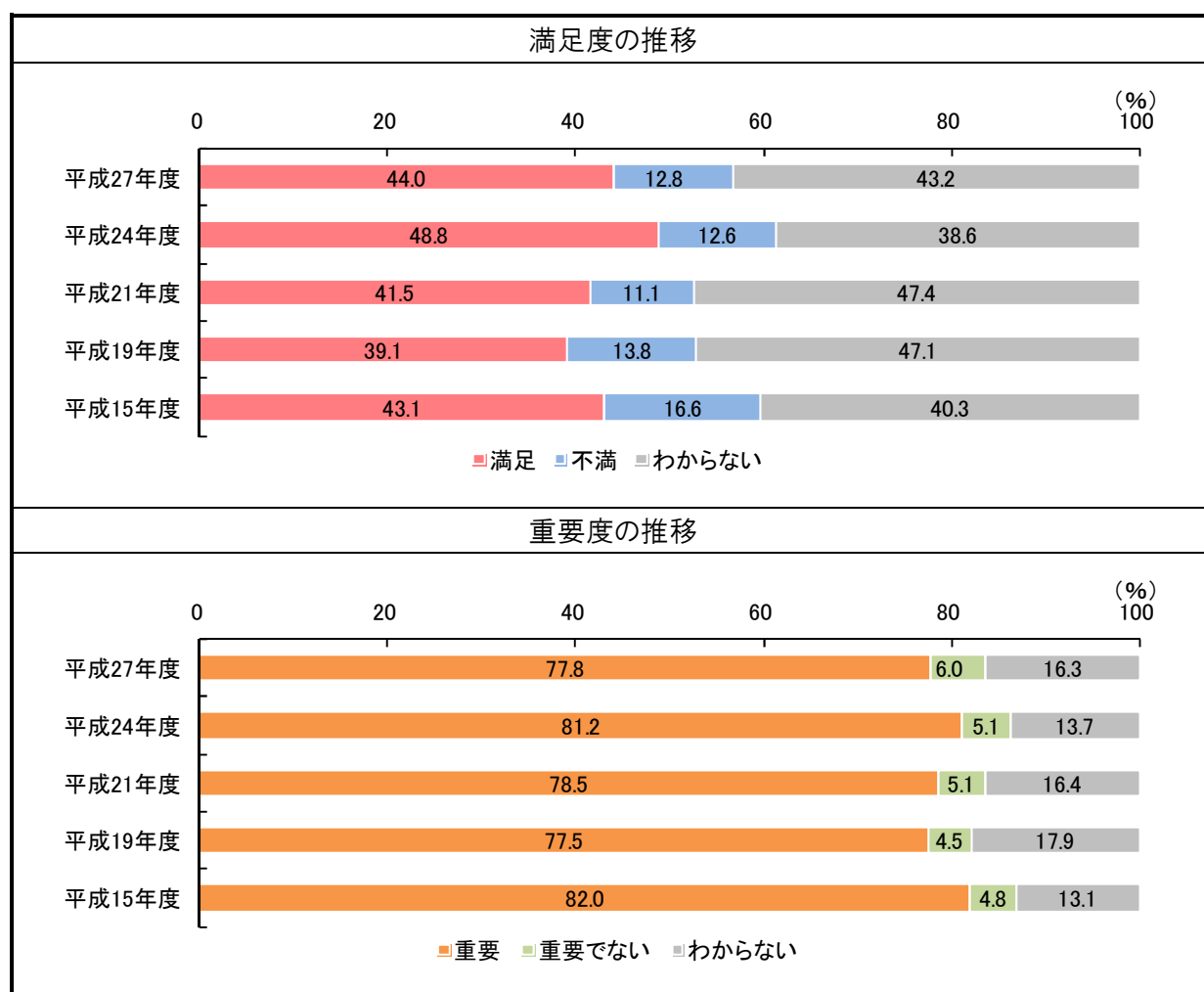
年齢別において、10歳代や40歳代、50歳代の満足の割合が他の年齢階級と比べて多くなっています。また、居住地区別では東山の不満の割合が、他の地区に比べて多くなっています。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 43.1%から減少と増加の波があるものの、平成 27 年度はほぼ横ばいとなっています。また、「不満」の割合は平成 15 年度の 16.6%から約 4 ポイント減少しています。

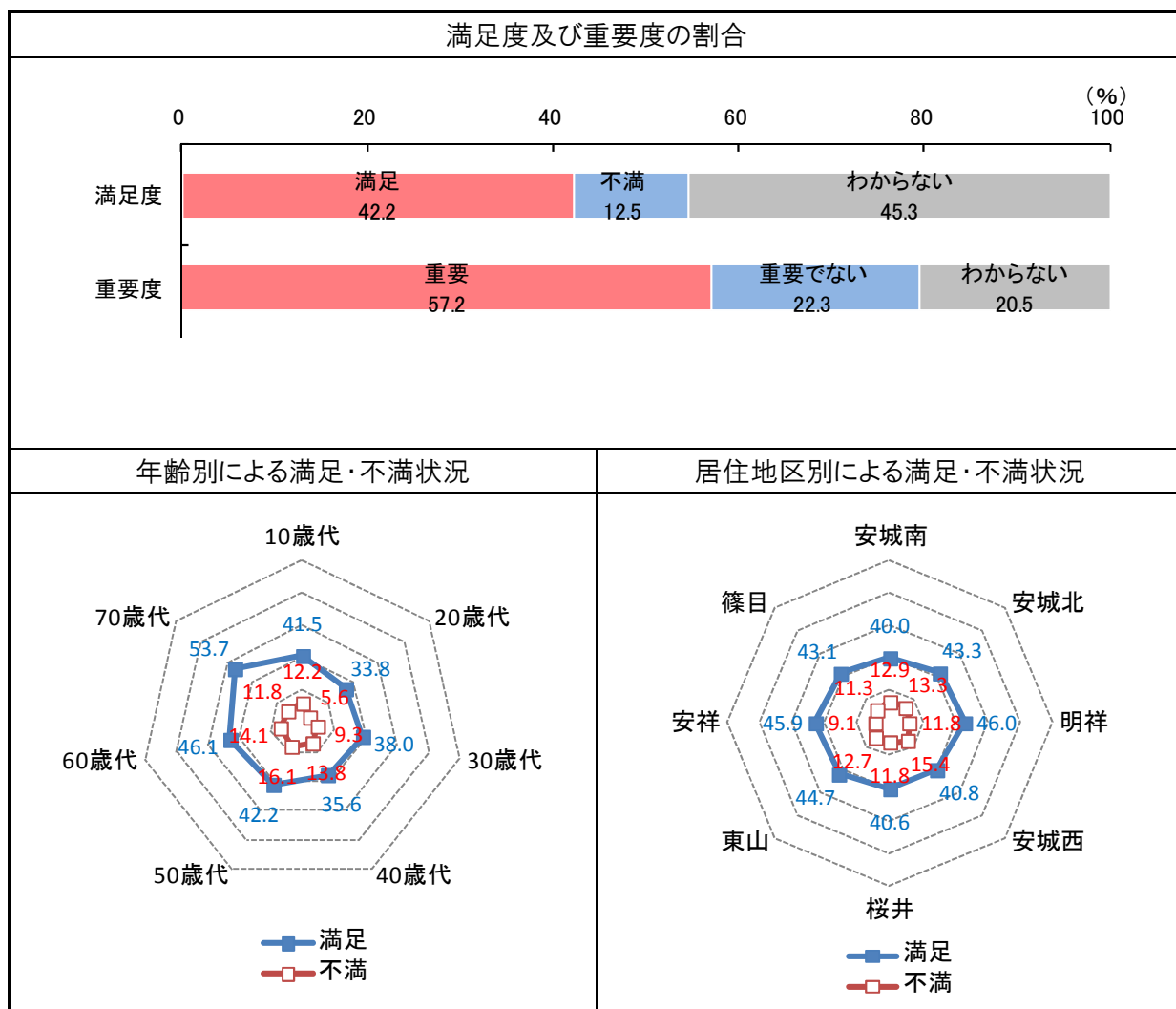
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 82.0%からやや減少し、平成 27 年度まで約 4 ポイント減少しています。一方、「重要でない」の割合は概ね 5%程度で推移しています。



分野	4 教育文化				
項目	5 文化振興				
主な取組	・ 市民会館の文化鑑賞会等の実施 ・ 安美展等市民参加による文化芸術活動の促進 ・ 市民公募文化事業による舞台公演の支援				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.77	順位	19 位
	重要度		0.70		45 位

満足度は概ね中位、重要度は最下位にあり、今後、現在の取組を継続していくニーズは低いといえます。ただし、満足度について、「わからない（45.3%）」割合が4割を超えていることから、取組に対する理解を深める必要があります。

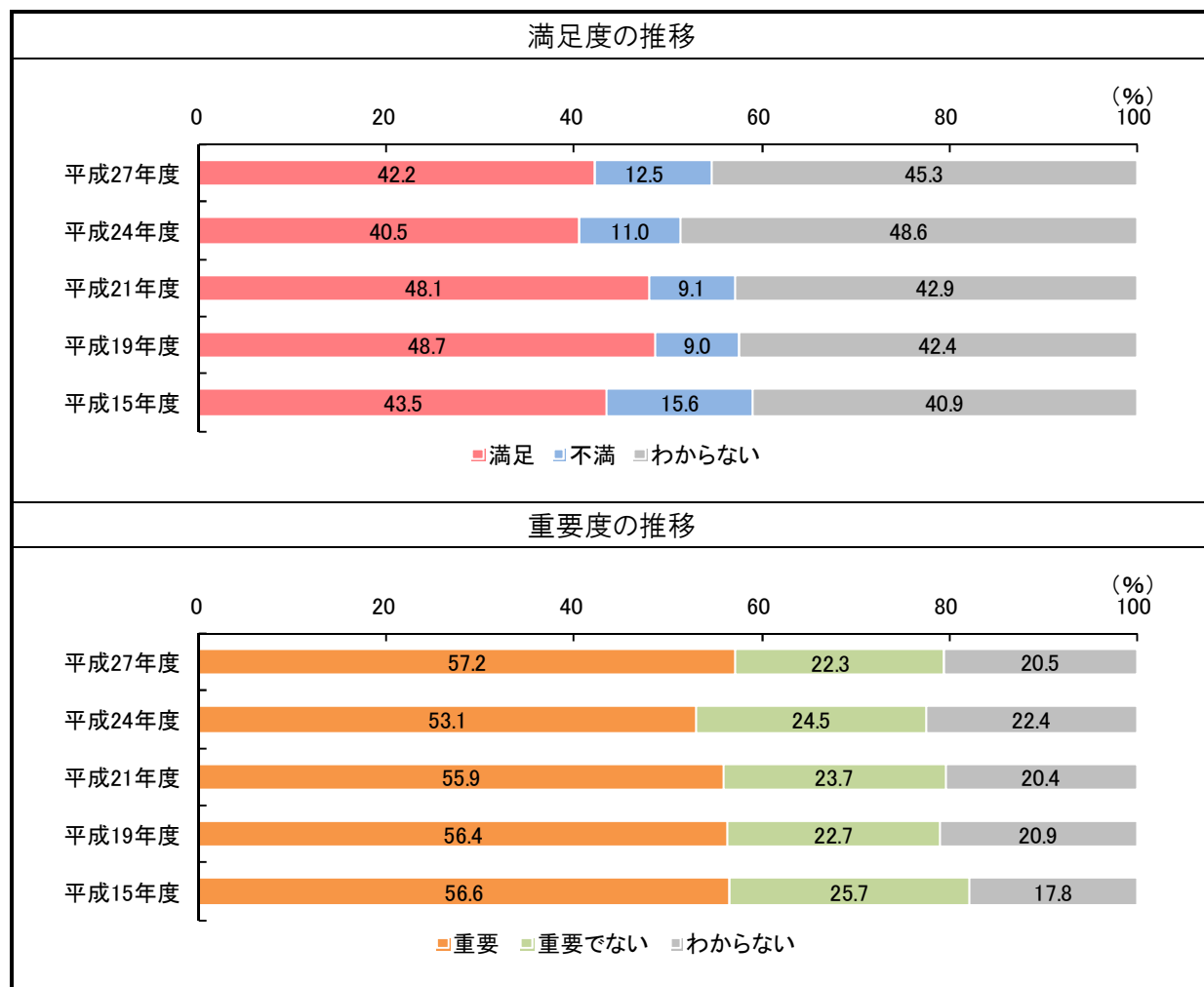
年齢別において、40歳代から60歳代の不満の割合が他の年齢階級と比べて多くなっています。また、居住地区別による満足度の違いはほとんどみられません。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 43.5%から増加と減少の波があるものの、平成 27 年度はほぼ横ばいとなっています。また、「不満」の割合は平成 15 年度の 15.6%から約 3 ポイント減少しています。

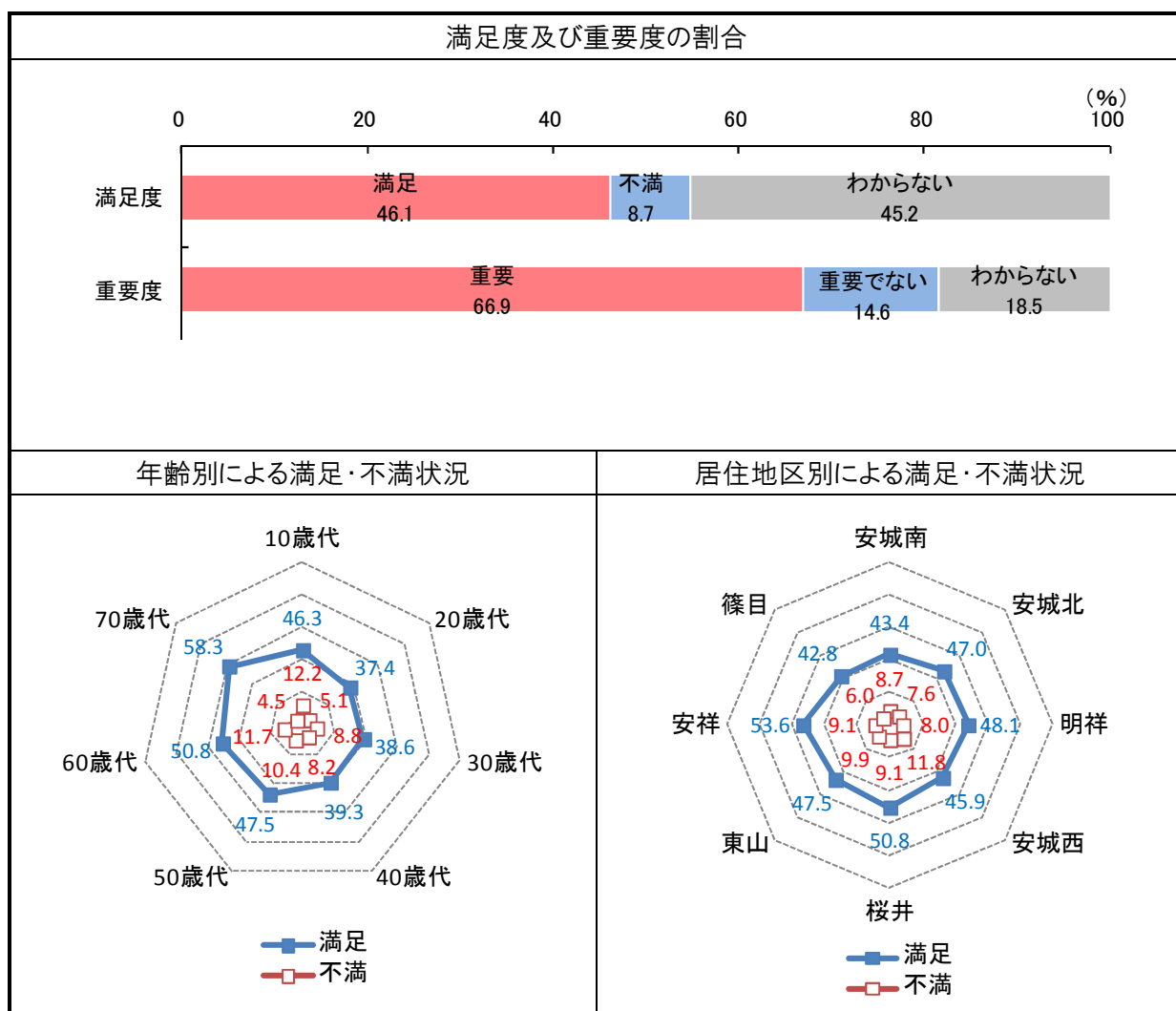
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 56.6%から徐々に減少していましたが、平成 27 年度に再び増加して、ほぼ横ばいとなっています。一方、「重要でない」の割合は平成 15 年度の 25.7%からやや減少傾向にあり、平成 27 年度には約 3 ポイントの減少となっています。



分野	4 教育文化				
項目	6 文化財の保護				
主な取組	・ 歴史博物館企画展等の普及啓発活動 ・ 歴史的建造物、遺跡等の調査と保護、三河万歳等の伝承活動 ・ 本證寺境内の国史跡指定や、史跡としての活用・整備				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.97	順位	5 位
	重要度		1.03		38 位

満足度は上位、重要度は下位にあり、現在の取組に対する満足は得られていることから、継続していくニーズは低いといえます。ただし、満足度について、「わからない（45.2%）」割合が4割を超えていることから、取組に対する理解を深める必要があります。

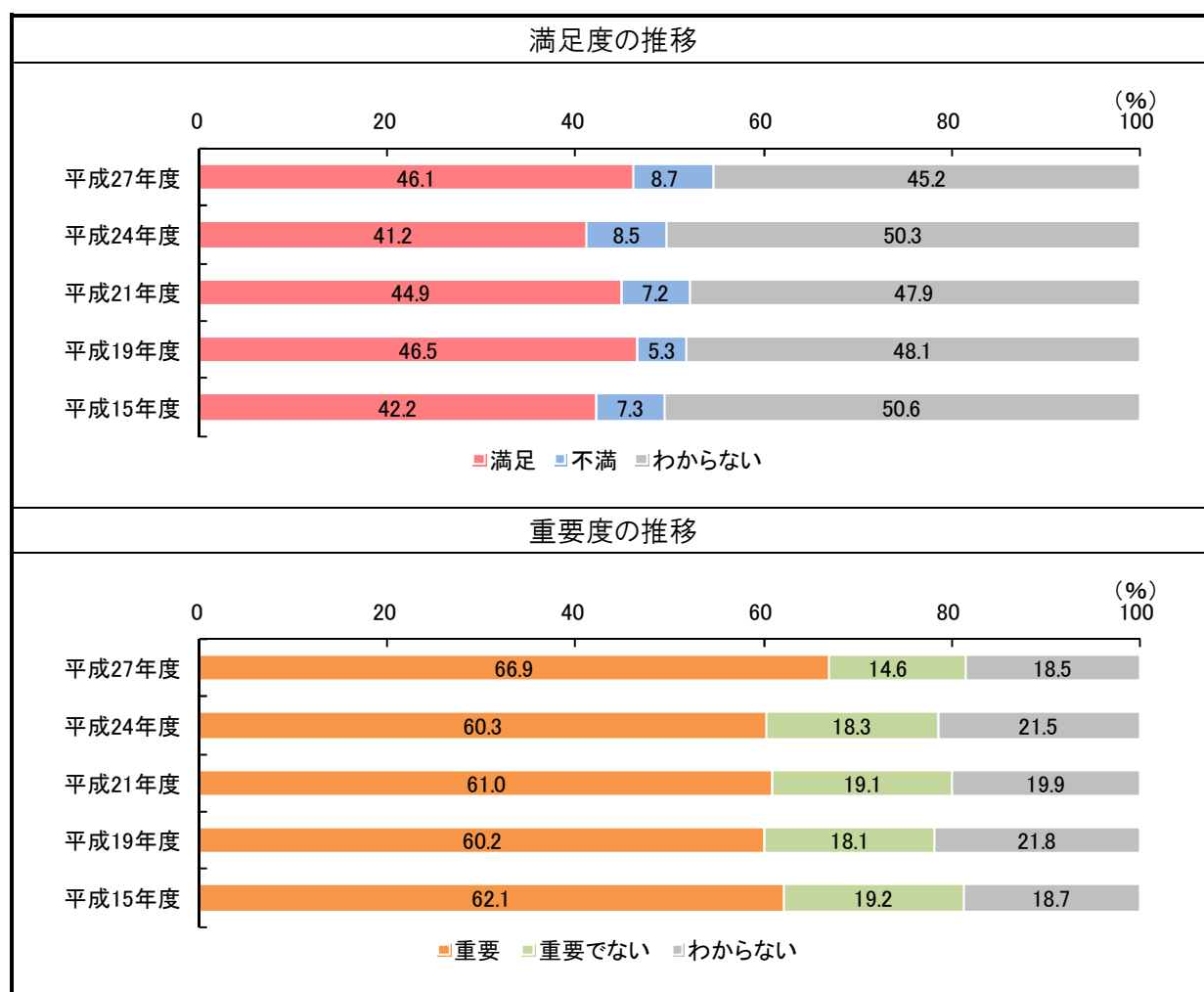
年齢別において、20歳代や70歳代の不満の割合が他の年齢階級と比べて少なくなっています。また、居住地区別による満足度の違いはほとんどみられません。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 42.2%から増加と減少の波があり、平成 27 年度は約 4 ポイント増加しています。また、「不満」の割合は平成 15 年度の 7.3%から概ね横ばいで推移しています。

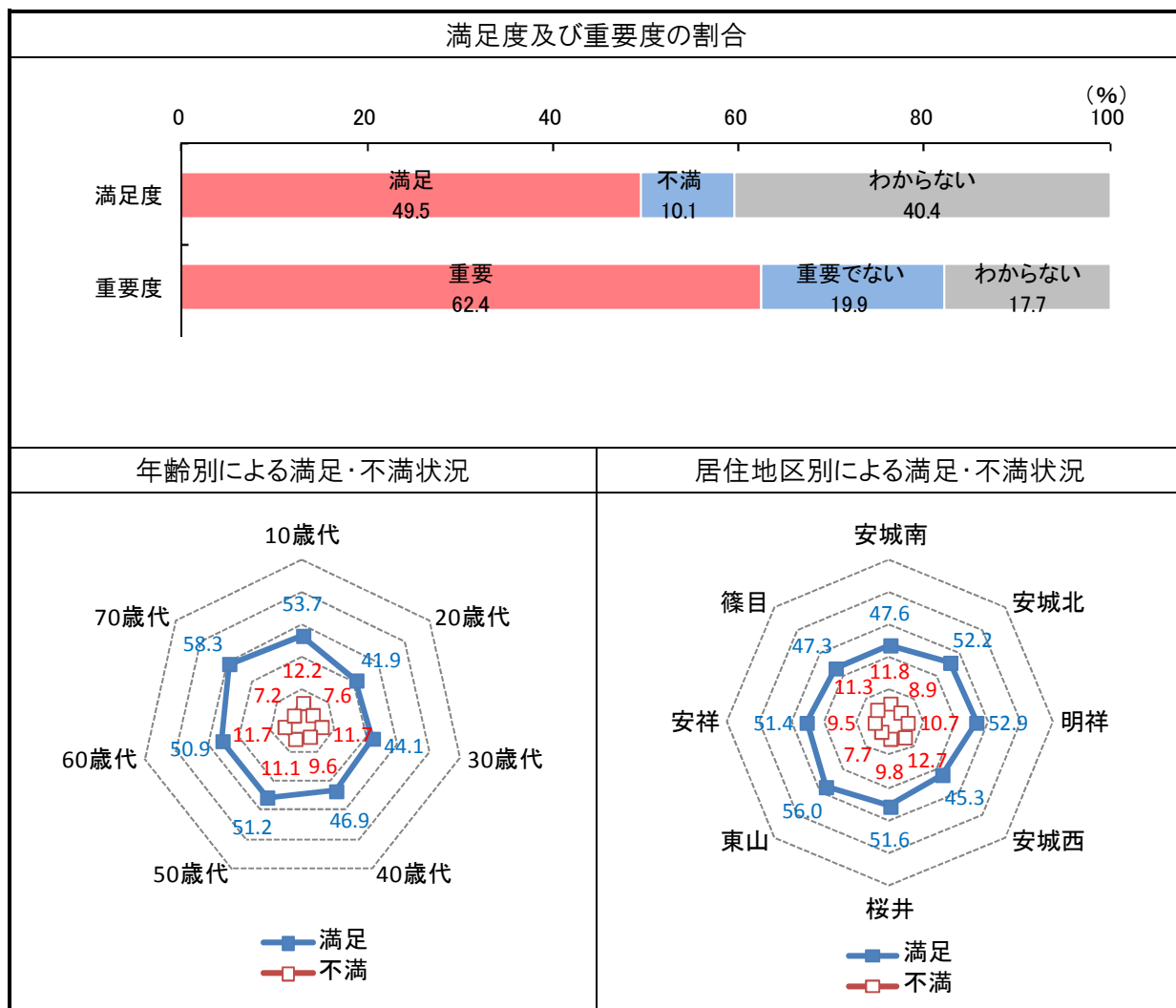
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 62.1%からやや減少していたものの、平成 27 年度には再び増加に転じ、約 5 ポイントの増加となっています。一方、「重要でない」の割合は平成 15 年度の 19.2%から平成 27 年度までに約 5 ポイント減少しています。



分野	4 教育文化				
項目	7 スポーツの振興				
主な取組	・ 総合運動公園テニスコート人工芝の改修 ・ 安城シティマラソン・デンパーク駅伝の開催 ・ おはよう！ふれあいラジオ体操会の開催				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.98	順位	4 位
	重要度		0.84		43 位

満足度は上位、重要度は下位にあり、現在の取組に対する満足は得られていることから、継続していくニーズは低いといえます。ただし、満足度について、「わからない（40.4%）」割合が4割を超えることから、取組に対する理解を深める必要があります。

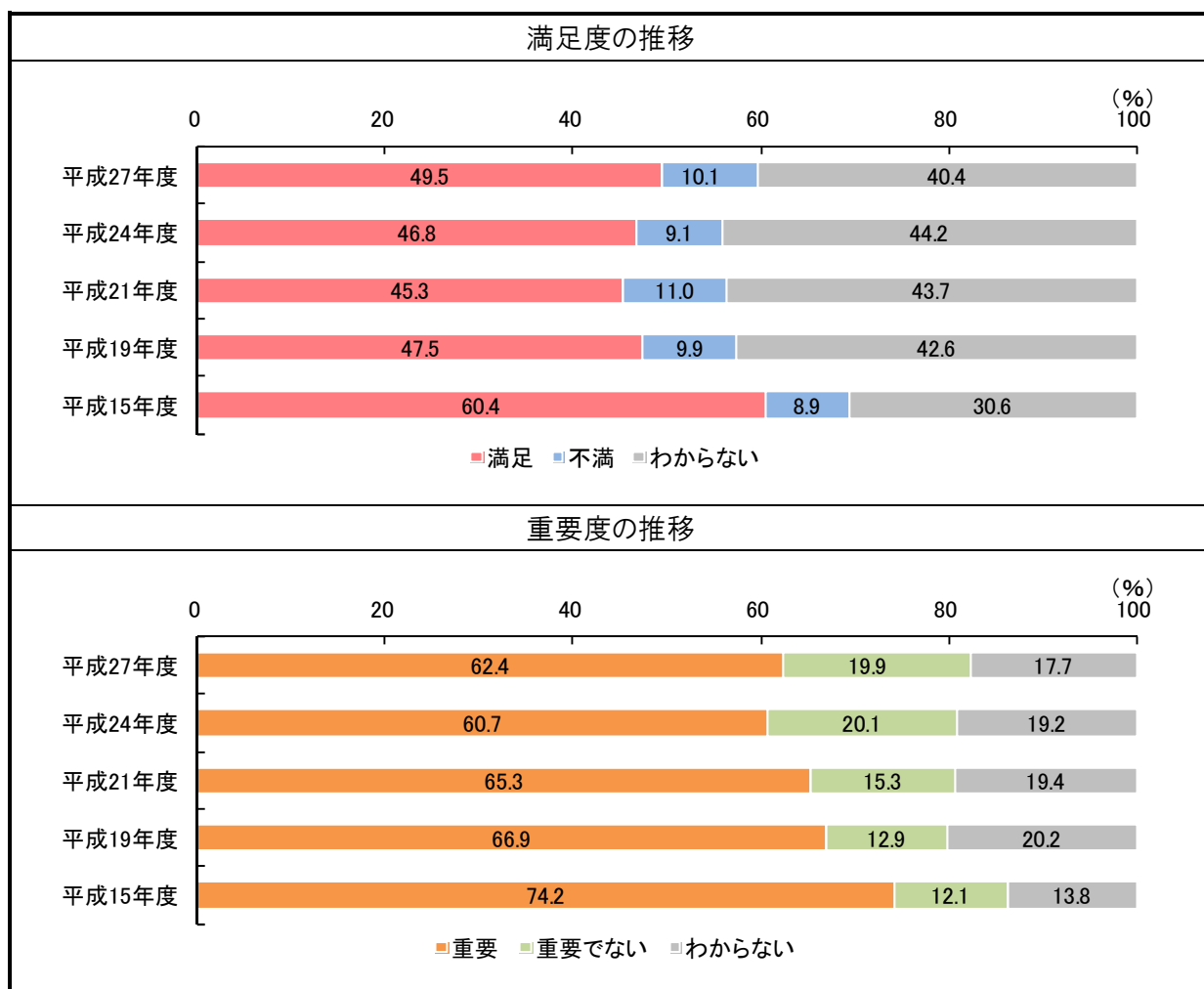
年齢別や居住地区別による満足度の違いはほとんどみられません。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 60.4%から急速に減少するものの、やや盛り返し、平成 27 年度は約 10 ポイントの減少となっています。また、「不満」の割合は平成 15 年度の 8.9%からほぼ横ばいで推移しています。

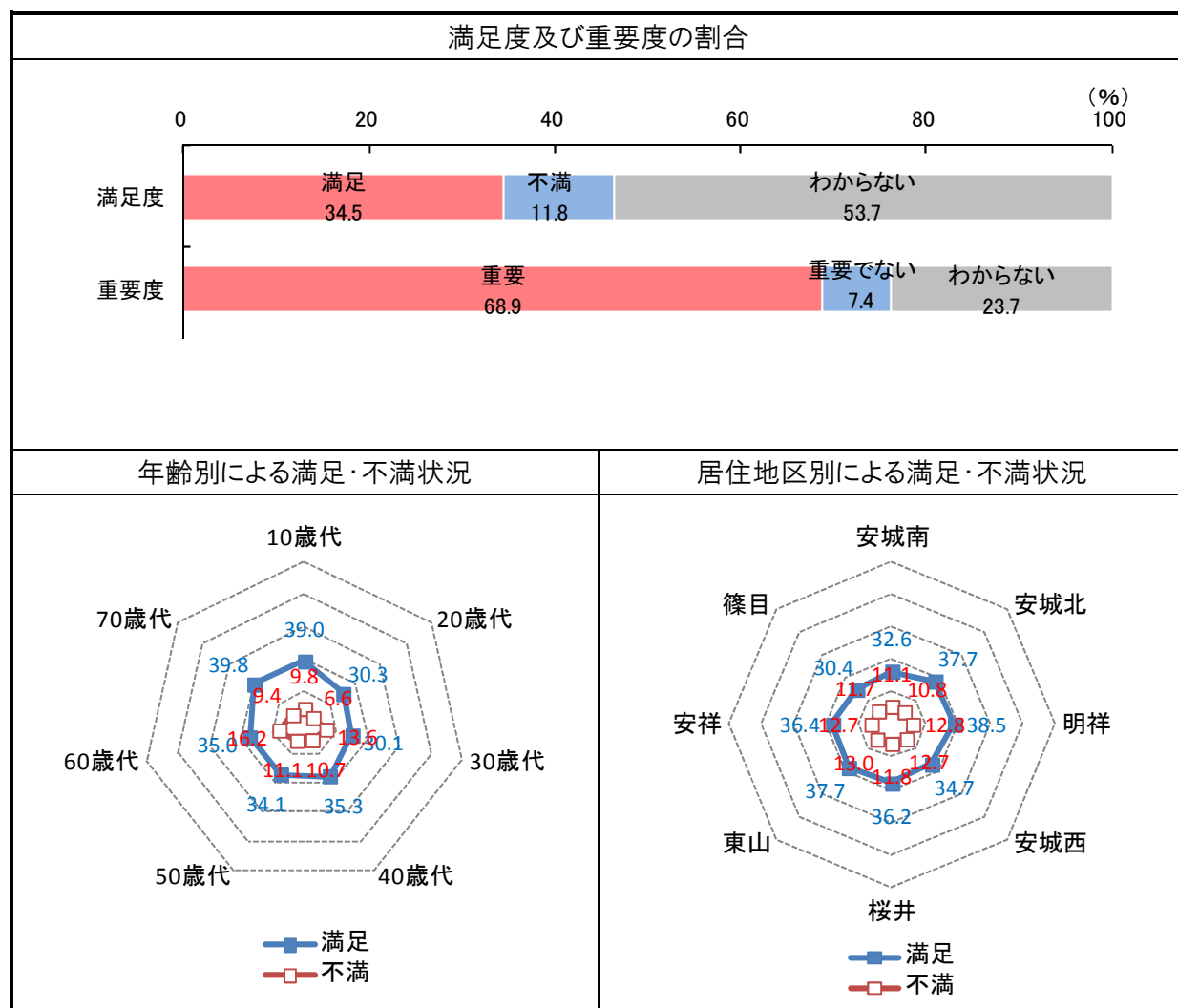
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 74.2%から平成 27 年度まで約 12 ポイント減少しています。一方、「重要でない」の割合は平成 15 年度の 12.1%から平成 27 年度までに約 8 ポイント増加しています。



分野	5 産業振興				
項目	1 農業の振興				
主な取組	・ 農業研修・体験事業の実施 ・ 地産池消・食育の推進 ・ 農地・水保全管理共同活動、ほ場整備の実施				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.71	順位	24 位
	重要度		1.40		23 位

満足度と重要度はともに中位にあります。また、満足度について、「わからない(53.7%)」割合が5割を超えることから、満足度や重要度の適切な判断が行いにくくなっていると考えられ、今後、取組に対する理解を深めることが重要といえます。

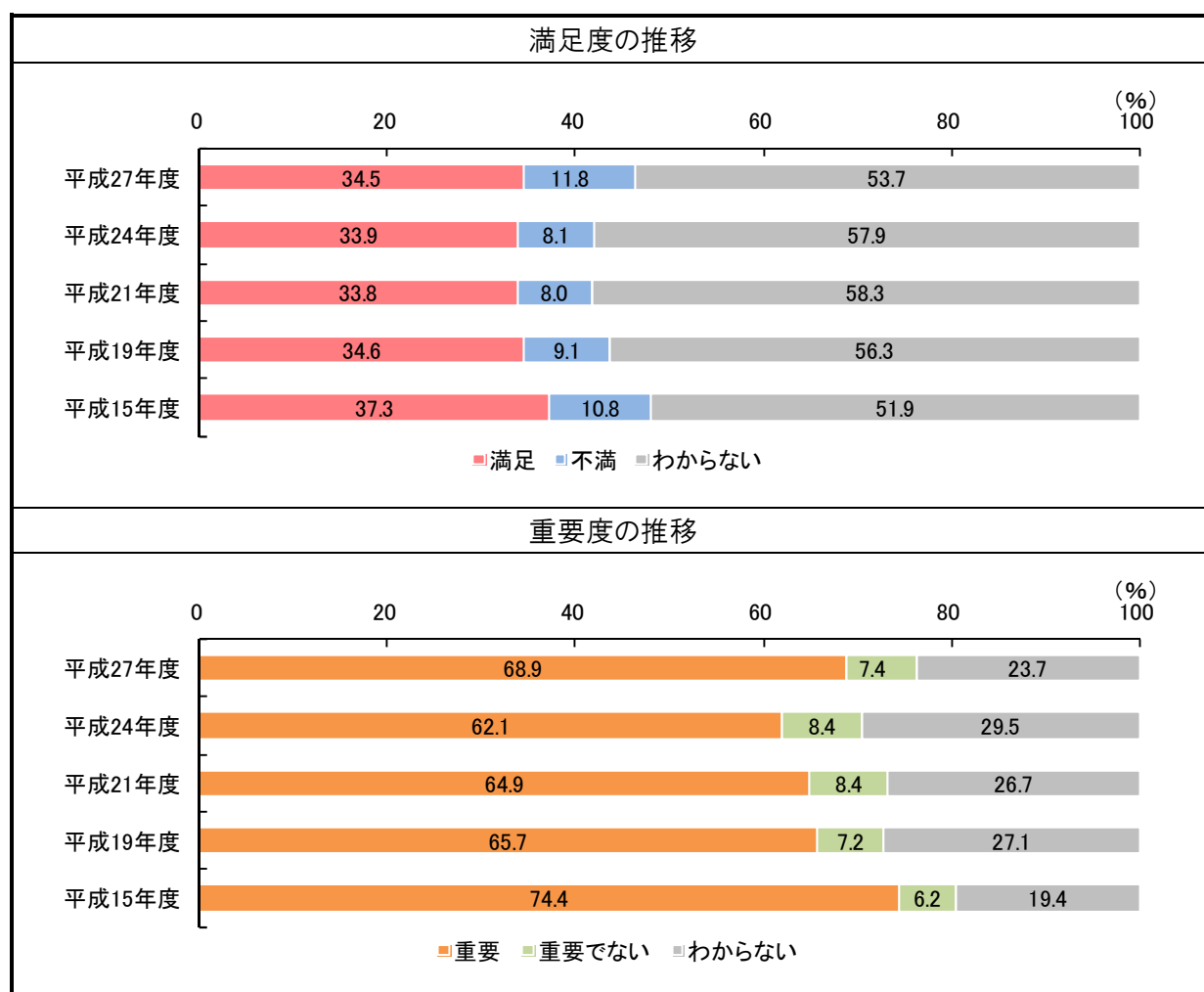
年齢別や居住地区別による満足度の違いはほとんどみられません。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成15年度の37.3%から平成27年度まで約3ポイント減少しています。また、「不満」の割合は平成15年度の10.8%から概ね横ばいで推移しています。

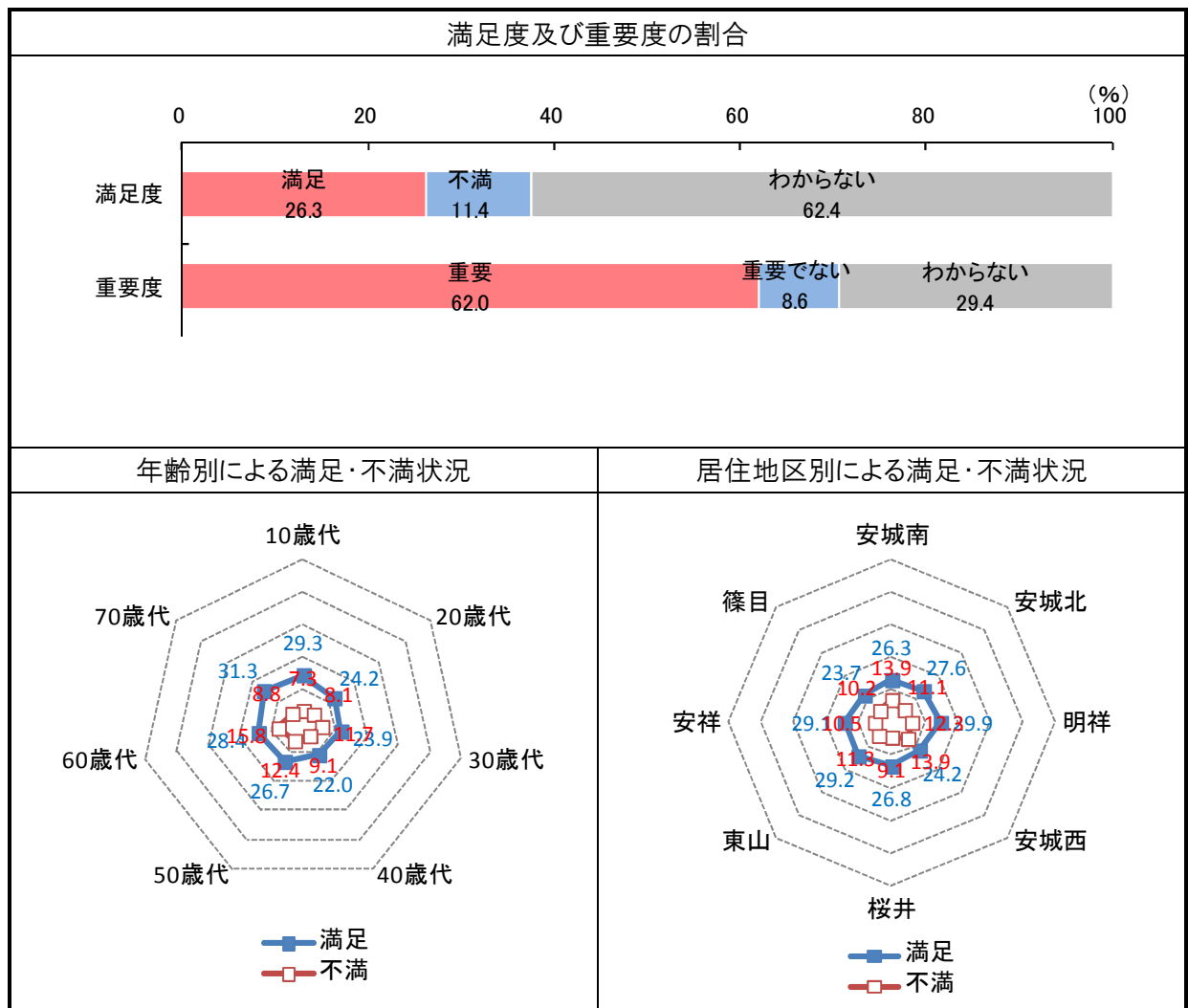
重要度について、「重要」の割合は平成15年度の74.4%からやや減少していますが、その後再び増加に転じ、平成27年度には約5ポイント増加となります。一方、「重要でない」の割合は概ね10%未満で推移しています。



分野	5 産業振興					
項目	2 工業の振興					
主な取組	・ 市内企業の再投資等の支援 ・ 償却資産税の減税 ・ 起業支援の実施					
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.55	順位	32	位
	重要度		1.30		29	位

満足度と重要度はともに真ん中よりやや下位にあり、現在の取組に対する満足は得られていないものの、継続的な取組は求められていないといえます。ただし、満足度について、「わからない (62.4%)」割合が 6 割を超えることから、満足度や重要度の適切な判断が行いにくくなっていると考えられ、今後、取組に対する理解を深めることが非常に重要といえます。

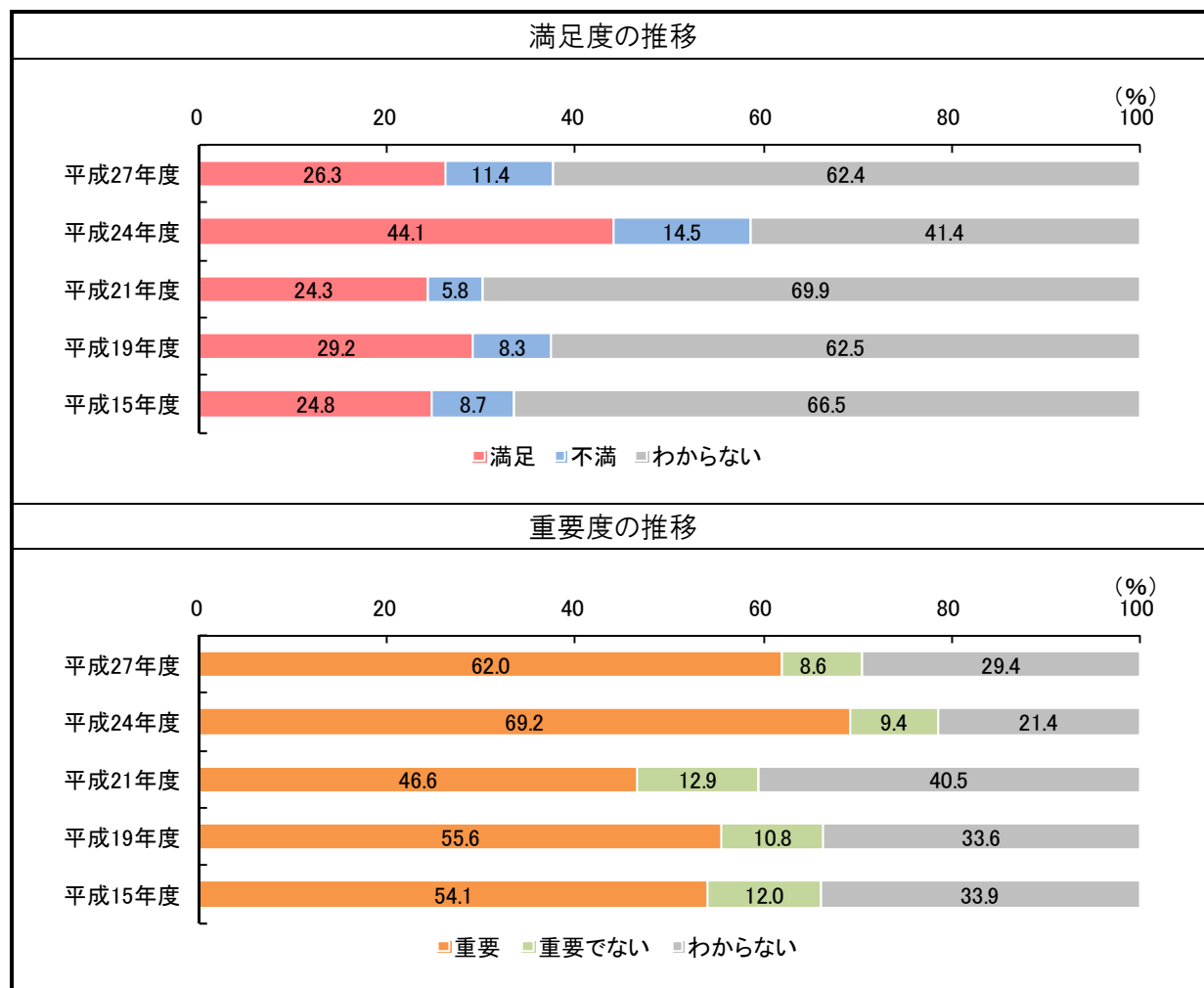
年齢別及び居住地区別による満足度の違いはほとんどみられません。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 24.8%から平成 24 年度まで約 20 ポイントの大幅増加となったものの、平成 27 年度は概ね横ばいまで減少しています。また、「不満」の割合は平成 15 年度の 8.7%から約 3 ポイント増加しています。

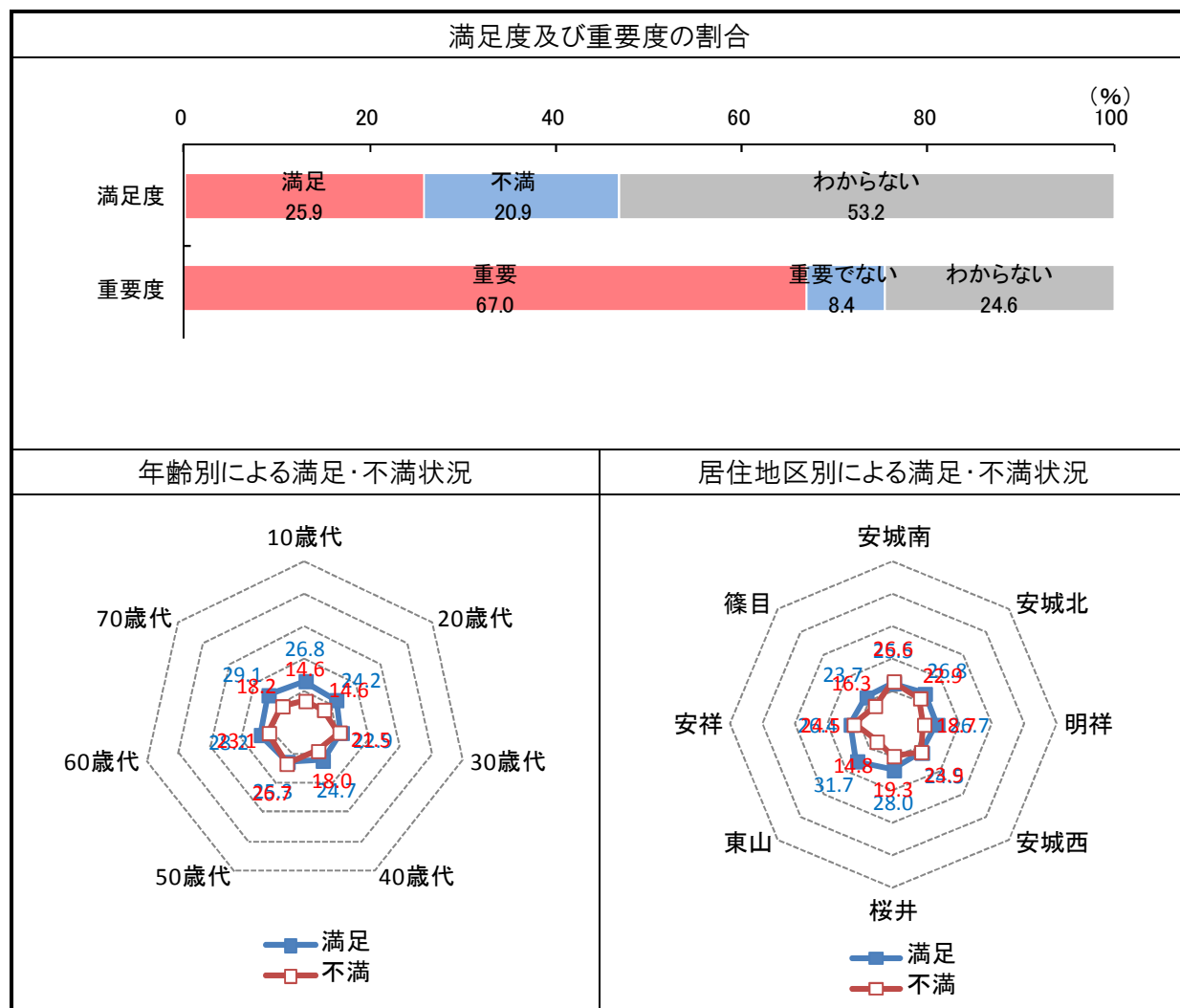
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 54.1%から平成 24 年度には約 20 ポイントの大幅増加となりましたが、平成 27 年度には概ね横ばいまで減少しています。また、「重要でない」の割合は平成 15 年度の 12.0%から平成 27 年には約 4 ポイント減少しています。



分野	5 産業振興				
項目	3 商業の振興				
主な取組	・ 商業団体等が実施する事業への支援 ・ 商業の活性につなげるイベントの実施 ・ 空き店舗対策の実施				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.09	順位	43 位
	重要度		1.36		25 位

満足度は最下位にあり、重要度は中位にあります。現在の取組に対する満足は得られておらず、今後、継続的な取組が求められているといえます。ただし、満足度について、「わからない (53.2%)」割合が 5 割を超えることから、満足度や重要度の適切な判断が行いにくくなっていると考えられ、取組に対する理解を深めることも重要といえます。

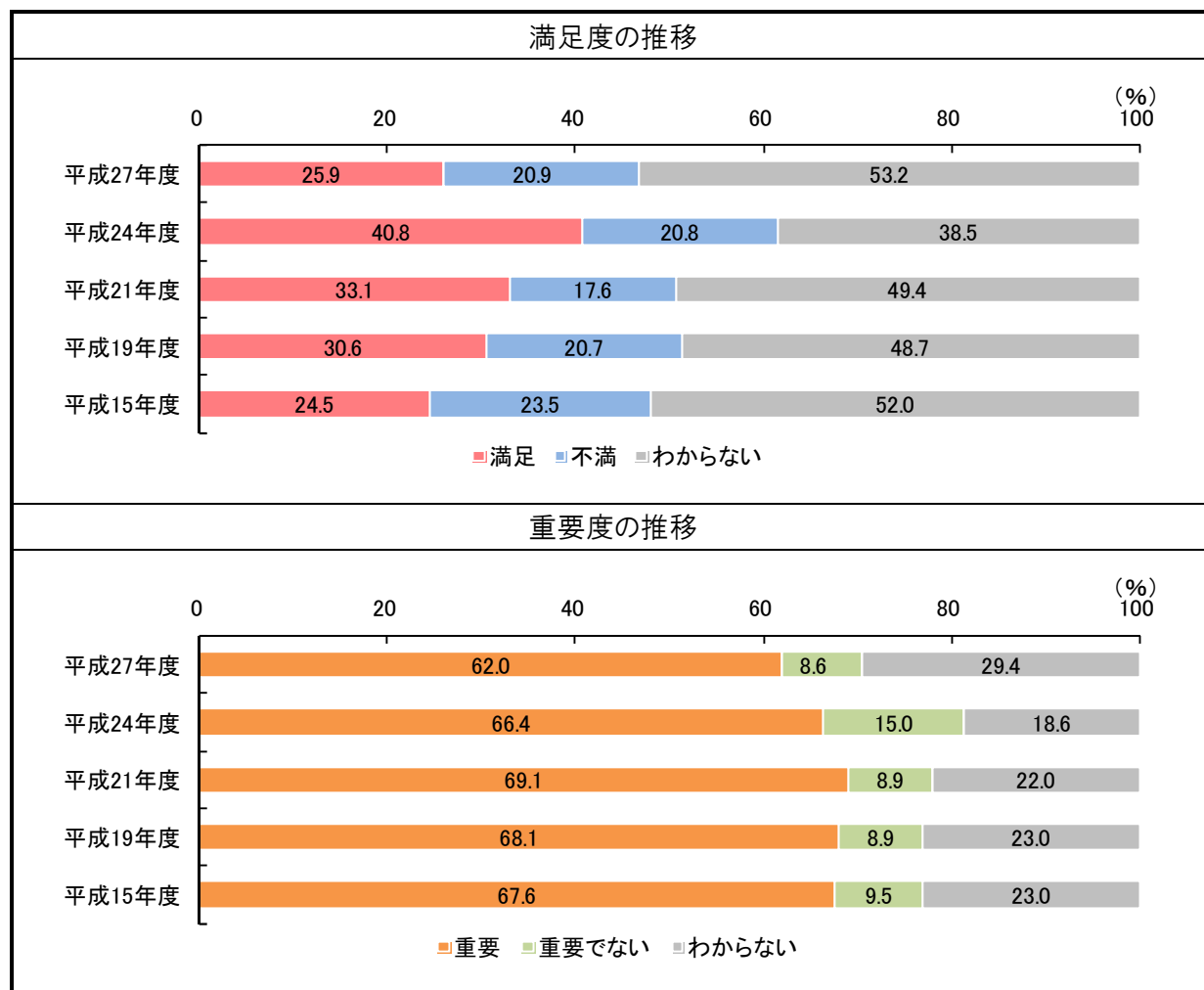
年齢別において、50 歳代の不満が他の年齢階級よりも多くなっています。また、居住地区別では、安城南や安祥の不満の割合が他の地区に比べて多くなっています。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 24.5%から平成 27 年度までほぼ横ばいで推移しています。また、「不満」の割合は平成 15 年度の 23.5%から平成 27 年度まで約 3 ポイント減少しています。

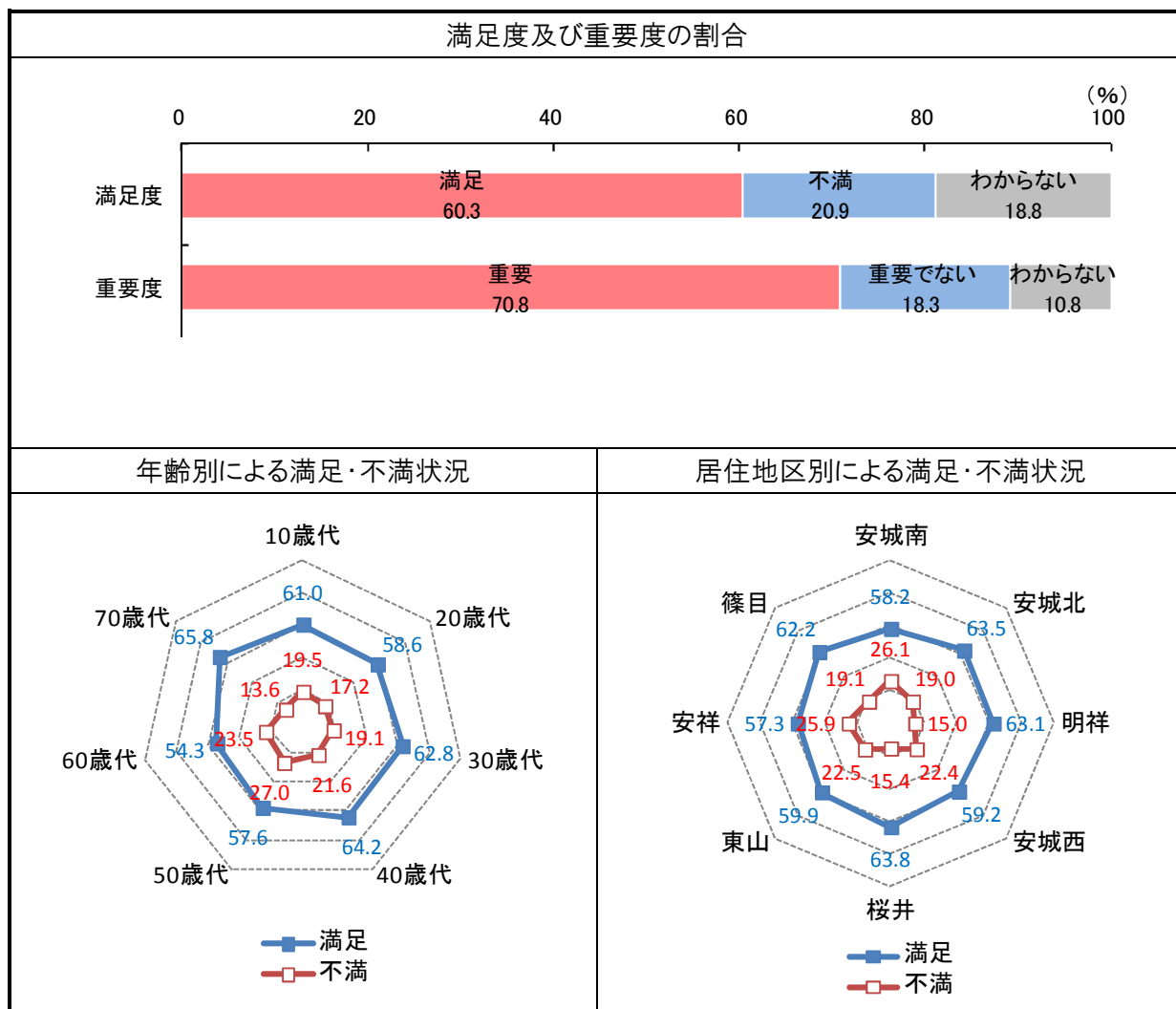
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 67.6%から平成 27 年度まで約 5 ポイント減少しています。一方、「重要でない」の割合は概ね 10%未満で推移しています。



分野	5 産業振興				
項目	4 観光				
主な取組	- 七夕まつり、桜まつりの開催 - 丈山苑の充実 - 新美南吉に関連したオブジェや壁画の整備				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.75	順位	21 位
	重要度		1.00		39 位

満足度は中位で、重要度は下位にあり、現在の取組に対する満足は十分に得られていないものの、継続的な取組は求められていないといえます。

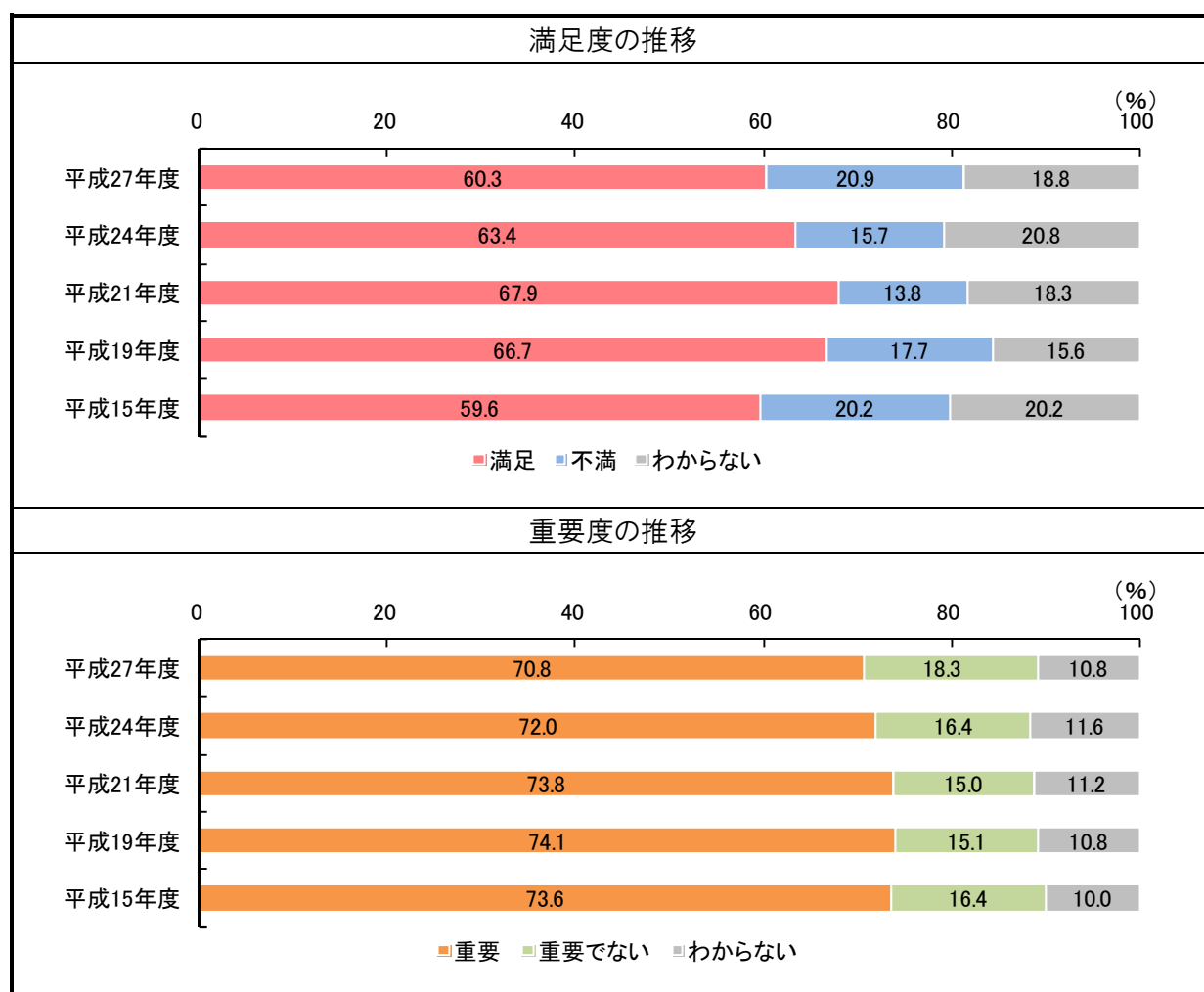
年齢別において、50 歳代の不満の割合が他の年齢階級と比べて多くなっています。また、居住地区別では安祥や安城南の不満の割合が他の地区に比べて多くなっています。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 59.6%から一旦増加しますが、その後減少し、平成 27 年度にはほぼ横ばいの水準になります。また、「不満」の割合は平成 15 年度の 20.2%から平成 27 年度まではほぼ横ばいで推移しています。

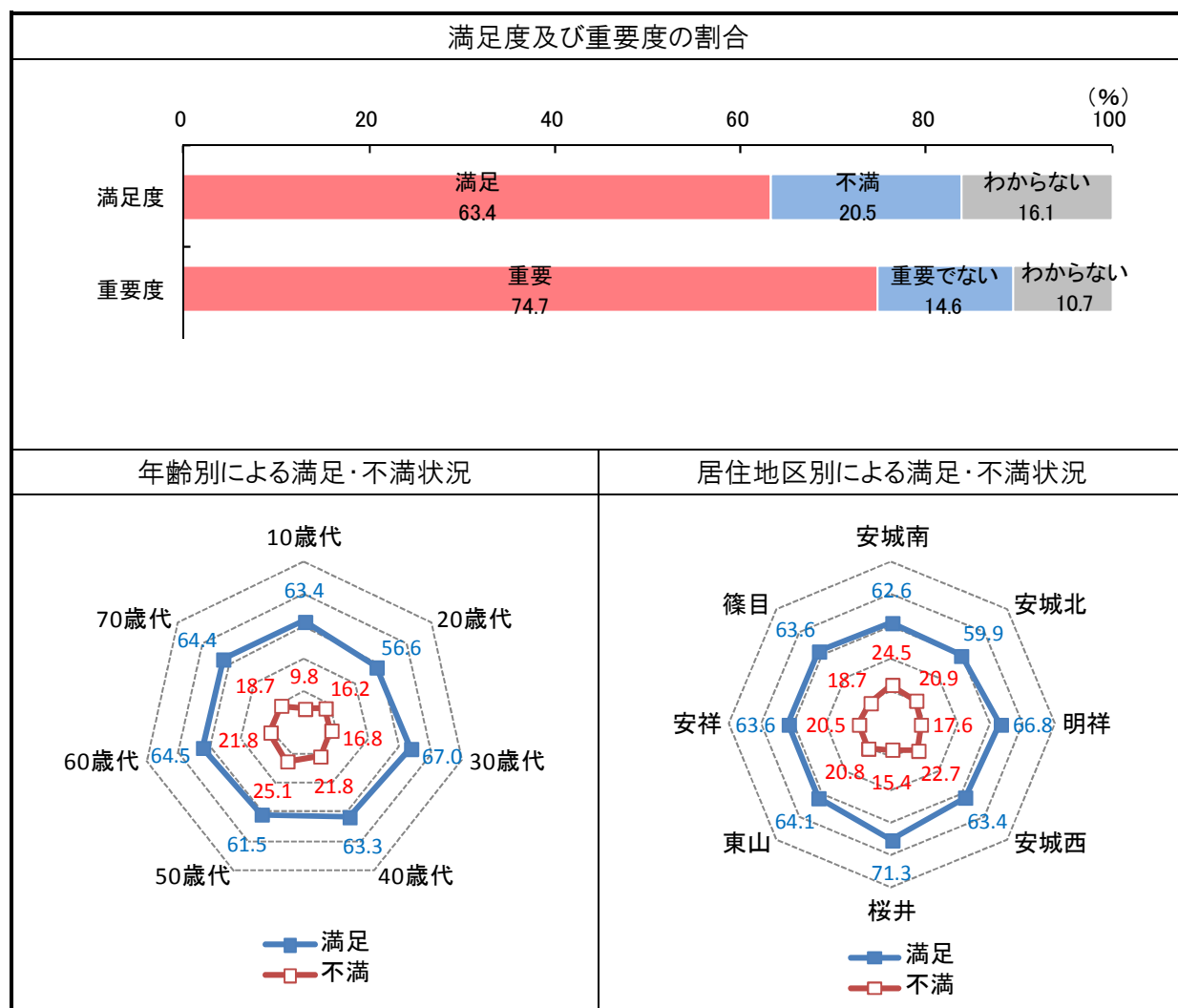
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 73.6%から平成 27 年度まで約 3 ポイント減少しています。一方、「重要でない」の割合は平成 15 年度の 16.4%から概ね横ばいからやや増加しています。



分野	5 産業振興				
項目	5 デンパーク				
主な取組	・ 花と緑の魅力ある公園づくり ・ 地元農産物や特産品のPR等地場産業の振興 ・ 3世代で楽しめる施設の整備				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.84	順位	9 位
	重要度		1.15		34 位

満足度は上位にあります。重要度は真ん中よりやや下位にあります。現在の取組に対する満足は得られており、今後、継続的な取組は求められていないといえます。

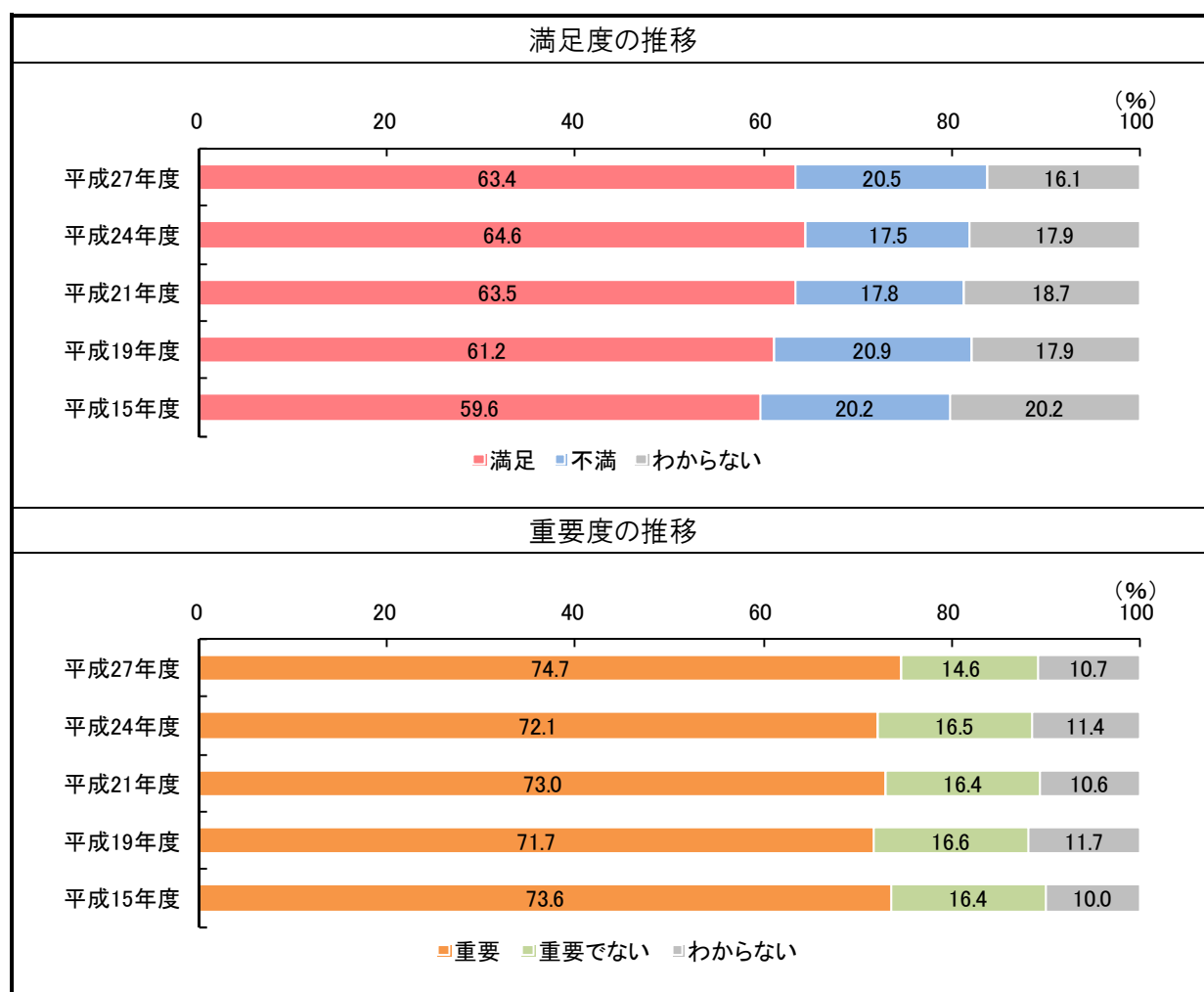
年齢別において、40 歳代から 60 歳代の不満の割合が他の年齢階級よりも多くなっています。また、居住地区別では安城南の不満の割合が他の地区に比べて多くなっています。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 59.6%から一旦増加しますが、その後減少し、平成 27 年度にはほぼ横ばいの水準になります。また、「不満」の割合は平成 15 年度の 20.2%から平成 27 年度まではほぼ横ばいで推移しています。

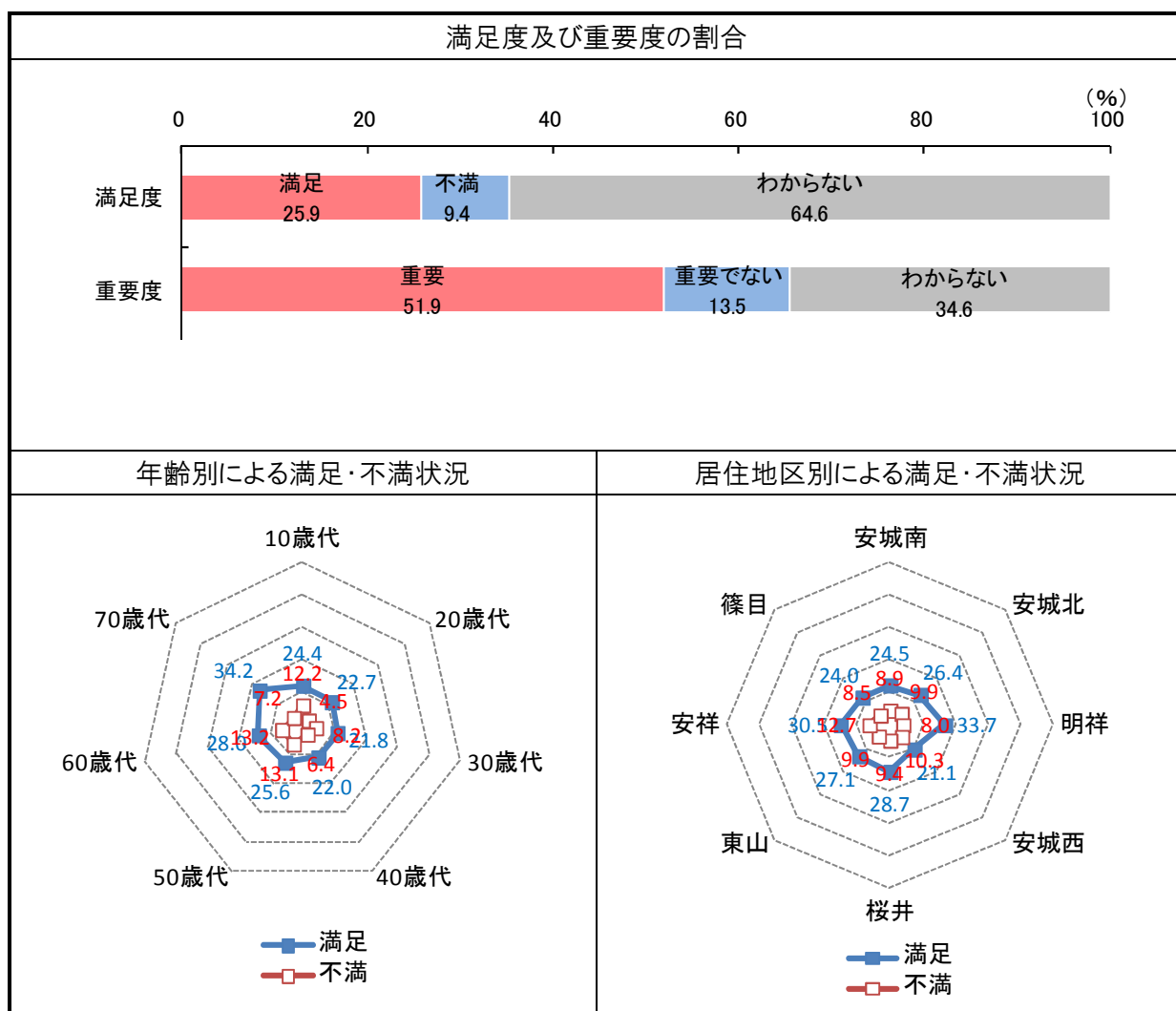
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 73.6%から平成 27 年度まで約 3 ポイント減少しています。一方、「重要でない」の割合は平成 15 年度の 16.4%から概ね横ばいからやや減少しています。



分野	6 計画推進				
項目	1 市民参加・市民活動支援				
主な取組	・ 市民活動への補助 ・ 市民参加パートナーバンク、協働サポーターの活用				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.67	順位	26 位
	重要度		0.91		41 位

満足度は中位にあり、重要度は下位にあります。現在の取組に対する満足は高くはないものの、継続的な取組は求められていないといえます。ただし、満足度について、「わからない（64.6%）」割合が6割を超えることから、満足度や重要度の適切な判断が行いにくくなっていると考えられ、今後、取組に対する理解を深めることが非常に重要といえます。

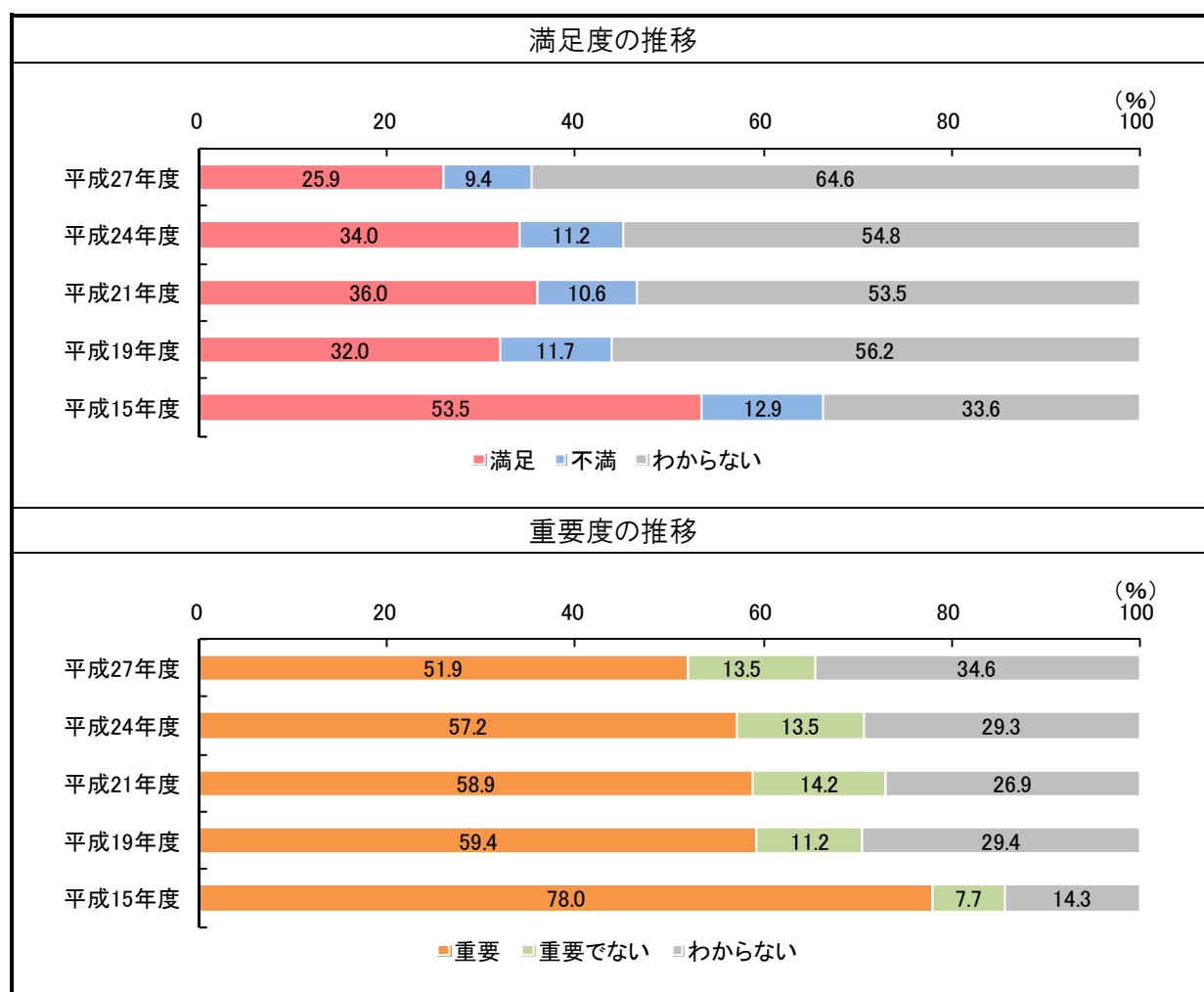
年齢別や居住地区別による満足度の違いはほとんどみられません。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 53.5%から平成 27 年度まで 20 ポイント近く減少しています。一方、「不満」の割合は平成 15 年度の 12.9%から平成 27 年度まで僅かに減少しています。

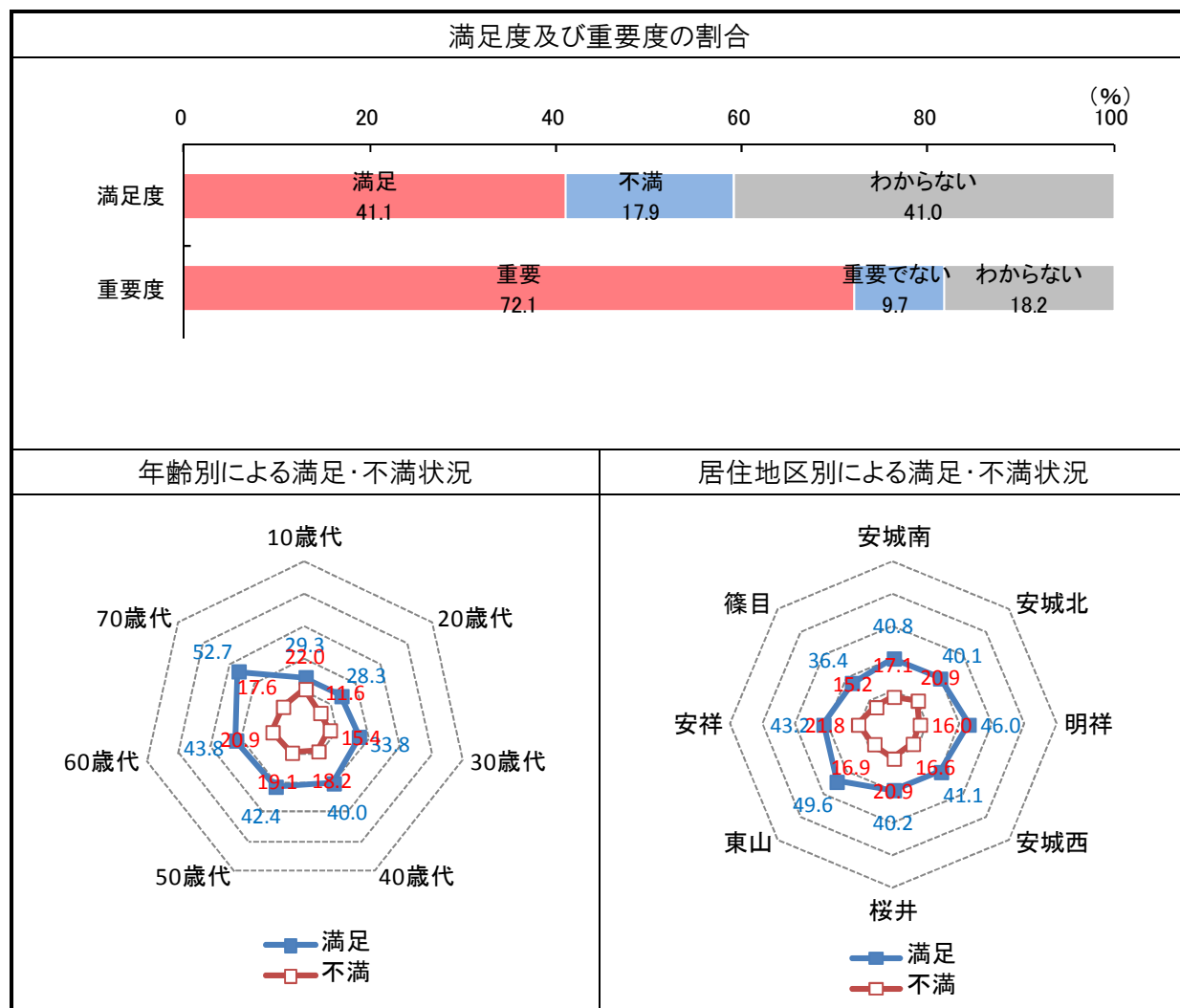
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 78.0%から平成 27 年度まで 25 ポイント以上減少しています。一方、「重要でない」の割合は平成 15 年度の 7.7%から平成 27 年度まで約 6 ポイント増加しています。



分野	6 計画推進				
項目	2 地域自治(コミュニティ)				
主な取組	・ 町内会活動事業への支援 ・ 町内公民館の耐震及び改修補助				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.54	順位	33 位
	重要度		1.24		30 位

満足度と重要度はともに真ん中よりやや下位にあり、現在の取組に対する満足は高くないものの、継続的な取組は必ずしも求められていないといえます。ただし、満足度について、「わからない (41.0%)」割合が 4 割を超えることから、今後、取組に対する理解を深めることが必要といえます。

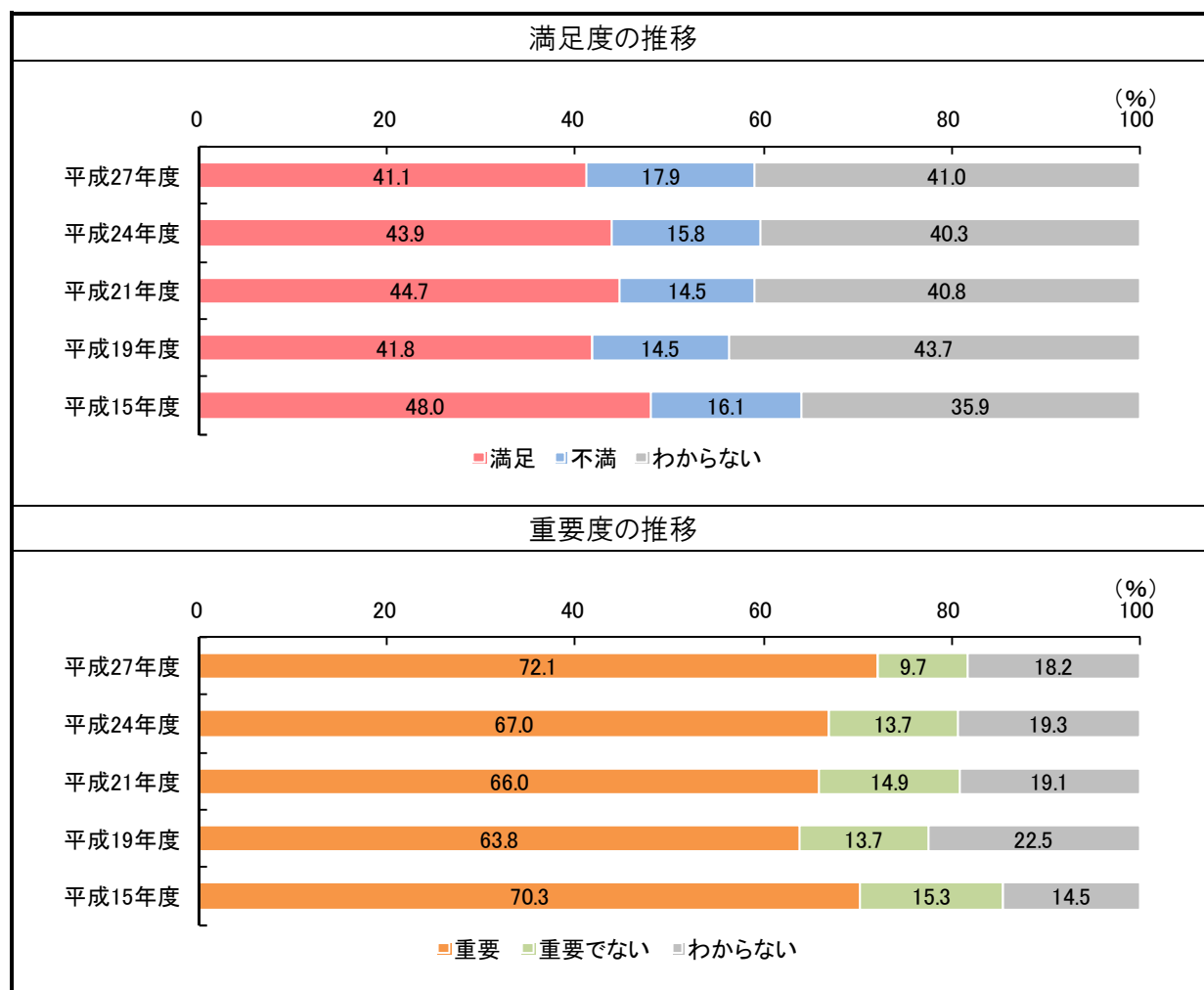
年齢別において、10 歳代や 70 歳代の不満の割合が他の年齢階級と比べて多くなっています。また、居住地区別による満足度の違いはほとんどみられません。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 48.0%から平成 27 年度まで約 7 ポイント減少しています。一方、「不満」の割合は平成 15 年度の 16.1%から若干増加しています。

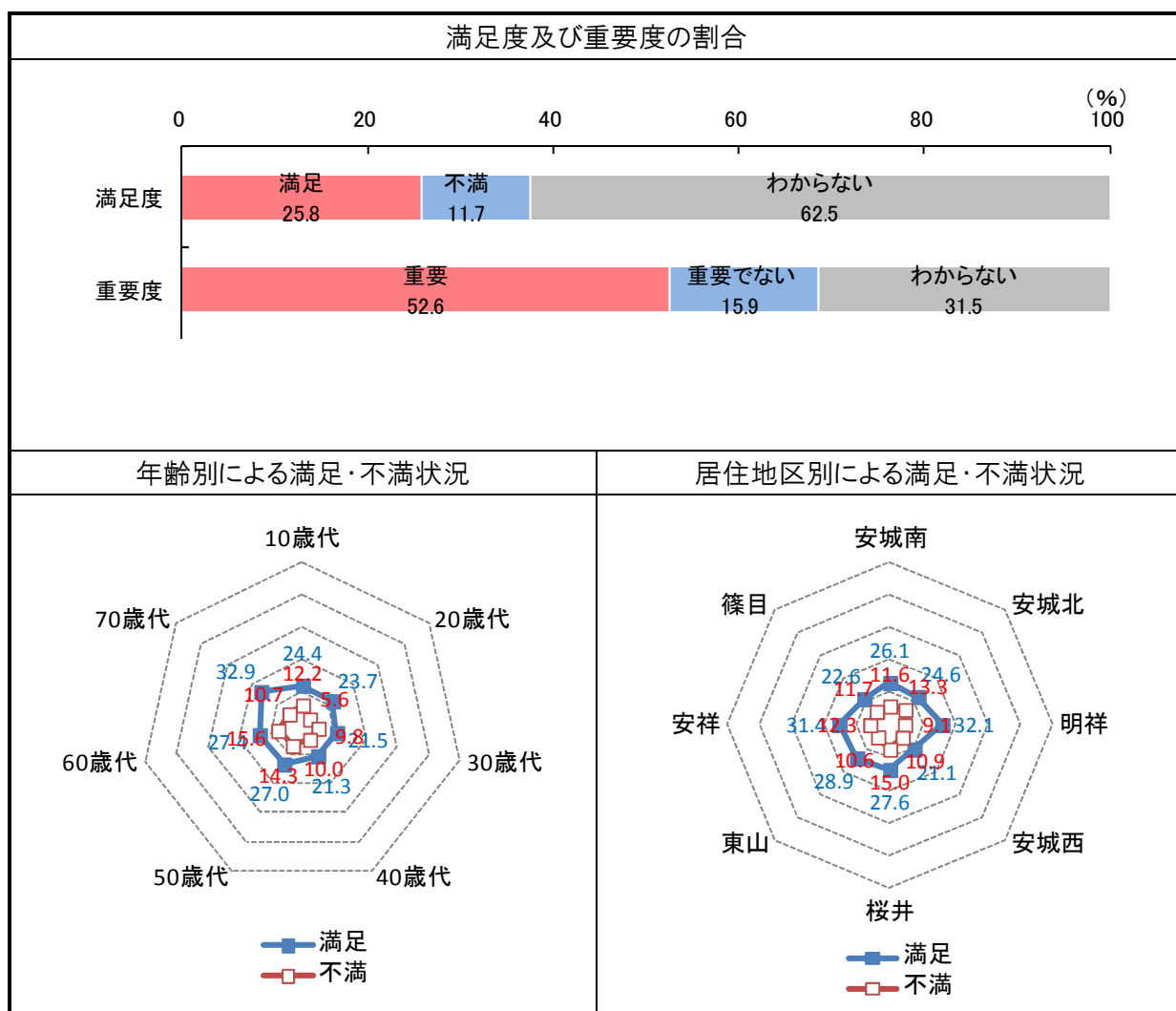
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 70.3%から一旦減少しますが、その後反転し、平成 27 年度には若干増加しています。一方、「重要でない」の割合は平成 15 年度の 15.3%から平成 27 年度まで約 6 ポイント減少しています。



分野	6 計画推進				
項目	3 男女共同参画				
主な取組	・ 共同参画の広報啓発活動 ・ 審議会等への助成の登用 ・ 参画推進グループの育成				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.50	順位	37 位
	重要度		0.84		44 位

満足度は下位にあり、重要度は最下位にあります。現在の取組に対する満足度は低いものの、継続的な取組は求められていないといえます。ただし、満足度について、「わからない (62.5%)」割合が 6 割を超えることから、満足度や重要度の適切な判断が行いにくくなっていると考えられ、今後、取組に対する理解を深めることが非常に重要といえます。

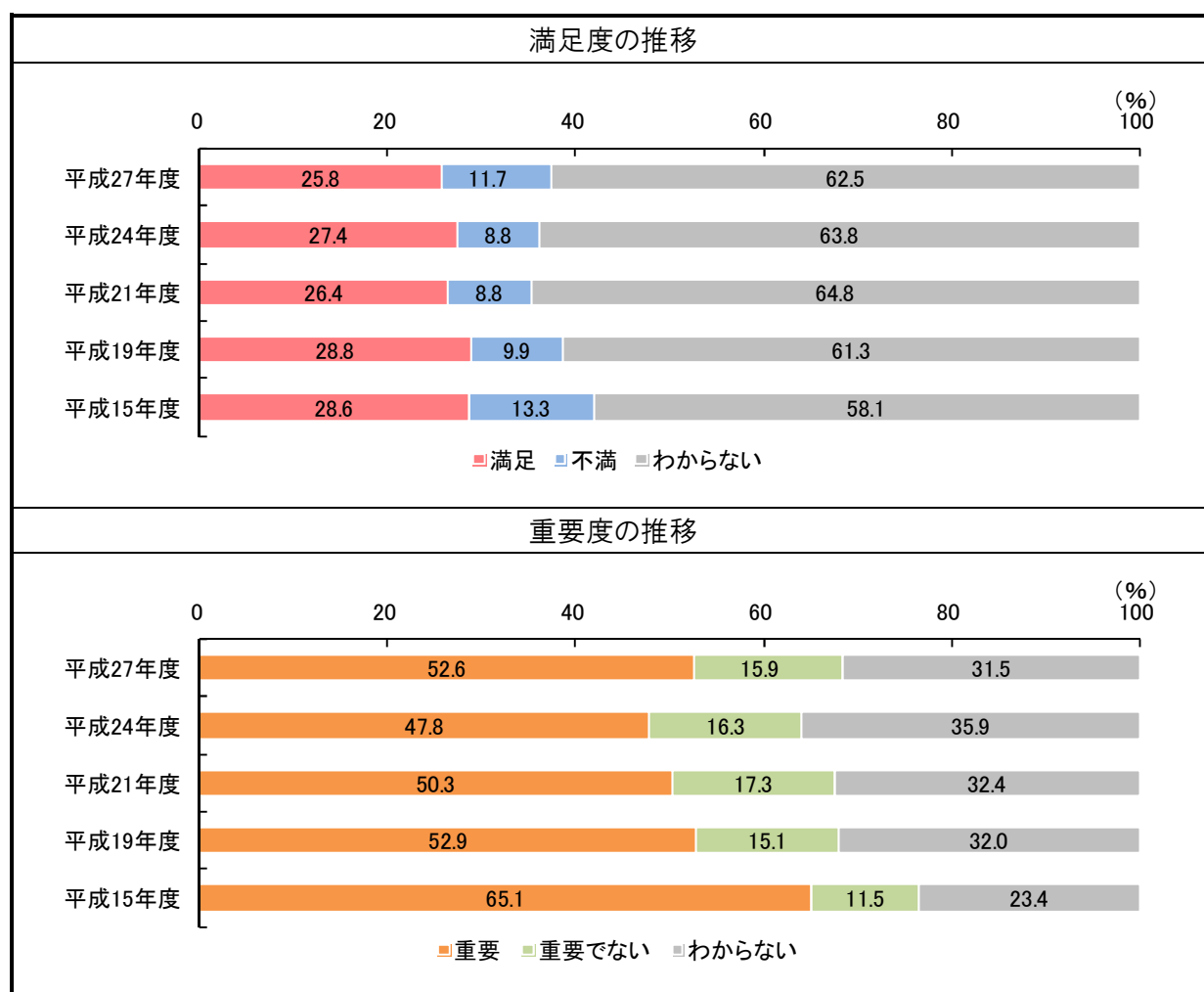
年齢別や居住地区別による満足度の違いはほとんどみられません。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 28.6%から平成 27 年度まで若干減少しています。また、「不満」の割合も平成 15 年度の 13.3%から平成 27 年度まで僅かに減少しています。

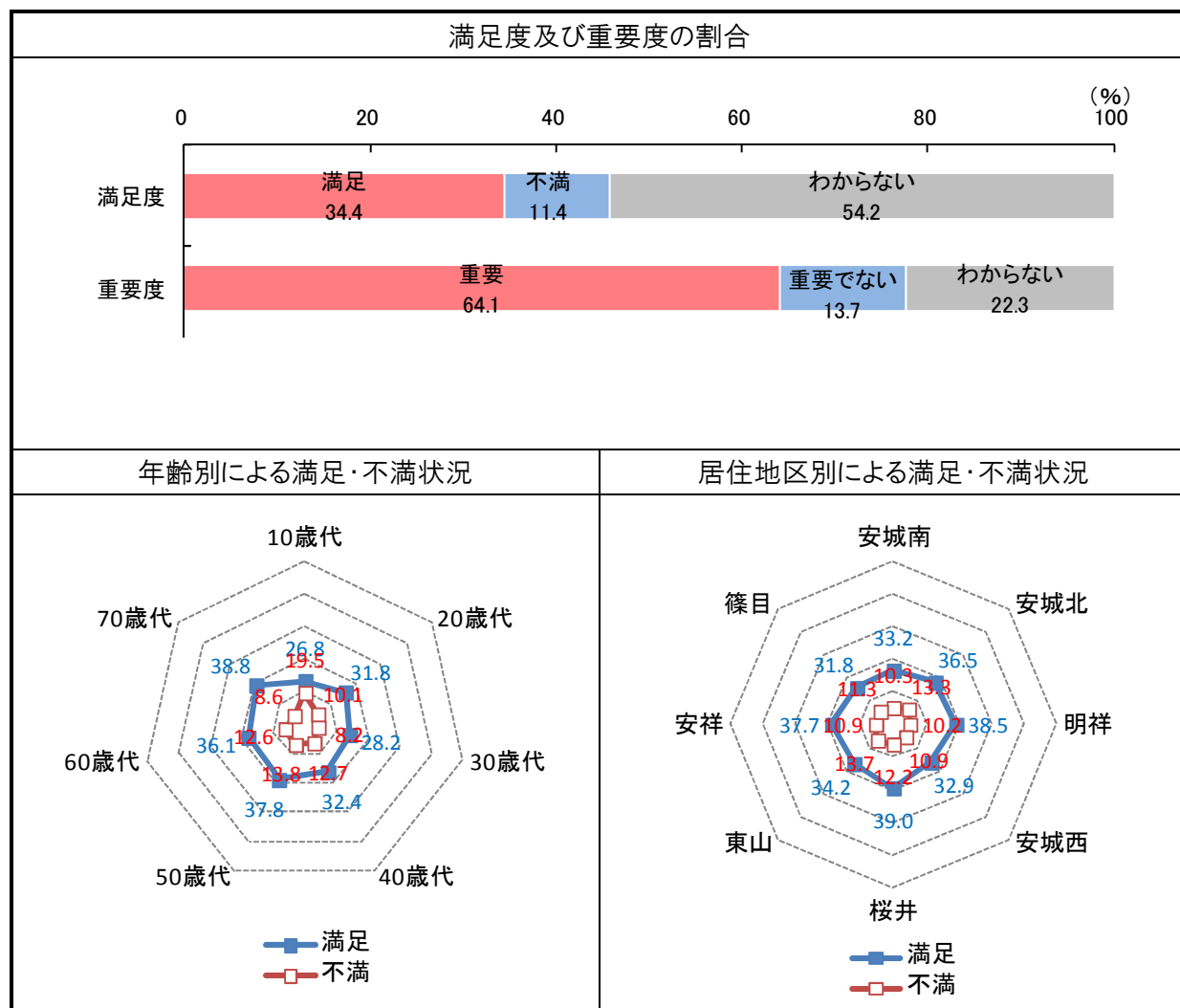
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 65.1%から平成 27 年度まで 10 ポイント以上減少しています。一方、「重要でない」の割合は平成 15 年度の 11.5%から平成 27 年度まで約 4 ポイント増加しています。



分野	6 計画推進				
項目	4 国際化				
主な取組	・ 高校生、大学生の留学支援 ・ 姉妹都市との交流 ・ 外国人住民との交流イベントや他言語による情報提供				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.69	順位	25 位
	重要度		1.10		37 位

満足度は中位にあり、重要度は下位にあります。現在の取組に対する満足は高くはないものの、継続的な取組は求められていないといえます。ただし、満足度について、「わからない（54.2%）」割合が5割を超えることから、満足度や重要度の適切な判断が行いにくくなっていると考えられ、今後、取組に対する理解を深めることが非常に重要といえます。

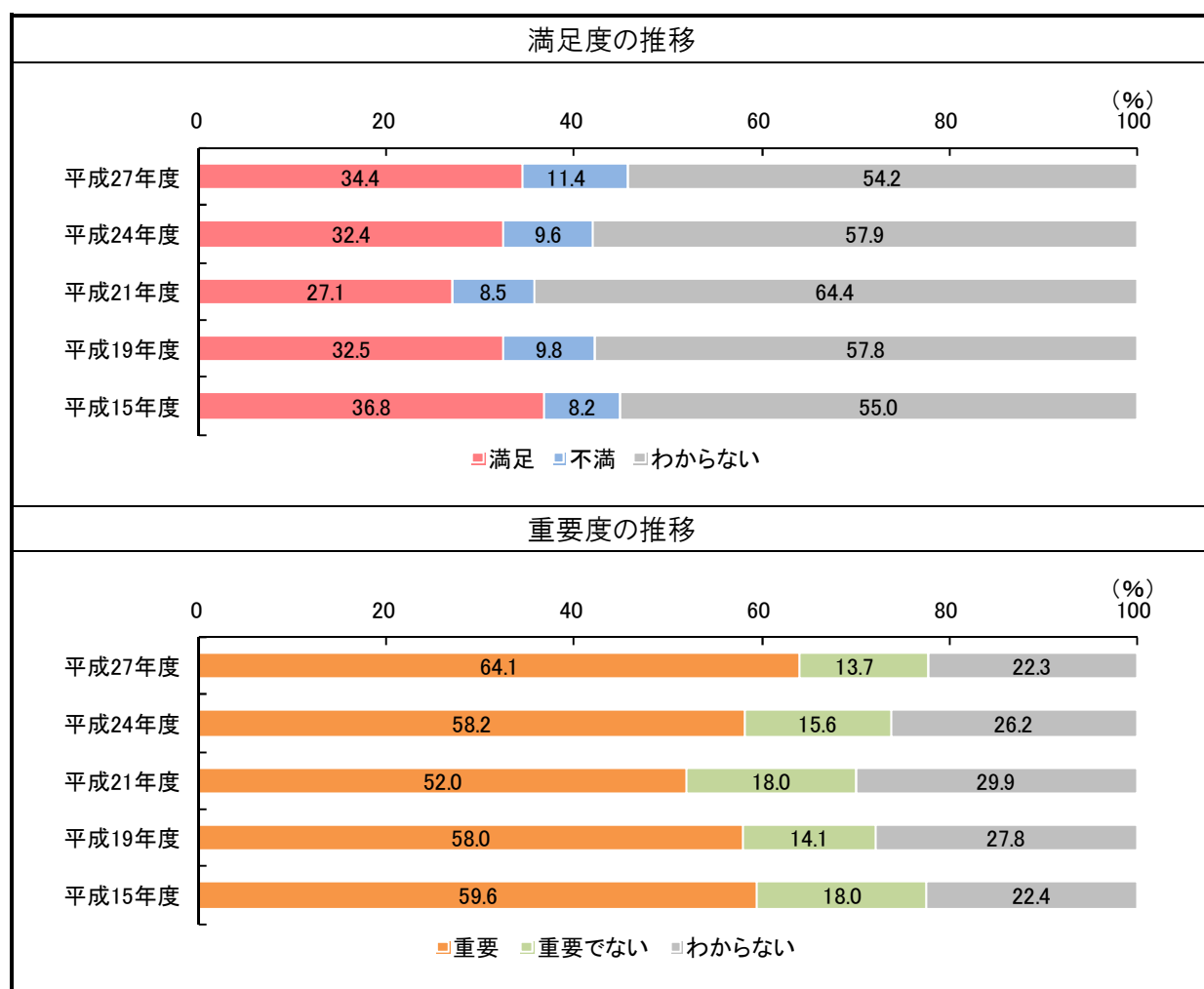
年齢別において、10歳代の不満の割合が他の年齢階級と比べて多くなっています。また、居住地区別による満足度の違いはほとんどみられません。



（調査年度比較）

満足度について、「満足」の割合は平成 15 年度の 36.8%から平成 27 年度までほぼ横ばいから若干減少しています。一方、「不満」の割合は平成 15 年度の 8.2%から平成 27 年度まで約 3 ポイント増加しています。

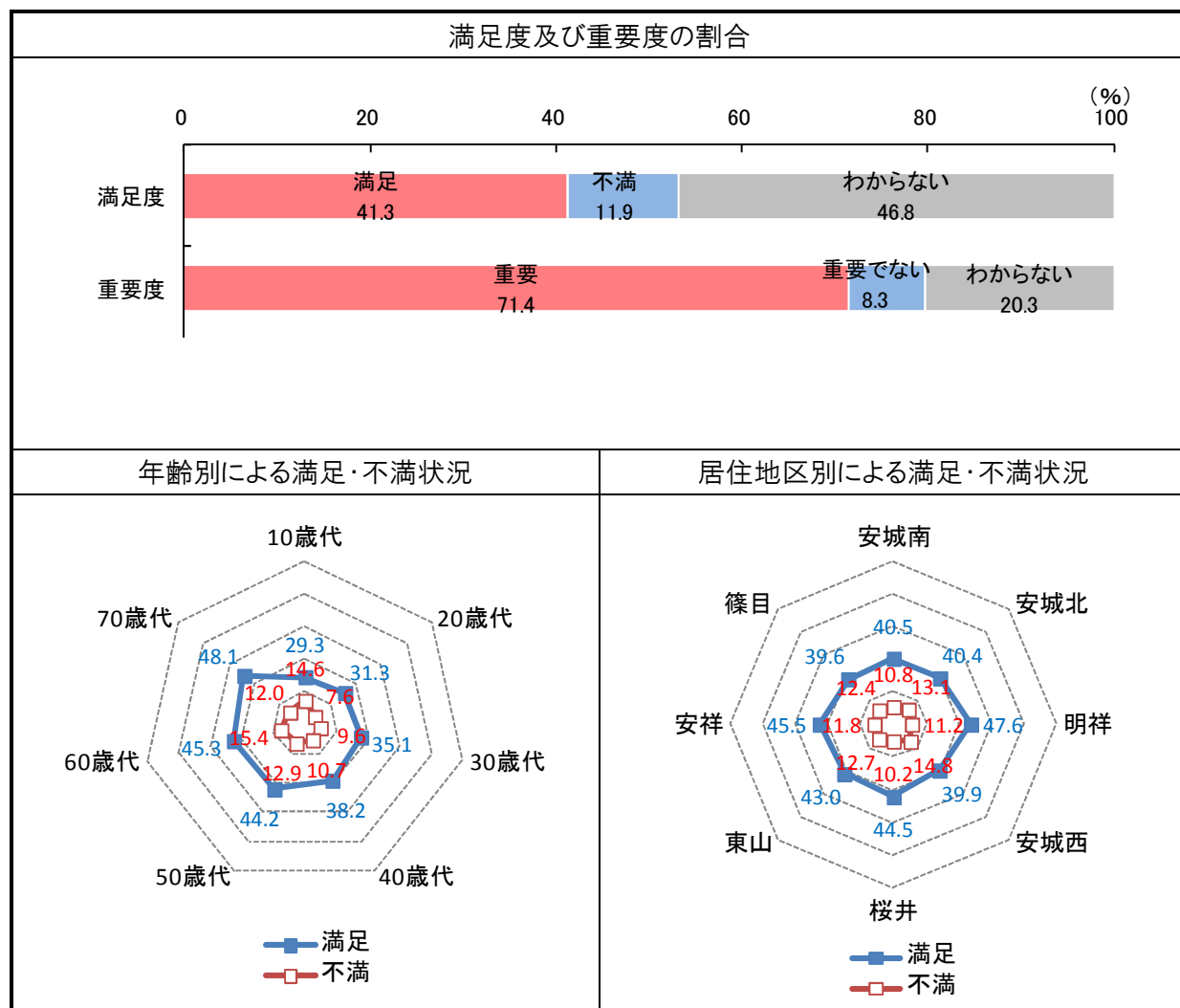
重要度について、「重要」の割合は平成 15 年度の 59.6%から平成 27 年度まで約 5 ポイント増加しています。一方、「重要でない」の割合は平成 15 年度の 18.0%から平成 27 年度まで約 4 ポイント減少しています。



分野	6 計画推進				
項目	5 広域行政				
主な取組	・ 消防、後期高齢者医療の広域連合の設置 ・ 衣浦東部広域行政圏（碧南・刈谷・安城・知立・高浜）での図書館等公共施設の相互利用				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.80	順位	16 位
	重要度		1.34		26 位

満足度は真ん中よりやや上位にあり、重要度は中位にあり、現在の取組に対して概ね満足は得られているものの、今後も継続的な取組は必要といえます。ただし、満足度について、「わからない（46.8%）」割合が4割を超えていることから、取組に対する理解を深めることも必要です。

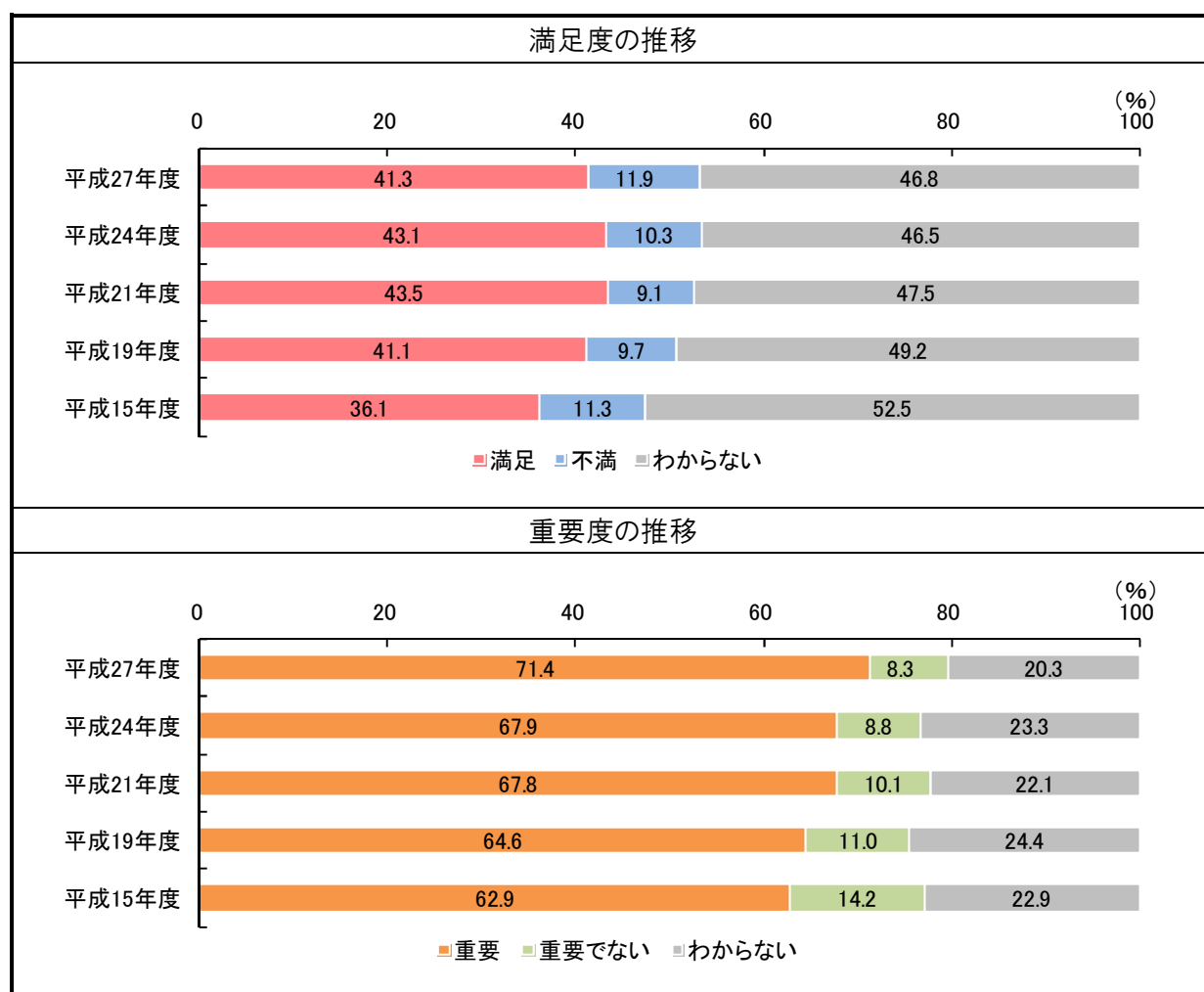
年齢別において、10歳代や60歳代の不満の割合が他の年齢階級と比べて多くなっています。また、居住地区別による満足度の違いはほとんどみられません。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は平成15年度の36.1%から平成27年度まで約5ポイント増加しています。一方、「不満」の割合は平成15年度の11.3%から概ね横ばいで推移しています。

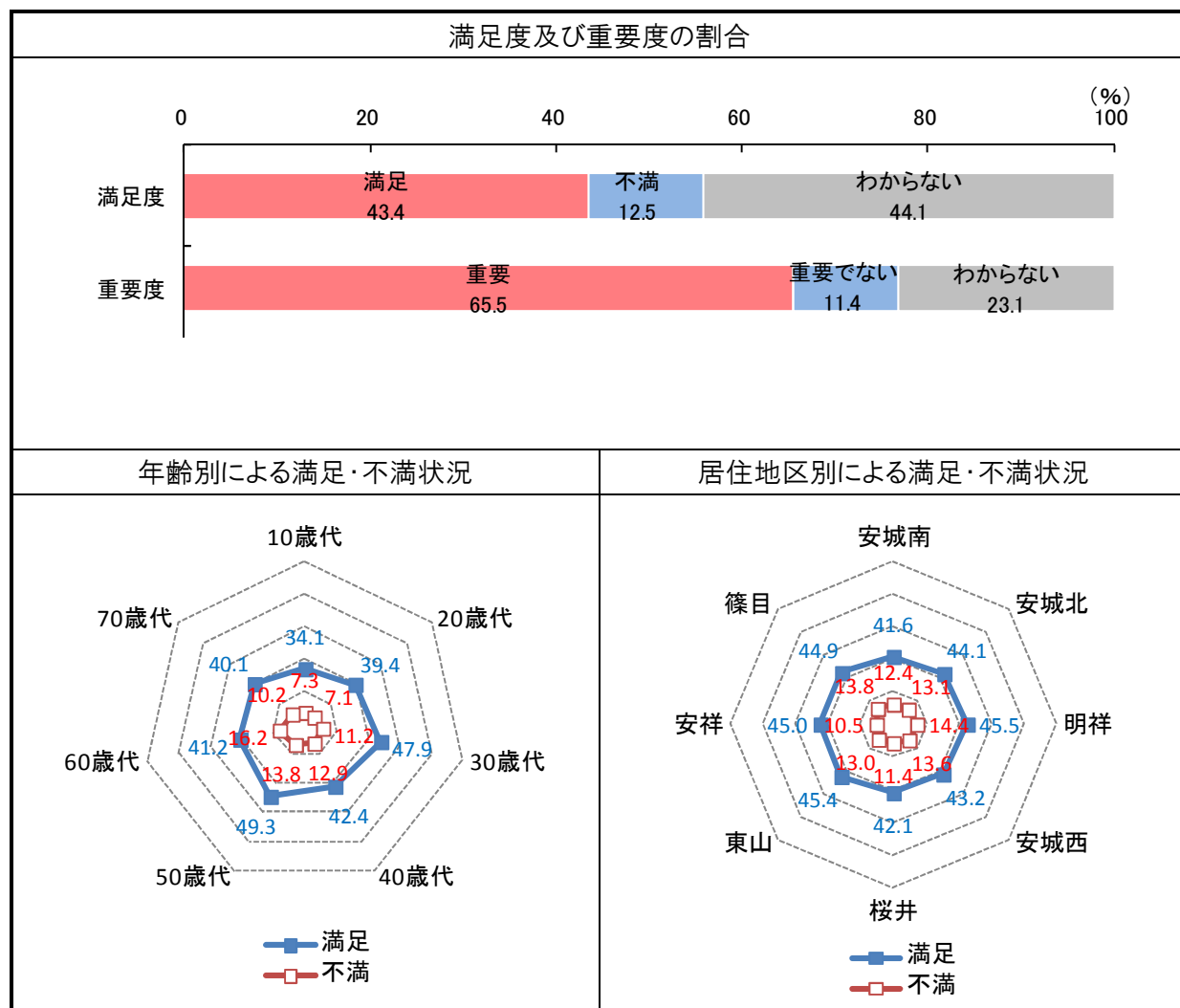
重要度について、「重要」の割合は平成15年度の62.9%から平成27年度まで10ポイント近く増加しています。一方、「重要でない」の割合は平成15年度の14.2%から平成27年度まで約6ポイント減少しています。



分野	6 計画推進					
項目	6 行政運営					
主な取組	・ 事業仕分けの実施 ・ 市税のコンビニ収納の実施 ・ 電子入札、施設予約システム等事務の電子化					
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.82	順位	13	位
	重要度		1.21		32	位

満足度は真ん中よりやや上位にあり、重要度は真ん中よりやや下位にあります。現在の取組に対して概ね満足は得られており、継続的な取組は必ずしも求められていません。ただし、満足度について、「わからない（44.1%）」割合が4割を超えており、今後、取組に対する理解を深めることも必要です。

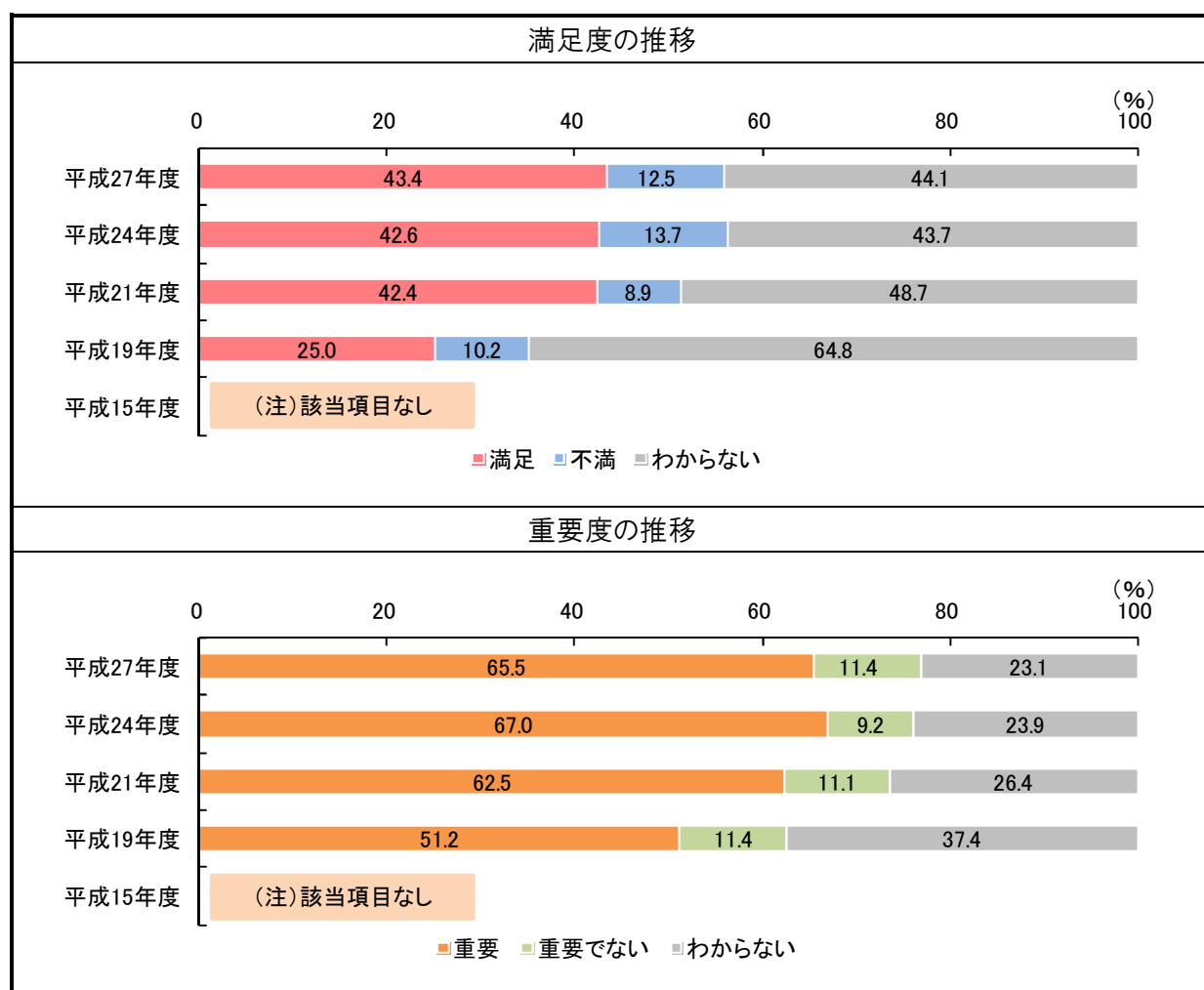
年齢別において、60歳代の不満の割合が他の年齢階級と比べて多くなっています。また、居住地区別による満足度の違いはほとんどみられません。



(調査年度比較)

満足度について、「満足」の割合は調査を開始した平成 19 年度の 25.0%から平成 27 年度まで 20 ポイント近く増加しています。また、「不満」の割合は平成 19 年度の 10.2%から平成 27 年度まで僅かに増加しています。

重要度について、「重要」の割合は平成 19 年度の 51.2%から平成 27 年度まで約 15 ポイント増加しています。また、「重要でない」の割合は平成 19 年度の 11.4%から平成 27 年度まではほぼ横ばいで推移しています。

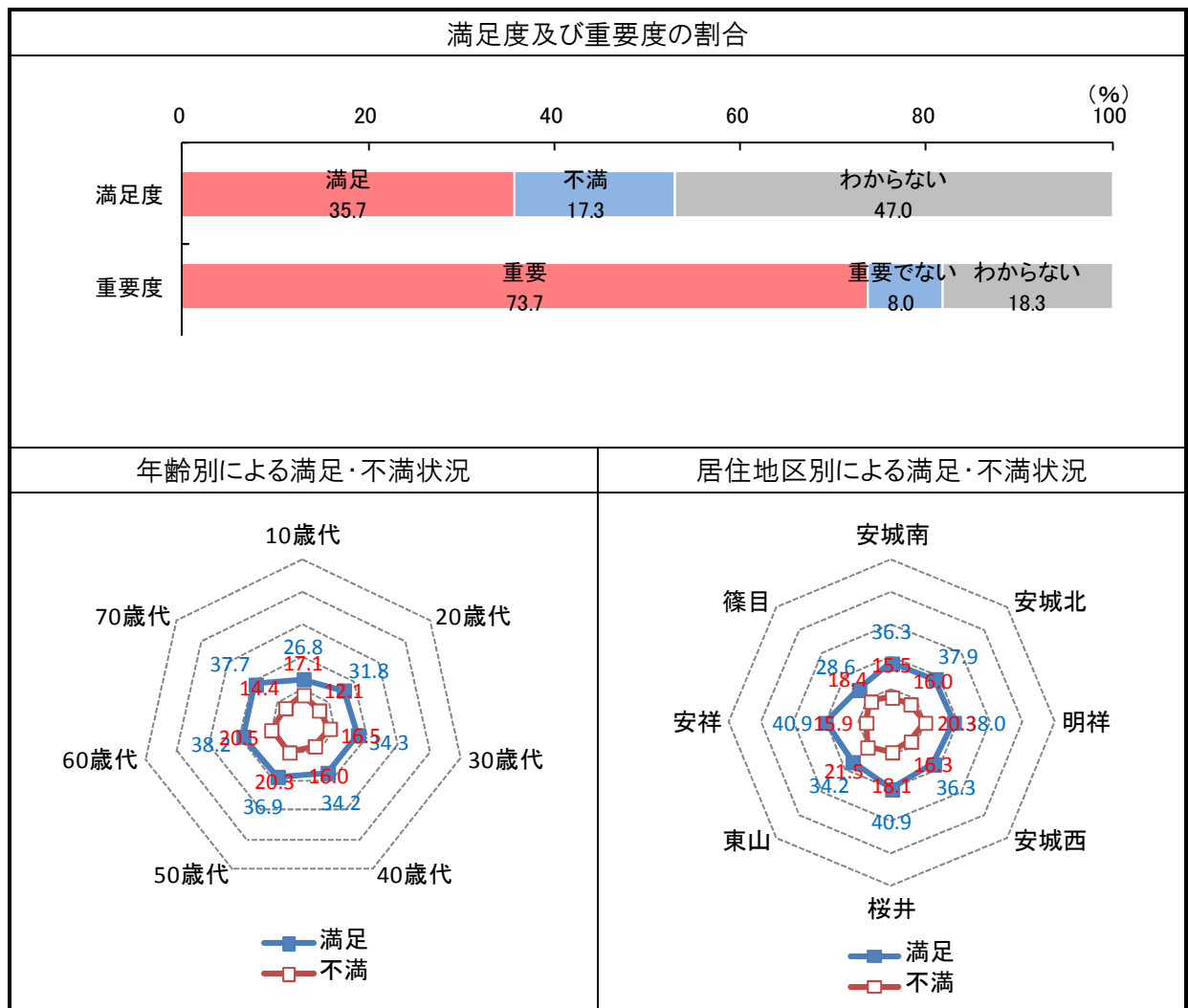


分野	7 その他				
項目	1 二酸化炭素の排出削減				
主な取組	・ 太陽光発電システムの設置や次世代自動車購入補助、環境講座、イベント開催による環境意識向上に伴う二酸化炭素の排出削減				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.46	順位	39 位
	重要度		1.46		22 位

満足度は下位にあり、重要度は中位にあり、今後、継続的な取組を進めることが必要といえます。ただし、満足度について、「わからない（47.0%）」割合が4割を超えており、今後、取組に対する理解を深めることも必要です。

年齢別や居住地区別による満足度の違いはほとんどみられません。

なお、本指標については、今回初めて調査したものであり、過去からの推移は分析できません。

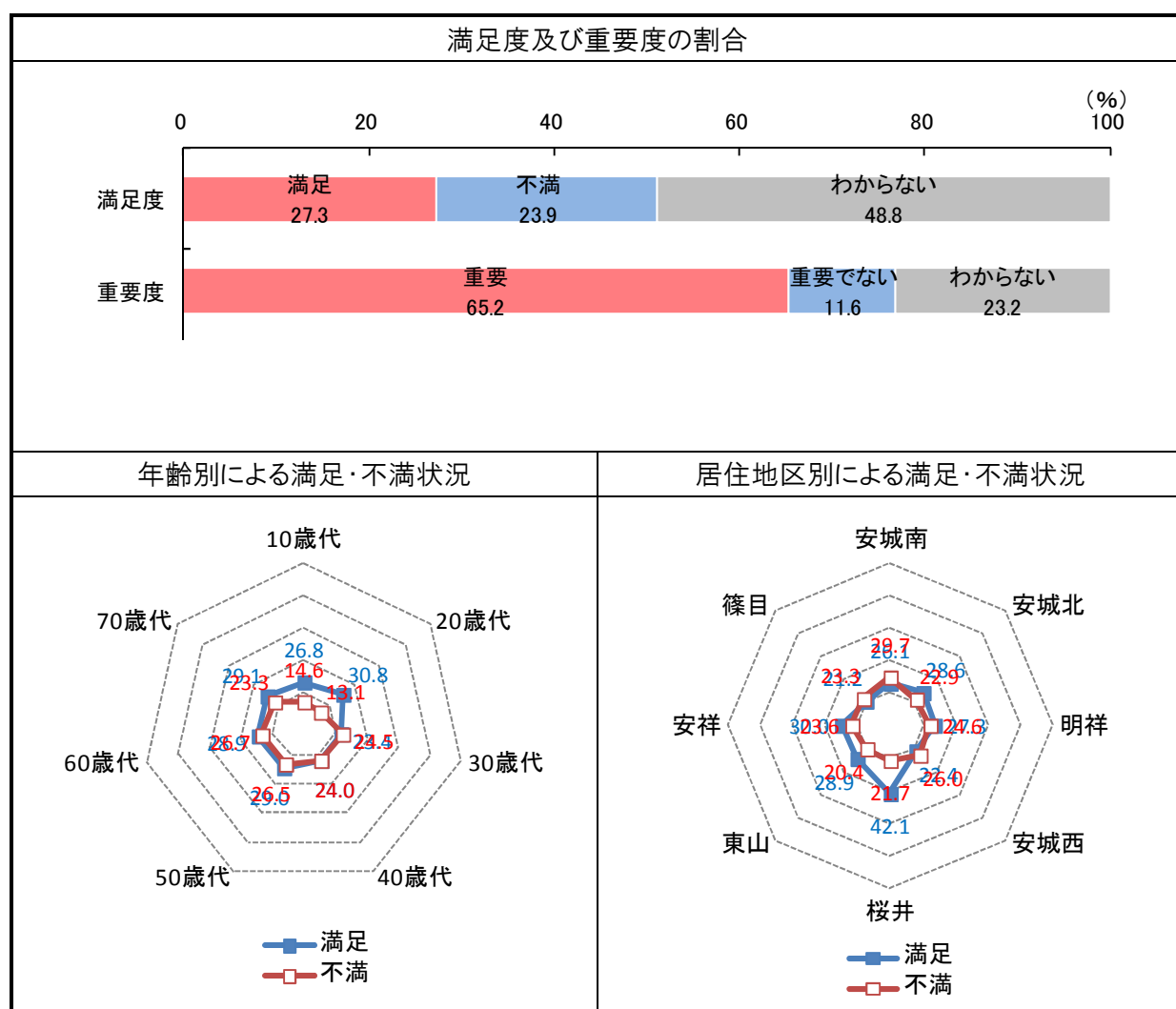


分野	7 その他				
項目	2 市街地				
主な取組	・ 桜井、南明治土地区画整理事業の実施 ・ 中心市街地拠点施設の整備 ・ 空き店舗対策				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.04	順位	45 位
	重要度		1.21		33 位

満足度は最下位にあり、重要度は真ん中よりやや下位にあります。現在の取組に対する不満が多いものの、継続的な取組は必ずしも求められていないといえます。ただし、満足度について、「わからない (48.8%)」割合が 5 割近いことから、満足度や重要度の適切な判断が行いにくくなっていると考えられ、今後、取組に対する理解を深めることが重要といえます。

年齢別において、10 歳代や 20 歳代といった若い年齢階級の不満の割合が少なくなっています。また、居住地区別では満足度を不満が上回っている地区があります。

なお、本指標については、今回初めて調査したものであり、過去からの推移は分析できません。



分野	7 その他				
項目	3 住環境				
主な取組	- 適正な管理がされていない空き家の対策 - 公共下水道整備、下水道への接続推進 - 新規公園の整備				
施策ランキング (45 項目中)	満足度	得点	0.06	順位	44 位
	重要度		1.56		19 位

満足度は最下位にあり、重要度は中位にあります。現在の取組に対する満足は低いものの、継続的な取組はそれ程求められていないといえます。ただし、満足度について、「わからない (41.2%)」割合が 4 割に達していることから、取組に対する理解を深めることも必要です。

年齢別や居住地区別による満足度の違いはほとんどみられません。

なお、本指標については、今回初めて調査したものであり、過去からの推移は分析できません。

